



27123

PATENT TRADEMARK OFFICE

Docket No. 1232-4685

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant(s): ITO, et al.

Group Art Unit: 2167

Serial No.: 09/781,886

Examiner:

Filed: February 12, 2001

For: INFORMATION PROVIDING SYSTEM FOR PROVIDING INFORMATION
ABOUT PARTS#6
#1021/102
8/31/01**CERTIFICATE OF MAILING (37 C.F.R. §1.8(a))**Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

I hereby certify that the attached:

1. Claim to Convention Priority w/three documents
2. Return Postcard Receipt
- 3.

along with any paper(s) referred to as being attached or enclosed and this Certificate of Mailing are being deposited with the United States Postal Service on date shown below with sufficient postage as first-class mail in an envelope addressed to the: Commissioner for Patents, Washington, D.C., 20231.

Respectfully submitted,
MORGAN & FINNEGAN, L.L.P.

Dated: May 18, 2001

By:

Helen Tiger
Helen Tiger**Correspondence Address:**MORGAN & FINNEGAN, L.L.P.
345 Park Avenue
New York, NY 10154-0053
(212) 758-4800 Telephone
(212) 751-6849 FacsimileRECEIVED
MAY 27 2001
Technology Center 2100



27123

PATENT TRADEMARK OFFICE

Docket No. 1232-4685**IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE**

Applicant(s): ITO, et al.

Group Art Unit: 2167

Serial No.: 09/781,886

Examiner:

Filed: February 12, 2001

For: INFORMATION PROVIDING SYSTEM FOR PROVIDING INFORMATION
ABOUT PARTS**CLAIM TO CONVENTION PRIORITY**Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

In the matter of the above-identified application and under the provisions of 35 U.S.C. §119 and 37 C.F.R. §1.55, applicant(s) claim(s) the benefit of the following prior application(s):

Application(s) filed in: JAPAN
In the name of: Canon Kabushiki Kaisha
Serial No(s): 2000-041351
2000-041354
2000-041359
Filing Date(s): February 15, 2000
February 15, 2000
February 15, 2000



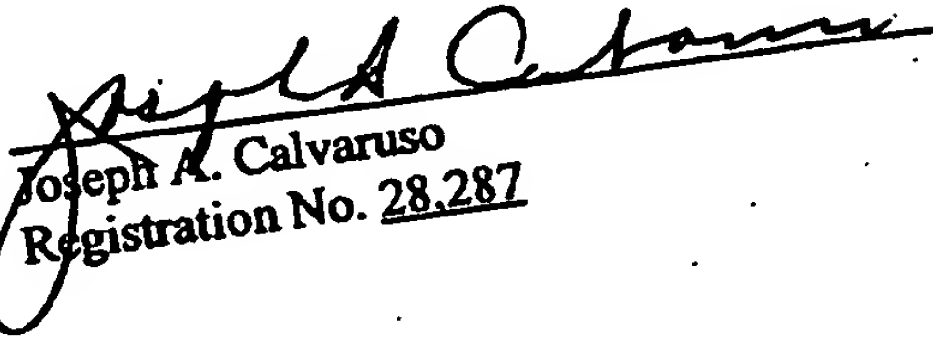
Pursuant to the Claim to Priority, applicant(s) submit(s) a duly certified copy of said foreign application.

☐ A duly certified copy of said foreign application is in the file of application
Serial No. _____, filed _____.

Respectfully submitted,
MORGAN & FINNEGAN, L.L.P.

Dated: May 18, 2001

By:


Joseph A. Calvaruso
Registration No. 28,287

Correspondence Address:
MORGAN & FINNEGAN, L.L.P.
345 Park Avenue
New York, NY 10154-0053
(212) 758-4800 Telephone
(212) 751-6849 Facsimile

CFD 15115 US/jn

1232-4685



日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日

Date of Application:

2000年 2月15日

出願番号

Application Number:

特願2000-041351

出願人

Applicant(s):

キヤノン株式会社

RECEIVED

MAY 22 2001

Technology Center 210

RECEIVED

MAY 22 2001

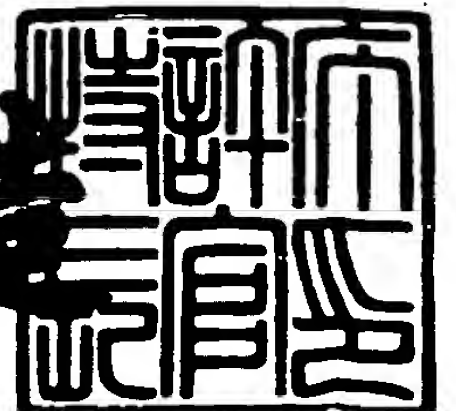
Technology Center 2100

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 3月 9日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



【書類名】 特許願

【整理番号】 4135041

【提出日】 平成12年 2月15日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04L 12/00

【発明の名称】 部品情報提供システム、部品情報提供方法及び記録媒体

【請求項の数】 25

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社
社内

【氏名】 吉屋 逸朗

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社
社内

【氏名】 植竹 利雄

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社
社内

【氏名】 常藤 恭司

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社
社内

【氏名】 平野 令二

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社
社内

【氏名】 田中 真

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社

社内

【氏名】 甲 安孝

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区下丸子 3 丁目 3 0 番 2 号 キヤノン株式会
社内

【氏名】 伊藤 中

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区下丸子 3 丁目 3 0 番 2 号 キヤノン株式会
社内

【氏名】 吹田 光生

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区下丸子 3 丁目 3 0 番 2 号 キヤノン株式会
社内

【氏名】 松縄 敦

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区下丸子 3 丁目 3 0 番 2 号 キヤノン株式会
社内

【氏名】 名越 勤

【発明者】

【住所又は居所】 埼玉県秩父市下影森 7 6 3 - 2

【氏名】 松崎 功

【特許出願人】

【識別番号】 000001007

【氏名又は名称】 キヤノン株式会社

【代理人】

【識別番号】 100090273

【弁理士】

【氏名又は名称】 國分 孝悦

【電話番号】 03-3590-8901

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 035493

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9705348

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 部品情報提供システム、部品情報提供方法及び記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 部品情報を記憶するデータベースと、
部品を指定する指定手段と、
前記指定手段により指定された部品に対応する部品情報を前記データベースから検索して表示する表示手段と
を有する部品情報提供システム。

【請求項 2】 前記データベースは電子部品情報又はメカ部品情報を記憶し、
前記指定手段は電子部品又はメカ部品を指定する請求項 1 記載の部品情報提供システム。

【請求項 3】 前記データベースは電子部品情報を記憶し、前記指定手段は電子部品を指定する請求項 1 記載の部品情報提供システム。

【請求項 4】 前記データベースはカタログ画像情報を記憶し、前記表示手段は該カタログ画像を表示する請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の部品情報提供システム。

【請求項 5】 前記データベースは部品のスペック情報を記憶し、前記表示手段は該スペック情報を表示する請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の部品情報提供システム。

【請求項 6】 前記データベースは部品代替情報を記憶し、前記表示手段は前記指定された部品に代わる部品の情報を前記データベースの部品代替情報を基に検索して表示する請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の部品情報提供システム。

【請求項 7】 前記データベースは製品又は商品情報を記憶し、前記表示手段は前記指定された部品が使用されている製品又は商品の情報を表示する請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の部品情報提供システム。

【請求項 8】 前記データベースは半導体又は液晶市場価格情報を記憶し、前記表示手段は該半導体又は液晶市場価格を表示する請求項 1 ～ 7 のいずれかに記載の部品情報提供システム。

【請求項 9】 前記データベースは部品の品質認定情報を記憶し、前記表示

手段は該品質認定情報を表示する請求項 1 ～ 8 のいずれかに記載の部品情報提供システム。

【請求項 1 0】 前記データベースは部品の環境問題を考慮したグリーン認定情報を記憶し、前記表示手段は該グリーン認定情報を表示する請求項 1 ～ 9 のいずれかに記載の部品情報提供システム。

【請求項 1 1】 前記データベースは部品の単価情報を記憶し、前記表示手段は該部品の単価を表示する請求項 1 ～ 1 0 のいずれかに記載の部品情報提供システム。

【請求項 1 2】 前記データベースは前記部品情報の他に為替レートを記憶し、前記表示手段は前記データベースを基に為替レートを表示する請求項 1 ～ 1 1 のいずれかに記載の部品情報提供システム。

【請求項 1 3】 前記表示手段は、複数の通貨の為替レートの一覧を表示する請求項 1 2 記載の部品情報提供システム。

【請求項 1 4】 前記表示手段は、ある通貨の為替レートの過去の履歴を表示する請求項 1 2 又は 1 3 記載の部品情報提供システム。

【請求項 1 5】 さらに、利用者が入力する利用者 I D 及びパスワードが正しければログインするログイン手段を有し、

前記指定手段は、前記ログインした後に前記部品を指定することができる請求項 1 ～ 1 4 のいずれかに記載の部品情報提供システム。

【請求項 1 6】 前記表示手段は、前記部品情報と共に前記利用者 I D を表示する請求項 1 5 記載の部品情報提供システム。

【請求項 1 7】 前記表示手段は、前記部品情報と共に、前記利用者 I D、ログイン年月日及び I P アドレスを表示する請求項 1 5 記載の部品情報提供システム。

【請求項 1 8】 前記ログイン手段はある利用者が所定期間ログインしないときには該利用者のログイン権を抹消する請求項 1 5 ～ 1 7 のいずれかに記載の部品情報提供システム。

【請求項 1 9】 前記指定手段は部品の部番を指定する請求項 1 ～ 1 8 のいずれかに記載の部品情報提供システム。

【請求項 2 0】 前記指定手段は部品の型名を指定する請求項 1 ～ 1 9 のいずれかに記載の部品情報提供システム。

【請求項 2 1】 前記指定手段は部品のスペックを指定する請求項 5 記載の部品情報提供システム。

【請求項 2 2】 さらに、外部から提供されたスペックの項目を基にスペック条件入力画面を生成する条件入力画面生成手段を有し、

前記指定手段は前記スペック条件入力画面により部品のスペックを指定する請求項 2 1 記載の部品情報提供システム。

【請求項 2 3】 前記指定手段はまず部品の大分類を指定して次にその中から部品を指定する請求項 1 ～ 2 2 のいずれかに記載の部品情報提供システム。

【請求項 2 4】 (a) 部品を指定するステップと、
(b) 前記指定された部品に対応する部品情報をデータベースから検索して表示するステップと
を有する部品情報提供方法。

【請求項 2 5】 (a) 部品を指定する手順と、
(b) 前記指定された部品に対応する部品情報をデータベースから検索して表示する手順と
をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、部品情報提供技術に関し、特にデータベースを基に部品情報を提供する技術に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

大企業は、複数の事業所を有する。各事業所は、独自に部品又は原材料の受発注を行っており、他の事業所の受発注の状況が分からない。各事業所は、異なる取引先又は同一の取引先から異なる単価で部品又は原材料を購入していることが

ある。また、上記の受発注は、紙による注文書や伝票で取引が行われることが多い。

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】

企業の開発部門では、以下の問題点がある。(1) 他の事業所で使用している部品又は原材料が分からない。(2) 部品及び原材料の選択の幅が狭い。(3) 代替品の情報が乏しい。(4) 新製品情報を早く入手できない。

【 0 0 0 4 】

また、企業の調達部門では、以下の問題点がある。(1) 各事業所の同一部品又は原材料の購入単価及び取引先が分からない。(2) 代替品の情報が乏しい。(3) 取引先的能力(例えば生産種類や生産量)及び状況が分からない。(4) 自社グループ全体の購入状況が分からない。

本発明の目的は、容易かつ迅速に部品情報を提供することができる部品情報提供システム、部品情報提供方法及び記録媒体を提供することである。

【 0 0 0 5 】

【課題を解決するための手段】

本発明の一観点によれば、部品情報を記憶するデータベースと、部品を指定する指定手段と、前記指定手段により指定された部品に対応する部品情報を前記データベースから検索して表示する表示手段とを有する部品情報提供システムが提供される。

【 0 0 0 6 】

本発明の他の観点によれば、(a) 部品を指定するステップと、(b) 前記指定された部品に対応する部品情報をデータベースから検索して表示するステップとを有する部品情報提供方法が提供される。

【 0 0 0 7 】

本発明のさらに他の観点によれば、(a) 部品を指定する手順と、(b) 前記指定された部品に対応する部品情報をデータベースから検索して表示する手順とをコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体が提供される。

【 0 0 0 8 】

本発明によれば、部品情報を迅速かつ容易に取得し、部品を迅速かつ効率良く選定および調達することができる。大企業は、各事業所の部品情報を入手し、その部品情報を基になるべく安く部品を購入することができる。また、各事業所の受発注を一括して行うことにより、多量の部品を安価で購入することができる。

【 0 0 0 9 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施形態を、実施例に沿って図面に基づいて説明する。

図 1 は、本発明の実施例による調達情報システム（調達情報提供システム） 1 3 及び購買システム 2 1 の構成を示すブロック図である。購買システム 2 1 は、受発注システム 2 2 及び生産管理システム 2 3 を有する。調達情報システム 1 3 は、部品情報システム（部品情報提供システム） 1 1、コストダウンサポートシステム 5、調達実績システム 6、取引先システム 1 2、取引先売込みシステム 9、及び掲示板メールシステム 1 0 を有する。部品情報システム 1 1 は、電子部品システム 1、原材料システム 2、メカ部品システム 3、及び全部番システム 4 を有する。取引先システム 1 2 は、取引先カード情報システム 7 及び取引先マップシステム 8 を有する。

【 0 0 1 0 】

電子部品システム 1 はデータベース 1 a を有し、原材料システム 2 はデータベース 2 a を有し、メカ部品システム 3 はデータベース 3 a を有し、全部番システム 4 はデータベース 4 a を有し、コストダウンサポートシステム 5 はデータベース 5 a を有し、調達実績システム 6 はデータベース 6 a を有し、取引先カード情報システム 7 はデータベース 7 a を有し、取引先マップシステム 8 はデータベース 8 a を有し、取引先売込みシステム 9 はデータベース 9 a を有する。これらのデータベース 1 a ～ 9 a は、必ずしも個々のシステム毎に用意する必要はなく、1 つのデータベースとして各システムが共用してもよい。データベースを個々に用意すればデータベース内の検索を高速に行うことができ、データベースを共用すればデータを重複して持つ無駄を省くことができる。

【 0 0 1 1 】

電子部品システム 1 は、電子部品（半導体を含む）の調達情報（スペック情報及び品質情報を含む）を利用者に提供するシステムである。原材料システム 2 は、モールド及びプレス部品用の原材料の調達情報を利用者に提供するシステムである。メカ部品システム 3 は、メカ部品の調達情報を利用者に提供するシステムである。全部番システム 4 は、全部番（全部品）の調達情報を利用者に提供するシステムである。コストダウンサポートシステム 5 は、同一部品又は原材料の各事業者間の価格差情報を利用者に提供するシステムである。調達実績システム 6 は、自社グループの調達実績の集計情報を利用者に提供するシステムである。取引先カード情報システム 7 は、取引先のカード情報（取引先情報）を利用者に提供するシステムである。取引先マップシステム 8 は、取引先の地図情報（位置情報）、取引先の保有設備（加工設備）及び他社との取引関係（2 次下請け）を利用者に提供するシステムである。取引先売込みシステム 9 は、取引先やメーカーが登録した売込み情報を利用者に提供するシステムである。掲示板メールシステム 1 0 は、掲示板及びメールにより各種情報を利用者に提供するシステムである。

【 0 0 1 2 】

利用者のコンピュータ 3 1 は、例えば、パソコンであり、登録をした利用者のみを使用することができる。利用者は、例えば、自社の特定部門の社員であり、コンピュータ 3 1 を用いて調達情報システム 1 3 を活用することができる。ただし、利用者が所属する部門に応じて、提供される情報に制限がある。利用者は、例えばコンピュータ 3 1 内の Web ブラウザソフト（N e t s c a p e や I n t e r n e t E x p l o r e r）で調達情報システム 1 3 を活用することができる。

【 0 0 1 3 】

調達情報システム 1 3 は、世界中の部品及び材料を迅速かつ効率良く選定および調達するための情報支援システムである。利用者は、コンピュータ 3 1 から W W W（world wide web）で調達情報を検索することができる。

大企業は、複数の事業所を有し、各事業所が独自に部品又は材料の受発注を行っていることが多い。各事業所は、異なる取引先又は同一の取引先から異なる単価で部品又は材料を購入していることがある。受発注システム 2 2 は、各事業所

の取引情報を入手し、その取引情報を基になるべく安く部品又は材料を購入することができる。また、受発注システム 2 1 は、各事業所の受発注を一括して行うことにより、多量の部品又は材料を安価で購入することができる。具体的には、受発注システム 2 2 は、部品情報システム 1 1、コストダウンサポートシステム 5 及び調達実績システム 6 とアクセスし、取引先のコンピュータ 3 2 に対して受発注を行う。

【 0 0 1 4 】

調達情報システム 1 3 は、企業の開発部門において以下の要求を満たすことができる。（１）他の事業所で使用している部品及び材料を知りたい。（２）幅広い情報から最適な部品及び材料を選択したい。（３）代替品の情報を入手したい。（４）新製品情報を早く入手したい。

【 0 0 1 5 】

また、調達情報システム 1 3 は、企業の調達部門において以下の要求を満たすことができる。（１）各事業所の同一部品及び材料の購入単価及び取引先を知りたい。（２）代替品の情報を素早く知りたい。（３）取引先の能力（例えば生産種類や生産量）及び状況を知りたい。（４）自社グループ全体の購入状況を知りたい。

【 0 0 1 6 】

調達情報システム 1 3 は、外部データベース 3 4 からデータを入力し、データベース 1 a ～ 9 a に登録することができる。外部データベース 3 4 は、例えば、産業タイムズ社発行の半導体産業新聞、外部データベース（電子デバイス情報サービス）、製品又は部品カタログ情報、各事業所のデータベースである。

【 0 0 1 7 】

取引先のコンピュータ 3 2 は、取引先の担当者の操作により、取引先カード情報システム 7、取引先マップシステム 8 及び取引先売込みシステム 9 に、それぞれカード情報、地図情報及び売込み情報を提供する。

コンピュータ 3 3 は、情報提供者の操作により、掲示板メールシステム 1 0 に種々の情報を提供する。

【 0 0 1 8 】

利用者のコンピュータ 3 1、情報提供者のコンピュータ 3 3、取引先のコンピュータ 3 2 及び外部データベース 3 4 は、調達情報システム 1 3 に対して LAN や WAN 等のネットワークで接続されている。

図 2 は、調達情報システム 1 3 の処理を示すフローチャートである。利用者がコンピュータ 3 1 からログインすることにより、調達情報システム 1 3 を起動させることができる。ステップ S 1 では、利用者のコンピュータ 3 1 に調達情報システムのメニューを表示する。利用者は、メニュー項目として、電子部品システム、原材料システム、メカ部品システム、全部番システム、コストダウンサポートシステム、調達実績システム、取引先カード情報システム、取引先マップシステム、取引先売込みシステム、掲示板メールシステムの中から選択することができ、ステップ S 2 でどのシステムが選択されたかを判断し、その選択に応じて、それぞれステップ S 3、S 4、S 5、S 6、S 7、S 8、S 9、S 1 0、S 1 1、S 1 2 へ進み、各システムの処理を行う。

【 0 0 1 9 】

以下、調達情報システム 1 3 内の各システムについて説明する。

〔 1. 電子部品システム 〕

図 3 は、図 1 に示す電子部品システム 1 の構成を示すブロック図である。電子部品システム 1 は、Web サーバ 1 0 0 1、アプリケーションサーバ 1 0 0 2、Web 用データベースサーバ 1 0 0 3、画像サーバ 1 0 0 4、CD チェンジャ 1 0 0 5、運用マシン 1 0 0 6、更新用データベースサーバ 1 0 0 7、及び磁気テープ装置 1 0 0 8 を有する。データベースサーバ 1 0 0 3 は、データベース 1 a (図 1) を有する。

【 0 0 2 0 】

利用者のコンピュータ 3 1 は、例えばクライアントとなる標準パーソナルコンピュータであり、電子部品システム 1 に対してアクセス可能である。外部データベース 1 0 1 2 は、電子部品スペック情報及びカタログ画像情報を有する。カタログ画像情報は、紙に印刷されたカタログをイメージスキャナで読み込んだ画像情報である。これらの情報は、CD-ROM 又はネットワークを介して電子部品システム 1 に提供される。電子部品スペック情報は、運用マシン 1 0 0 6 に提供

される。カタログ画像情報は、CDチェンジャ1005に提供される。

【0021】

情報源1015は、半導体部品及び一般電子部品等の電子部品の推奨情報を有し、その情報はフロッピディスク又はネットワークを介して運用マシン1006に供給される。情報源1006は、半導体部品及びコンデンサ等の電子部品の品質認定情報を有し、その情報はフロッピディスク又はネットワークを介して運用マシン1006に供給される。情報源（人事部門）1017は、人事データを有し、そのデータはフロッピディスク又はネットワークを介して運用マシン1006に供給される。人事データは人事異動の情報を含み、電子部品システム1は、登録された利用者が所属する部門の変更を自動的に行うことができる。また、必要に応じて、その異動した利用者の登録を抹消することができる。半導体産業新聞1018は、日本国内の半導体及び液晶の市況価格情報を有し、その情報はオペレータのメンテナンス又はネットワークを介して運用マシン1006に供給される。その他、販売されている半導体の代替部品の情報が磁気テープ又はネットワークを介して運用マシン1006に供給される。運用マシン1006は、それらの情報をデータベースサーバ1003内のデータベース1aに登録する。なお、情報源1017が供給する人事データは、電子部品システム1だけでなく、原材料システム2等の他のシステムにも同様に供給される。

【0022】

工場及び生産関係会社1014は、検収情報、注文予定情報、単価経歴情報、構成情報、製品名称情報、代替部品情報、一般購買検収情報、資材マスタ情報等を有する。これらの情報は、データ加工部門1013でデータ加工され、磁気テープカートリッジにより磁気テープ装置1008に供給される。なお、ネットワークを介してデータを転送する方法によっても構わない。運用マシン1006は、磁気テープ装置1008により読み出されたカートリッジ内の情報をデータベースサーバ1003内のデータベース1aに登録する。

【0023】

なお、上記の情報は、運用マシン1006に対してネットワークを介してオンラインで提供することが好ましい。

また、運用マシン 1 0 0 6 は、工場及び生産関係会社 1 0 1 4 に部番又は型番の調査を依頼し、その調査結果を工場及び生産関係会社 1 0 1 4 から受け取り、データベースサーバ 1 0 0 3 内のデータベース 1 a に登録する。

運用マシン 1 0 0 6 は、データベース 1 a の更新処理を更新用データベースサーバ 1 0 0 7 に依頼する。更新用データベースサーバ 1 0 0 7 は、それに応じて、データファイルを作成し、運用マシン 1 0 0 6 に供給する。運用マシン 1 0 0 6 は、データベースサーバ 1 0 0 3 内のデータベース 1 a を更新する。

【 0 0 2 4 】

画像サーバ 1 0 0 4 は、CDチェンジャ 1 0 0 5 により CD-ROM から読み出されたカタログ画像情報を、Webサーバ 1 0 0 1 及びアプリケーションサーバ 1 0 0 2 に供給する。カタログ画像情報は、データベースサーバ 1 0 0 3 内のデータベース 1 a に登録することができる。

【 0 0 2 5 】

利用者のコンピュータ 3 1 は、Webサーバ 1 0 0 1 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。Webサーバ 1 0 0 1 は、アプリケーションサーバ 1 0 0 2 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。アプリケーションサーバ 1 0 0 2 は、データベースサーバ 1 0 0 3 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。Webサーバ 1 0 0 1 は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、利用者が選択するための統一的なメニュー表示を行う。アプリケーションサーバ 1 0 0 2 は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、電子部品システム 1 を動作させる。データベースサーバ 1 0 0 3 は、データベース 1 a を有し、そのデータベース 1 a の登録、削除、更新及び検索を管理する。

【 0 0 2 6 】

図 4 は、データベースサーバ 1 0 0 3 内のデータベース 1 a の構成を示す概略図である。データベース 1 a は、部番検収実績情報 1 a a、製品オーダー情報 1 a b、発注予定情報 1 a c、調達窓口連絡先情報 1 a d、部番別代替品情報 1 a e、全部門のマスター単価情報 1 a f、部品品質認定情報 1 a g、推奨部品情報

1 a h、半導体及び液晶市場相場価格情報 1 a i、部品スペック情報 1 a j、部品代替品情報 1 a k、カタログ原文情報（カタログ画像情報） 1 a l、為替レート情報 1 a m、利用者情報（利用者 I D、パスワード、利用者所属部門等） 1 a n、及びセキュリティ情報 1 a o を有する。

【 0 0 2 7 】

図 5 は、電子部品システム 1 の処理を示すフローチャートであり、図 2 のステップ S 3 の処理に相当する。ステップ S A A 1 では、図 1 0 に示す画面を利用者のコンピュータ 3 1 に表示し、利用者 I D の入力及びパスワードの入力を待つ。利用者は、図 1 0 のエリア 1 1 0 1 に利用者 I D を入力し、エリア 1 1 0 2 にパスワードを入力することができる。利用者 I D 1 1 0 1 及びパスワード 1 1 0 2 を入力させることにより、セキュリティを強化し、不正者のログインを防止できる。

【 0 0 2 8 】

表示エリア 1 1 0 5 に表示されるように、セキュリティ強化のために、以下の 2 つの対策が取られる。（１）暦日 9 0 日間アクセス（ログイン）がない場合はアクセス権（ログイン権）を自動的に抹消する。その場合、利用時に再度、利用申請書の提出が必要になる。（２）利用者はセキュリティ保護のため、パスワード変更を月 1 回必ず実施する。パスワードの変更は、パスワード変更ボタン 1 1 0 4 をマウスでクリックすることにより行うことができる。

【 0 0 2 9 】

なお、これらのセキュリティ強化のための 2 つの処理は、電子部品システムその他、原材料システム等の他のシステムでも行われる。

利用者がログインボタン 1 1 0 3 をマウスでクリックすると、入力した利用者 I D 及びパスワードが正しければ、ログインされ、ステップ S A A 2 へ進む。

【 0 0 3 0 】

ステップ S A A 2 では、図 1 1 に示すメニュー画面が表示される。表示エリア 1 1 1 1 には、何時の情報であるかが表示される。表示エリア 1 1 1 2 には、ログインユーザ I D （利用者 I D ）が表示される。表示エリア 1 1 1 3 には、ログインした年月日が表示される。表示エリア 1 1 1 4 には、ログインした I P アド

レスが表示される。このIPアドレスを基に、どの部門の利用者かが分かる。これら表示エリア1112～1114の表示により、画面をハードコピーした時の出所を特定できるので、外部への情報漏れを防止することができる。すなわち、ハードコピーした利用者の情報が表示されているので、利用者がハードコピーすることを躊躇する効果がある。さらに、表示エリア1115に、「この情報は社外秘です。」と表示することにより、情報が外部に漏れることを防止できる。

【0031】

メニュー項目1116として、「1. 部番による検索」、「2. 型名による検索」、「3. 外部データベース情報検索」、「4. 部番による拠点別、親部番別、代替部品（代替可能な部番を表示）検索」、「5. 単価マスタ変更情報一覧」、「6. 単価マスタ履歴情報検索」、「7. 部番による発注予定情報検索」、「8. 型名による発注予定情報検索」、「9. 型名による特性上の代替部品の情報検索」、「10. 半導体及び液晶の価格相場による検索」、「61. 為替レート情報」、「SU1. ユーザメンテナンス」、及び「SU2. プリファレンス情報」が表示される。

【0032】

ユーザメンテナンス処理は、データベースに登録されているユーザ情報やログ情報を参照したり、ユーザ情報やセキュリティ管理の登録を行う。プリファレンス情報処理は、システムの稼動に必要な情報の設定を行う。

表示エリア1117には、セキュリティ強化のため、以下の2項目が表示される。（1）「機密保護の確約：許可なしに情報の複写を禁じます。また、利用者として登録した社員以外の使用を禁じます。」（2）「就業規則による制裁：調達情報システムの情報は社外秘です。社外へ漏洩すると社内規定により罰せられます。」

【0033】

利用者は、上記のメニュー項目1116の中から所望の項目を選択することができる。利用者が項目を選択すると、図5のステップSAA3では、利用者がどの番号を選択したかをチェックする。1番を選択すると、ステップSAA4で部番による検索処理を行う。2番を選択すると、ステップSAA5で型名による検

索処理を行う。3番を選択すると、ステップS A A 6で外部データベース情報の検索処理を行う。10番を選択すると、ステップS A A 7で半導体及び液晶の価格相場による検索処理を行う。61番を選択すると、ステップS A A 8で為替レート情報の処理を行う。その他の番号を選択すると、ステップS A A 9でその他の番号の処理を行う。以下、ステップS A A 4～S A A 8の各処理の詳細を説明する。

【 0 0 3 4 】

図6は、図5に示すステップS A A 4の部番による検索処理の詳細を示すフローチャートである。この処理は、部番をキーワードとして、電子部品を検索することができる。ステップS A B 1では、図12に示す条件入力画面をコンピュータ31上に表示する。図12のタイトルエリア1125には、「(1)部番による検索・条件入力画面」と表示される。表示エリア1111～1115は上記と同様である。表示エリア1126には、「持ち部番／仮単価の情報は提供していません。」と表示し、利用者が所属する部門に応じて、情報にマスクをかけ、所定の情報のみを提供する。例えば、開発部門の利用者には、持ち部番及び仮単価の情報を提供しないことにより、それらの情報を基に設計及び見積もりを試算することを禁止することができる。

【 0 0 3 5 】

条件入力エリア1127には、部番、環境問題を考慮したグリーン認定（例えば有害物質の有無やリサイクルの有無）、推奨情報（試作部門での在庫状況）、購入元、原産国名、品目品種コード（例えば半導体を示すコード）、取引先コード（販売店のコード）、取引先名、メーカーコード、メーカー名、実際に取引を行った検収単価（現地通貨）がいくら以上又はいくら以下であるかを、利用者が入力することができる。部番の他に、上記の条件の全部又は一部を入力することができる。クリアボタン1129をマウスでクリックすると、上記の条件をクリアすることができる。検索（サーチ）ボタン1128をマウスでクリックすると、ステップS A B 2を介してステップS A B 3へ進み、データベース1aを基に上記の入力した条件を満足する電子部品を検索する。その後、ステップS A B 4へ進む。なお、検索ボタン1128がクリックされず、ボタン1121～112

4 がクリックされたときにはステップ S A B 1 0 へ進む。

【 0 0 3 6 】

ステップ S A B 1 0 は、ボタン 1 1 2 1 ～ 1 1 2 4 がクリックされたときの処理である。メニューボタン 1 1 2 1 がクリックされると、図 5 のステップ S A A 2 へ戻り、図 1 1 に示すメニュー画面を表示する。バックページボタン 1 1 2 2 がクリックされると、1 つ前の画面表示に戻る。ログアウトボタン 1 1 2 3 がクリックされると、調達情報システムは終了する。メールボタン 1 1 2 4 がクリックされると、メールの送信又は受信メールの確認等を行うことができる。

【 0 0 3 7 】

上記の検索の後、ステップ S A B 4 では、図 1 3 に示す検索結果の一覧画面を表示する。図 1 3 のボタン 1 1 2 1 ～ 1 1 2 4 がクリックされたときには、ステップ S A B 5 を介してステップ S A B 1 0 へ進み、上記と同様な処理を行う。表示エリア 1 1 1 1 ～ 1 1 1 5、1 1 2 6 には上記と同様な表示が行われる。一覧表示エリア 1 1 3 5 には、検索結果として例えば 7 件の電子部品が表示される。具体的には、一覧表示エリア 1 1 3 5 には、自社が決めた部番、寸法、メーカーが決めた型名、メーカー名、カタログ画像情報の有無、推奨（試作在庫状況）、品質認定、拠点名（事業所名）、取引先名（販売店名）、検収年月、検収単価、通貨、検収数量、図番、訂正番号、工程、小オーダー（部品オーダー）が表示される。なお、品質認定は、「合」が合格、「条」が条件付合格、否は不合格である。カタログ画像情報が「有」になっているときには、その「有」の部分をマウスでクリックすると、データベース 1 a（図 4）を基にカタログ画像情報が表示される。カタログ画像情報は、紙に印刷されたカタログをイメージスキャナで読み込んだ画像情報である。

【 0 0 3 8 】

画面の右には続きがある。スクロールバースイッチ 1 1 3 7 をマウスでクリックすると、画面は左にスクロールする。スクロールバースイッチ 1 1 3 8 をマウスでクリックすると、画面は右にスクロールし、図 1 4 に示す続きの画面を表示する。一覧表示エリア 1 1 3 5 には、上記の他、窓口、原産国名、品種名称、機能分類番号が表示される。

【 0 0 3 9 】

一覧表示エリア 1 1 3 5 内の 7 件の電子部品は、並び換えが可能である。まず、並び換え項目 1 1 3 2 として、例えば「部番」を選択する。次に、並び換え（ソート）ボタン 1 1 3 3 をマウスでクリックすると、一覧表示エリア 1 1 3 5 には部番の番号順に並び換えが行われる。並び換え項目として、部番以外の項目を選択して並び換えを行うこともできる。

【 0 0 4 0 】

図 1 3 に示すリンク先画面 1 1 3 4 として、「詳細画面」を選択して、電子部品番号 6 のボタン 1 1 3 6 をマウスでクリックすると、ステップ S A B 5 を介してステップ S A B 6 へ進み、データベース 1 a を基に電子部品番号 6 の詳細情報を検索する。次に、ステップ S A B 7 へ進み、図 1 5 に示すように、電子部品番号 6 の詳細情報の画面を表示する。なお、上記の「詳細画面」のみだけでなく、図 1 6 のリンク先 1 1 5 1 ～ 1 1 5 4 へリンクするための同一の項目を指定することもできる。

【 0 0 4 1 】

図 1 5 のタイトルエリア 1 1 4 1 には、「（１）部番による検索・詳細画面」と表示される。表示エリア 1 1 1 1 ～ 1 1 1 5 の表示は上記と同じである。部品情報エリア 1 1 4 4 には、部番、寸法、工程、図番、訂正番号、部品名、型名、メーカー名、原産国名、機能分類、保守日程、廃止日程を含む部品情報が表示される。スペック情報エリア 1 1 4 5 には、外部データベースのスペック情報が表示される。スペック情報がない場合には、図 1 5 に示すようにスペック情報がない旨が表示される。スペック情報がある場合には、例えば図 2 5 に示すようなスペック情報が表示される。図 2 5 に示すスペック情報は後に説明する。推奨品情報エリア 1 1 4 6 には、推奨ランク（試作在庫状況のランク）、箱番、データ登録日が表示される。品質認定情報エリア 1 1 4 7 には、品質認定、コメント、機能、構造、規模が表示される。この画面の下には続きがある。

【 0 0 4 2 】

スクロールバースイッチ 1 1 4 2 をマウスでクリックすると、画面は上にスクロールする。スクロールバースイッチ 1 1 4 3 をマウスでクリックすると、画面

は下にスクロールし、図 1 6 に示す続きの画面を表示する。表示画面には、上記の他、以下の表示が行われる。グリーン認定情報エリア 1 1 4 8 には、グリーン認定情報、認定日、コメントが表示される。グリーン認定情報は、有害物質の有無及びリサイクルの有無に応じて、環境に優しいか否かで判断される。検収・買入単価情報エリア 1 1 4 9 には、拠点（事業所）、窓口、小オーダー（部品オーダー）、検収年月、検収数量、参考として見積もり価格を示すマスター単価、検収単価、検収金額、通貨、単価区分、単価条件、取引先、品目品種が表示される。なお、利用者が開発部門に所属する場合には、上記の理由により、仮単価は表示しない。

【 0 0 4 3 】

上記のように、まず検索結果の一覧画面を表示し、その後に個々の電子部品の詳細画面を表示することにより、検索速度を向上させることができる。すなわち、一覧画面でなるべく必要な表示を行い、その後は 1 対 1 で個々の電子部品の詳細画面を表示することができる。

【 0 0 4 4 】

サブ画面へのリンクエリア 1 1 5 0 では、4 つのボタン 1 1 5 0 ～ 1 1 5 4 がある。ボタン 1 1 5 0 ～ 1 1 5 4 のいずれかがマウスでクリックされると、ステップ S A B 8 を介してステップ S A B 9 へ進み、リンク処理を行う。なお、ボタン 1 1 2 1 ～ 1 1 2 4 がクリックされたときには、ステップ S A B 8 を介してステップ S A B 1 0 へ進み、上記と同様な処理を行う。

【 0 0 4 5 】

図 7 は、図 6 に示すステップ S A B 9 のリンク処理の詳細を示すフローチャートである。図 1 6 の第 1 のボタン 1 1 5 1 がマウスでクリックされると、ステップ S A C 1 の分岐処理を介してステップ S A C 2 へ進み、データベース 1 a を基に代替部品情報の検索を行う。次に、ステップ S A C 3 で、図 1 7 に示す代替部品一覧画面を表示する。

【 0 0 4 6 】

図 1 7 は、代替部品一覧画面を示す。タイトルエリア 1 1 6 1 には、「部番による代替部品検索結果一覧」と表示される。表示エリア 1 1 1 1 ～ 1 1 1 5 には

上記と同様な表示が行われる。一覧表示エリア1163には、例えば2件の電子部品の代替部品情報が表示されている。一覧表示エリア1163の代替部品情報として、部番、寸法、取引先名、拠点、代替部番、代替寸法、代替取引先名、代替型名、代替メーカー名、親部番、寸法、親図番が表示される。代替部品情報を表示することにより、その電子部品を入手できなくなった場合等に、その電子部品に代わる電子部品はどれであることを知ることができる。また、親部番及び親図番の情報を表示することにより、その電子部品が使われている製品を知ることができる。

【0047】

一覧表示エリア1163内の2件の電子部品は、並び換えが可能である。まず、並び換え項目1161として、例えば「部番」を選択する。次に、並び換え（ソート）ボタン1162をマウスでクリックすると、ステップSAC4を介してステップSAC5へ進み、部番の番号順に電子部品の並べ替え処理を行う。次に、ステップSAC3へ戻り、一覧表示エリア1163に並び換え後の電子部品の一覧を表示する。並び換え項目として、部番以外の項目を選択して並び換えを行うこともできる。なお、図17のボタン1121～1124がクリックされたときには、ステップSAC4を介してステップSAC12へ進み、図6のステップSAB10と同様な処理を行う。

【0048】

図16の第2のボタン1152がマウスでクリックされると、図7のステップSAC1の分岐処理を介してステップSAC6へ進み、データベース1aを基に製品／商品情報の検索を行う。次に、ステップSAC7で、図18に示す製品／商品情報画面を表示する。

【0049】

図18は、製品／商品情報画面を示す。タイトルエリア1171には、「製品／商品情報（製品／商品オーダー）」と表示される。表示エリア1111～1115には上記と同様な表示が行われる。製品／商品情報表示エリア1172には、例えば所望部番（例えばWA5-0000-000）についての6件の製品／商品情報が表示される。具体的には、製品／商品情報表示エリア1172には、

オーダー番号、オーダー名称、支給、拠点名、員数（対象部品の部品数）、機種群、製品群が表示される。製品／商品情報を表示することにより、その電子部品がどの製品又は商品に使用されているかを知ることができる。その後、上記のステップ SAC 1 2 へ進み、図 1 8 のボタン 1 1 2 1 ～ 1 1 2 4 の処理を行う。

【 0 0 5 0 】

図 1 6 の第 3 のボタン 1 1 5 3 がマウスでクリックされると、図 7 のステップ SAC 1 の分岐処理を介してステップ SAC 8 へ進み、データベース 1 a を基に発注予定情報の検索を行う。次に、ステップ SAC 9 で、図 1 9 に示す発注予定情報画面を表示する。

【 0 0 5 1 】

図 1 9 は、発注予定情報画面を示す。タイトルエリア 1 1 8 1 には、「部番別発注予定情報一覧」と表示される。表示エリア 1 1 1 1 ～ 1 1 1 5 には上記と同様な表示が行われる。発注予定情報表示エリア 1 1 8 2 には、例えば所望部番（例えば WA 5 - 0 0 0 0 - 0 0 0）についての 6 件の発注予定情報が表示される。具体的には、発注予定情報表示エリア 1 1 8 2 には、拠点名、取引先名、型名、メーカー名、通貨、各年月の予定数量及び予定金額が表示される。発注予定情報を表示することにより、今後の月毎に、その電子部品の発注数量及び発注金額を知ることができる。その後、上記のステップ SAC 1 2 へ進み、図 1 9 のボタン 1 1 2 1 ～ 1 1 2 4 の処理を行う。

【 0 0 5 2 】

図 1 6 の第 4 のボタン 1 1 5 4 がマウスでクリックされると、図 7 のステップ SAC 1 の分岐処理を介してステップ SAC 1 0 へ進み、データベース 1 a を基に検収履歴情報の検索を行う。次に、ステップ SAC 1 1 で、図 2 0 に示す検収履歴情報画面を表示する。

【 0 0 5 3 】

図 2 0 は、検収履歴情報画面を示す。タイトルエリア 1 1 9 1 には、「検収単価履歴情報（最新含め 2 4 世代、仮単価は表示しない）」と表示される。表示エリア 1 1 1 1 ～ 1 1 1 5 には上記と同様な表示が行われる。検収単価履歴情報表示エリア 1 1 9 2 には、例えば所望会社拠点（例えば A 事業所）及び所望部番（

例えばWA5-0000-000)及び所望取引先(例えばAAA)についての2件の検収単価履歴情報が表示される。具体的には、検収単価履歴情報表示エリア1192には、検収年月、検収単価、検収数量、検収金額、図番、訂正番号、小オーダー、通貨が表示される。検収単価履歴情報を表示することにより、過去の検収単価の推移を知ることができる。その後、上記のステップSAC12へ進み、図20のボタン1121～1124の処理を行う。

【0054】

図11に示すメニュー画面において「2. 型名による検索」を選択すると、図5に示すステップSAA5の型名による検索処理に進み、図21に示す条件入力画面を表示する。図21のタイトルエリア1201には、「型名による検索・条件入力画面」と表示される。表示エリア1111～1115には上記と同様な表示が行われる。条件入力エリア1202には、型名、グリーン認定情報、推奨情報、品質認定情報、メーカーコード、メーカー名、購入済情報を入力することができる。型名の他に、上記の条件の全部又は一部を入力することができる。クリアボタン1204をマウスでクリックすると、上記の条件をクリアすることができる。検索(サーチ)ボタン1203をマウスでクリックすると、データベース1aを基に上記の入力した条件を満足する電子部品を検索し、検索結果を表示する。その後の処理は、上記の部番による検索処理のステップSAA4と同様である。

【0055】

なお、型名は、外部データベース34(図1)で作成したものと自社内のデータベースで作成したものとで微妙に異なることがある。これは、外部データベース34が、カタログで使用している型名を使用するためである。この場合、電子情報システム1は、上記の2種類の型名情報をデータベース1a内に持ち、頭桁の一部があっていれば、同じ型名である可能性が高いとして、それらの型名を候補として表示する。利用者は、これらの型名候補の中から一致するものを1つ選択するだけでよいので、検索負担が軽減される。この際、社内の型名とマッチしないものは表示するだけである。

【0056】

図 1 1 に示すメニュー画面において「3. 外部データベース情報検索」を選択すると、図 5 に示すステップ S A A 6 の外部データベース情報検索処理に進む。図 8 は、図 5 に示すステップ S A A 6 の外部データベース情報検索処理の詳細を示すフローチャートである。ステップ S A D 1 では、図 2 2 に示す大分類選択画面を表示する。図 2 2 のタイトルエリア 1 2 1 1 には、「(3) 外部データベース情報検索－大分類」と表示される。大分類選択メニュー 1 2 1 2 には、「0 0 1. マイコン」、「0 0 2. 周辺／インタフェース」、・・・、「0 1 5. 光素子」等が表示される。利用者は、大分類選択メニュー 1 2 1 2 の中から 1 つを選択することができる。ボタン 1 1 2 1 ～ 1 1 2 4 又はボタン 1 2 1 3、1 2 1 4 がマウスでクリックされると、ステップ S A D 2 を介してステップ S A D 1 2 へ進む。ステップ S A D 1 2 では、メニューボタン 1 1 2 1、バックページボタン 1 1 2 2、ログアウトボタン 1 1 2 3、メールボタン 1 1 2 4 については上記と同様の処理を行う。ヘルプボタン 1 2 1 3 がマウスでクリックされたときには、利用者の操作を助けるヘルプ表示を行う。連絡先ボタン 1 2 1 4 をクリックすると、電子部品システムについての連絡先及び各工場／生産関係会社の調達部門の連絡先を表示する。

【 0 0 5 7 】

利用者が大分類選択メニュー 1 2 1 2 の中から例えば「0 1 5. 光素子」を選択すると、ステップ S A D 2 を介してステップ S A D 3 へ進み、図 2 3 に示す「光素子」の中分類（部品）選択画面を表示する。大分類の次に中分類を選択することにより、利用者は容易かつ迅速に所望の電子部品を選択することができる。図 2 3 のタイトルエリア 1 2 2 1 には、「(3) 外部データベース情報検索－中分類」と表示される。中分類選択メニュー 1 2 2 2 には、「0 1. 通信用 L E D」、「0 3. レーザダイオード／アレイ」、・・・、「0 7. フォトインタラプタ」等が表示される。利用者は、中分類選択メニュー 1 2 2 2 の中から 1 つを選択することができる。ボタン 1 1 2 1 ～ 1 1 2 4 又はボタン 1 2 1 3、1 2 1 4 がマウスでクリックされると、ステップ S A D 4 を介してステップ S A D 1 2 へ進み、上記と同様な処理を行う。

【 0 0 5 8 】

利用者が中分類選択メニュー 1 2 2 2 の中から例えば「0 7. フォトインタラプタ」を選択すると、ステップ S A D 4 を介してステップ S A D 5 へ進み、図 2 4 に示す「フォトインタラプタ」の条件入力画面を表示する。図 2 4 のタイトルエリア 1 2 3 1 には、「(3) 型名による検索・条件入力画面」と表示される。表示エリア 1 1 1 1 ~ 1 1 1 5 には上記と同様な表示が行われる。条件入力エリア 1 2 3 3 には、型名、メーカー、出力形式、受光形式、入力順電圧、入力順電流等を入力することができる。電子部品システムは、外部データベースから電子部品のスペック情報検索項目が供給され、そのスペック情報の項目を条件とする条件入力画面を作成する。利用者は、スペック情報の条件を入力することにより、その条件を満足する電子部品のみを検索指示することができる。

【 0 0 5 9 】

クリアボタン 1 2 3 5 をマウスでクリックすると、上記の条件をクリアすることができる。検索（サーチ）ボタン 1 2 3 4 をマウスでクリックすると、ステップ S A D 6 を介してステップ S A D 7 へ進み、データベース 1 a を基に上記の入力した条件を満足する電子部品を検索する。その後、ステップ S A D 8 へ進む。なお、図 2 4 のボタン 1 1 2 1 ~ 1 1 2 4、1 2 1 3、1 2 1 4 がクリックされたときにはステップ S A D 6 を介してステップ S A D 1 2 へ進み、上記と同様な処理を行う。

【 0 0 6 0 】

ステップ S A D 8 では、図 2 5 に示す検索結果一覧画面を表示する。図 2 5 のタイトルエリア 1 2 4 1 には、「(3) 外部データベース検索結果一覧（スペック）」と表示される。表示エリア 1 1 1 1 ~ 1 1 1 5 には上記と同様な表示が行われる。エラー表示エリア 1 2 3 2 は、検索結果にエラーが生じた場合にエラー内容を表示する。例えば、条件に該当する電子部品が見つからなかった場合には、エラー表示エリア 1 2 3 2 に、「該当データがありません」と表示する。総件数表示エリア 1 2 4 2 には、条件に該当する電子部品（例えばフォトインタラプタ）の件数（例えば 1 5 0 件）が表示される。一覧表示エリア 1 2 4 6 には、1 5 0 件中の最初の 6 件のフォトインタラプタが表示される。具体的には、一覧表示エリア 1 2 4 6 には、型名、メーカー、出力形式、受光形式、入力順電圧、入

力順電流等のスペック情報が表示される。前リストボタン1243をマウスでクリックすると、現在表示中データの前の一覧を表示する。次リストボタン1244をマウスでクリックすると、現在表示中データの次の一覧を表示する。開始番号ボタン1245の左欄に開始番号を入力してボタン1245をマウスでクリックすると、その番号から一覧を表示する。一覧表示エリア1246内の電子部品番号1のボタン1247をクリックすると、ステップSAD9を介してステップSAD10へ進み、データベース1aを基に電子部品番号1の部品情報を検索する。その後、ステップSAD11へ進む。なお、図25のボタン1121～1124、1213、1214がクリックされたときにはステップSAD9を介してステップSAD12へ進み、上記と同様な処理を行う。

【0061】

ステップSAD11では、図26に示すように、検索結果を示す部品情報画面を表示する。図26のタイトルエリア1251には、「(3) 外部データベース検索結果一覧」と表示される。表示エリア1111～1115には上記と同様な表示が行われる。エラー表示エリア1232、総件数表示エリア1242、前リストボタン1243、次リストボタン1244、開始番号ボタン1245は、上記と同じである。リンク先画面エリア1134、並び換えエリア1132、並び換え(ソート)ボタン1133は、図13に示すものと同じである。一覧表示エリア1255には、図13に示す一覧表示エリア1135と同様な部品情報が表示される。一覧表示エリア1255内の画像の「有」のエリア1256をマウスでクリックすると、そのカタログ画像情報を表示する。電子部品番号1のボタン1257をクリックすると、図15及び図16に示すように、電子部品番号1の部品詳細情報を表示する。その後、ステップSAD12へ進み、上記と同様な処理を行う。

【0062】

図11に示すメニュー画面において「10. 半導体・液晶価格相場による検索」を選択すると、図5に示すステップSAA7の半導体及び液晶価格相場による検索処理に進む。利用者が半導体及び液晶についての品目を指定すると、図27に示す半導体及び液晶価格画面が表示される。図27のタイトルエリア1281

には、「(10) 半導体・液晶価格相場による検索・品種一覧画面」と表示される。表示エリア1111～1115には上記と同様な表示が行われる。価格表示エリア1282には、所望品目（例えば品目A）についての例えば7品種の市場相場価格が表示される。具体的には、各品種についての品種名称、日付、最低相場価格、最高相場価格、及び価格動向が表示される。価格動向は、上昇又は下降が表示される。各品種のボタン1283をマウスでクリックすると、その品種の過去の価格履歴が表示される。なお、図27のボタン1121～1124をクリックしたときには、上記と同様な処理を行う。

【0063】

図11に示すメニュー画面において「61. 為替レート情報」を選択すると、図5に示すステップSAA8の為替レート情報処理に進む。図9は、ステップSAA8の為替レート情報処理の詳細を示すフローチャートである。ステップSAE1では、図28に示す通貨一覧画面を表示する。図28のタイトルエリア1261には、「(61) 為替レート情報・通貨一覧画面」と表示される。表示エリア1111～1115には上記と同様な表示が行われる。通貨一覧表示エリア1262には、データベース1aを基に、各通貨について、変換元の通貨、変換先の通貨、レート、年月を表示する。例えば、1オーストラリアドル(AUD)は86.04円(JPY)である。例えば、オーストラリアドルのボタン1263をクリックすると、ステップSAE2を介してステップSAE3へ進む。なお、図28のボタン1121～1124をクリックしたときには、ステップSAE2を介してステップSAE4へ進み、図6のステップSAB10と同様な処理を行う。

【0064】

ステップSAE3では、図29に示す為替レートの履歴画面を表示する。タイトルエリア1271には、「(61) 為替レート情報(月平均-過去120ヶ月分)」と表示される。表示エリア1111～1115には上記と同様な表示が行われる。履歴表示エリア1272には、データベース1aを基に、オーストラリアドルから日本円への過去120ヶ月分の月平均の為替レートの履歴が表示される。その後、ステップSAE4へ進み、上記と同様な処理を行う。

【 0 0 6 5 】

為替レートを表示することにより、現地で電子部品を購入した場合の価格を知ることができ、現地で購入した場合と日本で購入した場合を比較することができる。また、上記の電子部品の単価を表示する際に現地通貨での価格と日本円での価格との両方を表示させることができる。

【 0 0 6 6 】

以上のように、電子部品システム 1 は、開発設計等において最適な電子部品を選定することができる。開発部門及び調達部門の利用者は、所望の電子部品を迅速かつ容易に検索することができる。電子部品の単価情報を提供することにより、電子部品のコストダウンを図ることができる。

【 0 0 6 7 】

〔 2. 原材料システム 〕

図 3 0 は、図 1 に示す原材料システム（原材料情報提供システム） 2 の構成を示すブロック図である。原材料システム 2 は、W e b サーバ 2 0 0 1、アプリケーションサーバ 2 0 0 2、W e b 用データベースサーバ 2 0 0 3、運用マシン 2 0 0 6、及び更新用データベースサーバ 2 0 0 7 を有する。データベースサーバ 2 0 0 3 は、データベース 2 a（図 1）を有する。利用者のコンピュータ 3 1 は、例えばクライアントとなる標準パーソナルコンピュータであり、原材料システム 2 に対してアクセス可能である。

【 0 0 6 8 】

情報源 2 0 1 1 は、メーカーコードや単価等の材料契約情報を有し、その情報は運用マシン 2 0 0 6 に供給される。情報源（人事部門） 2 0 1 4 は、人事データを有し、そのデータは運用マシン 2 0 0 6 に供給される。人事データは人事異動の情報を含み、原材料システム 2 は、登録された利用者が所属する部門の変更を自動的に行うことができる。また、必要に応じて、その異動した利用者の登録を抹消することができる。

【 0 0 6 9 】

工場及び生産関係会社 2 0 1 3 は、検収情報、注文予定情報、製品を構成する原材料情報、製品名称情報、樹脂（M O）材料情報、金属（P X）材料情報、検

収注文予定情報、色承認情報、スペック情報等を有する。これらの情報は、運用マシン 2 0 0 6 に供給される。

【 0 0 7 0 】

運用マシン 2 0 0 6 は、これらの情報をデータベースサーバ 2 0 0 3 内のデータベース 2 a に登録する。なお、上記の情報は、運用マシン 2 0 0 6 に対してネットワークを介してオンラインで提供することが好ましい。

【 0 0 7 1 】

運用マシン 2 0 0 6 は、データベース 2 a の更新処理を更新用データベースサーバ 2 0 0 7 に依頼する。更新用データベースサーバ 2 0 0 7 は、それに応じて、データファイルを作成し、運用マシン 2 0 0 6 に供給する。運用マシン 2 0 0 6 は、データベースサーバ 2 0 0 3 内のデータベース 2 a を更新する。

【 0 0 7 2 】

利用者のコンピュータ 3 1 は、Webサーバ 2 0 0 1 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。Webサーバ 2 0 0 1 は、アプリケーションサーバ 2 0 0 2 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。アプリケーションサーバ 2 0 0 2 は、データベースサーバ 2 0 0 3 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。Webサーバ 2 0 0 1 は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、利用者が選択するための統一的なメニュー表示を行う。アプリケーションサーバ 2 0 0 2 は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、原材料システム 2 を動作させる。データベースサーバ 2 0 0 3 は、データベース 2 a を有し、そのデータベース 2 a の登録、削除、更新及び検索を管理する。

【 0 0 7 3 】

図 3 1 は、データベースサーバ 2 0 0 3 内のデータベース 2 a の構成を示す概略図である。データベース 2 a は、材料価格情報 2 a a、材料購入実績情報 2 a b、製品オーダー情報 2 a c、材料使用量（重量）の実績及び予測情報 2 a d、材料金額の実績情報 2 a e、材料金額の予測情報 2 a f、材料スペック情報 2 a g、色承認情報 2 a h、利用者情報（利用者 I D、パスワード、利用者所属部門

等) 2 a i、セキュリティ情報 2 a j、環境問題を考慮したグリーン認定情報 2 a k を有する。

【 0 0 7 4 】

図 3 2 は、原材料システム 2 の処理を示すフローチャートであり、図 2 のステップ S 4 の処理に相当する。ステップ S B A 1 では、図 4 2 に示すログイン画面を利用者のコンピュータ 3 1 に表示し、ログインネーム（利用者 I D）の入力及びパスワードの入力を待つ。利用者は、図 4 2 のエリア 2 1 0 1 に利用者 I D を入力し、エリア 2 1 0 2 にパスワードを入力することができる。利用者 I D 2 1 0 1 及びパスワード 2 1 0 2 を入力させることにより、セキュリティを強化し、不正者のログインを防止できる。

【 0 0 7 5 】

利用者はセキュリティ保護のため、パスワードの変更を月 1 回必ず実施する。パスワードの変更は、パスワード変更ボタン 2 1 0 4 をマウスでクリックすることにより行うことができる。

【 0 0 7 6 】

利用者がログインボタン 2 1 0 3 をマウスでクリックすると、入力した利用者 I D 及びパスワードが正しければ、ログインされ、ステップ S B A 2 へ進む。

ステップ S B A 2 では、図 4 3 に示すメニュー画面を表示する。表示エリア 2 1 1 1 には、何時の情報であるかが表示される。表示エリア 2 1 1 2 には、ログインユーザ I D（利用者 I D）が表示される。表示エリア 2 1 1 3 には、ログインした年月日が表示される。これら表示エリア 2 1 1 2 及び 2 1 1 3 の表示により、画面をハードコピーした時の出所を特定できるので、外部への情報漏れを防止することができる。なお、電子部品システムの場合と同様に、利用者 I D 及びログイン年月日の他、I P アドレスを表示してもよい。

【 0 0 7 7 】

メニュー項目 2 1 2 6 として、「1. 材料単価情報」、「2. 材料使用情報」、「3. 材質別サマリ情報」、「4. スペック情報」、「5. 色承認情報」、「I. ユーザメンテナンス」、「I I. プレファレンス情報」が表示される。さらに、「1. 材料単価情報」は、「1 1 - 管理単価情報」、「1 2 - 管理／実質単

価情報」、「13－実買単価情報」、「14－海外単価情報」に分けられ、「2．材料使用情報」は、「21－部番別使用情報」、「22－部番別材料費明細情報」に分けられる。

【0078】

ユーザメンテナンス処理は、データベースに登録されているユーザ情報やログ情報を参照したり、ユーザ情報やセキュリティ管理の登録を行う。プレファレンス情報処理は、システムの稼動に必要な情報の設定を行う。

【0079】

利用者は、上記のメニュー項目2126の中から所望の項目を選択することができる。その際には、MOボタン2127又はPXボタン2128等をマウスでクリックすることにより選択することができる。MOボタン2127は、樹脂（MO）材料を意味する。PXボタン2128は、金属（PX）材料を意味する。利用者が項目を選択すると、図32のステップSBA3では、利用者がどの番号を選択したかをチェックする。1番を選択すると、ステップSBA4で材料単価情報処理を行う。図33に示すように、その細分類として、11番を選択すると、ステップSBA10で管理単価情報処理を行い、12番を選択すると、ステップSBA11で管理／実質単価情報処理を行い、13番を選択すると、ステップSBA12で実買単価情報処理を行い、14番を選択すると、ステップSBA13で海外単価情報処理を行う。

【0080】

図32において、2番を選択すると、ステップSBA5で材料使用情報処理を行う。図34に示すように、その細分類として、21番を選択すると、ステップSBA14で部番別使用情報処理を行い、22番を選択すると、ステップSBA15で部番別材料費明細情報処理を行う。

【0081】

図32において、3番を選択すると、ステップSBA6で材質別サマリ情報処理を行う。4番を選択すると、ステップSBA7でスペック情報処理を行う。5番を選択すると、ステップSBA8で色承認情報処理を行う。その他の番号を選択すると、ステップSBA9でその他の番号の処理を行う。以下、ステップSB

A4～SBA8の各処理の詳細を説明する。なお、以下、樹脂(MO)材料を選択する場合を例に説明するが、金属(PX)材料の場合も同様である。

【0082】

図35は、図33に示すステップSBA10の管理単価情報処理の詳細を示すフローチャートである。この処理は、管理単価情報を条件入力して、原材料を検索することができる。ステップSBB1では、図44に示す検索画面をコンピュータ31上に表示する。図44のタイトルエリア2136には、「11. MO材料 管理単価情報 検索画面」と表示される。表示エリア2112及び2113は上記と同様である。

【0083】

検索条件入力エリア2132には、材質記号、メーカーコード、メーカー名称、グレードナンバー(原材料の型番)、カラー識別、着色ナンバー、社内着色ナンバー、管理単価価格帯の幅を、利用者が入力することができる。管理単価情報の他に、上記の条件の全部又は一部を入力することができる。材質記号ボタン2131をクリックすると、右にテーブルデータ2133が表示される。テーブルデータ2133は、材質記号の一覧を表示する。利用者は、テーブルデータ2133の中から例えば3番の「ABS」を選択することができる。その他の項目のボタンをクリックすると、その項目のテーブルデータが表示され、その中から選択することができる。

【0084】

条件クリアボタン2135をマウスでクリックすると、上記の条件をクリアすることができる。検索ボタン2134をマウスでクリックすると、ステップSBB2を介してステップSBB3へ進み、データベース2aを基に上記の入力した条件を満足する原材料を検索する。その後、ステップSBB4へ進む。なお、検索ボタン2134がクリックされず、ボタン2121～2125がクリックされたときにはステップSBB2を介してステップSBB8へ進む。

【0085】

ステップSBB8は、ボタン2121～2125がクリックされたときの処理である。上記の電子部品システムの場合と同様に、メニューボタン2121がク

リックされると、図32のステップSBA2へ戻り、図43に示すメニュー画面を表示する。バックページボタン2122がクリックされると、1つ前の表示画面に戻る。ログアウトボタン2123がクリックされると、調達情報システムは終了する。ヘルプボタン2124がクリックされると、ヘルプ画面が表示される。メールボタン2125がクリックされると、メールの送信又は受信メールの確認等を行うことができる。

【0086】

上記の検索の後、ステップSBB4では、図45に示す検索結果の一覧画面を表示する。タイトルエリア2141には、「11. MO材料 管理単価情報」と表示される。表示エリア2112及び2113には上記と同様な表示が行われる。一覧表示エリア2151には、検索条件を満たす原材料の情報が表示される。具体的には、一覧表示エリア2151には、材質記号、メーカーコード、メーカー名称、グレードナンバー、カラー識別、着色ナンバー、社内着色ナンバー、管理単価が表示される。

【0087】

一覧表示エリア2151内の情報は、ソートが可能である。第1ソートキー2143、第2ソートキー2144、第3ソートキー2145に項目を入力する。その後に、昇順ソートボタン2146をクリックすれば、情報が昇順にソートされ、降順ソートボタン2147をクリックすれば、情報が降順にソートされる。例えば、材質記号、メーカーコード、グレードナンバーの順でソートさせることができる。

【0088】

また、一覧表示エリア215内の情報の続きを表示させることができる。前リストボタン2148をクリックすると、前の番号の原材料情報を表示させることができる。次リストボタン2149をクリックすると、次の番号の原材料情報を表示させることができる。ボタン2150の左のエリアに番号を入力し、ボタン2150をクリックすると、その番号から原材料情報を表示させることができる。ボタン1121～1125がクリックされたときには、ステップSBB5を介してステップSBB8へ進み、上記と同様な処理を行う。

【 0 0 8 9 】

例えば原材料番号 1 のボタン 2 1 5 2 をクリックすると、ステップ S B B 5 を介してステップ S B B 6 へ進み、データベース 2 a を基に原材料番号 1 の詳細情報を検索する。次に、ステップ S B B 7 へ進み、図 4 6 に示すように、原材料番号 1 の詳細情報の画面を表示する。

【 0 0 9 0 】

図 4 6 のタイトルエリア 2 1 5 5 には、「1 1. M O 材料 管理単価詳細情報」と表示される。表示エリア 2 1 1 2 及び 2 1 1 3 の表示は上記と同じである。材料情報エリア 2 1 5 8 には、材質記号、メーカーコード、メーカー名称、グレードナンバー、カラー識別、着色ナンバー、社内着色ナンバーが表示される。単価履歴情報エリア 2 1 5 9 には、通貨単位、重量単位、取引先限定種別、ロット種別、並びに実施日及び管理単価が表示される。スペック情報エリア 2 1 6 0 には、特徴、用途、充填材、加工方法（射出）、燃焼性クラス、板厚、密度、吸水率、引張降伏強度、引張弾性率、曲げ強度等が表示される。

【 0 0 9 1 】

上記のように、まず検索結果の一覧画面を表示し、その後に個々の原材料の詳細画面を表示することにより、検索速度を向上させることができる。すなわち、一覧画面でなるべく必要な表示を行い、その後は 1 対 1 で個々の原材料の詳細画面を表示することができる。

【 0 0 9 2 】

次に、一覧画面ボタン 2 1 5 6 をクリックすると、ステップ S B B 4 へ戻り、図 4 5 に示す一覧画面を表示する。また、検索画面ボタン 2 1 5 7 をクリックすると、ステップ S B B 1 へ戻り、図 4 4 に示す検索画面を表示する。また、ステップ S B B 8 でボタン 2 1 2 1 ～ 2 1 2 5 がクリックされたときには、上記と同様な処理を行う。

【 0 0 9 3 】

図 3 3 において、ステップ S B A 1 1 の管理／実質単価情報処理は、管理単価情報及び／又は実質単価情報を検索条件として検索を行うことができる。その検索処理は、上記のステップ S B A 1 0 の管理単価情報処理と同様である。ステッ

プSBA12の実買単価情報処理は、実買単価情報を検索条件として検索を行うことができる。その検索処理は、上記のステップSBA10の管理単価情報処理と同様である。

【0094】

図43に示すメニュー画面において「14-海外単価情報」を選択すると、図33に示すステップSBA13の海外単価情報処理に進む。図36は、図33に示すステップSBA13の海外単価情報処理の詳細を示すフローチャートである。ステップSBC1では、図47に示す検索画面を表示する。タイトルエリア2165には、「14. MO材料 海外事業所実買単価情報検索」と表示される。表示エリア2112及び2113は、上記と同様である。

【0095】

検索条件入力エリア2166には、拠点コード、材質記号、メーカー名称、グレードナンバー、カラー識別、着色ナンバー、社内着色ナンバーを、利用者が入力することができる。管理単価情報の他に、上記の条件の全部又は一部を入力することができる。

【0096】

条件クリアボタン2168をマウスでクリックすると、上記の条件をクリアすることができる。検索ボタン2167をマウスでクリックすると、ステップSBC2を介してステップSBC3へ進み、データベース2aを基に上記の入力した条件を満足する海外事業所の原材料情報を検索する。その後、ステップSBC4へ進む。なお、検索ボタン2167がクリックされず、ボタン2121～2125がクリックされたときにはステップSBC2を介してステップSBC8へ進む。ステップSBC8は、ボタン2121～2125がクリックされたときの上記と同様な処理である。

【0097】

上記の検索の後、ステップSBC4では、図48に示す検索結果の一覧画面を表示する。タイトルエリア2171には、「14. MO材料 海外事業所単価情報」と表示される。表示エリア2112及び2113は、上記と同様である。一覧表示エリア2175には、検索条件を満たす海外事業所の原材料の情報が表示

される。具体的には、一覧表示エリア 2 1 7 5 には、管理／実買単価、拠点、材質記号、メーカー名称、グレードナンバー、カラー識別、着色ナンバー、社内着色ナンバーが表示される。

【 0 0 9 8 】

一覧表示エリア 2 1 7 5 内の情報は、ソートが可能である。第 1 ソートキー 2 1 4 3、第 2 ソートキー 2 1 4 4、第 3 ソートキー 2 1 4 5 に項目を入力し、その後に、昇順ソートボタン 2 1 4 6 又は降順ソートボタン 2 1 4 7 をクリックすれば、情報がソートされる。また、前リストボタン 2 1 4 8、次リストボタン 2 1 4 9、開始番号ボタン 2 1 5 0 は、上記と同様である。例えば原材料番号 1 のボタン 2 1 7 4 をクリックすると、その詳細情報の検索が行われ、図 4 6 に示す詳細画面と同様な画面が表示される。まず検索結果の一覧画面を表示し、その後に個々の原材料の詳細画面を表示することにより、検索速度を向上させることができる。

【 0 0 9 9 】

図 4 8 のボタン 2 1 2 1 ～ 2 1 2 5 をクリックすると、ステップ S B C 5 を介してステップ S B C 8 へ進み、上記と同様な処理を行う。検索画面ボタン 2 1 7 2 をクリックすると、ステップ S B C 5 を介してステップ S B C 1 へ戻り、図 4 7 の検索画面を表示する。為替レート表示ボタン 2 1 7 3 をクリックすると、ステップ S B C 5 を介してステップ S B C 6 へ進み、データベース 2 a を基に為替レート情報を検索する。

【 0 1 0 0 】

次に、ステップ S B C 7 では、図 4 9 に示す為替レート画面を表示する。タイトルエリア 2 1 8 1 には、「1 4. M O 材料 海外事業所単価 為替レート」と表示される。表示エリア 2 1 1 2 及び 2 1 1 3 の表示は上記と同じである。為替レートエリア 2 1 8 4 には、通貨単位とその為替レートが表示される。例えば、原材料の単価を入力した時の 2 期分の為替レートを表示することができる。また、通貨単位と為替レートを入力することにより、各通貨単位の為替レートをデータベース 2 a に登録することができる。

【 0 1 0 1 】

次に、一覧画面ボタン2182をクリックすると、ステップSBC4へ戻り、図48に示す一覧画面を表示する。検索画面ボタン2183をクリックすると、ステップSBC1へ戻り、図47に示す検索画面を表示する。ボタン2121～2125をクリックすると、ステップSBC8で上記と同様な処理を行う。

【0102】

図43に示すメニュー画面において「21-部番別使用情報」を選択すると、図34に示すステップSBA14の部番別使用情報処理に進む。

図37は、図34に示すステップSBA14の部番別使用情報処理の詳細を示すフローチャートである。ステップSBD1では、図50に示す検索画面を表示する。タイトルエリア2191には、「21. MO材料 部番別使用情報 検索画面」と表示される。表示エリア2112及び2113は、上記と同様である。

【0103】

検索条件入力エリア2192には、会社コード、拠点区分、使用部番、取引先コード、取引先名称、材質記号、メーカーコード、メーカー名称、グレードナンバー、カラー識別、着色ナンバー、社内着色ナンバーを、利用者が入力することができる。使用部番の他に、上記の条件の全部又は一部を入力することができる。

【0104】

会社コードボタン2196をクリックすると、右にテーブルデータ2193が表示される。テーブルデータ2193は、会社コードの一覧を表示する。利用者は、テーブルデータ2193の中から所望の会社コードを選択することができる。その他の項目のボタンをクリックすると、その項目のテーブルデータが表示され、その中から選択することができる。

【0105】

条件クリアボタン2195をマウスでクリックすると、上記の条件をクリアすることができる。検索ボタン2194をマウスでクリックすると、ステップSBD2を介してステップSBD3へ進み、データベース2aを基に上記の入力した条件を満足する原材料使用情報を検索する。その後、ステップSBD4へ進む。なお、検索ボタン2194がクリックされず、ボタン2121～2125がクリ

ックされたときにはステップ S B D 2 を介してステップ S B D 1 0 へ進み、図 3 6 のステップ S B C 8 と同様な処理を行う。

【 0 1 0 6 】

上記の検索の後、ステップ S B D 4 では、図 5 1 に示す検索結果の一覧画面を表示する。タイトルエリア 2 2 0 1 には、「2 1 . M O 材料 部番別使用情報」と表示される。表示エリア 2 1 1 2 及び 2 1 1 3 は、上記と同様である。一覧表示エリア 2 2 0 4 には、検索条件を満たす原材料の使用情報が表示される。具体的には、一覧表示エリア 2 2 0 4 には、会社、拠点区分、拠点、使用部番、寸法、工程図番、取引先コード、取引先名称、材質記号、メーカーコード、メーカー名称、グレードナンバーが表示される。さらに、画面を右にスクロールすると、表示エリア 2 2 0 4 には、カラー識別、着色ナンバー、社内着色ナンバー、実績重量、予定重量、実績金額、予定金額が表示される。

【 0 1 0 7 】

一覧表示エリア 2 2 0 4 内の原材料使用情報は、ソートが可能である。第 1 ソートキー 2 1 4 3、第 2 ソートキー 2 1 4 4、第 3 ソートキー 2 1 4 5 に項目を入力し、その後に、昇順ソートボタン 2 1 4 6 又は降順ソートボタン 2 1 4 7 をクリックすれば、原材料使用情報がソートされる。また、前リストボタン 2 1 4 8、次リストボタン 2 1 4 9、開始番号ボタン 2 1 5 0 は、上記と同様である。ボタン 2 1 2 1 ~ 2 1 2 5 をクリックすると、ステップ S B D 5 を介してステップ S B D 1 0 へ進み、上記と同様な処理を行う。例えば原材料番号 1 のボタン 2 2 0 3 をクリックすると、ステップ S B D 5 を介してステップ S B D 6 へ進む。

【 0 1 0 8 】

ステップ S B D 6 では、データベース 2 a を基に、例えば原材料番号 1 の原材料の製品情報を検索する。次に、ステップ S B D 7 では、図 5 2 に示す製品情報画面が表示される。まず検索結果の一覧画面を表示し、その後に個々の原材料の製品情報を表示することにより、その原材料が使用されている製品を知ることができる。

【 0 1 0 9 】

図 5 2 のタイトルエリア 2 2 1 1 には、「2 1 . M O 材料 製品情報画面」と

表示される。表示エリア 2 1 1 2 及び 2 1 1 3 の表示は上記と同じである。製品情報エリア 2 2 1 5 には、上記で指定された使用部番（例えば F A 2 - 8 2 2 5 - 0 0 0）が使用されている製品情報が表示される。具体的には、製品情報エリア 2 2 1 5 には、オーダ番号（製品番号）、拠点、オーダ名称、員数、製品群、機種群が表示される。

【 0 1 1 0 】

次に、ボタン 2 1 2 1 ~ 2 1 2 5 をクリックすると、ステップ S B D 8 を介してステップ S B D 1 0 へ進み、上記と同様な処理を行う。一覧画面ボタン 2 2 1 2 をクリックすると、ステップ S B D 8 を介してステップ S B D 4 へ戻り、図 5 1 に示す一覧画面を表示する。検索画面ボタン 2 2 1 3 をクリックすると、ステップ S B D 8 を介してステップ S B D 1 へ戻り、図 5 0 に示す検索画面を表示する。材料費明細ボタン 2 2 1 4 をクリックすると、ステップ S B D 8 を介してステップ S B D 9 へ進み、部番別材料費明細情報処理を行う。この部番別材料費明細処理は、図 3 4 に示すステップ S B A 1 5 の処理と同じである。

【 0 1 1 1 】

図 4 3 に示すメニュー画面において「2 2 一部番別材料費明細情報」を選択すると、図 3 4 に示すステップ S B A 1 5 の部番別材料費明細情報処理に進む。

図 3 8 は、図 3 4 に示すステップ S B A 1 5 及び図 3 7 に示すステップ S B D 9 の部番別材料費明細情報処理の詳細を示すフローチャートである。ステップ S B E 1 では、図 5 3 に示す検索画面を表示する。タイトルエリア 2 2 2 1 には、「2 2 . M O 材料 部番別材料費明細情報 検索画面」と表示される。表示エリア 2 1 1 2 及び 2 1 1 3 は、上記と同様である。

【 0 1 1 2 】

検索条件入力エリア 2 2 2 3 には、会社コード、拠点区分、使用部番、取引先コード、取引先名称、材質記号、メーカーコード、メーカー名称、グレードナンバー、カラー識別、着色ナンバー、社内着色ナンバーを、利用者が入力することができる。使用部番の他に、上記の条件の全部又は一部を入力することができる。

【 0 1 1 3 】

上記と同様に、会社コードボタン 2 2 2 2 をクリックすると、右にテーブルデータ 2 2 2 4 が表示され、所望の会社コードを選択することができる。その他の項目のボタンをクリックすると、その項目のテーブルデータが表示され、その中から選択することができる。

【 0 1 1 4 】

条件クリアボタン 2 2 2 6 をマウスでクリックすると、上記の条件をクリアすることができる。検索ボタン 2 2 2 5 をマウスでクリックすると、ステップ S B E 2 を介してステップ S B E 3 へ進み、データベース 2 a を基に、上記の入力した条件を満足する材料費明細情報を検索する。その後、ステップ S B E 4 へ進む。なお、検索ボタン 2 2 2 5 がクリックされず、ボタン 2 1 2 1 ～ 2 1 2 5 がクリックされたときにはステップ S B E 2 を介してステップ S B E 1 0 へ進み、図 3 6 のステップ S B C 8 と同様な処理を行う。

【 0 1 1 5 】

上記の検索の後、ステップ S B E 4 では、図 5 4 に示す検索結果の一覧画面を表示する。タイトルエリア 2 2 3 1 には、「2 2 . M O 材料 部番別材料費明細情報」と表示される。表示エリア 2 1 1 2 及び 2 1 1 3 は、上記と同様である。一覧表示エリア 2 2 3 3 には、検索条件を満たす原材料の材料費明細情報が表示される。具体的には、一覧表示エリア 2 2 3 3 には、会社、拠点区分、拠点、使用部番、寸法、工程図番、取引先コード、取引先名称、材質記号、メーカーコード、メーカー名称、グレードナンバーが表示される。さらに、画面を右にスクロールすると、表示エリア 2 2 3 3 には、カラー識別、着色ナンバー、社内着色ナンバー、重量区分、材料単価、材料使用重量、バージン率（リサイクル材が入っていないければ 1）、不良率、材料管理費率、その他の費用、製品重量、付加重量（製品以外の部分に必要な材料の重量）、取個数、段取重量、成形ロットが表示される。

【 0 1 1 6 】

一覧表示エリア 2 2 3 3 内の材料費明細情報は、ソートが可能である。第 1 ソートキー 2 1 4 3、第 2 ソートキー 2 1 4 4、第 3 ソートキー 2 1 4 5 に項目を入力し、その後に、昇順ソートボタン 2 1 4 6 又は降順ソートボタン 2 1 4 7 を

クリックすれば、材料費明細情報がソートされる。また、前リストボタン 2 1 4 8、次リストボタン 2 1 4 9、開始番号ボタン 2 1 5 0 は、上記と同様である。検索画面ボタン 2 2 3 2 をクリックすると、ステップ S B E 5 を介してステップ S B E 1 へ戻り、図 5 3 に示す検索画面を表示する。また、ボタン 2 1 2 1 ~ 2 1 2 5 をクリックすると、ステップ S B E 5 を介してステップ S B E 1 0 へ進み、上記と同様な処理を行う。また、例えば原材料番号 1 のボタン 2 2 3 4 をクリックすると、ステップ S B E 5 を介してステップ S B E 6 へ進む。

【 0 1 1 7 】

ステップ S B E 6 では、データベース 2 a を基に、例えば原材料番号 1 の原材料の製品情報を検索する。次に、ステップ S B E 7 では、図 5 5 に示す製品情報画面を表示する。原材料の製品情報を表示することにより、その原材料が使用されている製品を知ることができる。

【 0 1 1 8 】

図 5 5 のタイトルエリア 2 2 4 1 には、「2 2. M O 材料 製品情報画面」と表示される。表示エリア 2 1 1 2 及び 2 1 1 3 の表示は上記と同じである。製品情報エリア 2 2 4 5 には、上記で指定された使用部番（例えば F A 2 - 8 2 2 5 - 0 0 0）が使用されている製品情報が表示される。具体的には、製品情報エリア 2 2 4 5 には、オーダ番号（製品番号）、拠点、オーダ名称、員数、製品群、機種群が表示される。

【 0 1 1 9 】

次に、一覧画面ボタン 2 2 4 2 をクリックすると、ステップ S B E 8 を介してステップ S B E 4 へ戻り、図 5 4 に示す一覧画面を表示する。検索画面ボタン 2 2 4 3 をクリックすると、ステップ S B E 8 を介してステップ S B E 1 へ戻り、図 5 3 に示す検索画面を表示する。ボタン 2 1 2 1 ~ 2 1 2 5 をクリックすると、ステップ S B E 8 を介してステップ S B E 1 0 へ進み、上記と同様な処理を行う。使用情報ボタン 2 2 4 4 をクリックすると、ステップ S B E 8 を介してステップ S B E 9 へ進み、部番別使用情報処理を行う。この部番別使用情報処理は、上記の図 3 4 に示すステップ S B A 1 4 の処理と同じである。

【 0 1 2 0 】

図43に示すメニュー画面において「3. 材質別サマリ情報（31-材質別サマリ情報）」を選択すると、図32に示すステップSBA6の材質別サマリ情報処理に進む。

【0121】

図39は、図32に示すステップSBA6の材質別サマリ情報処理の詳細を示すフローチャートである。ステップSBF1では、図56に示す検索画面を表示する。タイトルエリア2251には、「31. MO材料 材質別サマリ情報 検索画面」と表示される。表示エリア2112及び2113は、上記と同様である。

【0122】

検索条件入力エリア2252には、材質記号、メーカーコード、メーカー名称、グレードナンバー、カラー識別、着色ナンバー、社内着色ナンバー、その原材料が使用されている拠点名称を、利用者が入力することができる。材質記号の他に、上記の条件の全部又は一部を入力することができる。

【0123】

上記と同様に、材質記号ボタン2253をクリックすると、右にテーブルデータ2253が表示され、所望の材質記号を選択することができる。その他の項目のボタンをクリックすると、その項目のテーブルデータが表示され、その中から選択することができる。

【0124】

条件クリアボタン2256をマウスでクリックすると、上記の条件をクリアすることができる。金額ボタン2254をマウスでクリックすると、ステップSBF2を介してステップSBF3へ進み、データベース2aを基に、上記の入力した条件を満足する原材料の金額情報を検索する。その後、ステップSBF4へ進み、図57に示す金額情報画面を表示する。一方、図56の重量ボタン2255をマウスでクリックすると、ステップSBF2を介してステップSBF6へ進み、データベース2aを基に、上記の入力した条件を満足する原材料の重量情報を検索する。その後、ステップSBF7へ進み、図58に示す重量情報画面を表示する。なお、図56のボタン2121～2125がクリックされたときにはステ

ップSBF2を介してステップSBF9へ進み、図36のステップSBC8と同様な処理を行う。

【0125】

図57は、金額情報画面を示す。タイトルエリア2261には、「31. MO 材料 材質別サマリ情報（金額）」と表示される。表示エリア2112及び2113の表示は上記と同じである。金額情報エリア2264には、検索条件を満たす原材料の金額情報が表示される。具体的には、金額情報エリア2264には、メーカーコード、材質記号、グレードナンバー、カラー識別、着色ナンバー、社内着色ナンバー、拠点、月毎の使用原材料の金額（実績と予測）が表示される。

【0126】

金額情報エリア2264内の情報は、ソートが可能である。第1ソートキー2143、第2ソートキー2144、第3ソートキー2145に項目を入力し、その後、昇順ソートボタン2146又は降順ソートボタン2147をクリックすれば、情報がソートされる。また、前リストボタン2148、次リストボタン2149、開始番号ボタン2150は、上記と同様である。また、検索画面ボタン2262をクリックすると、ステップSBF5を介してステップSBF1へ戻り、図56に示す検索画面を表示する。また、重量ボタン2263をクリックすると、ステップSBF5を介してステップSBF6へ進み、重量情報の検索を行い、次に説明する図58の重量情報画面を表示する。なお、ボタン2121～2125がクリックされたときにはステップSBF5を介してステップSBF9へ進み、上記と同様な処理を行う。

【0127】

図58は、重量情報画面を示す。タイトルエリア2271には、「31. MO 材料 材質別サマリ情報（重量）」と表示される。表示エリア2112及び2113の表示は上記と同じである。重量情報エリア2274には、検索条件を満たす原材料の重量情報が表示される。具体的には、重量情報エリア2274には、メーカーコード、材質記号、グレードナンバー、カラー識別、着色ナンバー、社内着色ナンバー、拠点、月毎の使用原材料の重量（実績と予測）が表示される。

【0128】

重量情報エリア 2 2 7 4 内の情報は、ソートが可能である。第 1 ソートキー 2 1 4 3、第 2 ソートキー 2 1 4 4、第 3 ソートキー 2 1 4 5 に項目を入力し、その後、昇順ソートボタン 2 1 4 6 又は降順ソートボタン 2 1 4 7 をクリックすれば、情報がソートされる。また、前リストボタン 2 1 4 8、次リストボタン 2 1 4 9、開始番号ボタン 2 1 5 0 は、上記と同様である。また、検索画面ボタン 2 2 7 2 をクリックすると、ステップ S B F 8 を介してステップ S B F 1 へ戻り、図 5 6 に示す検索画面を表示する。また、金額ボタン 2 2 7 3 をクリックすると、ステップ S B F 8 を介してステップ S B F 3 へ進み、上記の金額情報検索を行い、図 5 7 の金額情報画面を表示する。なお、ボタン 2 1 2 1 ～ 2 1 2 5 がクリックされたときにはステップ S B F 8 を介してステップ S B F 9 へ進み、上記と同様な処理を行う。

【 0 1 2 9 】

図 4 3 に示すメニュー画面において「4. スペック情報（4 1 - スペック情報）」を選択すると、図 3 2 に示すステップ S B A 7 のスペック情報処理に進む。

図 4 0 は、図 3 2 に示すステップ S B A 7 のスペック情報処理の詳細を示すフローチャートである。ステップ S B G 1 では、図 5 9 に示す検索画面を表示する。タイトルエリア 2 2 8 1 には、「4 1. MO 材料 スペック情報 検索画面」と表示される。表示エリア 2 1 1 2 及び 2 1 1 3 は、上記と同様である。

【 0 1 3 0 】

検索条件入力エリア 2 2 8 2 には、材質記号、メーカーコード、メーカー名称、グレードナンバー、材料管理区分、充填材、加工方法、燃焼性クラス、ホットランナー実績、MF 試験条件、メルトフロー、特徴、用途（例えば複写機）を、利用者が入力することができる。上記の条件の全部又は一部を入力することができる。

【 0 1 3 1 】

材質記号ボタン 2 2 8 3 をクリックすると、右にテーブルデータ 2 2 8 4 が表示され、所望の材質記号を選択することができる。その他の項目のボタンをクリックすると、その項目のテーブルデータが表示され、その中から選択することができる。

【 0 1 3 2 】

条件クリアボタン 2 2 8 6 をマウスでクリックすると、上記の条件をクリアすることができる。検索ボタン 2 2 8 5 をマウスでクリックすると、ステップ S B G 2 を介してステップ S B G 3 へ進み、データベース 2 a を基に、上記の入力した条件を満足する原材料のスペック情報を検索する。その後、ステップ S B G 4 へ進む。なお、ボタン 2 1 2 1 ～ 2 1 2 5 がクリックされたときにはステップ S B G 2 を介してステップ S B G 9 へ進み、図 3 6 のステップ S B C 8 と同様な処理を行う。

【 0 1 3 3 】

上記の検索の後、ステップ S B G 4 では、図 6 0 に示す検索結果の一覧画面を表示する。タイトルエリア 2 2 9 1 には、「4 1. M O 材料 スペック情報」と表示される。表示エリア 2 1 1 2 及び 2 1 1 3 は、上記と同様である。一覧表示エリア 2 2 9 3 には、検索条件を満たす原材料のスペック情報が表示される。具体的には、一覧表示エリア 2 2 9 3 には、材質記号、メーカーコード、メーカー名称、グレードナンバー、材料管理区分、充填材、燃焼性クラス等が表示される。

【 0 1 3 4 】

一覧表示エリア 2 2 9 3 内の情報は、ソートが可能である。第 1 ソートキー 2 1 4 3、第 2 ソートキー 2 1 4 4、第 3 ソートキー 2 1 4 5 に項目を入力し、その後に、昇順ソートボタン 2 1 4 6 又は降順ソートボタン 2 1 4 7 をクリックすれば、情報がソートされる。また、検索画面ボタン 2 2 9 2 をクリックすると、ステップ S B G 5 を介してステップ S B G 1 へ戻り、図 5 9 に示す検索画面を表示する。また、ボタン 2 1 2 1 ～ 2 1 2 5 をクリックすると、ステップ S B G 5 を介してステップ S B G 9 へ進み、上記と同様な処理を行う。また、例えば原材料番号 1 のボタン 2 2 9 4 をクリックすると、ステップ S B G 5 を介してステップ S B G 6 へ進む。

【 0 1 3 5 】

ステップ S B G 6 では、データベース 2 a を基に、例えば原材料番号 1 の原材料のスペック詳細情報を検索する。次に、ステップ S B G 7 では、図 6 1 に示す

スペック詳細情報画面が表示される。まず検索結果の一覧画面を表示し、その後に個々の詳細情報を表示することにより、必要な場合にのみ詳細情報を提供し、検索速度の向上を図っている。

【0136】

図61のタイトルエリア2301には、「41. MO材料 スペック情報詳細画面」と表示される。表示エリア2112及び2113の表示は上記と同じである。詳細情報エリア2302には、上記で指定された原材料のスペック詳細情報が表示される。具体的には、詳細情報エリア2302には、材質記号、メーカーコード、メーカー名称、グレードナンバー、材料管理区分、充填材、加工方法、燃焼性クラス、ホットランナー実績、特徴、用途の他、板厚、曲げ強度、曲げ弾性率等が表示される。

【0137】

次に、管理単価情報画面ボタン2303をクリックすると、図33のステップSBA10の管理単価情報処理へ進む。管理／実質単価情報画面ボタン2304をクリックすると、図33のステップSBA11の管理／実質単価情報処理へ進む。検索画面ボタン2305をクリックすると、ステップSBG8を介してステップSBG1へ戻り、図59の検索画面を表示する。一覧画面ボタン2306をクリックすると、ステップSBG8を介してステップSBG4へ戻り、図60に示す一覧画面を表示する。ボタン2121～2125をクリックすると、ステップSBG8を介してステップSBG9へ進み、上記と同様な処理を行う。

【0138】

図43に示すメニュー画面において「5. 色承認情報（51-色承認情報）」を選択すると、図32に示すステップSBA8の色承認情報処理に進む。色承認とは、各メーカーが自社の製品を表す独自の色として採用可能か否かの承認であり、色承認で合格の判定を受けた色のみを製品に採用することができる。

【0139】

図41は、図32に示すステップSBA8の色承認情報処理の詳細を示すフローチャートである。ステップSBH1では、図62に示す検索画面を表示する。タイトルエリア2311には、「51. MO材料 色承認情報 検索画面」と表

示される。表示エリア 2 1 1 2 及び 2 1 1 3 は、上記と同様である。

【 0 1 4 0 】

検索条件入力エリア 2 3 1 2 には、判定書管理ナンバー、材質記号、メーカーコード、メーカー名称、グレードナンバー、メーカー管理ナンバー、色彩番号、色彩名称、判定結果、判定日、主管部門、添付データ、コメントを、利用者が入力することができる。利用者は、上記の検索条件の全部又は一部を入力することができる。

【 0 1 4 1 】

材質記号ボタン 2 3 1 3 をクリックすると、右にテーブルデータ 2 3 1 4 が表示され、所望の材質記号を選択することができる。その他の項目のボタンをクリックすると、その項目のテーブルデータが表示され、その中から選択することができる。

【 0 1 4 2 】

条件クリアボタン 2 3 1 6 をマウスでクリックすると、上記の条件をクリアすることができる。検索ボタン 2 3 1 5 をマウスでクリックすると、ステップ S B H 2 を介してステップ S B H 3 へ進み、データベース 2 a を基に、上記の入力した条件を満足する原材料の色承認情報を検索する。その後、ステップ S B H 4 へ進む。なお、ボタン 2 1 2 1 ～ 2 1 2 5 がクリックされたときにはステップ S B H 2 を介してステップ S B H 9 へ進み、図 3 6 のステップ S B C 8 と同様な処理を行う。

【 0 1 4 3 】

上記の検索の後、ステップ S B H 4 では、図 6 3 に示す検索結果の一覧画面を表示する。タイトルエリア 2 3 2 1 には、「5 1. M O 材料 色承認情報」が表示される。表示エリア 2 1 1 2 及び 2 1 1 3 は、上記と同様である。一覧表示エリア 2 3 2 7 には、検索条件を満たす原材料の色承認情報が表示される。具体的には、一覧表示エリア 2 3 2 7 には、コメントの有無、判定書管理ナンバー、メーカーコード、メーカー名称、材質記号、グレードナンバー、メーカー管理ナンバー、色彩番号、色彩名称、判定結果、判定日、主管部門、添付データ等が表示される。

【 0 1 4 4 】

一覧表示エリア 2 3 2 7 内の情報は、ソートが可能である。第 1 ソートキー 2 1 4 3、第 2 ソートキー 2 1 4 4、第 3 ソートキー 2 1 4 5 に項目を入力し、その後に、昇順ソートボタン 2 1 4 6 又は降順ソートボタン 2 1 4 7 をクリックすれば、原材料の情報がソートされる。また、前リストボタン 2 1 4 8、次リストボタン 2 1 4 9、開始番号ボタン 2 1 5 0 は、上記と同様である。

【 0 1 4 5 】

原材料番号のラジオボタン 2 3 2 8 をクリックすることにより、その原材料を選択することができる。選択後、次のボタンをクリックすることにより、選択された原材料についての処理が行われる。コメント画面ボタン 2 3 2 2 をクリックすると、ステップ S B H 5 を介してステップ S B H 6 へ進み、データベース 2 a を基に、選択された原材料の色承認情報のコメントを検索する。次に、ステップ S B H 7 で図 6 4 に示すコメント画面を表示する。また、図 6 3 の検索画面ボタン 2 3 2 3 をクリックすると、ステップ S B H 5 を介してステップ S B H 1 へ戻り、図 6 2 に示す検索画面を表示する。管理単価画面ボタン 2 3 2 4 をクリックすると、図 3 3 のステップ S B A 1 0 の管理単価情報処理へ進む。管理／実質単価画面ボタン 2 3 2 5 をクリックすると、図 3 3 のステップ S B A 1 1 の管理／実質単価情報処理へ進む。実買単価画面ボタン 2 3 2 6 をクリックすると、図 3 3 のステップ S B A 1 2 の実買単価情報処理へ進む。ボタン 2 1 2 1 ～ 2 1 2 5 をクリックすると、ステップ S B H 5 を介してステップ S B H 9 へ進み、上記と同様な処理を行う。

【 0 1 4 6 】

図 6 4 は、色承認情報のコメント画面である。タイトルエリア 2 3 3 1 には、「 5 1. MO 材料 色承認情報コメント内容」と表示される。表示エリア 2 1 1 2 及び 2 1 1 3 の表示は上記と同じである。コメントエリア 2 3 3 2 には、上記で指定された原材料の色承認情報のコメントが表示される。

【 0 1 4 7 】

次に、一覧画面ボタン 2 3 3 3 をクリックすると、ステップ S B H 8 を介してステップ S B H 4 へ戻り、図 6 3 に示す一覧画面を表示する。検索画面ボタン 2

3 3 4 をクリックすると、ステップ S B H 8 を介してステップ S B H 1 へ戻り、図 6 2 の検索画面を表示する。管理単価画面ボタン 2 3 3 5 をクリックすると、図 3 3 のステップ S B A 1 0 の管理単価情報処理へ進む。管理／実質単価情報画面ボタン 2 3 3 6 をクリックすると、図 3 3 のステップ S B A 1 1 の管理／実質単価情報処理へ進む。実買単価画面ボタン 2 3 3 7 をクリックすると、図 3 3 のステップ S B A 1 2 の実買単価情報処理へ進む。ボタン 2 1 2 1 ～ 2 1 2 5 をクリックすると、ステップ S B H 8 を介してステップ S B H 9 へ進み、上記と同様な処理を行う。

【 0 1 4 8 】

なお、電子部品システムと同様に、図 3 1 のデータベース 2 a 内のグリーン認定情報 2 a k を基に、環境問題を考慮したグリーン認定情報を各原材料について表示することができる。例えば、グリーン認定情報は、有害物質の有無やリサイクルの有無等の環境問題を考慮して認定される。また、所定のグリーン認定情報を持つ原材料がどの製品に使われているかを表示させることができる。

【 0 1 4 9 】

以上のように、原材料システムは、原材料情報を利用者に提供することができる。例えば、わずかに色のみが異なる材料を各事業所が使用している場合には、色の統一を図り、同じ色の材料をまとめて大量購入することにより、低コストで原材料を購入することができる。また、ある原材料が製造元から入手不能になった場合には、他の事業所の在庫を調べ、他の事業所からその原材料を取り寄せることができる。

【 0 1 5 0 】

[3 . メカ部品システム]

メカ部品システム 3 (図 1) は、メカ部品情報をデータベース 3 a に記憶し、メカ部品情報を利用者に提供するものであり、そのシステム内容は上記の電子部品システム 1 と同様である。

【 0 1 5 1 】

[4 . 全部番システム]

図 1 5 4 は、図 1 に示す全部番システム (全部番情報提供システム) 4 の構成

を示すブロック図である。全部番システム4は、Webサーバ3001、アプリケーションサーバ3002、Web用データベースサーバ3003、運用マシン3004、及び更新用データベースサーバ3005を有する。データベースサーバ3003は、データベース4a（図1）を有する。利用者のコンピュータ31は、例えばクライアントとなる標準パーソナルコンピュータであり、全部番システム4に対してアクセス可能である。

【0152】

生産関係会社のコンピュータ3011は、購入（検収）実績情報、単価経歴情報、注文予定情報を有し、これらの情報を運用マシン3004に供給する。人事部門のコンピュータ3012は、人事データを有し、人事データを運用マシン3004に供給する。人事データは人事異動の情報を含み、全部番システム4は、登録された利用者が所属する部門の変更を自動的に行うことができる。また、必要に応じて、その異動した利用者の登録を抹消することができる。

【0153】

運用マシン3004は、これらの情報をデータベースサーバ3003内のデータベース4aに登録する。なお、上記の情報は、運用マシン3004に対してネットワークを介してオンラインで供給することが好ましい。

データベースサーバ3003は、データベース4aに対して登録、検索、削除等の管理を行う。運用マシン3004は、購入実績情報等を生産関係会社のコンピュータ3011から受信すると、必要に応じて、データベース4aの更新処理を変更用データベースサーバ3005に指示する。変換用データベース3005は、更新用データファイルを作成し、運用マシン3004に供給する。運用マシン3004は、それに応じて、データベース3003内のデータベース4aを更新する。

【0154】

アプリケーションサーバ3002は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、全部番システム4を動作させる。Webサーバ3001は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、統一的な画面表示を行う。Webサーバ3001は、アプリケーショ

ンサーバ3002に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。アプリケーションサーバ3002は、データベースサーバ3003に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。

【0155】

利用者のコンピュータ31は、例えばクライアントとなる標準パーソナルコンピュータであり、Webサーバ3001に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取ることができる。利用者のコンピュータ31は、例えば、所望の部番の購入実績情報等を検索し、閲覧することをWebサーバ3001に指示することができる。Webサーバ3001は、アプリケーションサーバ3002を介して、データベース4a内の購入実績情報等を検索し、その購入実績情報等を利用者のコンピュータ31の画面に表示する。利用者は、所望の購入実績情報等を迅速に得ることができる。

【0156】

図155は、データベース4aの構成を示す概略図である。データベース4aは、全部番の購入（検収）実績情報4aa、単価経歴情報4ab、注文予定情報4ac、為替レート情報4ad、利用者情報（利用者ID、パスワード、利用者所属部門等）4ae、セキュリティ情報4afを有する。

【0157】

図156は、全部番システム4の処理を示すフローチャートであり、図2のステップS6の処理に相当する。ステップSCA1では、図157に示すログイン画面を利用者のコンピュータ31に表示し、利用者IDの入力及びパスワードの入力を待つ。利用者は、図157のエリア3101に利用者IDを入力し、エリア3102にパスワードを入力することができる。利用者ID3101及びパスワード3102を入力させることにより、セキュリティを強化し、不正者のログインを防止できる。

【0158】

利用者はセキュリティ保護のため、パスワード変更ボタン3104をマウスでクリックすることにより、パスワードを変更することができる。利用者がログインボタン3103をマウスでクリックすると、入力した利用者ID及びパスワード

ドが正しければ、ログインされ、図 1 5 6 のステップ S C A 2 へ進む。

【 0 1 5 9 】

ステップ S C A 2 では、図 1 5 8 に示すメニュー画面を表示する。表示エリア 3 1 1 1 には、何時の情報であるかが表示される。表示エリア 3 1 1 2 には、ログインユーザ I D（利用者 I D）が表示される。表示エリア 3 1 1 3 には、ログインした年月日が表示される。表示エリア 3 1 1 4 には、ログインした I P アドレスが表示される。この I P アドレスを基に、どの部門の利用者かが分かる。これら表示エリア 3 1 1 2 ～ 3 1 1 4 の表示により、画面をハードコピーした時の出所を特定できるので、外部への情報漏れを防止することができる。

【 0 1 6 0 】

メニューボタン 3 1 2 1 がマウスでクリックされると、図 1 5 8 に示すこのメニュー画面を表示する。バックページボタン 3 1 2 2 がマウスでクリックされると、1 つ前の表示画面に戻る。ログアウトボタン 3 1 2 3 がマウスでクリックされると、調達情報システムは終了する。情報収集拠点ボタン 3 1 2 4 がマウスでクリックされると、各拠点毎の購入実績情報等の収集状況を表示する。連絡先ボタン 3 1 2 5 がマウスでクリックされると、全部番システム 4 のサポート窓口（各調達部門の窓口）の連絡先を表示する。メールボタン 3 1 2 6 がクリックされると、メールの送信又は受信メールの確認等を行うことができる。

【 0 1 6 1 】

選択メニュー項目 3 1 3 1 として、「1. 購入（検収）実績情報（最新・履歴）検索」、「2. 単価経歴情報（最新・履歴）検索」、「3. 注文予定情報検索」、「4. 為替レート情報（最新・履歴）検索」を表示する。1 番を選択すると、図 1 5 6 のステップ S C A 4 へ進み、購入（検収）実績最新情報検索処理を行う。この処理では、図 1 5 9 に示す画面を表示する。2 番を選択すると、図 1 5 6 のステップ S C A 7 へ進み、単価経歴最新情報検索処理を行う。この処理では、図 1 6 2 に示す画面を表示する。3 番を選択すると、図 1 5 6 のステップ S C A 1 0 へ進み、注文予定情報検索処理を行う。この処理では、図 1 6 5 に示す画面を表示する。4 番を選択すると、図 1 5 6 のステップ S C A 1 2 へ進み、為替レート最新情報一覧表示処理を行う。この処理では、図 1 6 7 に示す画面を表示

する。

【 0 1 6 2 】

図 1 5 9 は、図 1 5 6 に示すステップ S C A 4 の購入（検収）実績最新情報検索処理にて表示する画面を示す。表示エリア 3 1 1 1 ～ 3 1 1 4 の表示及びボタン 3 1 2 1 ～ 3 1 2 6 は上記と同様である。検索条件入力エリア 3 1 4 1 には、部番、グリーン認定情報、型名（品番）、調達拠点、原産国、品目品種コード、取引先コード、取引先名称、メーカーコード、メーカー名称、検収単価（現地通貨）の範囲を入力することができる。クリアボタン 3 1 4 4 をマウスでクリックすると、上記の検索条件をクリアすることができる。検索条件を入力後、検索ボタン 3 1 4 3 をマウスでクリックすると、検索条件を満たす購入（検収）実績最新情報を検索し、図 1 5 6 のステップ S C A 5 へ進む。ステップ S C A 5 では、購入（検収）実績最新情報一覧表示処理を行う。なお、条件入力エリア 3 1 4 1 の各項目の「参照」エリアをマウスでクリックすると、図 1 5 6 のステップ S C A 3 へ進み、コードヘルプ処理を行う。

【 0 1 6 3 】

図 1 6 9 は、図 1 5 6 のステップ S C A 3 のコードヘルプ処理にて表示する別ウィンドウの画面を示す。この画面では、品目品種コード等を検索して表示し、図 1 5 9 の上記の品目品種コードの入力を容易にする。検索条件エリア 3 2 5 1 には、テーブル（例えば品目品種）、検索項目（例えばコード）、一致タイプ（例えば前方一致）、入力エリア（検索条件のキーとなるデータの入力）を入力することができる。入力後、検索ボタン 3 2 5 2 をマウスでクリックすると、検索結果エリア 3 2 5 3 に検索条件を満たす項目を表示する。例えば、検索結果エリア 3 2 5 3 には、品目品種コード及びその名称の一覧を表示する。前リストボタン 3 1 5 2 をマウスでクリックすると、現在、検索結果エリア 3 2 5 3 に表示しているリストの前のリストを表示する。次リストボタン 3 1 5 3 をマウスでクリックすると、現在、検索結果エリア 3 2 5 3 に表示しているリストの次のリストを表示する。入力ボックス 3 1 5 4 に表示したい先頭番号を入力し、ボタン 3 1 5 5 をマウスでクリックすると、その先頭番号からのリストを検索結果エリア 3 2 5 3 に表示する。検索結果の各項目のボタン 3 2 5 4 をマウスでクリックする

と、その項目が上記の図159の条件入力エリア3141に入力される。

【0164】

図160は、図156のステップSCA5の購入（検収）実績最新情報一覧表示処理にて表示する画面を示す。表示エリア3111～3114の表示及びボタン3121～3126は上記と同様である。上記の検索条件を満たす購入（検収）実績最新情報の検索の結果、該当する情報があれば検索結果エリア3162にその該当する情報を表示し、該当する情報がなければエリア3151に「該当する情報がありません。」と表示する。検索結果エリア3162には、検収年月、検収単価、通貨、検収数量、原産国、品種、機能分類、図番、訂正番号、工程、オーダーの他、部番、寸法、型名、メーカー、画像の有無（電子部品システム1の画像を使用）、グリーン認定情報、推奨、認定、拠点名、窓口、取引先を表示する。前リストボタン3152、次リストボタン3153、入力ボックス3154、ボタン3155は上記と同様である。検索結果エリア3162の表示項目の並び換えを行うには、第1ソートキー3156、第2ソートキー3157、第3ソートキー3158を入力することができる。その後、昇順ソートボタン3159をマウスでクリックすると、ソートキー3156～3158をキーとして、昇順に購入（検収）実績最新情報をソートし、降順ソートボタン3160をマウスでクリックすると、ソートキー3156～3158をキーとして、降順に購入（検収）実績最新情報をソートし、検索結果エリア3162に表示する。

【0165】

リンク先画面3161では、各購入（検収）実績最新情報の番号ボタン3163をマウスでクリックした際のリンク先を選択することができる。リンク先としては、購入（検収）実績履歴情報処理（図156のステップSCA6）、単価経歴最新情報一覧表示処理（ステップSCA8）、注文予定情報一覧表示処理（ステップSCA10）を選択することができる。例えば、リンク先画面3161として購入実績履歴情報処理を選択して、番号ボタン3163をマウスでクリックすると、図156のステップSCA6へ進み、その番号についての購入（検収）実績履歴情報（最新情報を含んだ履歴情報）処理を行う。

【0166】

図 1 6 1 は、図 1 5 6 に示すステップ S C A 6 の購入（検収）実績履歴情報処理にて表示する画面を示す。表示エリア 3 1 1 2 ～ 3 1 1 4 の表示及びボタン 3 1 2 1 ～ 3 1 2 6 は上記と同様である。上記の表示エリア 2 1 1 1 を表示してもよい。履歴情報エリア 3 1 7 1 には、会社拠点、窓口、部番、寸法、工程、品目品種、部品名称、取引先、加工先コード、メーカー、型名、通貨名称、物品コードの他、環境問題を考慮したグリーン認定情報及び検収実績履歴情報を表示する。上記のグリーン認定情報としては、認定区分、認定名称、認定日及びコメントを表示する。上記の検収実績履歴情報としては、各検収年月毎の検収単価、検収数量、検収金額、図番、訂正番号、小オーダ、発注オーダの区分／名称、単価区分／名称、設定単価条件、材料費、加工費、管理費、物流費、有償支給区分／名称、有償支給金額を表示する。利用者は、各部番（部品又は原材料）の検収実績履歴情報を知ることができる。

【 0 1 6 7 】

図 1 6 2 は、図 1 5 6 に示すステップ S C A 7 の単価経歴最新情報検索処理にて表示する画面を示す。表示エリア 3 1 1 1 ～ 3 1 1 4 の表示及びボタン 3 1 2 1 ～ 3 1 2 6 は上記と同様である。条件入力エリア 3 1 8 1 には、部番、型名、調達拠点、取引先コード、取引先名称、メーカーコード、メーカー名称、単価経歴最新適用日の範囲を入力することができる。各項目の「参照」エリアをマウスでクリックすると、図 1 5 6 のステップ S C A 3 へ進み、上記で説明した図 1 6 9 のコードヘルプ画面を表示する。図 1 6 2 のクリアボタン 3 1 8 4 をマウスでクリックすると、上記の検索条件をクリアすることができる。検索条件を入力後、検索ボタン 3 1 8 3 をマウスでクリックすると、検索条件を満たす単価経歴最新情報を検索し、図 1 5 6 のステップ S C A 8 へ進む。ステップ S C A 8 では、単価経歴最新情報一覧表示処理を行う。

【 0 1 6 8 】

図 1 6 3 は、図 1 5 6 のステップ S C A 8 の単価経歴最新情報一覧表示処理にて表示する画面を示す。表示エリア 3 1 1 1 ～ 3 1 1 4 の表示及びボタン 3 1 2 1 ～ 3 1 2 6 は上記と同様である。上記の検索条件を満たす単価経歴最新情報の検索の結果、該当する情報があれば検索結果エリア 3 1 9 2 にその該当する情報

を表示し、該当する情報がなければエリア3191に「該当する情報がありません。」と表示する。検索結果エリア3192には、部番、寸法、工程、図番、切換日、通貨、マスター単価、材料費、加工費、管理費、物流費、見積区分コード、見積区分名称、会社拠点、窓口、取引先コード、取引先名称、当座コード、当座名、訂正番号、オーダー、型名、メーカー名称、登録日を表示する。前リストボタン3152、次リストボタン3153、入力ボックス3154、ボタン3155、ソートキー3156～3158、昇順ソートボタン3159、降順ソートボタン3160、リンク先画面3161は上記と同様である。

【0169】

リンク先画面3161として検収履歴情報処理を選択して、各単価経歴情報の番号ボタン3193をマウスでクリックすると、図156のステップSCA9へ進み、その番号についての単価経歴履歴情報（最新情報を含んだ履歴情報）処理を行う。

【0170】

図164は、図156に示すステップSCA9の単価経歴履歴情報処理にて表示する画面を示す。表示エリア3111～3114の表示及びボタン3121～3126は上記と同様である。履歴情報エリア3201には、会社拠点、窓口、部番、寸法、工程、部品名称、取引先、加工先コード、メーカー、型名、通貨名称の他、環境問題を考慮したグリーン認定情報及び単価マスター履歴情報を表示する。上記のグリーン認定情報としては、認定区分、認定名称、認定日及びコメントを表示する。上記の単価マスター履歴情報としては、各切換日毎（各年毎）のマスター単価、材料費、加工費、管理費、物流費、見積区分コード、当座コード、図番、訂正番号、オーダー、登録日を表示する。利用者は、各部番（部品又は原材料）の単価経歴履歴情報を知ることができる。

【0171】

図165は、図156に示すステップSCA10の注文予定情報検索処理にて表示する画面を示す。表示エリア3111～3114の表示及びボタン3121～3126は上記と同様である。検索条件として、部番3211又は型名3212を入力することができる。クリアボタン3214をマウスでクリックすると、

上記の検索条件をクリアすることができる。検索条件を入力後、検索ボタン3213をマウスでクリックすると、検索条件を満たす注文予定情報を検索し、図156のステップSCA11へ進む。ステップSCA11では、注文予定情報一覧表示処理を行う。

【0172】

図166は、図156のステップSCA11の注文予定情報一覧表示処理にて表示する画面を示す。表示エリア3111～3114の表示及びボタン3121～3126は上記と同様である。上記の検索条件を満たす注文予定情報の検索の結果、該当する情報があれば検索結果エリア3221にその該当する情報を表示する。検索結果エリア3221には、部番、寸法、工程、図番、型名、メーカー、会社拠点、取引先名、加工先コード、通貨、各月毎の予定数量及び予定金額を表示する。前リストボタン3152、次リストボタン3153、入力ボックス3154、ボタン3155、ソートキー3156～3158、昇順ソートボタン3159、降順ソートボタン3160、リンク先画面3161は上記と同様である。

【0173】

図167は、図156に示すステップSCA12の為替レート最新情報一覧表示処理にて表示する画面を示す。表示エリア3111～3114の表示及びボタン3121～3126は上記と同様である。為替レート一覧エリア3231には、データベース4aを基に、各通貨について、変換元の通貨、変換先の通貨、レート、年月を表示する。例えば、1オーストラリアドル(AUD)は91.85円(JPY)である。各通貨のボタン3232をマウスでクリックすると、図156のステップSCA13へ進み、その通貨についての為替レート履歴情報処理を行う。

【0174】

図168は、図156に示すステップSCA13の為替レート履歴情報処理にて表示する画面を示す。表示エリア3111～3114の表示及びボタン3121～3126は上記と同様である。為替レート履歴エリア3241には、例えば、アメリカドルから日本への為替レートの各月毎の履歴を表示する。為替レート

を表示することにより、現地での価格を基に日本円に換算することができる。

【 0 1 7 5 】

以上のように、全部番システム 4 は、購入（検収）実績情報、単価経歴情報、注文予定情報、及び為替レート情報を利用者に提供することができる。購入実績情報、単価経歴情報及び注文予定情報は、所望のキーで検索した後に、該当するもののみの情報を表示させることができる。

【 0 1 7 6 】

[5. コストダウンサポートシステム]

図 6 5 は、図 1 に示すコストダウンサポートシステム（価格情報提供システム）5 の構成を示すブロック図である。コストダウンサポートシステム 5 は、Web サーバ 4 0 0 1、アプリケーションサーバ 4 0 0 2、Web 用データベースサーバ 4 0 0 3、運用マシン 4 0 0 4 及び 4 0 0 6 を有する。データベースサーバ 4 0 0 3 は、データベース 5 a（図 1）を有する。

【 0 1 7 7 】

各拠点（事業所）4 0 1 1 には、各拠点の価格情報を記憶するコンピュータ 4 0 1 2 及び利用者のコンピュータ 3 1 が配置される。各拠点のコンピュータ 4 0 1 2 は、自己の拠点の電子部品やメカ部品の検収単価等の価格情報を記憶し、運用マシン 4 0 0 4 に供給する。利用者のコンピュータ 3 1 は、例えばクライアントとなる標準パーソナルコンピュータであり、コストダウンサポートシステム 5 に対してアクセス可能である。

【 0 1 7 8 】

人事部門のコンピュータ 4 0 1 3 は、人事データを記憶し、そのデータは運用マシン 4 0 0 4 に供給される。人事データは人事異動の情報を含み、コストダウンサポートシステム 5 は、登録された利用者が所属する部門の変更を自動的に行うことができる。また、必要に応じて、その異動した利用者の登録を抹消することができる。

【 0 1 7 9 】

なお、運用マシン 4 0 0 4 は、上記の情報をネットワークを介してオンラインで受信することが好ましい。

運用マシン4004は、上記の情報を受け、電子部品やメカ部品の単価を各拠点毎に比較するための処理を行い、運用マシン4006に供給する。運用マシン4006は、必要な情報をデータベースサーバ4003内のデータベース5aに登録する。

【0180】

データベースサーバ4003は、データベース5aを有し、そのデータベース5aの登録、削除、更新及び検索を管理する。アプリケーションサーバ4002は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、コストダウンサポートシステム5を動作させる。Webサーバ4001は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、統一的な画面表示を行う。Webサーバ4001は、アプリケーションサーバ4002に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。アプリケーションサーバ4002は、データベースサーバ4003に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。利用者のコンピュータ31は、Webサーバ4001に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。例えば、利用者のコンピュータ31は、価格情報をWebサーバ4001からダウンロードし、その情報を編集してWebサーバ4001にアップロードすることができる。Webサーバ4001は、アップロードされた情報を運用マシン4006に供給する。運用マシン4006は、その情報を基に、各拠点の価格情報を自動集計し、利用者のコンピュータ31に電子メールで送信する。

【0181】

利用者は、他の拠点が同じ電子部品やメカ部品を購入している価格を知ることができる。また、自己の拠点よりも安く購入している他の拠点での購入価格等の情報をダウンロードすることができる。利用者は、その情報を基に、コストダウンのための交渉を取引先に対して行うことができる。また、その交渉結果をWebサーバ4001にアップロードすることにより、次の交渉戦略をたてることができる。

【0182】

図66は、データベースサーバ4003内のデータベース5aの構成を示す概

略図である。データベース 5 a は、各拠点の電子部品やメカ部品についての部番 5 a a、工程 5 a b、図番 5 a c、取引先 5 a d、検収（購入）年月 5 a e、検収総数 5 a f、検収単価 5 a g、為替レート 5 a h、コストダウン情報 5 a i、マスタ（見積もり）単価等のマスタ情報 5 a j、利用者情報（利用者 I D、パスワード、利用者所属部門等） 5 a k、及びセキュリティ情報 5 a l を有する。

【 0 1 8 3 】

図 6 7 は、コストダウンサポートシステム 5 の処理を示すフローチャートであり、図 2 のステップ S 7 の処理に相当する。ステップ S D A 1 では、図 6 8 に示すログイン画面を利用者のコンピュータ 3 1 に表示し、利用者 I D の入力及びパスワードの入力を待つ。利用者は、図 6 8 のエリア 4 1 0 1 に利用者 I D を入力し、エリア 4 1 0 2 にパスワードを入力することができる。利用者 I D 4 1 0 1 及びパスワード 4 1 0 2 を入力させることにより、セキュリティを強化し、不正者のログインを防止できる。

【 0 1 8 4 】

表示エリア 4 1 0 5 に表示されるように、セキュリティ強化のために、以下の 2 つの対策が取られる。（１）暦日 9 0 日間アクセス（ログイン）がない場合はアクセス権（ログイン権）を自動的に抹消する。その場合、利用時に再度、利用申請書の提出が必要になる。（２）利用者はセキュリティ保護のため、パスワード変更を月 1 回必ず実施する。パスワードの変更は、パスワード変更ボタン 4 1 0 4 をマウスでクリックすることにより行うことができる。

【 0 1 8 5 】

利用者がログインボタン 4 1 0 3 をマウスでクリックすると、入力した利用者 I D 及びパスワードが正しければ、ログインされ、ステップ S D A 2 へ進む。

ステップ S D A 2 では、図 6 9 に示す一覧画面が表示される。表示エリア 4 1 1 1 には、何時の情報であるかが表示される。表示エリア 4 1 1 2 には、ログインユーザ I D（利用者 I D）が表示される。表示エリア 4 1 1 3 には、ログインした年月日が表示される。表示エリア 4 1 1 4 には、ログインした I P アドレスが表示される。この I P アドレスを基に、どの部門の利用者かが分かる。これら表示エリア 4 1 1 2 ～ 4 1 1 4 の表示により、画面をハードコピーした時の出所

を特定できるので、外部への情報漏れを防止することができる。すなわち、ハードコピーした利用者の情報が表示されているので、利用者がハードコピーすることを躊躇する効果がある。なお、表示エリア 4 1 1 1 ~ 4 1 1 4 は、後に示す図 7 0 ~ 図 7 2 にも表示させることができる。

【 0 1 8 6 】

タイトルエリア 4 1 3 1 には、「コストダウンサポートデータ件数一覧」と表示される。一覧エリア 4 1 3 3 には、各会社拠点について他の拠点よりも高い部番の検収（購入）データ、及び他の拠点よりも安い部番の検収データが表示される。各検収データとして、その件数と部品の種類が表示される。例えば、B 事業所について他の拠点よりも高い部番は、メカ部品について 6 3 件あることを示す。

【 0 1 8 7 】

利用者は、キーボードのシフトキーを押しながら、例えばメカ部品のダウンロードボタン 4 1 3 4 をマウスでクリックすると、図 6 7 のステップ S D A 3 を介してステップ S D A 4 へ進み、ダウンロード処理を行う。メカ部品のダウンロードボタン 4 1 3 4 をクリックすると、B 事業所が他の拠点よりも高いメカ部品の部番（部品）についての他の拠点の検収データをダウンロードすることができる。電子部品のダウンロードボタン 4 1 3 5 をクリックすると、B 事業所が他の拠点よりも高い電子部品の部番についての他の拠点の検収データをダウンロードすることができる。メカ部品のダウンロードボタン 4 1 3 6 をクリックすると、B 事業所が他の拠点よりも安いメカ部品の部番についての他の拠点の検収データをダウンロードすることができる。電子部品のダウンロードボタン 4 1 3 7 をクリックすると、B 事業所が他の拠点よりも安い電子部品の部番についての他の拠点の検収データをダウンロードすることができる。ダウンロードは、図 6 5 の W e b サーバ 4 0 0 1 が運用マシン 4 0 0 6 から検収データを受信し、W e b サーバ 4 0 0 1 から利用者のコンピュータ 3 1 に検収データがダウンロードされて記憶される。

【 0 1 8 8 】

図 7 0 は、ダウンロード後にコンピュータ 3 1 に表示される検収データ画面を

示す。検収データの一覧エリア4141には、会社拠点4141a、当該部品についての部番4141b、工程4141c、図番4141d、取引先4141e、検収年月4141f、通貨4141gが表示される。

【0189】

図71は、図70に示す一覧エリア4141の右に続く検収データ画面である。一覧エリア4141には、上記の項目の他、当該部品についての該当月内累計の検収総数量4141h、現地通貨の最新検収単価4141i、現地通貨の検収総金額（月額合計）4141j、該当月の平均為替レート（通貨4141gが日本円るときには1である）4141k、日本円換算の最新検収単価（現地通貨の最新検収単価×平均為替レート）4141l、日本円換算の検収総金額（現地通貨の検収総金額×平均為替レート）4141mが表示される。

【0190】

図72は、図71に示す一覧エリア4141の右に続く検収データ画面である。一覧エリア4141には、上記の項目の他、比較対象の部品についての日本円換算の検収単価の差額（自己の事業所の検収単価－他の事業所での最安値の検収単価）4141n、比較対象の部品についての日本円換算の検収総金額の差額（検収単価の差額×検収総数量）4141o、現地通貨でのコストダウン後の単価4141p、入力年月日4141q、コストダウン交渉結果4141rが表示される。

【0191】

検収単価の差額4141n及び検収総金額の差額4141oを参照することにより、自己の事業所の検収価格と他の事業所の検収価格との差額を知ることができ、取引先に対してコストダウン交渉をする価値があるか否かを判断することができる。コストダウン交渉をした場合には、各事業所の利用者がコストダウン後の単価4141pと入力年月日4141qとコストダウン交渉結果4141rを入力する。入力すると、図67のステップSDA5へ進み、入力処理を行う。コストダウン交渉結果4141rには、交渉が成立した場合には例えば「1998年10月からコストダウン後の価格を適用する」旨を入力し、交渉が成立しなかった場合には例えば協定価格によりコストダウン不可等の理由を入力する。各事

業所は、交渉結果4141rを基に次回のコストダウン交渉の戦略を立てることができる。

【0192】

また、コストダウン交渉が成立した場合には、各事業所の利用者がコストダウン後の単価4141pを入力し、コストダウン後の単価4141p及び／又はコストダウン交渉結果4141rを入力した年月日4141qを入力する。

【0193】

一覧エリア4141の表示を終了させると、図67のステップSDA2へ戻り、図69の一覧画面を表示する。図69のアップロードボタン4132をマウスでクリックすると、図67のステップSDA3を介してステップSDA6へ進み、アップロード処理を行う。すなわち、図70～図72に示す一覧エリア4141の検収データは、図65に示す利用者のコンピュータ31からWebサーバ4001にアップロードされる。Webサーバ4001は、アップロードされたコストダウン後の単価やコストダウン交渉の結果等を利用者のコンピュータ31から受信し、運用マシン4006に転送する。

【0194】

次に、図67のステップSDA7では、運用マシン4006が、アップロードされた情報を基に各拠点の価格情報を自動集計し、翌月以降のデータに反映させる。また、運用マシン4006は、利用者のコンピュータ31に対して集計結果を電子メールで送信する。その後、ステップSDA2へ戻り、図69に示す一覧画面を表示する。

【0195】

図69において、メニューボタン4121、バックページボタン4122、ログアウトボタン4123、ヘルプボタン4124、メールボタン4125をマウスでクリックすると、図67のステップSDA3を介してステップSDA8へ進む。メニューボタン4121がクリックされると、図69に示すこの一覧画面を表示する。バックページボタン4122がクリックされると、1つ前の表示画面に戻る。ログアウトボタン4123がクリックされると、調達情報システムは終了する。ヘルプボタン4124がクリックされると、ヘルプ画面を表示する。メ

ールボタン 4 1 2 5 がクリックされると、メールの送信又は受信メールの確認等を行うことができる。これらのボタン 4 1 2 1 ～ 4 1 2 5 は、図 7 0 ～ 図 7 2 の検収データ画面にも表示させることができる。

【 0 1 9 6 】

以上のように、コストダウンサポートシステム 5 によれば、各事業所間で部品コストや製品コストにばらつきがある場合に、各事業所間での同一部品についてのコストの差額を各事業所の利用者に提供することができる。各事業所は、他の事業所との間のコストの差額情報を入手することにより、取引先に対して効率的に部品のコストダウン交渉を行うことができる。また、その交渉結果をアップロードすることにより、効果的に次回の交渉戦略を立てることができる。

【 0 1 9 7 】

なお、コストダウンサポートシステム 5 は、過去の検収価格のみならず、マスタ（見積もり）価格についても同様に適用することができる。また、部品の価格のみならず、製品の価格に適用することができる。

【 0 1 9 8 】

〔 6 . 調達実績システム 〕

図 7 3 は、図 1 に示す調達実績システム（取引実績情報提供システム） 6 の構成を示すブロック図である。調達実績システム 6 は、Web サーバ 5 0 0 1、アプリケーションサーバ 5 0 0 2、Web 用データベースサーバ 5 0 0 3、及び運用マシン 5 0 0 4 を有する。データベースサーバ 5 0 0 3 は、データベース 6 a（図 1）を有する。

【 0 1 9 9 】

各拠点（事業所）のコンピュータ 5 0 1 1 は、自己の拠点の検収データ（検収金額を含む）及び有償支給データ（有償支給額を含む）を記憶し、運用マシン 5 0 0 4 に供給する。検収金額は、購入済みの部品等の金額である。有償支給額は、自社が有償で購入し、それを取引先に引き渡す際の購入金額である。取引先は、自社が複数の取引先の部品等をまとめ買いしてコストを下げたり、部品等を安定供給するため等、種々の理由で、有償支給が行われたりする。また、各拠点のコンピュータ 5 0 1 1 は、調達実績システム 6 に対してアクセス可能である。

【0200】

人事部門のコンピュータ5012は、人事データを記憶し、そのデータは運用マシン5004に供給される。人事データは人事異動の情報を含み、調達実績システム6は、登録された利用者が所属する部門の変更を自動的に行うことができる。また、必要に応じて、その異動した利用者の登録を抹消することができる。

【0201】

なお、運用マシン5004は、上記の情報をネットワークを介してオンラインで受信することが好ましい。

運用マシン5004は、上記の情報を受け、検収データ及び有償支給データをデータベースサーバ5003内のデータベース6aに登録する。

【0202】

データベースサーバ5003は、データベース6aを有し、そのデータベース6aの登録、削除、更新及び検索を管理する。アプリケーションサーバ5002は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、調達実績システム6を動作させる。Webサーバ5001は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、統一的な画面表示を行う。Webサーバ5001は、アプリケーションサーバ5002に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。アプリケーションサーバ5002は、データベースサーバ5003に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。各拠点のコンピュータ5011は、Webサーバ5001に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。例えば、各拠点の利用者のコンピュータ5011は、所定の条件でデータベース6a内の検収データ又は有償支給データの検索をWebサーバ5001に指示する。アプリケーションサーバ5002は、所定の条件でデータベース6a内の検収データ及び有償支給データを検索し、上期、下期、年間毎に集計処理する。Webサーバ5001は、上記の条件を満たす検索の結果を各拠点のコンピュータ5011の画面に表示する。各拠点の利用者は、拠点別、取引先別、又は品目別の検収データ及び有償支給データを知ることができる。

【0203】

図74は、データベースサーバ5003内のデータベース6aの構成を示す概略図である。データベース6aは、各拠点別／取引先別／品目別の検収データ6aa、各拠点別／取引先別の有償支給データ6ab、利用者情報（利用者ID、パスワード、利用者所属部門等）6ac、セキュリティ情報6adを有する。

【0204】

図75は、調達実績システム6の処理を示すフローチャートであり、図2のステップS8の処理に相当する。ステップSEA1では、図77に示すログイン画面を利用者のコンピュータ5011（図73）に表示し、利用者IDの入力及びパスワードの入力を待つ。利用者は、図77のエリア5101に利用者IDを入力し、エリア5102にパスワードを入力することができる。利用者ID5101及びパスワード5102を入力させることにより、セキュリティを強化し、不正者のログインを防止できる。

【0205】

表示エリア5105に表示されるように、セキュリティ強化のために、以下の2つの対策が取られる。（1）暦日90日間アクセス（ログイン）がない場合はアクセス権（ログイン権）を自動的に抹消する。その場合、利用時に再度、利用申請書の提出が必要になる。（2）利用者はセキュリティ保護のため、パスワード変更を月1回必ず実施する。パスワードの変更は、パスワード変更ボタン5104をマウスでクリックすることにより行うことができる。

【0206】

利用者がログインボタン5103をマウスでクリックすると、入力した利用者ID及びパスワードが正しければ、ログインされ、ステップSEA2へ進む。

ステップSEA2では、図78に示すメニュー画面が表示される。表示エリア5111には、何時の情報であるかが表示される。表示エリア5112には、ログインユーザID（利用者ID）が表示される。表示エリア5113には、ログインした年月日が表示される。表示エリア5114には、ログインしたIPアドレスが表示される。このIPアドレスを基に、どの部門の利用者かが分かる。これら表示エリア5112～5114の表示により、画面をハードコピーした時の出所を特定できるので、外部への情報漏れを防止することができる。すなわち、

ハードコピーした利用者の情報が表示されているので、利用者がハードコピーすることを躊躇する効果がある。通常の利用者は、パスワード入力後、図 7 8 ではなく図 7 9 が表示される。

【 0 2 0 7 】

メニュー項目として、「I. 調達実績検索」、「II. ユーザメンテナンス」、「III. プレファレンス情報」が表示される。調達実績検索の表示ボタン 5 1 3 1 をマウスでクリックすると、図 7 5 のステップ S E A 4 へ進み、調達実績検索処理を行う。調達実績検索処理は、所定の条件を満たす検収データ又は有償支給データを検索し、集計処理する。ユーザメンテナンスの更新ボタン 5 1 3 2 をマウスでクリックすると、図 7 5 のステップ S E A 5 へ進み、ユーザメンテナンス処理を行う。ユーザメンテナンス処理は、データベース 6 a に登録されているユーザ情報やログ情報を参照したり、ユーザ情報やセキュリティ管理の登録を行う。プレファレンス情報の更新ボタン 5 1 3 3 をマウスでクリックすると、図 7 5 のステップ S E A 6 へ進み、プレファレンス情報処理を行う。プレファレンス情報処理は、調達実績システムの稼動に必要な情報の設定を行う。

【 0 2 0 8 】

メニューボタン 5 1 2 1、バックページボタン 5 1 2 2、ログアウトボタン 5 1 2 3、又はメールボタン 5 1 2 4 をマウスでクリックすると、図 7 5 のステップ S E A 7 へ進み、その他の処理を行う。メニューボタン 5 1 2 1 がクリックされると、図 7 8 に示すこのメニュー画面を表示する。バックページボタン 5 1 2 2 がクリックされると、1 つ前の表示画面に戻る。ログアウトボタン 5 1 2 3 がクリックされると、調達情報システムは終了する。メールボタン 5 1 2 4 がクリックされると、メールの送信又は受信メールの確認等を行うことができる。

【 0 2 0 9 】

図 7 6 は、図 7 5 に示すステップ S E A 4 の調達実績検索処理の詳細を示すフローチャートである。ステップ S E B 1 では、図 7 9 に示す検索画面を表示する。表示エリア 5 1 1 2 ～ 5 1 1 4 及びボタン 5 1 2 1 ～ 5 1 2 4 は、上記と同様である。検索画面は、集計方法選択エリア 5 1 4 1、条件入力エリア 5 1 4 2、及び条件入力補助画面エリア 5 1 4 3 を有する。

【 0 2 1 0 】

図 8 0 は、上記の集計方法選択エリア 5 1 4 1 の拡大図である。利用者は、まず、集計方法選択エリア 5 1 4 1 にて、調達実績の集計方法を選択する。選択項目として、「A. 品目別窓口別購入実績」、「B. 品目別取引先別購入実績」、「C. 品目別窓口別取引先別購入実績」、「D. 品目別取引先別窓口別購入実績」、「E. 窓口別取引先別購入実績」、「F. 窓口別取引先別購入実績（有償支給）」、「G. 窓口別品目別購入実績」、「H. 窓口別取引先別品目別購入実績」、「I. 窓口別品目別取引先別購入実績」、「J. 取引先別窓口別購入実績」、「K. 取引先別窓口別購入実績（有償支給）」、「L. 取引先別品目別購入実績」、「M. 取引先別窓口別品目別購入実績」、「N. 取引先別品目別窓口別購入実績」が表示される。各項目のボタン 5 1 5 1 をマウスでクリックすることにより、各項目を選択することができる。

【 0 2 1 1 】

図 8 1 は、上記の条件入力エリア 5 1 4 2 及び条件入力補助画面エリア 5 1 4 3 の拡大図である。条件入力エリア 5 1 4 2 では、実績年度、品目品種、取引先、対象範囲、対象窓口を入力することができる。これら条件を直接入力する他、条件入力補助画面エリア 5 1 4 3 を用いて条件を入力することができる。例えば、品目品種ボタン 5 1 6 1 をマウスでクリックすると、条件入力補助画面エリア 5 1 4 3 には品目品種のコードと名称が表示される。この条件入力補助画面エリア 5 1 4 3 の中から所望の品目品種を選択することができる。例えば、条件入力補助画面エリア 5 1 4 3 の中の 2 9 番のボタンをマウスでクリックすると、条件入力エリア 5 1 4 2 の品目品種として「M 2 9 0」が自動的に入力される。利用者は、条件入力補助画面エリア 5 1 4 3 を利用することにより、容易かつ簡単に条件項目を入力することができる。取引先の条件についても、条件入力補助画面エリア 5 1 4 3 を用いることができる。条件クリアボタン 5 1 6 3 をマウスでクリックすると、条件入力エリア 5 1 4 2 の条件をクリアすることができる。検索ボタン 5 1 6 2 をマウスでクリックすると、図 7 6 のステップ S E B 2 へ進み、上記の条件を満足する調達実績（取引実績）情報を検索する。その後、ステップ S E B 3 へ進み、図 8 2 に示す検索結果画面を表示する。

【 0 2 1 2 】

図 8 2 は、検索結果画面を示す。表示エリア 5 1 1 2 ～ 5 1 1 4 及びボタン 5 1 2 1 ～ 5 1 2 4 は、上記と同様である。検索結果画面は、検索条件表示エリア 5 1 7 1 及び検索集計結果エリア 5 1 7 2 を有する。

【 0 2 1 3 】

図 8 3 は、上記の検索条件表示エリア 5 1 7 1 の拡大図である。集計方法表示エリア 5 1 8 1 には、図 8 0 の集計方法選択エリア 5 1 4 1 で選択した集計方法を表示する。検索条件表示エリア 5 1 8 3 には、図 8 1 の条件入力エリア 5 1 4 2 で入力した条件を表示する。金額単位エリア 5 1 8 3 には、図 8 2 の検索集計結果エリア 5 1 7 2 に表示される金額の単位を表示する。

【 0 2 1 4 】

図 8 4 は、図 8 2 の検索集計結果エリア 5 1 7 2 の拡大図である。検索集計結果エリア 5 1 7 2 には、上記の条件を満たす検索結果の金額が、各拠点、各月、上期、下期、年間毎に集計して表示される。金額は、例えば 1 0 0 0 円単位である。例えば、上期は、1 月～ 6 月であり、下期は 7 月～ 1 2 月である。各月の金額を横 1 列に表示すると、1 つの画面又は 1 枚の紙に 1 年分の高額を全て表示することができずにはみ出てしまう。上期を上段に表示し、下期を下段に表示し、1 年分の高額を複数段に分けて表示することにより、1 つの画面又は 1 枚の紙に 1 年分の高額を全て表示でき、金額の比較も容易になる。

【 0 2 1 5 】

図 8 2 のメニューボタン 5 1 2 1、バックページボタン 5 1 2 2、ログアウトボタン 5 1 2 3、メールボタン 5 1 2 4 をマウスでクリックすると、図 7 6 のステップ S E B 4 へ進み、上記と同様な各ボタンの処理を行う。

【 0 2 1 6 】

以上のように、調達実績システムによれば、所定の条件の調達実績（取引実績）情報を検索し、集計処理する。この調達実績情報は、検収金額及び有償支給額を含む。利用者は、この集計結果を参照することにより、種々の取引戦略をたてることができる。例えば、取引先毎の集計をとり、各取引先の取引割合を算出することにより、特定の取引先への取引集中による危険性を回避するため、取引割

合を分散させるための戦略をたてることができる。また、各取引先の取引割合を基に、取引先の数を増減させることができる。また、調達実績の時間推移を解析することにより、将来の調達を予測したり、調整することができる。

【 0 2 1 7 】

図 8 5 は、調達実績データ管理システムの処理を示すフローチャートである。この調達実績データ管理システムは、上記の調達実績システム 6 で使用する調達実績データを管理するためのシステムである。ステップ S E C 1 では、図 8 6 に示すメニュー画面を表示する。メニュー項目として、「登録」、「メンテナンス」、「期末処理」、「印刷」、「ログ情報」、「終了」が表示される。登録ボタン 5 1 9 1 をマウスでクリックすると、図 8 5 のステップ S E C 3 へ進み、登録処理を行う。登録処理は、実績、有償実績、品目品種、取引先情報の登録を行う。メンテナンスボタン 5 1 9 2 をマウスでクリックすると、図 8 5 のステップ S E C 4 へ進み、メンテナンス処理を行う。メンテナンス処理は、会社拠点テーブルのメンテナンスを行う。期末処理ボタン 5 1 9 3 をマウスでクリックすると、図 8 5 のステップ S E C 5 へ進み、期末処理を行う。期末処理は、実績、有償実績データを削除し、削除したデータのバックアップをとる。期末処理の詳細は、後に図 8 7 を参照しながら説明する。印刷ボタン 5 1 9 4 をマウスでクリックすると、図 8 5 のステップ S E C 6 へ進み、印刷処理を行う。印刷処理は、品目品種、会社拠点、取引先情報を印刷する。ログ情報ボタン 5 1 9 5 をマウスでクリックすると、図 8 5 のステップ S E C 7 へ進み、ログ情報処理を行う。ログ情報処理は、ログ情報の出力又は削除を行う。終了ボタン 5 1 9 6 をマウスでクリックすると、図 8 5 のステップ S E C 8 へ進み、調達実績データ管理システムを終了する。

【 0 2 1 8 】

図 8 7 は、上記のステップ S E C 5 の期末処理の表示画面であり、図 8 6 の期末処理ボタン 5 1 9 3 をマウスでクリックすることにより表示される。過去の調達実績データの全てをデータベース 6 a に保存していると、データ量が多くなるため、検索速度が遅くなり、データベース 6 a の記憶容量が足りなくなる。そこで、4 年前以前の調達実績データを削除すると共にバックアップをとる。データ

ベース 6 a には、過去 3 年間の調達実績データのみを保存しておく。期末処理画面には、第 1 のエリア 5 2 0 7 及び第 2 のエリア 5 2 0 8 が表示される。

【 0 2 1 9 】

年度欄 5 2 0 1 に 4 年前の西暦を自動表示することにより、原則として 4 年前の調達実績データを削除すると共に、テキスト形式のバックアップをとる。年度欄 5 2 0 1 には、他の年度を入力してもよい。調達実績データは、年単位で削除される。なお、所定の時以前の調達実績データを全て削除するようにしてもよい。第 1 のエリア 5 2 0 7 には、削除のチェック欄、削除するデータの名前、及び件数が表示される。削除チェック欄 5 2 0 2 をマウスでクリックすることにより、削除及びバックアップをとるデータを選択することができる。具体的には、検収データ及び／又は有償支給データを選択することができる。第 2 のエリア 5 2 0 8 には、選択のチェック欄、テキスト形式でバックアップをとるデータの名前、及び件数が表示される。選択チェック欄 5 2 0 3 をマウスでクリックすることにより、バックアップをとるデータを選択することができる。具体的には、取引先データ、品目品種データ、及び／又は会社拠点名称データを選択することができる。

【 0 2 2 0 】

次に、実行ボタン 5 2 0 5 をマウスでクリックすると、上記の削除チェック欄 5 2 0 2 及び選択チェック欄 5 2 0 3 でチェックしたデータの処理を実行する。設定ボタン 5 2 0 4 をマウスでクリックすると、バックアップをとるファイルのパス名を設定することができる。ボタン 5 2 0 6 をマウスでクリックすると、期末処理を終了する。

【 0 2 2 1 】

以上のように、期末処理を行うことにより、過去 4 年前以前の調達実績データを削除すると共にバックアップをとることができるので、記憶装置の空き容量を増やし、検索速度を向上させることができる。

【 0 2 2 2 】

[7. 取引先カード情報システム]

図 8 8 は、図 1 に示す取引先カード情報システム（取引先カード情報提供シス

テム) 7の構成を示すブロック図である。取引先カード情報システム7は、Webサーバ6001、アプリケーションサーバ6002、Web用データベースサーバ6003、運用マシン6004、及びイメージスキャナ6005を有する。データベースサーバ6003は、データベース7a(図1)を有する。

【0223】

取引先6011は、取引先情報を紙媒体の取引先カードに記入し、取引先カード情報システム7に提供する。運用マシン6004は、イメージスキャナ6005により紙媒体の取引先カードを読み取り、GIF形式の画像情報に変換し、データベースサーバ6003内のデータベース7aに登録する。データベース7aには、取引先カードの画像情報の他、取引先名等も登録される。

【0224】

人事部門のコンピュータ6012は、人事データを記憶し、そのデータは運用マシン6004に供給される。人事データは人事異動の情報を含み、取引先カード情報システム7は、登録された利用者が所属する部門の変更を自動的に行うことができる。また、必要に応じて、その異動した利用者の登録を抹消することができる。なお、運用マシン6004は、上記の人事データをネットワークを介してオンラインで受信することが好ましい。

【0225】

データベースサーバ6003は、データベース7aを有し、そのデータベース7aの登録、削除、更新及び検索を管理する。アプリケーションサーバ6002は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、取引先カード情報システム7を動作させる。Webサーバ6001は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、統一的な画面表示を行う。Webサーバ6001は、アプリケーションサーバ6002に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。アプリケーションサーバ6002は、データベースサーバ6003に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。

【0226】

利用者のコンピュータ31は、例えばクライアントとなる標準パーソナルコン

ピュータであり、Webサーバ6001に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取ることができる。例えば、所望の取引先の取引先カードの検索を指示することができる。Webサーバ6001は、アプリケーションサーバ6002及びデータベースサーバ6003を介して、その取引先の取引先カードを検索し、利用者のコンピュータ31の画面にその取引先カードの画像情報を表示する。自社内の利用者は、所望の取引先の取引先カードを瞬時に入手することができる。

【0227】

図89は、データベースサーバ6003内のデータベース7aの構成を示す概略図である。データベース7aは、各取引先についての取引先情報6020、利用者情報（利用者ID、パスワード、利用者所属部門等）7ah、及びセキュリティ情報7aiを有する。各取引先の取引先情報6020は、取引先カードの画像情報7agの他、取引先コード7aa、取引先名称7ab、取引先名称（カナ）7ac、法人コード7ad、カード番号7ae、登録年度7afを含む。

【0228】

図90は、取引先カード情報システムの処理を示すフローチャートであり、図2のステップS9の処理に相当する。ステップSFA1では、図92に示すログイン画面を利用者のコンピュータ31（図88）に表示し、利用者IDの入力及びパスワードの入力を待つ。利用者は、図92のエリア6101に利用者IDを入力し、エリア6102にパスワードを入力することができる。利用者ID6101及びパスワード6102を入力させることにより、セキュリティを強化し、不正者のログインを防止できる。

【0229】

利用者はセキュリティ保護のため、パスワード変更ボタン6104をマウスでクリックすることにより、パスワードの変更を行うことができる。利用者がログインボタン6103をマウスでクリックすると、入力した利用者ID及びパスワードが正しければ、ログインされ、ステップSFA2へ進む。

【0230】

ステップSFA2では、図93に示すメニュー画面を表示する。これは、通常

の利用者には表示されない画面であり、管理者に表示される画面である。表示エリア 6 1 1 1 には、何時の情報であるかが表示される。表示エリア 6 1 1 2 には、ログインユーザ ID（利用者 ID）が表示される。表示エリア 6 1 1 3 には、ログインした年月日が表示される。表示エリア 6 1 1 4 には、ログインした IP アドレスが表示される。この IP アドレスを基に、どの部門の利用者かが分かる。これら表示エリア 6 1 1 2 ～ 6 1 1 4 の表示により、画面をハードコピーした時の出所を特定できるので、外部への情報漏れを防止することができる。すなわち、ハードコピーした利用者の情報が表示されているので、利用者がハードコピーすることを躊躇する効果がある。

【 0 2 3 1 】

メニュー項目として、「I. 取引先カード情報検索」、「II. ユーザメンテナンス」、「III. プレファレンス情報」が表示される。取引先カード情報検索の表示ボタン 6 1 3 1 をマウスでクリックすると、図 9 0 のステップ S F A 4 へ進み、取引先カード情報検索処理を行う。取引先カード情報検索処理は、所定の条件を満たす取引先カードを検索して表示する。ユーザメンテナンスの更新ボタン 6 1 3 2 をマウスでクリックすると、図 9 0 のステップ S F A 5 へ進み、ユーザメンテナンス処理を行う。ユーザメンテナンス処理は、データベース 7 a に登録されているユーザ情報やログ情報を参照したり、ユーザ情報やセキュリティ管理の登録を行う。プレファレンス情報の更新ボタン 6 1 3 3 をマウスでクリックすると、図 9 0 のステップ S F A 6 へ進み、プレファレンス情報処理を行う。プレファレンス情報処理は、取引先カード情報システムの稼動に必要な情報の設定を行う。

【 0 2 3 2 】

メニューボタン 6 1 2 1、バックページボタン 6 1 2 2、ログアウトボタン 6 1 2 3、又はメールボタン 6 1 2 4 をマウスでクリックすると、図 9 0 のステップ S F A 7 へ進み、各ボタンの処理を行う。メニューボタン 6 1 2 1 がクリックされると、図 9 3 に示すこのメニュー画面を表示する。バックページボタン 6 1 2 2 がクリックされると、1 つ前の表示画面に戻る。ログアウトボタン 6 1 2 3 がクリックされると、調達情報システムは終了する。メールボタン 6 1 2 4 がク

リックされると、メールの送信又は受信メールの確認等を行うことができる。

【0233】

図91は、図90に示すステップSFA4の取引先カード情報検索処理の詳細を示すフローチャートである。ステップSFB1では、図94に示す検索画面を表示する。表示エリア6112～6114の表示は、上記と同様である。条件入力エリア6141には、年度6142、取引先コード6143、取引先名6144、仮名表記の取引先名6145を入力することができる。なお、取引先コード6143、取引先名6144、仮名表記の取引先名6145を全て入力する必要はなく、いずれか1つを入力すれば足りる。条件クリアボタン6147をマウスでクリックすると、上記の条件をクリアすることができる。上記の条件入力を補助するために、検索ボタン6146を使用することができる。検索ボタン6146をマウスでクリックすると、右に検索結果一覧表6152が表示される。検索結果一覧表6152には、取引先コード、取引先名、仮名表記の取引先名の一覧表が表示される。利用者は、検索結果一覧表6152の中から所望の取引先を選択することができる。具体的には、取引先コードのボタン6153をマウスでクリックすることにより、そのボタンに対応する取引先コード、取引先名、仮名表記の取引先名が、左の条件入力エリア6141に自動的に入力及び表示される。利用者は、一覧表6152の中から取引先を選択することにより、容易に条件入力エリア6141に条件を入力することができる。

【0234】

次に、「取引先カードを見る」のボタン6161をマウスでクリックすると、図91のステップSFB2で上記の条件を満たす取引先カード情報を検索し、ステップSFB3で図95に示す取引先カード閲覧画面を表示する。一方、図94の「ログアウト」のボタン6162をマウスでクリックすると、調達情報システムは終了する。

【0235】

図95は、取引先カード閲覧画面を示す。表示エリア6112～6114の表示は上記と同様である。条件表示エリア6179には、上記の条件入力画面で入力した取引先コード、取引先名、仮名表記の取引先名が表示される。また、画面

の中央部には、取引先カードをイメージスキャナで読み取った画像 6 1 8 1 が表示される。取引先カードの画像 6 1 8 1 は、上記の条件入力画面で入力された取引先の取引先カードの画像である。その取引先カードには、作成年月日、作成者、取引先コード、会社名、本社代表電話番号、FAX 番号、本社所在地、資本金、従業員数、代表者、株主名、役員、沿革、所在地の地図等が記載されている。取引先カードには、取引先の所在地の地図等が記載されているので、紙媒体の取引先カードをイメージスキャナで読み取った画像情報を利用者に提供する価値が高い。また、紙媒体の利便性を考慮すると、紙媒体を基にした画像情報を使用する価値は高い。また、取引先カードの情報をコンピュータのオンライン通信により取引先から受信してもよい。ただし、コンピュータ通信設備が整っていない取引先がある場合には、紙媒体の取引先カードを取引先から受け取る方法が好ましい。

【 0 2 3 6 】

年度エリア 6 1 7 7 には、その取引先カードが登録された年度が表示される。取引先カードは、毎年、更新されたものが取引先から提出される。したがって、各取引先について各年毎に複数の取引カードが存在し得る。年度エリア 6 1 7 7 に年度を入力すると、入力した年度の取引先カードの画像 6 1 8 1 が表示される。年度エリア 6 1 7 7 に他の年度を入力すると、図 9 1 のステップ S F B 4 を介してステップ S F B 5 へ進み、取引先（取引先コード）を基に検索するのではなく、法人（法人コード）を基に取引先カードの検索を行う。その理由を説明する。1 つの法人コードに複数の取引先コードが所属する場合、すなわち、例えば 1 つの会社（法人）に複数の事業所（取引先）が所属する場合に、その複数の取引先について 1 つの取引先カードしかない場合がある。また、会社の事業所組織が変更することがある。例えば、図 9 6 に示すように、1 9 9 7 年の A 会社（法人）には、3 つの取引先である A 事業所と B 事業所と C 事業所とが存在していたとする。しかし、1 9 9 8 年には、C 事業所がなくなり、D 事業所が新たに設立する場合がある。すなわち、1 9 9 8 年の A 会社は、A 事業所と B 事業所と D 事業所の 3 つの取引先が存在する。この場合、1 9 9 8 年の D 事業所の取引先カードを表示している状態で、年度を 1 9 9 7 年に切り換えると D 事業所が存在しない

ことになってしまい、不都合が生じる。そこで、この場合には、D事業所の法人コード（A会社）を基に、年度を切り換えて検索を行い、1997年のA会社の取引先カードを表示することとする。検索後は、図91のステップSFB3へ戻って、取引先カードの表示を行う。

【0237】

図95において、検索画面ボタン6171、先頭頁ボタン6172、前頁ボタン6173、次頁ボタン6174、最終頁ボタン6175、拡大／縮小ボタン6176、ログアウトボタン6178をマウスでクリックしたときには、図91のステップSFB4を介してステップSFB6へ進み、各ボタンの処理を行う。検索画面ボタン6171をクリックすると、図91のステップSFB1へ戻り、図94の検索画面を表示する。先頭頁ボタン6175をクリックすると、全ての取引先カードの中の先頭の取引先カードを表示する。前頁ボタン6173をクリックすると、前頁の取引先カードを表示する。次頁ボタン6174をクリックすると、次頁の取引先カードを表示する。最終頁ボタン6175をクリックすると、全ての取引先カードの中の最終の取引先カードを表示する。拡大／縮小ボタン6176をクリックすると、取引先カードの画像6181の拡大表示と縮小表示とを切り換えることができる。ログアウトボタン6178をクリックすると、調達情報システムを終了する。

【0238】

以上のように、取引を開始する際には、取引先に取引先カードの内容を記載して提出してもらう。取引を継続する場合には、毎年、取引先カードを更新記入して提出してもらう。それらの取引先カードは、イメージスキャナで読み取り、画像情報を生成し、データベース7aに登録する。自社内の利用者は、取引先カード情報システムを利用することにより、所望の取引先の取引先カードを閲覧し、取引先カードに記載されている取引先情報を知ることができる。取引先カードは、取引先カード情報システム7により一括管理され、各利用者がそれぞれ所持する必要がなくなる。

【0239】

[8. 取引先マップシステム]

図 9 7 は、図 1 に示す取引先マップシステム（地図情報提供システム） 8 の構成を示すブロック図である。取引先マップシステム 8 は、Web サーバ 7 0 0 1、運用マシン 7 0 0 2、及び各拠点のコンピュータ 7 0 0 5 を有する。運用マシン 7 0 0 2 は、データベース 8 a、SQL サーバ 7 0 0 3 及び Map Info サーバ 7 0 0 4 を有する。

【 0 2 4 0 】

取引先 7 0 1 1 は、工場情報（工場を受け持つ自己（取引先）の情報を含む）を記載した調査表を取引先マップシステム 8 に供給する。各拠点のコンピュータ 7 0 0 5 は、例えば担当者が扱う標準パーソナルコンピュータである。上記の調査表の工場情報を各拠点のコンピュータ 7 0 0 5 に入力し、電子データの工場情報を生成する。各拠点のコンピュータ 7 0 0 5 は、工場情報を運用マシン 7 0 0 2 に供給する。なお、取引先 7 0 1 1 が、直接、運用マシン 7 0 0 2 に電子データの工場情報を供給してもよい。

【 0 2 4 1 】

SQL サーバ 7 0 0 3 は、上記の工場情報をデータベース 8 a に登録する。データベース 8 a には、工場情報の他に、地図情報及び貸与資産情報が記憶されている。工場情報と地図情報は、関連付けられて記憶される。すなわち、各工場は、地図上の何処に位置するのかが分かるようになっている。SQL サーバ 7 0 0 3 は、データベース 8 a 内の工場情報及び貸与資産情報の登録及び検索等の管理を行う。Map Info サーバ 7 0 0 4 は、データベース 8 a 内の地図情報の登録及び検索等の管理を行う。

【 0 2 4 2 】

人事部門のコンピュータ 7 0 1 2 は、人事データを記憶し、そのデータは運用マシン 7 0 0 2 に供給される。人事データは人事異動の情報を含み、取引先マップシステム 8 は、登録された利用者が所属する部門の変更を自動的に行うことができる。また、必要に応じて、その異動した利用者の登録を抹消することができる。

【 0 2 4 3 】

運用マシン 7 0 0 2 は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータ

プログラムに従って、取引先マップシステム 8 を動作させる。Webサーバ 7 0 0 1 は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、統一的な画面表示を行う。Webサーバ 7 0 0 1 は、運用マシン 7 0 0 2 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。運用マシン 7 0 0 2 は、各拠点のコンピュータ 7 0 0 5 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。

【 0 2 4 4 】

利用者のコンピュータ 3 1 は、例えばクライアントとなる標準パーソナルコンピュータであり、Webサーバ 7 0 0 1 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取ることができる。例えば、所定の工場設備を有し、かつ利用者の所属する事業所（工場）の近辺に所在する工場の検索を指示することができる。Webサーバ 7 0 0 1 は、運用マシン 7 0 0 2 を介して、工場を検索し、その工場の工場情報及び地図情報を利用者のコンピュータ 3 1 の画面に表示する。利用者は、所望の工場の工場情報及び地図情報を迅速に得ることができる。

【 0 2 4 5 】

図 9 8 は、データベース 8 a の構成を示す概略図である。データベース 8 a は、工場情報（工場が属する取引先の情報を含む）8 a a、地図情報 8 a b、貸与資産情報 8 a c、利用者情報（利用者 I D、パスワード、利用者所属部門等）8 a d、及びセキュリティ情報 8 a e を有する。工場情報 8 a a と地図情報 8 a b とはリンクして記憶されている。工場情報 8 a a は、業種別及び取引先別の設備情報（製造設備、加工設備、検索設備等の情報）、2 次加工先情報、再外製先（孫受け以降の取引先）情報を含む。

【 0 2 4 6 】

図 9 9 は、取引先マップシステムの処理を示すフローチャートであり、図 2 のステップ S 1 0 の処理に相当する。ステップ S G A 1 では、図 1 0 0 に示すログイン画面を利用者のコンピュータ 3 1（図 9 7）に表示し、利用者 I D の入力及びパスワードの入力を待つ。利用者は、図 1 0 0 のエリア 7 1 0 1 に利用者 I D を入力し、エリア 7 1 0 2 にパスワードを入力することができる。利用者 I D 7 1 0 1 及びパスワード 7 1 0 2 を入力させることにより、セキュリティを強化し

、不正者のログインを防止できる。

【 0 2 4 7 】

利用者はセキュリティ保護のため、パスワード変更ボタン 7 1 0 4 をマウスでクリックすることにより、パスワードの変更を行うことができる。利用者がログインボタン 7 1 0 3 をマウスでクリックすると、入力した利用者 I D 及びパスワードが正しければ、ログインされ、ステップ S G A 2 へ進む。ステップ S G A 2 では、図 1 0 1 に示す登録状況表示画面を表示する。

【 0 2 4 8 】

図 1 0 1 は、登録状況表示画面を示す。マップエリア 7 1 3 1 には、世界地図が画面いっぱいに表示される。地図上の任意の箇所をマウスでクリックすると、クリックされた箇所を中心にして、ズームエリア 7 1 3 2 に入力されたズーム値で地図を拡大して再表示する。日本を拡大すれば、県単位の地図を表示することができる。ズーム値は、例えば 5 0 0 ~ 4 2, 0 0 0 k m である。集計表 7 1 3 3 には、マップエリア 7 1 3 1 に表示されている各地域における業種別の工場数が集計されて表示される。業種は、例えば、モールド、プレス等である。ズーム値に応じて、国別又は県別の集計を表示する。集計値は、マップエリア 7 1 3 1 上の対応する位置に棒グラフで表示される。

【 0 2 4 9 】

検索条件ボタン 7 1 3 4 をマウスでクリックすると、図 9 9 のステップ S G A 4 へ進み、図 1 0 3 に示す検索条件／結果表示画面を表示する。また、経路検索ボタン 7 1 3 5 をマウスでクリックすると、図 9 9 のステップ S G A 1 0 へ進み、図 1 0 9 に示す経路検索（入力）画面を表示する。また、工場（加工先）検索ボタン 7 1 3 6 をマウスでクリックすると、図 9 9 のステップ S G A 3 へ進み、図 1 0 2 に示す工場（加工先）検索画面を表示する。

【 0 2 5 0 】

図 1 0 2 は、図 9 9 に示すステップ S G A 3 の工場（加工先）検索画面を示す。工場名エリア 7 1 4 1 には、検索したい工場名をカタカナで入力する。工場は、取引先の下請け工場に相当する。検索ボタン 7 1 4 2 をマウスでクリックすると、工場名エリア 7 1 4 1 に入力された工場名を例えば前方一致で検索し、検索

結果エリア 7 1 4 4 に表示する。検索結果エリア 7 1 4 4 には、検索された工場の一覧が表示される。具体的には、検索結果エリア 7 1 4 4 には、工場ナンバー、工場名、工場種類、工場住所、工場連絡先電話番号、取引先コード、取引先名を表示する。ここで、A 製作所（工場）は、B 製作所（取引先）の下請け工場に相当する。すなわち、取引先とその下請け工場の関係を知ることができる。登録状況表示ボタン 7 1 4 3 をマウスでクリックすると、図 9 9 のステップ S G A 2 へ戻り、図 1 0 1 の登録状況表示画面を表示する。

【 0 2 5 1 】

図 1 0 3 は、図 9 9 に示すステップ S G A 4 の検索条件／結果表示画面を示す。検索条件の指定項目として、取引先指定 7 1 5 1、地域指定 7 1 5 2、購入拠点指定 7 1 5 3、業種指定 7 1 5 4、機械設備（製造設備及び加工設備を含む）指定 7 1 5 5、検査設備等の指定 7 1 5 6 を指定することができる。これらの指定により、検索する工場を絞り込むことができる。指定を行わない場合は、全ての工場が検索される。

【 0 2 5 2 】

取引先指定 7 1 5 1 では、「条件なし」、「取引先コード」、「取引先名」のいずれかを指定することができる。地域指定 7 1 5 2 では、「条件なし」、「地域指定」、「基準点指定」のいずれかを指定することができる。「地域指定」は、2 つの地域を O R 条件で指定することができる。「基準点指定」は、基準となる自社の工場から、指定した半径内に所在する工場を検索することができる。その際、スケール（k m）を指定することができる。

【 0 2 5 3 】

購入拠点指定 7 1 5 3 では、購入拠点を指定することができる。納入実績情報を基に検索をすることができる。業種指定 7 1 5 4 には、業種を指定することができる。機械設備指定 7 1 5 5 では、機械設備及びそのスペック（設備能力）を指定することができる。機械設備は、製造設備及び加工設備を含む。機械設備のスペックは、例えば、樹脂モールドの射出成形設備での成形可能なトン数である。検査設備等の指定 7 1 5 6 では、検査設備及びその他の設備を指定することができる。

【 0 2 5 4 】

検索開始ボタン 7 1 5 7 をマウスでクリックすると、上記の指定条件の基に検索を行い、下部の検索結果エリア 7 1 6 5 に検索結果の一覧を表示する。なお、検索条件クリアボタン 7 1 5 8 をマウスでクリックすると上記の指定条件はクリアされ、ヘルプボタン 7 1 5 9 をマウスでクリックすると図 9 9 のステップ S G A 5 へ進み、図 1 0 4 に示すヘルプ画面を表示する。

【 0 2 5 5 】

図 1 0 3 の検索結果エリア 7 1 6 5 には、上記の指定条件を満たす工場が表示される。具体的には、検索結果エリア 7 1 6 5 には、ラジオボタン、工場ナンバー、取引先コード、日系／非日系、取引先名、状況、工場コード、工場名、工場所在地、工場種類、業種を表示する。N e x t ボタン 7 1 6 4 をマウスでクリックすると、現在表示している 1 0 工場の次の 1 0 工場を表示する。前の 1 0 工場が存在する場合には、P r e v ボタンが表示され、その P r e v ボタンをマウスでクリックすると、前の 1 0 工場を表示する。

【 0 2 5 6 】

地図表示ボタン 7 1 6 0 をマウスでクリックすると、図 9 9 のステップ S G A 6 へ進み、図 1 0 5 に示す地図表示画面を表示する。また、地図全体表示ボタン 7 1 6 1 をマウスでクリックすると、同じく、ステップ S G A 6 へ進み、図 1 0 5 に示す地図全体表示の地図表示画面を表示する。また、工場情報ボタン 7 1 6 2 をマウスでクリックすると、ステップ S G A 7 へ進み、図 1 0 6 に示す工場情報画面を表示する。また、経路検索ボタン 7 1 6 3 をマウスでクリックすると、ステップ S G A 9 へ進み、図 1 0 8 に示す経路検索（選択）画面を表示する。

【 0 2 5 7 】

図 1 0 4 は、図 9 9 に示すステップ S G A 5 のヘルプ画面を示す。ヘルプ画面には、ステップ S G A 4 の検索条件／結果表示画面（図 1 0 3 ）での検索条件指定方法の説明が表示される。「戻る」のボタン 7 1 7 0 をマウスでクリックすると、図 9 9 のステップ S G A 4 へ戻り、図 1 0 3 の検索条件／結果表示画面を表示する。

【 0 2 5 8 】

図 1 0 5 は、図 9 9 に示すステップ S G A 6 の地図表示画面を示す。マップエリア 7 1 7 1 には、図 1 0 3 の検索条件／結果表示画面において地図表示ボタン 7 1 6 0 又は地図全体表示ボタン 7 1 6 1 がクリックされた場合に、該当する工場の位置を示す地図が表示される。基準点が指定されている場合には、基準となる工場を中心にしてズーム値を 5 k m にして表示する。スケールが指定されている場合には、基準となる工場を中心にして指定されたスケールで円を表示する。基準点の指定がない場合には、指定された工場を中心にしてズーム値を 5 k m にして地図を表示する。地図全体表示ボタン 7 1 6 1 (図 1 0 3) がクリックされた場合には、検索されたすべての工場を表示する。

【 0 2 5 9 】

ズームエリア 7 1 7 4 には、例えば、0. 5 ~ 4 0, 0 0 0 k m の範囲でズーム値を入力することができる。スケールエリア 7 1 7 5 には、図 1 0 3 の検索条件／結果表示画面の「指定地域」でスケールが指定された場合には、そのスケール値を表示する。マップエリア 7 1 7 1 には、そのスケールの円を表示する。

【 0 2 6 0 】

マップエリア 7 1 7 1 内の任意の箇所がクリックされると、クリックされた箇所を中心にして所定の半径の円を表示し、その円の中に工場があるか否かを検索して表示する。そして、工場がマウスでクリックされて選択された場合には、図 9 9 のステップ S G A 7 へ進み、図 1 0 6 の工場情報画面を表示する。一方、工場が選択されなかった場合には、クリックされた箇所を中心にして、指定されたズーム値で地図を再表示する。

【 0 2 6 1 】

「初期表示に戻す」のボタン 7 1 7 2 をマウスでクリックすると、上記の初期のマップエリア 7 1 7 1 を再表示する。「検索条件」ボタン 7 1 7 3 をマウスでクリックすると、図 9 9 のステップ S G A 4 へ戻り、図 1 0 3 の検索条件／結果表示画面を表示する。

【 0 2 6 2 】

図 1 0 6 は、図 9 9 に示すステップ S G A 7 の工場情報画面を示す。工場情報画面には、取引先概要 7 1 8 1、工場概要 7 1 8 2、及び工場設備 7 1 8 3 が表

示される。取引先概要 7 1 8 1 には、調査日、更新日、取引先コード、取引先名称、日系／非日系、グローバル協力会の加盟／非加盟、会社状況、本社郵便番号、本社住所、国籍、調査事業所名、資本金、上場区分、下請け区分、ホームページURL、営業担当者名、営業担当者役職、営業担当者電話番号、営業担当者FAX番号、営業担当者E-mailを表示する。

【 0 2 6 3 】

工場概要 7 1 8 2 には、調査日、更新日、工場コード、工場名称、工場種類、日系／非日系、資本金、工場郵便番号、工場住所、工場所在地、工場連絡先電話番号、従業員数、工場連絡先FAX番号、主要納入品目、業種、納入実績を表示する。

【 0 2 6 4 】

工場設備 7 1 8 3 には、設備番号、設備種類、機械種類、スペック（モールド及びプレスの場合はトン数、挽物及びヘッダーの場合はmm）、プレス機械仕様、機械設備メーカー名、機械型式、設備台数を表示する。

【 0 2 6 5 】

検索条件ボタン 7 1 8 4 をマウスでクリックすると、図 9 9 のステップ SGA 4 へ戻り、図 1 0 3 の検索条件／結果表示画面を表示する。また、2次加工ボタン 7 1 8 5 をマウスでクリックすると、図 9 9 のステップ SGA 8 へ進み、図 1 0 7 に示す2次加工画面を表示する。

【 0 2 6 6 】

図 1 0 7 は、図 9 9 に示すステップ SGA 8 の2次加工画面を示す。2次加工画面には、取引先概要 7 1 9 1、工場概要 7 1 9 2、2次加工及び加工可能特殊材料 7 1 9 3 を表示する。取引先概要 7 1 9 1 には、図 1 0 6 に示す取引先概要 7 1 8 1 と同様の項目を表示する。工場概要 7 1 9 2 には、図 1 0 6 に示す工場概要と同様の項目を表示する。2次加工及び加工可能特殊材料 7 1 9 3 には、2次加工分類名（PX（プレス）、PX材料等）、2次加工名（スポット溶接、アーク溶接等）を表示する。表中の○印は自工場で加工実績があることを示し、△印は自工場以外でのみ加工実績があることを示し、◎印は両方加工実績があることを示す。検索条件ボタン 7 1 9 4 をマウスでクリックすると、図 9 9 のステッ

プ S G A 4 へ戻り、図 1 0 3 の検索条件／結果表示画面を表示する。

【 0 2 6 7 】

図 1 0 8 は、図 9 9 に示すステップ S G A 9 の経路検索（選択）画面を示す。経路検索（選択）画面には、目的拠点 7 2 0 1 及び出発拠点 7 2 0 2 を表示する。目的拠点 7 2 0 1 には、図 1 0 3 の検索条件／結果表示画面において「基準点指定」が指定されている場合には、その拠点を表示する。「基準点指定」が指定されていない場合には、所定の拠点名を表示する。出発拠点 7 2 0 2 には、検索された工場のトータル件数（T o t a l）、チェックボックス、検索された工場の番号（N o）、業種、取引先コード、取引先コード、取引先名、工場名を表示する。目的拠点 7 2 0 1 には、所望の目的拠点（例えば自社の工場）を入力又は選択することができる。出発拠点 7 2 0 2 には、上記のチェックボックスをチェックすることにより、所望の出発拠点（取引先の下請け工場）を選択することができる。

【 0 2 6 8 】

経路検索ボタン 7 2 0 3 をマウスでクリックすると、上記のチェックボックスのチェック状態を判定し、1 つもチェックされていない場合にはエラーメッセージを表示し、1 つ以上チェックされている場合には、図 9 9 のステップ S G A 1 1 へ進み、図 1 1 0 に示す経路表示画面を表示する。一方、図 1 0 8 の検索条件ボタン 7 2 0 4 をマウスでクリックすると、図 9 9 のステップ S G A 4 へ戻り、図 1 0 3 の検索条件／結果表示画面を表示する。

【 0 2 6 9 】

図 1 0 9 は、図 9 9 に示すステップ S G A 1 0 の経路検索（入力）画面を示す。経路検索（入力）画面には、経路検索（入力） 7 2 1 1 及び取引先コード検索 7 2 1 4 を表示する。経路検索（入力） 7 2 1 1 には、目的拠点及び出発拠点（取引先コード及び工場コード）を入力することができる。目的拠点及び出発拠点は、図 1 0 8 に示す目的拠点 7 2 0 1 及び出発拠点 7 2 0 2 と同様である。

【 0 2 7 0 】

経路検索ボタン 7 2 1 2 をマウスでクリックすると、上記で入力された目的拠点、取引先コード、工場コードを基に経路を検索し、図 9 9 のステップ S G A 1

1へ進み、図110の経路表示画面を表示する。また、登録状況表示ボタン7213をマウスでクリックすると、図99のステップSGA2へ戻り、図101の登録状況表示画面を表示する。

【0271】

取引先コード検索7214において、取引先名称7215又は取引先コード7216のいずれかのラジオボタンをクリックして、取引先名称7215又は取引先コード7216を入力する。次に、取引先検索ボタン7217をマウスでクリックすると、取引先名称7215又は取引先コード7216を基にその取引先に属する工場を検索し、検索結果エリア7218に表示する。この検索結果エリア7218には、検索結果として、取引先コード、取引先名、工場コード、工場名を表示する。検索結果エリア7218を参照することにより、経路検索（入力）7211の取引先コード及び工場コードを簡便に入力することができる。

【0272】

図110は、図99に示すステップSGA11の経路表示画面を示す。マップエリア7221には、図108の経路検索（選択）画面又は図109の経路検索（入力）画面で指定した目的拠点工場及び各出発拠点工場がすべて表示されるズームで地図が表示される。また、マップエリア7221には、各出発拠点工場から目的拠点工場までの経路を赤い実線で表示し、その間の車での経路距離と所要時間をその経路上に表示する。

【0273】

ズームエリア7224には、例えば0.5～3, 000kmの範囲でズーム値を入力することができる。マップエリア7221内の任意の箇所をマウスでクリックすると、クリックされた箇所を中心にしてズームエリア7224で入力されたズーム値で地図を再表示する。

【0274】

「初期表示に戻す」のボタン7222をマウスでクリックすると、ズーム値を入力する前の初期のマップエリア7221の表示に戻る。「検索条件」ボタン7223について説明する。図99のステップSGA9の経路検索（選択）画面からステップSGA11の経路表示画面に遷移した場合、「検索条件」ボタン72

23 をマウスでクリックすると、ステップ SGA4 に戻り、図 103 の検索条件／結果表示画面を表示する。一方、図 99 のステップ SGA10 の経路検索（入力）画面からステップ SGA11 の経路表示画面に遷移した場合、「検索条件」ボタン 7223 をマウスでクリックすると、ステップ SGA2 に戻り、図 101 の登録状況表示画面を表示する。

【0275】

次に、貸与資産の所在情報について説明する。例えば、モールド加工に使用する型が貸与資産であり、取引先又は工場に貸与される。例えば、取引先等が倒産しそうなときには、貸与資産を回収する必要があるため、貸与資産の所在情報を把握しておくことは重要である。型（貸与資産）の番号、モールド加工に使用する原材料の部番、モールド加工により完成された部品の部番、モールド加工を行った工場の工場コード、取引先の取引先コードをデータベース 8a に登録しておくことにより、その型の所在情報を検索して、その型が所在する地図上の位置を利用者に提供することができる。利用者は、その所在情報を基に、必要な貸与資産を直ちに回収することができる。

【0276】

また、地震等の災害が発生した場合には、その周辺の工場は機能しなくなる可能性が高い。その場合、災害発生地点を基準地点として、その所定半径以内の工場を検索することにより、被害を被る可能性のある工場の情報を探し出し、災害対策をたてることができる。

【0277】

以上のように、工場情報（取引先情報を含む）と地図情報をリンクしてデータベースに記憶させることにより、工場情報を基に地図情報を知ることができ、また、地図情報を基に工場情報を知ることができる。例えば、工場の位置情報や工場の設備情報を基に工場の検索を行い、検索条件を満たす工場を利用者に知らせることができる。また、出発拠点から目的拠点までの経路を地図上で示し、その経路の距離及び所要時間を知らせることができる。

【0278】

[9. 取引先売込みシステム]

図 1 1 1 は、図 1 に示す取引先売込みシステム 9 の構成を示すブロック図である。取引先売込みシステム 9 は、Web サーバ 8 0 0 1、アプリケーションサーバ 8 0 0 2、Web 用データベースサーバ 8 0 0 3、運用マシン 8 0 0 4、変換用データベースサーバ 8 0 0 5、メールサーバ 8 0 0 6、及び管理者のコンピュータ 8 0 0 7 を有する。データベースサーバ 8 0 0 3 は、データベース 9 a を有する。

【 0 2 7 9 】

各取引先のコンピュータ 8 0 1 1 は、取引先売込みシステム 9 の利用申請書を管理者のコンピュータ 8 0 0 7 に送信する。管理者のコンピュータ 8 0 0 7 は、その利用申請に応じて、取引先売込みシステム 9 に基づいて売込みを行うためのセットアッププログラムを取引者のコンピュータ 8 0 1 1 に提供（送信）する。取引者のコンピュータ 8 0 1 1 は、そのセットアッププログラムをインストールすることにより、自己（取引先）の売込み情報を運用マシン 8 0 0 4 に送信することができる。売込み情報は、例えば、最新部品情報や代替部品情報や担当者情報等である。運用マシン 8 0 0 4 は、売込み情報を受信すると、データベースサーバ 8 0 0 3 内のデータベース 9 a に売込み情報を登録する。また、運用マシン 8 0 0 4 が新たな売込み情報を受信すると、メールサーバ 8 0 0 6 は利用者のコンピュータ 3 1 に最新売込み情報の到着をメールにて知らせる。

【 0 2 8 0 】

人事部門のコンピュータ 8 0 1 2 は、人事データを記憶し、そのデータは運用マシン 8 0 0 4 に供給される。人事データは人事異動の情報を含み、取引先売込みシステム 9 は、登録された利用者が所属する部門の変更を自動的に行うことができる。また、必要に応じて、その異動した利用者の登録を抹消することができる。

【 0 2 8 1 】

データベースサーバ 8 0 0 3 は、データベース 9 a に対して登録、検索、削除等の管理を行う。運用マシン 8 0 0 4 は、売込み情報を取引先のコンピュータ 8 0 1 1 から受信すると、必要に応じて、データベース 9 a の更新処理を変更用データベースサーバ 8 0 0 5 に指示する。変換用データベース 8 0 0 5 は、更新処

理を行い、ログファイルを作成し、データ転送を運用マシン 8 0 0 4 に依頼する。運用マシン 8 0 0 4 は、それに応じて、データベース 8 0 0 3 内のデータベース 9 a を更新する。

【 0 2 8 2 】

アプリケーションサーバ 8 0 0 2 は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、取引先売込みシステム 9 を動作させる。Webサーバ 8 0 0 1 は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って、統一的な画面表示を行う。Webサーバ 8 0 0 1 は、アプリケーションサーバ 8 0 0 2 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。アプリケーションサーバ 8 0 0 2 は、データベースサーバ 8 0 0 3 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取る。

【 0 2 8 3 】

利用者のコンピュータ 3 1 は、例えばクライアントとなる標準パーソナルコンピュータであり、Webサーバ 8 0 0 1 に対して、種々のリクエストをし、そのレスポンスを受け取ることができる。利用者のコンピュータ 3 1 は、例えば、所望の売込み情報を検索し、閲覧することをWebサーバ 8 0 0 1 に指示することができる。Webサーバ 8 0 0 1 は、アプリケーションサーバ 8 0 0 2 を介して、データベース 9 a 内の売込み情報を検索し、その売込み情報を利用者のコンピュータ 3 1 の画面に表示する。利用者は、所望の売込み情報を迅速に得ることができる。また、利用者のコンピュータ 3 1 は、その売込み情報を基に、取引先のコンピュータ 8 0 1 1 にメールを送信したり、取引先のホームページにアクセスして表示することができる。

【 0 2 8 4 】

図 1 1 2 は、データベース 9 a の構成を示す概略図である。データベース 9 a は、部品売込み情報 9 a a、代替部品情報 9 a b、耳寄り情報 9 a c、担当者情報 9 a d を含む売込み情報の他、利用者情報（利用者 I D、パスワード、利用者所属部門等） 9 a e 及びセキュリティ情報 9 a f を有する。

【 0 2 8 5 】

図 1 1 3 は、取引先のコンピュータ 8 0 1 1（図 1 1 1）における取引先売込

み情報登録処理を示すフローチャートである。ステップSHA1では、図114に示すメニュー画面を表示する。メニュー項目として、「1. 電子部品情報」、「2. 耳寄り情報」、「3. 担当者情報」が表示される。電子部品情報の登録ボタン8131をマウスでクリックすると、図113のステップSHA2へ進み、図115に示す部品情報登録画面を表示する。また、耳寄り情報の登録ボタン8132をマウスでクリックすると、図113のステップSHA5へ進み、図118に示す耳寄り情報登録画面を表示する。また、担当者情報の登録ボタン8133をマウスでクリックすると、図119の担当者情報登録画面を表示する。その後、送信ボタン8134をマウスでクリックすると、図111の取引者のコンピュータ8011から運用マシン8004に上記の3つの項目の売込み情報のうちの登録したものが送信される。終了ボタン8135をマウスでクリックすると、処理は終了する。なお、上記の電子部品情報は、部品情報の一例であり、メカ部品等の他の部品情報や原材料情報に適用することができる。

【0286】

図115は、図113に示すステップSHA2の部品情報登録画面を示す。部品情報登録画面では、部品情報8141、原産国8142、日程情報8143、紹介文8144を登録することができる。部品情報8141では、タイトル、型名、メーカー、機能分類を入力することができる。原産国8142では、前工程の国、後工程の国、規制物資、製品状態を入力することができる。日程情報8143では、保守日程、廃止日程、サンプル日程、仕様書日程を入力することができる。フラグ8145は、進捗フラグ（送信済み、送信対象、承認待ち、承認却下）及び削除フラグを示す。進捗フラグを「送信対象」に設定して登録すれば、入力した情報は送信可能になる。削除フラグをチェックして送信すれば、登録されている内容を削除することができる。

【0287】

入力情報クリアボタン8149をマウスでクリックすると、上記の入力情報をクリアすることができる。登録ボタン8150をマウスでクリックすると、上記の入力情報を登録することができる。終了ボタン8151をマウスでクリックすると、図113のステップSHA1へ戻り、図114のメニュー画面を表示する。

。部番情報ボタン 8147 をマウスでクリックすると、図 113 のステップ SHA3 へ進み、図 116 に示す部番情報登録画面を表示する。置換情報ボタン 8148 をマウスでクリックすると、図 113 のステップ SHA4 へ進み、図 117 に示す置換情報登録画面を表示する。

【0288】

図 116 は、図 113 に示すステップ SHA3 の部番情報登録画面を示す。部番情報登録画面では、部品情報 8161、我社内部番情報 8162、商品情報 8163、参考価格／月 8164 を登録することができる。部品情報 8161 では、タイトル、型名、メーカー、機能分類を入力することができる。我社内部番情報 8162 では、部番及び寸法を入力することができる。商品情報 8163 では、パッケージ、品質規格情報、生産情報、納期情報、納入梱包形態、環境配慮、通貨、数量単位を入力することができる。フラグ 8145 は、進捗フラグ（送信済み、送信対象、承認待ち、承認却下）及び削除フラグを示す。

【0289】

入力情報クリアボタン 8149 をマウスでクリックすると、上記の入力情報をクリアすることができる。登録ボタン 8150 をマウスでクリックすると、上記の入力情報を登録することができる。終了ボタン 8151 をマウスでクリックすると、図 113 のステップ SHA1 へ戻り、図 114 のメニュー画面を表示する。部品情報ボタン 8146 をマウスでクリックすると、図 113 のステップ SHA2 へ戻り、図 115 に示す部品情報登録画面を表示する。置換情報ボタン 8148 をマウスでクリックすると、図 113 のステップ SHA4 へ進み、図 117 に示す置換情報登録画面を表示する。

【0290】

図 117 は、図 113 に示すステップ SHA4 の置換情報（代替品情報）登録画面を示す。置換情報登録画面では、部品情報 8171、置換情報 8172 を登録することができる。部品情報 8171 では、タイトル、型名、メーカー、機能分類を入力することができる。置換情報（代替品情報）8172 では、置換可能な型名、メーカー名称、置換条件を入力することができる。取引者は、他メーカーの部品や製品に置換可能な部品や製品を売込むことができる。フラグ 8145

は、進捗フラグ（送信済み、送信対象、承認待ち、承認却下）及び削除フラグを示す。

【0291】

入力情報クリアボタン8149をマウスでクリックすると、上記の入力情報をクリアすることができる。登録ボタン8150をマウスでクリックすると、上記の入力情報を登録することができる。終了ボタン8151をマウスでクリックすると、図113のステップSHA1へ戻り、図114のメニュー画面を表示する。部品情報ボタン8146をマウスでクリックすると、図113のステップSHA2へ戻り、図115に示す部品情報登録画面を表示する。部番情報ボタン8147をマウスでクリックすると、図113のステップSHA3へ進み、図116に示す部番情報登録画面を表示する。

【0292】

図118は、図113に示すステップSHA5の耳寄り情報登録画面を示す。耳寄り情報登録画面では、耳寄り情報8181を登録することができる。耳寄り情報8181では、情報内容、対象期間、タイトル、詳細内容、ホームページアドレス、情報削除希望年月を入力することができる。上記の情報内容としては、新製品の紹介の他、会社近況／トピックス、定期刊行誌／カタログ、展示会／研究会開催案内、最新技術情報（固有技術）、新規設備紹介、生産／販売状況、市場動向（逼迫、余剰部品）、環境保証対応等を選択（入力）することができる。登録ボタン8150をマウスでクリックすると、上記の入力情報を登録することができる。終了ボタン8151をマウスでクリックすると、図113のステップSHA1へ戻り、図114のメニュー画面を表示する。

【0293】

図119は、図113に示すステップSHA6の担当者情報登録画面を示す。担当者情報登録画面では、担当者情報8191、我社内の担当地区及び事業8192、我社に対しての主要取扱品目8193、取扱メーカー8194、コメント8195を登録することができる。担当者情報8191では、担当者の氏名、Eメール（電子メール）アドレス、役職名、担当者コード、所属部署名、連絡先の住所、電話番号、FAX番号、ホームページアドレスを入力することができる。

フラグ 8 1 9 6 は、送信フラグ（送信対象、送信済み）及び削除フラグを示す。登録ボタン 8 1 5 0 をマウスでクリックすると、上記の入力情報を登録することができる。終了ボタン 8 1 5 1 をマウスでクリックすると、図 1 1 3 のステップ S H A 1 へ戻り、図 1 1 4 のメニュー画面を表示する。

【 0 2 9 4 】

図 1 2 0 は、取引先から売込み情報を受信した際の取引先売込みシステム 9 の処理を示すフローチャートである。ステップ S H B 1 では、上記の取引先が登録して送信した売込み情報を運用マシン 8 0 0 4（図 1 1 1）が受信する。ステップ S H B 2 では、運用マシン 8 0 0 4 がデータベース 8 0 0 3 内のデータベース 9 a に、受信した売込み情報を登録する。ステップ S H B 3 では、運用マシン 8 0 0 4 が、毎日、取引先売込みシステム 9 の管理者のコンピュータ 8 0 0 7（図 1 1 1）に、何件の売込み情報の受信があったかをメールで知らせる。また、運用マシン 8 0 0 4 は、利用者のコンピュータ 3 1（図 1 1 1）に、新たに提供された売込み情報の概要をメールで知らせる。各利用者は、メールで受け取る情報の種類を指定することができる。例えば、電子部品の担当者は、メカ部品の情報は不要であり、電子部品の情報のみをメールで受け取ることができる。利用者は、そのメールにより、最新の売込み情報の概要を知り、その詳細は、次に示す取引先売込みシステム 9 にアクセスして知ることができる。

【 0 2 9 5 】

図 1 2 1 は、利用者がアクセスした際の取引先売込みシステム 9 の処理を示すフローチャートである。利用者のコンピュータ 3 1（図 1 1 1）が取引先売込みシステム 9 にアクセスすると、取引先売込みシステム 9 は以下の処理を行う。ステップ S H C 1 では、図 1 2 2 に示すログイン画面を利用者のコンピュータ 3 1（図 1 1 1）に表示し、利用者 I D の入力及びパスワードの入力を待つ。利用者は、図 1 2 2 のエリア 8 2 0 1 に利用者 I D を入力し、エリア 8 2 0 2 にパスワードを入力することができる。利用者 I D 8 2 0 1 及びパスワード 8 2 0 2 を入力させることにより、セキュリティを強化し、不正者のログインを防止できる。

【 0 2 9 6 】

利用者はセキュリティ保護のため、パスワード変更ボタン 8 2 0 4 をマウスで

クリックすることにより、パスワードの変更を行うことができる。利用者がログインボタン 8 2 0 3 をマウスでクリックすると、入力した利用者 I D 及びパスワードが正しければ、ログインされ、ステップ S H C 2 へ進む。ステップ S H C 2 では、図 1 2 3 に示すメニュー画面を表示する。

【 0 2 9 7 】

図 1 2 3 は、図 1 2 1 にステップ S H C 2 のメニュー画面を示す。表示エリア 8 1 1 1 には、何時の情報であるかが表示される。表示エリア 8 1 1 2 には、ログインユーザ I D (利用者 I D) が表示される。表示エリア 8 1 1 3 には、ログインした年月日が表示される。表示エリア 8 1 1 4 には、ログインした I P アドレスが表示される。この I P アドレスを基に、どの部門の利用者かが分かる。これら表示エリア 8 1 1 2 ~ 8 1 1 4 の表示により、画面をハードコピーした時の出所を特定できるので、外部への情報漏れを防止することができる。すなわち、ハードコピーした利用者の情報が表示されているので、利用者がハードコピーすることを躊躇する効果がある。

【 0 2 9 8 】

メニュー項目 8 2 1 1 として、「1. 部品売り込み最新情報」、「2. 代替部品情報検索」、「3. 耳寄り最新情報」、「4. 取引先担当者最新情報及び情報検索」が表示される。利用者は、この 4 項目の中から所望の項目を選択することができる。項目の 1 番を選択すると、図 1 2 1 のステップ S H C 3 へ進み、部品情報一覧画面を表示する。項目の 2 番を選択すると、図 1 2 1 のステップ S H C 6 へ進み、図 1 2 6 に示す代替部品情報検索画面を表示する。項目の 3 番を選択すると、図 1 2 1 のステップ S H C 9 へ進み、図 1 2 9 に示す耳寄り情報一覧画面を表示する。項目の 4 番では、「取引先担当者最新情報」と「取引先担当者最新検索」の 2 つのうちのいずれかを選択すると、図 1 2 1 のステップ S H C 1 2 へ進み、図 1 3 3 の取引先担当者情報・一覧画面又は図 1 3 2 の取引先担当者検索画面を表示する。

【 0 2 9 9 】

図 1 2 1 のステップ S H C 3 では、部品情報一覧画面を表示する。部品情報一覧画面は、後に示す図 1 2 8 の一覧画面と同様であり、部品情報の一覧を表示す

る。その一覧画面において、部品情報の検索ボタンをマウスでクリックすると、ステップ S H C 4 へ進み、図 1 2 4 に示す部品情報検索画面を表示する。また、所定の部品情報の詳細表示ボタンをマウスでクリックすると、ステップ S H C 5 へ進み、図 1 2 5 に示す部品情報詳細画面を表示する。

【 0 3 0 0 】

図 1 2 4 は、図 1 2 1 に示すステップ S H C 4 の部品情報検索画面を示す。表示エリア 8 1 1 1 ~ 8 1 1 4 の表示は上記と同様である。メニューボタン 8 1 2 1 がクリックされると、図 1 2 3 に示すメニュー画面を表示する。バックページボタン 8 1 2 2 がクリックされると、1 つ前の表示画面に戻る。ログアウトボタン 8 1 2 3 がクリックされると、調達情報システムは終了する。メールボタン 8 1 2 4 がクリックされると、メールの送信又は受信メールの確認等を行うことができる。

【 0 3 0 1 】

検索条件入力エリア 8 2 2 1 には、業種、メーカーコード、メーカー名、型名、機能分類コード、部品状態、規制物資、前工程の原産国、後工程の原産国、取引先コード、取引先名称、我社部番、更新年月日を入力することができる。各項目の「参照」をマウスでクリックすれば、各項目を検索して表示するので、所望の項目を容易に入力することができる。クリアボタン 8 2 2 3 をマウスでクリックすると、上記の入力条件をクリアすることができる。検索ボタン 8 2 2 2 をマウスでクリックすると、上記の入力条件を満たす部品情報を検索し、図 1 2 1 のステップ S H C 3 へ進み、部品情報一覧画面を表示する。部品情報一覧画面において、所定の部品情報の詳細表示を指示すると、図 1 2 1 のステップ S H C 5 へ進み、図 1 2 5 に示す部品情報詳細画面を表示する。

【 0 3 0 2 】

図 1 2 5 は、図 1 2 1 に示すステップ S H C 5 の部品情報詳細画面を示す。表示エリア 8 1 1 1 ~ 8 1 1 4 の表示及びボタン 8 1 2 1 ~ 8 1 2 4 は上記と同様である。部品情報の詳細表示エリア 8 2 3 1 には、タイトル、型名、メーカー、業種、機能分類、情報番号、取引先名称、取引先コード、管理部署名、担当者氏名、担当者コード、前工程の原産国、後工程の原産国、規制物資、製品状態、保

守日程、廃止日程、サンプル日程、仕様書日程、紹介文、我社部番、我社寸法、パッケージを表示する。

【0303】

図126は、図121に示すステップSHC6の代替部品情報検索画面を示す。表示エリア8111～8114の表示及びボタン8121～8124は上記と同様である。検索条件入力エリア8241には、代替検索したい型名、代替検索したい機能分類コード、代替検索したいメーカー名称を入力することができる。クリアボタン8244をマウスでクリックすると、上記の入力条件をクリアすることができる。検索ボタン8243をマウスでクリックすると、上記の入力条件を満たす代替部品を検索し、ステップSHC7へ進み、図128に示す代替部品情報一覧画面を表示する。

【0304】

なお、上記の機能分類コードの「参照」エリア8242をマウスでクリックすると、図121のステップSHC16へ進み、図127に示すコードヘルプ画面を表示する。条件入力エリア8251には、テーブル、検索項目、一致タイプ、検索キーワードを入力することができる。その後、検索ボタン8252をマウスでクリックすると、上記の入力条件を満たす機能分類コード等を検索して表示する。これにより、機能分類コード等の入力が容易になる。機能部類コード以外の項目も検索することができる。

【0305】

図128は、図121に示すステップSHC7の代替部品情報一覧画面を示す。表示エリア8111～8114の表示及びボタン8121～8124は上記と同様である。一覧エリア8266には、上記の入力条件を満たす代替部品情報の一覧を表示する。具体的には、一覧エリア8266には、更新年月日、検索型名、機能分類、メーカー、代替部品の型名、メーカー等を表示する。前リストボタン8261をマウスでクリックすると、現在表示されている代替部品情報の前のリストを表示する。先頭番号エリア8262に表示したい代替部品情報の先頭番号を入力し、ボタン8263をマウスでクリックすると、その先頭番号から代替部品情報を表示する。並び換え項目8264を入力し、ソートボタン8265を

マウスでクリックすると、その項目の順で代替部品情報をソートして表示する。各代替部品情報のボタン8267をマウスでクリックすると、図121のステップSHC8へ進み、図125と同様の代替部品情報詳細画面を表示する。代替部品情報詳細画面は、図125の詳細画面と同様である。また、検索画面ボタン8268をマウスでクリックすると、図121のステップSHC6へ戻り、図126の代替部品情報検索画面を表示する。利用者は、現在使用している部品に代わる有利な部品を探すことができる。

【0306】

図129は、図121に示すステップSHC9の耳寄り情報一覧画面を示す。表示エリア8111～8114の表示及びボタン8121～8124は上記と同様である。一覧エリア8281には、耳寄り情報の一覧を表示する。具体的には、一覧エリア8281には、耳寄り情報の番号、担当者名、更新年月日、業種、タイトル、取引先、情報内容、ホームページアドレス、対象期間（開始日）、対象期間（終了日）を表示する。並び換え項目8284を入力し、ソートボタン8285をマウスでクリックすると、その項目の順で耳寄り情報をソートして表示する。各耳寄り情報の担当者名エリア8283をマウスでクリックすると、その取引先担当者の連絡先を表示する。また、各耳寄り情報の番号ボタン8282をマウスでクリックすると、図121のステップSHC11へ進み、図131に示す耳寄り情報詳細画面を表示する。また、検索画面ボタン8286をマウスでクリックすると、図121のステップSHC10へ進み、図130の耳寄り情報検索画面を表示する。

【0307】

図130は、図121に示すステップSHC10の耳寄り情報検索画面を示す。表示エリア8111～8114の表示及びボタン8121～8124は上記と同様である。条件入力エリア8271には、業種、取引先コード、取引先名、情報内容、タイトル、更新年月日を入力することができる。各項目の「参照」エリア8272をマウスでクリックすることにより、図121のステップSHC16へ進み、コードヘルプ画面（図127）を表示する。また、クリアボタン8275をマウスでクリックすると、上記の入力条件はクリアされる。条件入力後、検

索ボタン8274をマウスでクリックすると、上記の入力条件を満たす耳寄り情報を検索し、図121のステップSHC9へ進み、図129の耳寄り情報一覧画面を表示する。

【0308】

図131は、図121に示すステップSHC11の耳寄り情報詳細画面を示す。表示エリア8111～8114の表示及びボタン8121～8124は上記と同様である。詳細表示エリア8291には、上記で指定された所定の耳寄り情報の詳細を表示する。具体的には、詳細表示エリア8291には、取引先名称、取引先コード、所属部署名、管理部署コード、担当者氏名、担当者コード、業種、情報番号、情報内容、ホームページアドレス、タイトル、詳細文、対象期間（開始日）、対象期間（終了日）、削除希望年月日を表示する。取引先売込みシステム9は、原則として削除希望年月日に、その耳寄り情報をデータベース9aから削除する。検索画面ボタン8292をマウスでクリックすると、図121のステップSHC10へ戻り、図130の耳寄り情報検索画面を表示する。

【0309】

図132は、図121に示すステップSHC12の取引先担当者検索画面を示す。表示エリア8111～8114の表示及びボタン8121～8124は上記と同様である。条件入力エリア8301には、業種、取引先コード、取引先名、取扱メーカーコード、取扱メーカー名称を入力することができる。各項目の「参照」エリア8302をマウスでクリックすると、図121のステップSHC16へ進み、コードヘルプ画面（図127）を表示する。また、クリアボタン8304をマウスでクリックすると、上記の入力条件をクリアする。また、検索ボタン8303をマウスでクリックすると、上記の入力条件を満たす取引先担当者情報を検索し、図121のステップSHC13へ進み、図133に示す取引先担当者一覧画面を表示する。

【0310】

図133は、図121に示すステップSHC13の取引先担当者一覧画面を示す。表示エリア8111～8114の表示及びボタン8121～8124は上記と同様である。一覧エリア8311には、上記の入力条件を満たす取引先担当者

情報の一覧を表示する。具体的には、一覧エリア 8 3 1 1 には、取引先担当者情報の番号、更新年月日、取引先コード、取引先名称、業種、担当者氏名、電話番号、Eメールアドレス、管理者マークを表示する。各担当者情報のEメールアドレスエリア 8 3 1 3 をマウスでクリックすると、図 1 2 1 のステップ S H C 1 7 へ進み、そのEメールアドレス宛のメール送信を行うことができる。また、各担当者情報の番号ボタン 8 3 1 2 をマウスでクリックすると、図 1 2 1 のステップ S H C 1 4 へ進み、図 1 3 4 に示す取引先担当者詳細画面を表示する。また、検索画面ボタン 8 3 1 4 をマウスでクリックすると、図 1 2 1 のステップ S H C 1 2 へ戻り、図 1 3 2 の取引先担当者検索画面を表示する。

【 0 3 1 1 】

図 1 3 4 は、図 1 2 1 に示すステップ S H C 1 4 の取引先担当者詳細画面を示す。表示エリア 8 1 1 1 ~ 8 1 1 4 の表示及びボタン 8 1 2 1 ~ 8 1 2 4 は上記と同様である。詳細表示エリア 8 3 2 1 には、上記で指定された所定の担当者情報の詳細を表示する。具体的には、詳細表示エリア 8 3 2 1 には、業種、取引先名称、取引先コード、所属部署名、管理部署コード、担当者役職名、管理者マーク、担当者氏名、住所、郵便番号、電話番号、F A X 番号、Eメールアドレス、ホームページアドレス、担当地区又は事業所、主要取扱製品、取扱メーカー、コメント、更新年月日、参加申請日を表示する。Eメールアドレスエリア 8 3 2 2 をマウスでクリックすると、図 1 2 1 のステップ S H C 1 7 へ進み、そのEメールアドレス宛にメール送信することができる。また、ホームページアドレスエリア 8 3 2 3 をマウスでクリックすると、図 1 2 1 のステップ S H C 1 5 へ進み、そのホームページアドレスのホームページを表示する。また、検索画面ボタン 8 3 2 4 をマウスでクリックすると、図 1 2 1 のステップ S H C 1 2 へ戻り、図 1 3 2 の取引先担当者検索画面を表示する。

【 0 3 1 2 】

以上のように、取引先は、取引先売込みシステム 9 に対して積極的に売込みを行うことができる。取引先売込みシステム 9 を有する自社の社員は、取引先からの売込み情報を時間的及び距離的制約にとらわれずに閲覧することができる。また、売込み情報を共有化することにより、貴重な情報資源を有意義に活用するこ

とができる。また、自社の社員は、取引先に赴かなくても、最新の動向及び情報を知り、先手の活動を行うことができる。取引先売込みシステム 9 は、取引先の営業活動をも支援するものであり、取引先が売込み情報を登録して送信することにより、全社員に一括して情報を提供することができる。

【 0 3 1 3 】

また、ある部品が生産中止になるとの情報を受け取ったときには、自社内の設計部門の設計図面作成用データベースにその情報を提供すれば、その設計部門では、その部品を今後は使用しないように設計対象からその部品を削除することができる。

【 0 3 1 4 】

なお、上記の売込み情報は、部品情報のみならず、原材料情報及び製品情報にも適用することができる。また、上記では取引先のホームページアドレスを表示し、そのアドレスを指定すると、そのアドレスのホームページを表示する例を示したが、該当する製品案内等が取引先のホームページにあれば、その製品案内等が掲載されているホームページアドレスを表示し、そのアドレスを指定すると、そのアドレスが示す製品案内等のホームページを表示することもできる。

【 0 3 1 5 】

また、インターネットを介して自社と取引のあるところ（契約：有）とまだ取引がないところ別に、情報を登録することができる。さらに、登録時には、自社の誰（事業部門別等）に送りたいのかを指定できるようにすることができる。このインターネットでは、取引先カード情報システム、取引先マップシステム、部品又は製品の型名、メーカー情報、環境情報等も登録、変更、削除できるようにすることができる。

【 0 3 1 6 】

〔 1 0 . 掲示板メールシステム 〕

図 1 3 5 は、図 1 に示す掲示板メールシステム 1 0 の構成を示すブロック図である。掲示板メールシステム 1 0 は、W e b サーバ 9 0 0 1、及びスクリプトサーバ 9 0 0 2 を有し、掲示板情報提供システム及び取引先評価システムに分けることができる。W e b サーバ 9 0 0 1 は、コンピュータプログラムを記憶し、そ

のコンピュータプログラムに従って掲示板情報提供システムを動作させ、第1のサービス9003及び第2のサービス9004を提供する。第1のサービス9003は、電子会議室のサービスを有する。第2のサービス9004は、メンバー表一覧、会議開催案内、議事録一覧、フリートーク、オンラインマニュアル等のサービスを有する。第1のサービス9003及び第2のサービス9004は、部品又は原材料の掲示板情報である。スクリプトサーバ9002は、コンピュータプログラムを記憶し、そのコンピュータプログラムに従って取引先評価システムを動作させ、第3のサービス9005を提供する。第3のサービス9005は、取引先評価のサービスを有する。

【0317】

利用者のコンピュータ31は、Webサーバ9001にアクセスすることにより、第1のサービス（電子会議室）9003を介して他のメンバーとの間で意見交換を行ったり、第2のサービス（メンバー表一覧等）9004を介して種々の資料を閲覧することができる。また、各拠点の利用者のコンピュータ31は、取引先評価シートに各取引先の評価点を入力してスクリプトサーバ9002に送信する。スクリプトサーバ9002は、各拠点から取引先評価シートを受信すると、全拠点の取引先評価シートに入力された評価点を自動集計する。利用者のコンピュータ31は、スクリプトサーバ9002からメール等により各取引先の評価結果を受信したり、スクリプトサーバ9002にアクセスすることにより、各取引先の評価結果を閲覧して活用することができる。

【0318】

図136は、掲示板情報提供システム（Webサーバ9001）の処理を示すフローチャートである。利用者のコンピュータ31（図135）がWebサーバ9001（掲示板情報提供システム）にアクセスすると、掲示板情報提供システムは以下の処理を行う。ステップSIA1では、図139に示すログイン画面を利用者のコンピュータ31に表示し、利用者IDの入力及びパスワードの入力を待つ。利用者は、図139のエリア9101に利用者IDを入力し、エリア9102にパスワードを入力することができる。利用者ID9101及びパスワード9102を入力させることにより、セキュリティを強化し、不正者のログインを

防止できる。

【 0 3 1 9 】

利用者はセキュリティ保護のため、パスワード変更ボタン 9 1 0 4 をマウスでクリックすることにより、パスワードの変更を行うことができる。利用者がログインボタン 9 1 0 3 をマウスでクリックすると、入力した利用者 I D 及びパスワードが正しければ、ログインされ、ステップ S I A 2 へ進む。ステップ S I A 2 では、図 1 4 0 に示すメニュー画面を表示する。

【 0 3 2 0 】

図 1 4 0 は、図 1 3 6 に示すステップ S I A 2 のメニュー画面を示す。表示エリア 9 1 3 1 には、タイトルを表示する。表示エリア 9 1 3 2 には、アクセス件数を表示する。メニューエリア 9 1 3 3 には、選択メニュー項目として、「1. 電子会議室」、「2. メンバー一覧」、「3. 会議開催案内」、「4. 議事録一覧」、「5. フリートーク」、「6. オンラインマニュアル」、「7. サポート窓口」を表示する。各番号を選択すると、ステップ S I A 3 の判断ステップを介して、ステップ S I A 4 ～ S I A 1 0 のいずれかに進む。

【 0 3 2 1 】

1 番を選択すると、ステップ S I A 4 へ進み、電子会議室処理を行う。電子会議室処理は、情報交換を目的とした電子掲示板であり、利用者が自由に書き込みを行うことができ、他の利用者の全員がその書き込み内容を見ることができる。2 番を選択すると、ステップ S I A 5 へ進み、メンバー一覧処理を行う。メンバー一覧処理は、各組織のメンバー表を表示する。3 番を選択すると、ステップ S I A 6 へ進み、会議開催案内処理を行う。会議開催案内処理は、会議開催案内の掲示板情報を提供する。4 番を選択すると、ステップ S I A 7 へ進み、議事録一覧処理を行う。議事録一覧処理は、会議の議事録を保存しておき、利用者の閲覧を可能にする。5 番を選択すると、ステップ S I A 8 へ進み、フリートーク処理を行う。フリートーク処理は、自由な意見交換を目的とした電子掲示板であり、利用者が自由に書き込みを行うことができ、その書き込みを他の利用者の全員が共有することができる。6 番を選択すると、ステップ S I A 9 へ進み、オンラインマニュアル処理を行う。オンラインマニュアル処理は、掲示板情報提供システ

ムの使用方法の取扱説明書をオンラインで提供する。7番を選択すると、ステップS I A 1 0へ進み、サポート窓口処理を行う。サポート窓口処理は、掲示板情報提供システムのサポート窓口への連絡方法を知らせ、Eメール等によりサポート窓口への問い合わせを可能にする。

【 0 3 2 2 】

図 1 3 7 は、図 1 3 6 に示すステップ S I A 4 の電子会議室処理を示すフローチャートである。ステップ S I B 1 では、図 1 4 1 に示す電子会議室のメニュー画面を表示する。表示エリア 9 1 3 1 ～ 9 1 3 3 の表示は上記と同様である。電子会議室の選択メニュー項目として、新規発言 9 1 4 1、カテゴリ別 9 1 4 2、作成者別 9 1 4 3、作成日順 9 1 4 4 を表示する。各項目を選択すると、ステップ S I B 2 の判断ステップを介して、ステップ S I B 3 ～ S I B 6 のいずれかに進む。カテゴリ別 9 1 4 2 を選択すると、ステップ S I B 3 へ進み、カテゴリ別処理を行う。作成者別処理 9 1 4 3 を選択すると、ステップ S I B 4 へ進み、作成者別処理を行う。作成日順 9 1 4 4 を選択すると、ステップ S I B 5 へ進み、作成日順処理を行う。新規発言 9 1 4 1 を選択すると、ステップ S I B 6 へ進み、新規発言処理を行う。

【 0 3 2 3 】

図 1 3 8 は、図 1 3 7 に示すステップ S I B 3 のカテゴリ別処理の詳細を示すフローチャートである。ステップ S I C 1 では、図 1 4 2 に示すカテゴリ別の電子会議室画面を表示する。表示エリア 9 1 3 1 ～ 9 1 3 3 の表示は上記と同様である。カテゴリ別エリア 9 1 5 4 には、カテゴリ別に分類された電子会議室の項目を列挙表示する。入力ボックス 9 1 5 1 に検索したい語句を入力し、検索ボタン 9 1 5 2 をマウスでクリックすると、入力した語句が含まれる文書を持つ電子会議室を検索してカテゴリ別エリア 9 1 5 4 に表示する。カテゴリ別エリア 9 1 5 4 内の所望の電子会議室項目のエリアをマウスでクリックすると、図 1 3 8 のステップ S I C 2 の判断ステップを介してステップ S I C 3 へ進み、図 1 4 3 に示す発言内容画面を表示する。

【 0 3 2 4 】

図 1 4 3 は、図 1 3 8 に示すステップ S I C 3 の発言内容画面を示す。表示エ

リア9131～9133の表示は上記と同様である。発言内容エリア9161には、上記で選択した電子会議室での発言内容を表示する。カテゴリ別エリア9162をマウスでクリックすると、図138のステップSIC1へ戻り、図142のカテゴリ別画面を表示する。また、作成者別エリア9163をマウスでクリックすると、図137のステップSIB4へ進む。また、作成日順エリア9164をマウスでクリックすると、図137のステップSIB5へ進む。また、この電子会議室の文書への返答を行う場合には、レスポンスエリア9165をマウスでクリックすれば、図138のステップSIC4へ進み、図144に示すレスポンス画面を表示する。

【0325】

図144は、図138に示すステップSIC4のレスポンス画面を示す。表示エリア9131～9133の表示は上記と同様である。レスポンス画面では、タイトル9171、作成者9172、返答内容9173を入力することができる。入力後、送信ボタン9177をマウスでクリックすると、その入力した内容を返信（送信）する。なお、カテゴリ別エリア9174をマウスでクリックすると、図138のステップSIC1へ戻り、図142のカテゴリ別画面を表示する。また、作成者別エリア9175をマウスでクリックすると、図137のステップSIB4へ進む。また、作成日順エリア9176をマウスでクリックすると、図137のステップSIB5へ進む。

【0326】

図142のカテゴリ別画面において、新規発言エリア9153をマウスでクリックすると、図138のステップSIC2を介してステップSIC5へ進み、図145に示す新規発言画面を表示する。また、図137のステップSIB6においても、図145に示す新規発言画面を表示する。

【0327】

図145は、新規発言画面を示す。表示エリア9131～9133の表示は上記と同様である。新規発言画面では、必須入力項目9181、入力項目9182、発言内容9183を入力することができる。必須入力項目9181では、タイトル、作成者、カテゴリを入力することができる。入力項目9182では、取引

先コード、取引先名称、メーカーコード、メーカー名称、部番、型名を入力することができる。リセットボタン9185をマウスでクリックすると、入力した内容をリセットすることができる。また、登録ボタン9184をマウスでクリックすると、図138のステップSIC6へ進み、図146に示す登録画面を表示する。

【0328】

図146は、図138に示すステップSIC6の登録画面を示す。表示エリア9131～9133の表示は上記と同様である。上記の登録された発言内容は送信され、約5分後に電子会議室に登録されて反映される。約5分後に再読み込みを行えば、送信した発言内容が電子掲示板に表示される。カテゴリ別エリア9191をマウスでクリックすると、図138のステップSIC1へ戻り、図142のカテゴリ別画面を表示する。また、作成者別エリア9192をマウスでクリックすると、図137のステップSIB4へ進む。また、作成日順エリア9193をマウスでクリックすると、図137のステップSIB5へ進む。

【0329】

以上、図137に示すステップSIB3のカテゴリ別処理の詳細を説明したが、ステップSIB4の作成者別処理及びステップSIB5の作成日順処理は、作成者別及び作成日順に電子会議室を表示する点を除けば、上記のカテゴリ別処理と同様である。

【0330】

図147は、図136に示すステップSIC5のメンバー一覧処理において表示するメンバー表画面を示す。表示エリア9131～9133の表示は上記と同様である。メンバー表画面には、各組織のメンバー表9201を表示する。例えば、メンバー表9201には、メンバー番号、役職、事業所名、所属部名、所属課名、氏名等を表示する。

【0331】

図148は、図136に示すステップSIC6の会議開催案内処理において表示する会議開催案内画面を示す。表示エリア9131～9133の表示は上記と同様である。会議開催案内エリア9213には、会議開催案内の項目を列挙表示

する。具体的には、会議開催案内エリア 9 2 1 3 には、各項目の連絡事項及び発行日付を表示する。入力ボックス 9 2 1 1 に検索したい語句を入力し、検索ボタン 9 2 1 2 をマウスでクリックすると、入力した語句が含まれる文書を持つ会議開催案内を検索して会議開催案内エリア 9 2 1 3 に表示する。会議開催案内エリア 9 2 1 3 内の所望の会議開催案内の項目をマウスでクリックすると、図 1 4 9 に示す会議開催案内の内容画面を表示する。

【 0 3 3 2 】

図 1 4 9 は、会議開催案内の内容画面を示す。表示エリア 9 1 3 1 ~ 9 1 3 3 の表示は上記と同様である。会議開催案内 9 2 2 1 には、例えば、会議開催の日時、場所、議題等の会議開催案内の内容を表示する。この会議開催案内 9 2 2 1 を印刷することもできる。

【 0 3 3 3 】

図 1 5 0 は、取引先評価システムの処理を示すフローチャートである。ステップ S I D 1 では、利用者が取引者の評価シートを入力を要求すると、図 1 5 1 に示す評価シートの入力画面が利用者のコンピュータ 3 1 に表示される。利用者は、評価対象の取引先 9 2 3 1、評価者 9 2 3 2、取引先の評価点 9 2 4 1 を入力する。評価点 9 2 4 1 は、具体的には、品質の評価点 9 2 3 3、コストの評価点 9 2 3 4、納期の評価点 9 2 3 5、対応力（営業力）の評価点 9 2 3 6、技術力の評価点 9 2 3 7 を入力する。対応力の評価点は、例えば図面の設計変更に対応可能であるか否か、又は対応可能である場合の対応力の評価である。評価点 9 2 3 3 ~ 9 2 3 7 は、例えばそれぞれ 1 0 点満点で評価する。また、評価者は、評価点数を入力する他、評価項目をチェックするだけでよく、それらチェック項目を基に自動的に評価点を付けるようにしてもよい。送信ボタン 9 2 3 8 をマウスでクリックすると、図 1 5 0 のステップ S I D 2 へ進み、評価シートをスクリプトサーバ 9 0 0 2（図 1 3 5）に送信する。また、クリアボタン 9 2 3 9 をマウスでクリックすると、上記の入力をクリアすることができる。また、終了ボタン 9 2 4 0 をマウスでクリックすると、処理を終了する。

【 0 3 3 4 】

図 1 5 2 は、スクリプトサーバ 9 0 0 2（図 1 3 5）が行う取引先評価システ

ムの処理を示すフローチャートである。ステップS I E 1では、スクリプトサーバ9 0 0 2が、上記の評価シートを各拠点の利用者のコンピュータ3 1から受信する。ステップS I E 2では、各拠点から受信した評価シートを自動集計し、取引先毎の評価点を算出し、取引先のランキング付けを行う。ステップS I E 3では、利用者の要求に応じて、図1 5 3に示す評価結果画面を利用者のコンピュータ3 1に表示する。評価結果表9 2 5 1には、取引先のランキング、取引先名、総合評価点を表示する。利用者は、他の拠点を含めた各取引先の総合評価を知り、今後の対応を検討することができる。なお、上記の評価結果表9 2 5 1をEメールで利用者のコンピュータ3 1に送信してもよい。

【 0 3 3 5 】

以上のように、掲示板情報提供システムは、電子会議室、メンバー表一覧、会議開催案内、議事録一覧、フリートークを含む部品又は原材料の掲示板情報を利用者に提供することにより、利用者は、種々の情報を共有したり意見交換することができ、種々の情報を迅速に入手することができる。なお、利用者が掲示板情報提供システムにログインすると、利用者が所属する組織毎に、又は利用者が扱う部品又は原材料の種類毎に、別の電子会議室、メンバー表一覧、会議開催案内、議事録一覧、フリートーク、オンラインマニュアル、サポート窓口にアクセスするようにしてもよい。例えば、電子部品とメカ部品に分けることができる。

【 0 3 3 6 】

取引先評価システムは、各拠点における取引先の評価を集計し、取引先毎の総合評価点を算出し、ランキング付けすることにより、取引先の客観的な評価を行うことができる。各拠点の利用者は、他の拠点における各取引先の評価を含めた総合評価を知ることができる。その評価は、今後の取引先との取引における重要な参考資料となる。

【 0 3 3 7 】

以上のように、調達情報システム1 3は、世界中の部品及び原材料を迅速かつ効率良く選定および調達することができる。大企業は、各事業所が異なる取引先又は同一の取引先から異なる単価で部品又は原材料を購入していることがあるが、調達情報システム1 3によれば、各事業所の調達情報を入手し、その調達情報

を基になるべく安く部品又は原材料を購入することができる。また、各事業所の受発注を一括して行うことにより、多量の部品又は原材料を安価で購入することができる。

【 0 3 3 8 】

また、調達情報システム 1 3 は、企業の開発部門において以下の要求を満たすことができる。(1) 他の事業所で使用している部品及び原材料を知りたい。(2) 幅広い情報から最適な部品及び原材料を選択したい。(3) 代替品の情報を入手したい。(4) 新製品情報を早く入手したい。

【 0 3 3 9 】

また、調達情報システム 1 3 は、企業の調達部門において以下の要求を満たすことができる。(1) 各事業所の同一部品及び原材料の購入単価及び取引先を知りたい。(2) 代替品の情報を素早く知りたい。(3) 取引先的能力(例えば生産種類や生産量)及び状況(市況を含めた世の中の動向を含む)を知りたい。(4) 自社グループ全体の購入状況を知りたい。

【 0 3 4 0 】

なお、上記実施例の機能を実現するためのソフトウェアのプログラムコードをシステムに供給し、そのシステムのコンピュータ(CPUあるいはMPU)に格納されたプログラムに従って上記各種デバイスを動作させることによって実施したものも、本発明の範疇に含まれる。

【 0 3 4 1 】

この場合、上記ソフトウェアのプログラムコード自体が上述した実施例の機能を実現することになり、そのプログラムコード自体、およびそのプログラムコードをコンピュータに供給するための手段、例えばかかるプログラムコードを格納した記録媒体は本発明を構成する。かかるプログラムコードを記憶する記録媒体としては、例えばフロッピーディスク、ハードディスク、光ディスク、光磁気ディスク、CD-ROM、磁気テープ、不揮発性のメモリカード、ROM等を用いることができる。

【 0 3 4 2 】

上記実施例は、何れも本発明を実施するにあたっての具体化のほんの一例を示

したものによらず、これらによって本発明の技術的範囲が限定的に解釈されてはならないものである。すなわち、本発明はその精神、またはその主要な特徴から逸脱することなく、様々な形で実施することができる。

【 0 3 4 3 】

【発明の効果】

以上説明したように本発明によれば、部品情報を迅速かつ容易に取得し、部品を迅速かつ効率良く選定および調達することができる。大企業は、各事業所の部品情報を入手し、その部品情報を基になるべく安く部品を購入することができる。また、各事業所の受発注を一括して行うことにより、多量の部品を安価で購入することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の実施例による調達情報システムの構成を示すブロック図である。

【図 2】

本実施例による調達情報システムの処理を示すフローチャートである。

【図 3】

本実施例による電子部品システムの構成を示すブロック図である。

【図 4】

電子部品システムのデータベースの内容を示す概略図である。

【図 5】

電子部品システムの処理を示すフローチャートである。

【図 6】

図 5 に示す部番による検索処理の詳細を示すフローチャートである。

【図 7】

図 6 に示すリンク処理の詳細を示すフローチャートである。

【図 8】

図 5 に示す外部データベース情報検索処理の詳細を示すフローチャートである。

【図 9】

図 5 に示す為替レート情報処理の詳細を示すフローチャートである。

【図 1 0】

ログイン画面を示す図である。

【図 1 1】

メニュー画面を示す図である。

【図 1 2】

部番による検索を行う際の条件入力画面を示す図である。

【図 1 3】

部番による検索結果の一覧画面を示す図である。

【図 1 4】

部番による検索結果の続きの一覧画面を示す図である。

【図 1 5】

部番による検索結果の詳細画面を示す図である。

【図 1 6】

部番による検索結果の続きの詳細画面を示す図である。

【図 1 7】

部番による代替部品の検索結果の一覧画面を示す図である。

【図 1 8】

製品／商品情報画面を示す図である。

【図 1 9】

部番別発注予定情報一覧画面を示す図である。

【図 2 0】

検収単価履歴情報画面を示す図である。

【図 2 1】

型名による検索を行う際の条件入力画面を示す図である。

【図 2 2】

外部データベース情報を検索する際の大分類選択画面を示す図である。

【図 2 3】

外部データベース情報を検索する際の中分類選択画面を示す図である。

【図 2 4】

外部データベース情報を検索する際の条件入力画面を示す図である。

【図 2 5】

外部データベース情報の検索結果の一覧画面を示す図である。

【図 2 6】

外部データベース情報の検索結果の部品情報画面を示す図である。

【図 2 7】

半導体及び液晶市場相場価格画面を示す図である。

【図 2 8】

為替レートの通貨一覧画面を示す図である。

【図 2 9】

為替レート推移画面を示す図である。

【図 3 0】

本実施例による原材料システムの構成を示すブロック図である。

【図 3 1】

原材料システムのデータベースの内容を示す概略図である。

【図 3 2】

原材料システムの処理を示すフローチャートである。

【図 3 3】

図 3 2 に示す材料単価情報処理の詳細を示すフローチャートである。

【図 3 4】

図 3 2 に示す材料使用情報処理の詳細を示すフローチャートである。

【図 3 5】

図 3 3 に示す管理単価情報処理の詳細を示すフローチャートである。

【図 3 6】

図 3 3 に示す海外単価情報処理の詳細を示すフローチャートである。

【図 3 7】

図 3 4 に示す部番別使用情報処理の詳細を示すフローチャートである。

【図 3 8】

図 3 4 に示す部番別材料費明細情報処理の詳細を示すフローチャートである。

【図 3 9】

図 3 2 に示す材質別サマリ情報処理の詳細を示すフローチャートである。

【図 4 0】

図 3 2 に示すスペック情報処理の詳細を示すフローチャートである。

【図 4 1】

図 3 2 に示す色承認情報処理の詳細を示すフローチャートである。

【図 4 2】

ログイン画面を示す図である。

【図 4 3】

メニュー画面を示す図である。

【図 4 4】

管理単価情報処理の検索画面を示す図である。

【図 4 5】

管理単価情報処理の検索結果の一覧画面を示す図である。

【図 4 6】

管理単価情報処理の検索結果の詳細画面を示す図である。

【図 4 7】

海外事業所実買単価情報処理の検索画面を示す図である。

【図 4 8】

海外事業所実買単価情報処理の検索結果の一覧画面を示す図である。

【図 4 9】

海外事業所実買単価情報処理の為替レート画面を示す図である。

【図 5 0】

部番別使用情報処理の検索画面を示す図である。

【図 5 1】

部番別使用情報処理の検索結果画面を示す図である。

【図 5 2】

部番別使用情報処理の製品情報画面を示す図である。

【図 5 3】

部番別材料費明細情報処理の検索画面を示す図である。

【図 5 4】

部番別材料費明細情報処理の検索結果画面を示す図である。

【図 5 5】

部番別材料費明細情報処理の製品情報画面を示す図である。

【図 5 6】

材質別サマリ情報処理の検索画面を示す図である。

【図 5 7】

材質別サマリ情報処理の金額情報画面を示す図である。

【図 5 8】

材質別サマリ情報処理の重量情報画面を示す図である。

【図 5 9】

スペック情報処理の検索画面を示す図である。

【図 6 0】

スペック情報処理の検索結果の一覧画面を示す図である。

【図 6 1】

スペック情報処理の検索結果の詳細画面を示す図である。

【図 6 2】

色承認情報処理の検索画面を示す図である。

【図 6 3】

色承認情報処理の検索結果画面を示す図である。

【図 6 4】

色承認情報処理のコメント画面を示す図である。

【図 6 5】

本実施例によるコストダウンサポートシステムの構成を示すブロック図である。

【図 6 6】

コストダウンサポートシステムのデータベースの内容を示す概略図である。

【図 6 7】

コストダウンサポートシステムの処理を示すフローチャートである。

【図 6 8】

ログイン画面を示す図である。

【図 6 9】

検収データ一覧画面を示す図である。

【図 7 0】

検収データ画面を示す図である。

【図 7 1】

検収データ画面を示す図である。

【図 7 2】

検収データ画面を示す図である。

【図 7 3】

本実施例による調達実績システムの構成を示すブロック図である。

【図 7 4】

調達実績システムのデータベースの内容を示す概略図である。

【図 7 5】

調達実績システムの処理を示すフローチャートである。

【図 7 6】

調達実績検索処理を示すフローチャートである。

【図 7 7】

ログイン画面を示す図である。

【図 7 8】

メニュー画面を示す図である。

【図 7 9】

調達実績検索画面を示す図である。

【図 8 0】

集計方法選択エリアを示す図である。

【図 8 1】

条件入力エリア及び条件入力補助画面エリアを示す図である。

【図 8 2】

調達実績検索結果画面を示す図である。

【図 8 3】

検索条件表示エリアを示す図である。

【図 8 4】

集計結果エリアを示す図である。

【図 8 5】

調達実績データ管理システムの処理を示すフローチャートである。

【図 8 6】

メニュー画面を示す図である。

【図 8 7】

期末処理画面を示す図である。

【図 8 8】

本実施例による取引先カード情報システムの構成を示すブロック図である。

【図 8 9】

取引先カード情報システムのデータベースの内容を示す概略図である。

【図 9 0】

取引先カード情報システムの処理を示すフローチャートである。

【図 9 1】

取引先カード情報検索処理を示すフローチャートである。

【図 9 2】

ログイン画面を示す図である。

【図 9 3】

メニュー画面を示す図である。

【図 9 4】

取引先カード情報検索画面を示す図である。

【図 9 5】

取引先カード情報検索結果画面を示す図である。

【図 9 6】

年度と法人と取引先の関係を示す図である。

【図 9 7】

本実施例による取引先マップシステムの構成を示すブロック図である。

【図 9 8】

取引先マップシステムのデータベースの内容を示す概略図である。

【図 9 9】

取引先マップシステムの処理を示すフローチャートである。

【図 1 0 0】

ログイン画面を示す図である。

【図 1 0 1】

登録状況表示画面を示す図である。

【図 1 0 2】

工場（加工先）検索画面を示す図である。

【図 1 0 3】

検索条件／結果表示画面を示す図である。

【図 1 0 4】

ヘルプ画面を示す図である。

【図 1 0 5】

地図表示画面を示す図である。

【図 1 0 6】

工場情報画面を示す図である。

【図 1 0 7】

2 次加工画面を示す図である。

【図 1 0 8】

経路検索（選択）画面を示す図である。

【図 1 0 9】

経路検索（入力）画面を示す図である。

【図 1 1 0】

経路表示画面を示す図である。

【図 1 1 1】

本実施例による取引先売込みシステムの構成を示すブロック図である。

【図 1 1 2】

取引先売込みシステムのデータベースの内容を示す概略図である。

【図 1 1 3】

取引先売込み情報登録処理を示すフローチャートである。

【図 1 1 4】

メニュー画面を示す図である。

【図 1 1 5】

部品情報登録画面を示す図である。

【図 1 1 6】

部番情報登録画面を示す図である。

【図 1 1 7】

置換（代替）情報登録画面を示す図である。

【図 1 1 8】

耳寄り情報登録画面を示す図である。

【図 1 1 9】

担当者情報登録画面を示す図である。

【図 1 2 0】

取引先売込みシステムの処理を示すフローチャートである。

【図 1 2 1】

取引先売込みシステムの処理を示すフローチャートである。

【図 1 2 2】

ログイン画面を示す図である。

【図 1 2 3】

メニュー画面を示す図である。

【図 1 2 4】

売込み情報検索画面を示す図である。

【図 1 2 5】

売込み情報詳細画面を示す図である。

【図 1 2 6】

代替部品情報検索画面を示す図である。

【図 1 2 7】

コードヘルプ画面を示す図である。

【図 1 2 8】

代替部品情報一覧画面を示す図である。

【図 1 2 9】

耳寄り情報一覧画面を示す図である。

【図 1 3 0】

耳寄り情報検索画面を示す図である。

【図 1 3 1】

耳寄り情報詳細画面を示す図である。

【図 1 3 2】

担当者情報検索画面を示す図である。

【図 1 3 3】

担当者情報一覧画面を示す図である。

【図 1 3 4】

担当者情報詳細画面を示す図である。

【図 1 3 5】

本実施例による掲示板メールシステムの構成を示すブロック図である。

【図 1 3 6】

掲示板情報提供システムの処理を示すフローチャートである。

【図 1 3 7】

電子会議室処理の詳細を示すフローチャートである。

【図 1 3 8】

カテゴリ別処理の詳細を示すフローチャートである。

【図 1 3 9】

ログイン画面を示す図である。

【図 1 4 0】

掲示板情報提供システムのメニュー画面を示す図である。

【図 1 4 1】

電子会議室のメニュー画面を示す図である。

【図 1 4 2】

カテゴリ別画面を示す図である。

【図 1 4 3】

発言内容画面を示す図である。

【図 1 4 4】

レスポンス画面を示す図である。

【図 1 4 5】

新規発言画面を示す図である。

【図 1 4 6】

登録画面を示す図である。

【図 1 4 7】

メンバー一覧画面を示す図である。

【図 1 4 8】

会議開催案内画面を示す図である。

【図 1 4 9】

会議開催案内の詳細画面を示す図である。

【図 1 5 0】

取引先評価システムの処理を示すフローチャートである。

【図 1 5 1】

取引先の評価入力画面を示す図である。

【図 1 5 2】

取引先評価システムの処理を示すフローチャートである。

【図 1 5 3】

取引先評価結果画面を示す図である。

【図 1 5 4】

本実施例による全部番システムの構成を示すブロック図である。

【図 1 5 5】

全部番システムのデータベースの内容を示す概略図である。

【図 1 5 6】

全部番システムの処理を示すフローチャートである。

【図 1 5 7】

ログイン画面を示す図である。

【図 1 5 8】

メニュー画面を示す図である。

【図 1 5 9】

購入（検収）実績最新情報検索画面を示す図である。

【図 1 6 0】

購入（検収）実績最新情報一覧画面を示す図である。

【図 1 6 1】

購入（検収）実績履歴情報画面を示す図である。

【図 1 6 2】

単価経歴最新情報検索画面を示す図である。

【図 1 6 3】

単価経歴最新情報一覧画面を示す図である。

【図 1 6 4】

単価経歴履歴情報画面を示す図である。

【図 1 6 5】

注文予定情報検索画面を示す図である。

【図 1 6 6】

注文予定情報一覧画面を示す図である。

【図 1 6 7】

為替レート最新情報一覧画面を示す図である。

【図 1 6 8】

為替レート履歴情報画面を示す図である。

【図 1 6 9】

コードヘルプ画面を示す図である。

【符号の説明】

- 1 電子部品システム
- 2 原材料システム
- 3 メカ部品システム
- 4 全部番システム
- 5 コストダウンサポートシステム
- 6 調達実績システム
- 7 取引先カード情報システム
- 8 取引先マップシステム
- 9 取引先売込みシステム
- 1 0 掲示板メールシステム
- 1 a ~ 9 a データベース
 - 1 1 部品情報システム
 - 1 2 取引先システム
 - 1 3 調達情報システム
 - 2 1 購買システム
 - 2 2 受発注システム
 - 2 3 生産管理システム
 - 3 1 利用者のコンピュータ
 - 3 2 取引先のコンピュータ
 - 3 3 情報提供者のコンピュータ
 - 3 4 外部データベース
- 1 0 0 1 W e b サーバ
- 1 0 0 2 アプリケーションサーバ
- 1 0 0 3 データベースサーバ
- 1 0 0 4 画像サーバ

1 0 0 5 C Dチェンジャ
1 0 0 6 運用マシン
1 0 0 7 更新用データベースサーバ
1 0 0 8 磁気テープ装置
1 0 1 2 外部データベース
1 0 1 3 データ加工部門
1 0 1 4 生産関係会社
1 0 1 5, 1 0 1 6, 1 0 1 7 情報源
1 0 1 8 半導体産業新聞
2 0 0 1 W e bサーバ
2 0 0 2 アプリケーションサーバ
2 0 0 3 データベースサーバ
2 0 0 6 運用マシン
2 0 0 7 更新用データベースサーバ
2 0 1 3 生産関係会社
2 0 1 1, 2 0 1 4 情報源
3 0 0 1 W e bサーバ
3 0 0 2 アプリケーションサーバ
3 0 0 3 データベースサーバ
3 0 0 4 運用マシン
3 0 0 5 更新用データベースサーバ
3 0 1 1 生産関係会社のコンピュータ
3 0 1 2 人事部門のコンピュータ
4 0 0 1 W e bサーバ
4 0 0 2 アプリケーションサーバ
4 0 0 3 データベースサーバ
4 0 0 4 運用マシン
4 0 0 6 運用マシン
4 0 1 1 各拠点

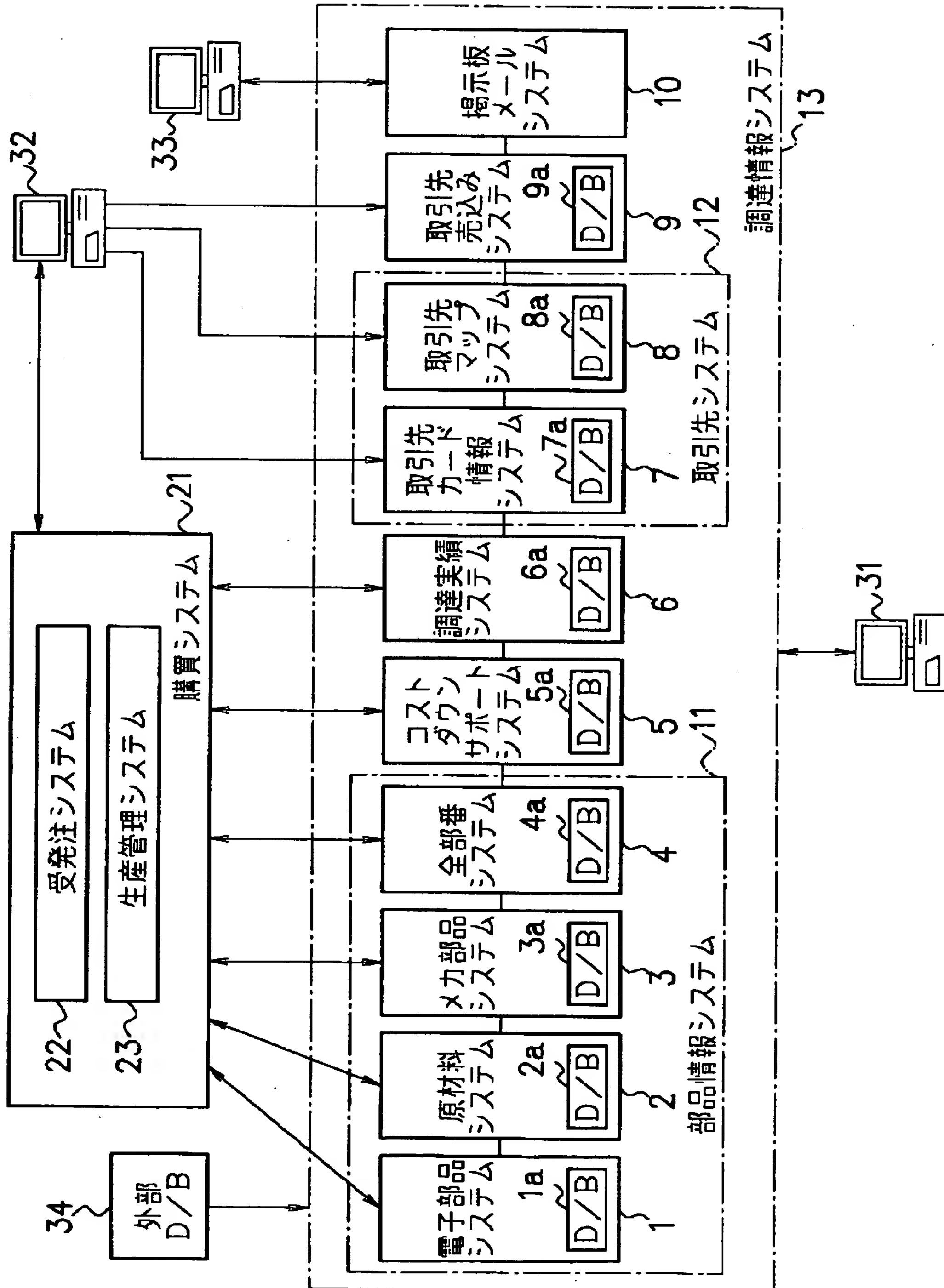
4 0 1 2 各拠点のコンピュータ
 4 0 1 3 人事部門のコンピュータ
 5 0 0 1 W e b サーバ
 5 0 0 2 アプリケーションサーバ
 5 0 0 3 データベースサーバ
 5 0 0 4 運用マシン
 5 0 1 1 各拠点のコンピュータ
 5 0 1 2 人事部門のコンピュータ
 6 0 0 1 W e b サーバ
 6 0 0 2 アプリケーションサーバ
 6 0 0 3 データベースサーバ
 6 0 0 4 運用マシン
 6 0 0 5 イメージスキャナ
 6 0 1 1 取引先
 6 0 1 2 人事部門のコンピュータ
 7 0 0 1 W e b サーバ
 7 0 0 2 運用マシン
 7 0 0 3 S Q L サーバ
 7 0 0 4 M a p I n f o サーバ
 7 0 0 5 各拠点のコンピュータ
 7 0 1 1 取引先
 7 0 1 2 人事部門のコンピュータ
 8 0 0 1 W e b サーバ
 8 0 0 2 アプリケーションサーバ
 8 0 0 3 データベースサーバ
 8 0 0 4 運用マシン
 8 0 0 5 データベースサーバ
 8 0 0 6 メールサーバ
 8 0 0 7 管理者のコンピュータ

- 8 0 1 1 取引先のコンピュータ
- 8 0 1 2 人事部門のコンピュータ
- 9 0 0 1 W e b サーバ
- 9 0 0 2 スクリプトサーバ
- 9 0 0 3 第 1 のサービス
- 9 0 0 4 第 2 のサービス
- 9 0 0 5 第 3 のサービス

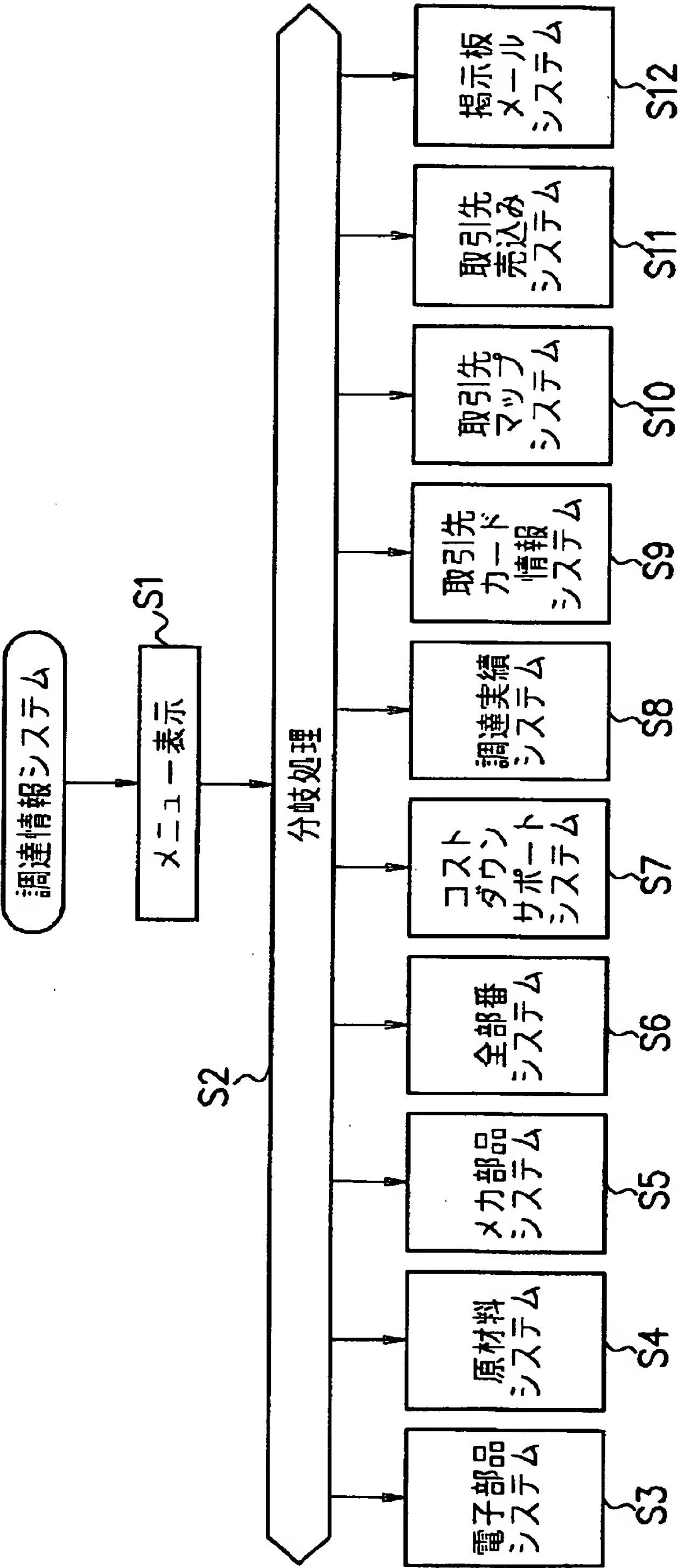
【書類名】

図面

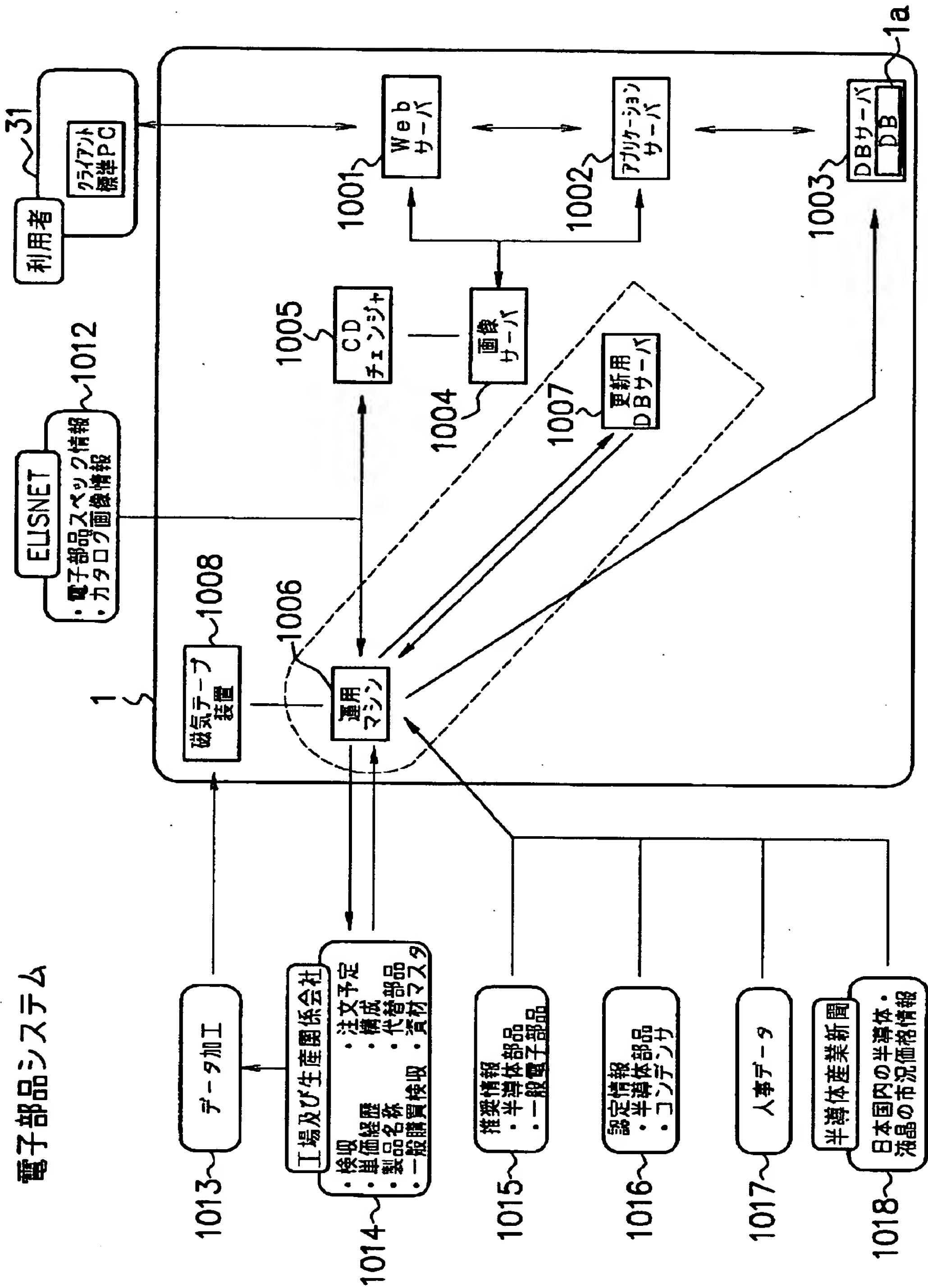
【図 1】



【図 2】



【図 3】

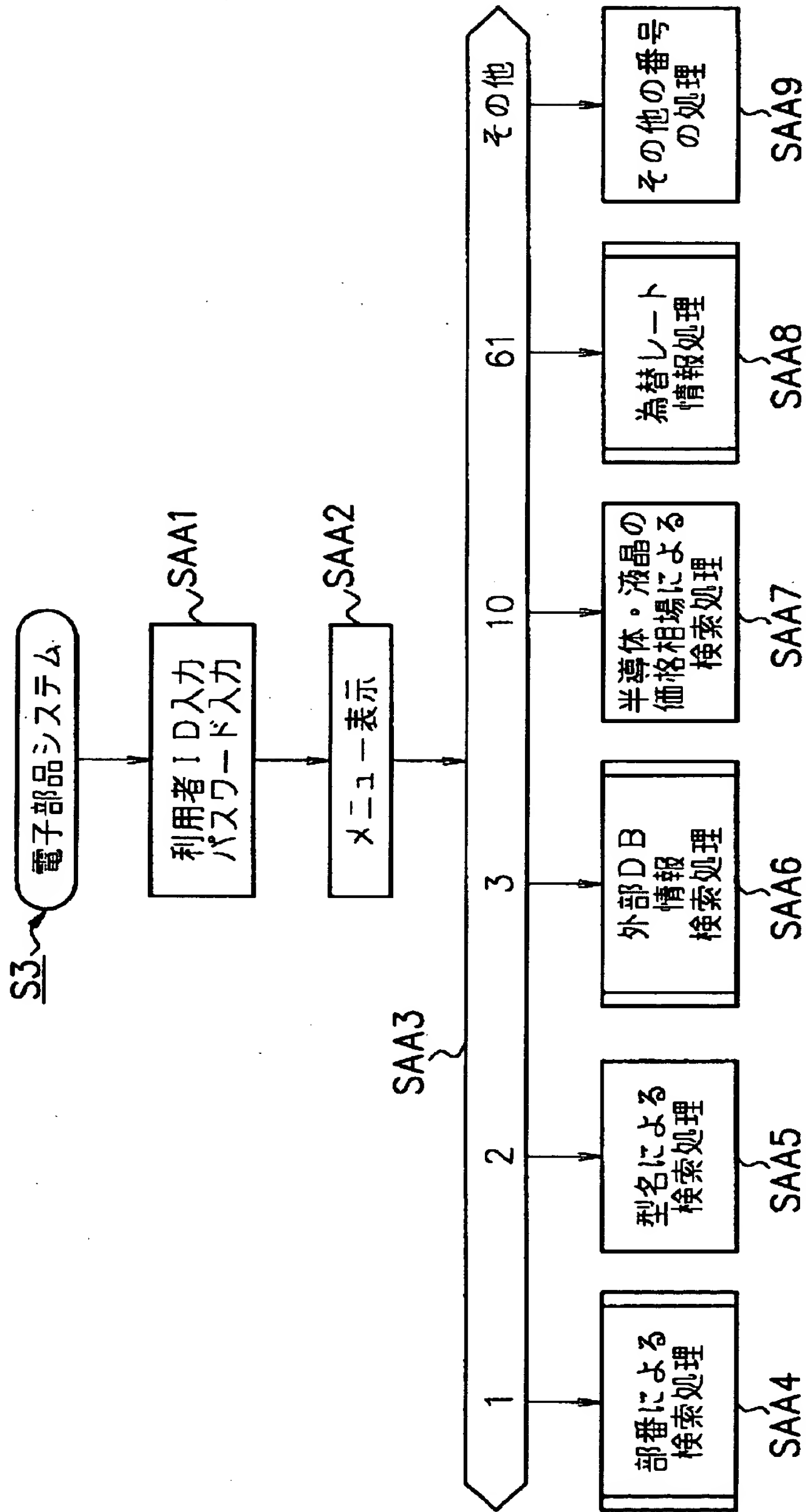


【図 4】

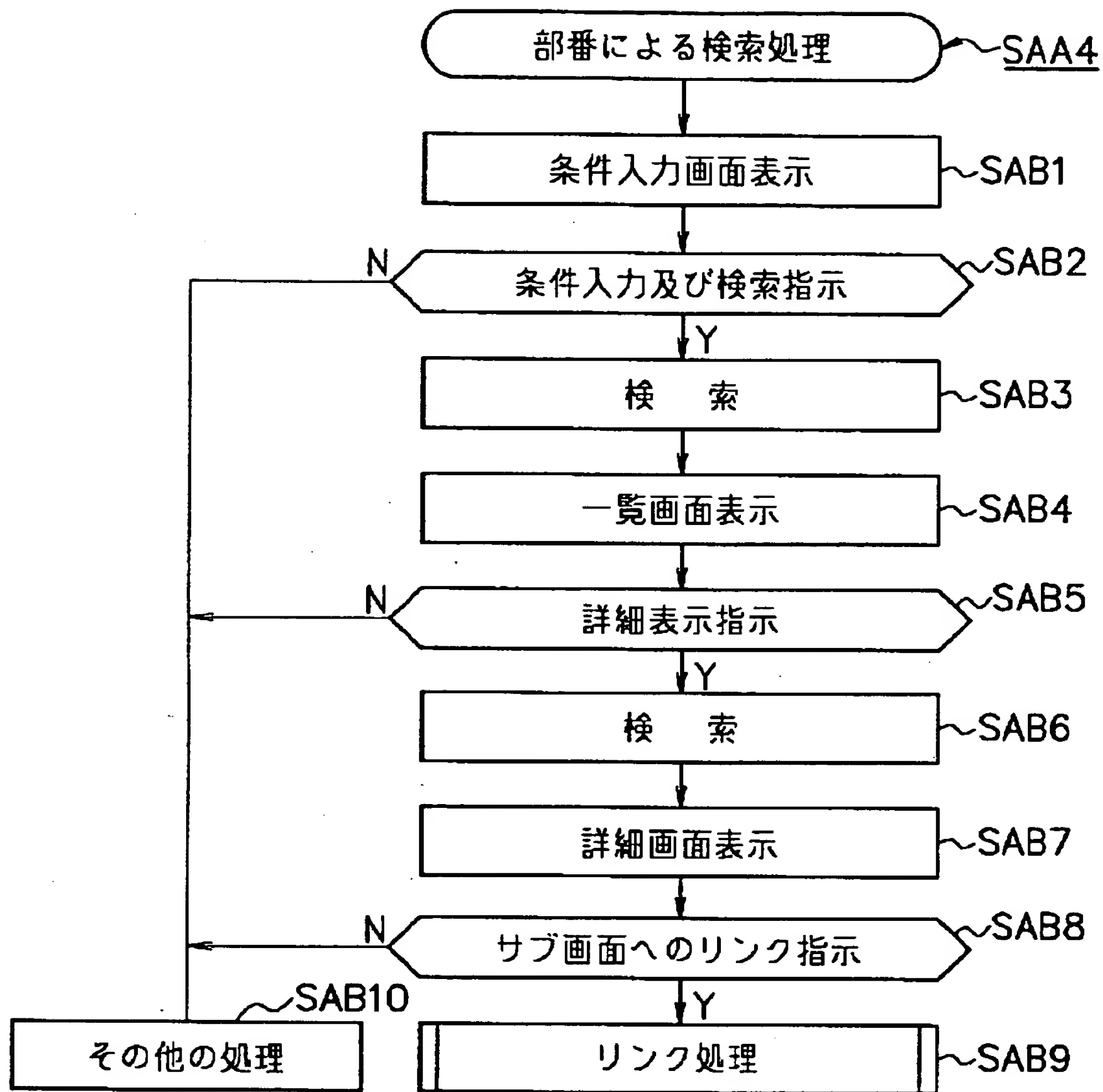
データベース

1a	部番検収実績	～1aa
	製品オーダー	～1ab
	発注予定	～1ac
	調達窓口連絡先	～1ad
	部番別代替品	～1ae
	マスター単価（全部門）	～1af
	部品品質認定	～1ag
	推奨部品	～1ah
	半導体及び液晶相場価格	～1ai
	部品スペック	～1aj
	部品代替品	～1ak
	カタログ原文	～1al
	為替レート	～1am
	利用者	～1an
	セキュリティ	～1ao

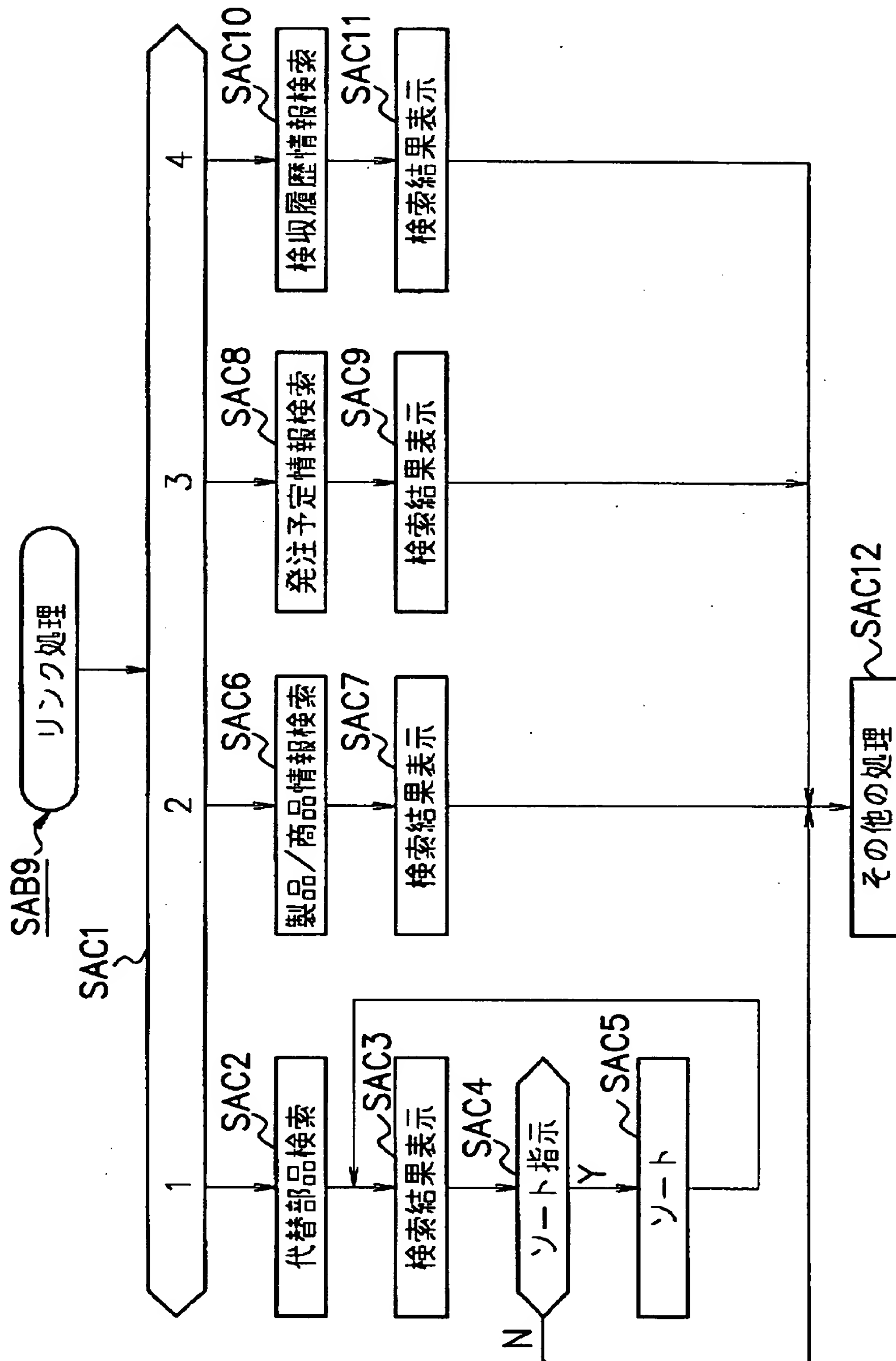
【図 5】



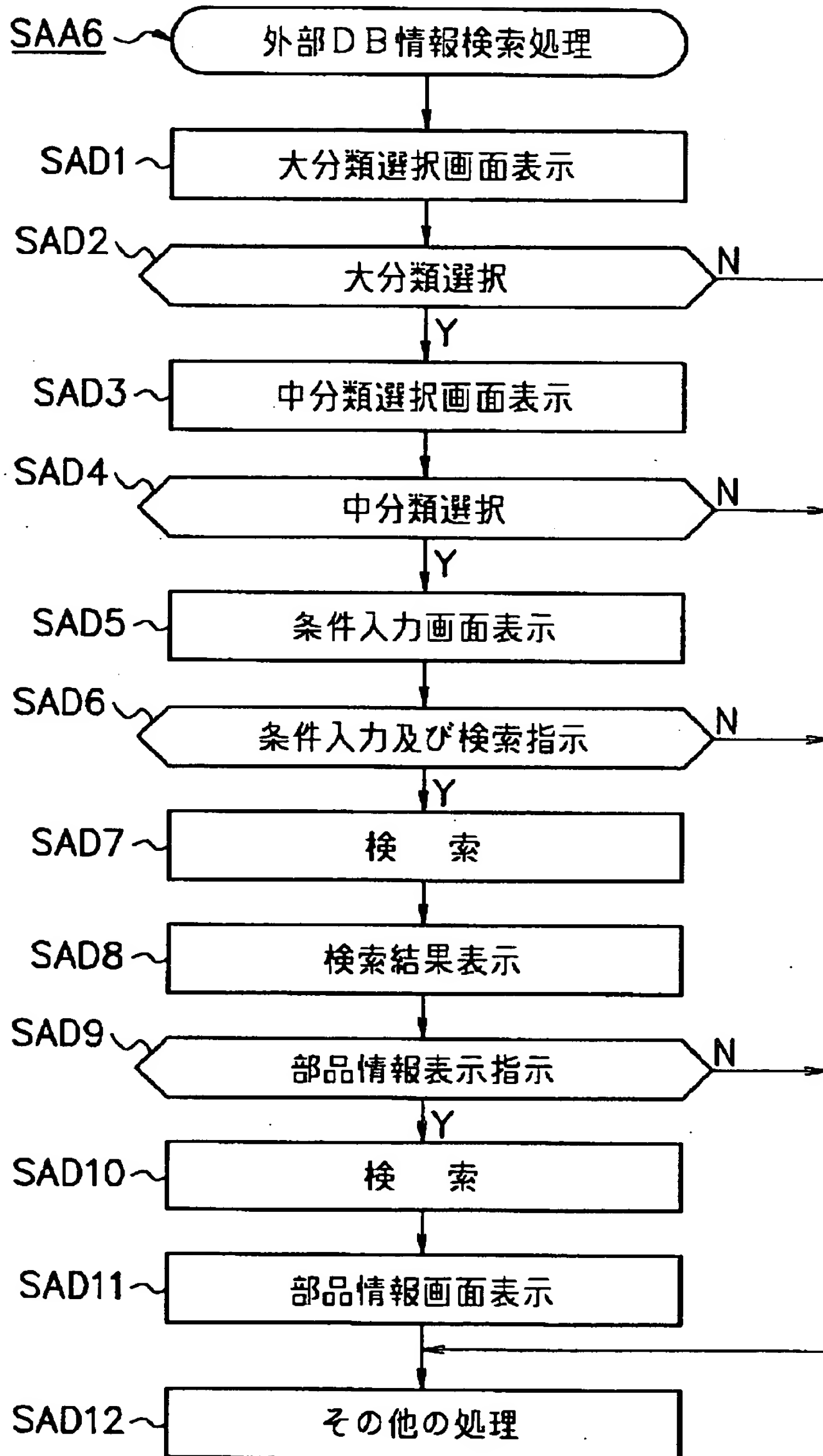
【図 6】



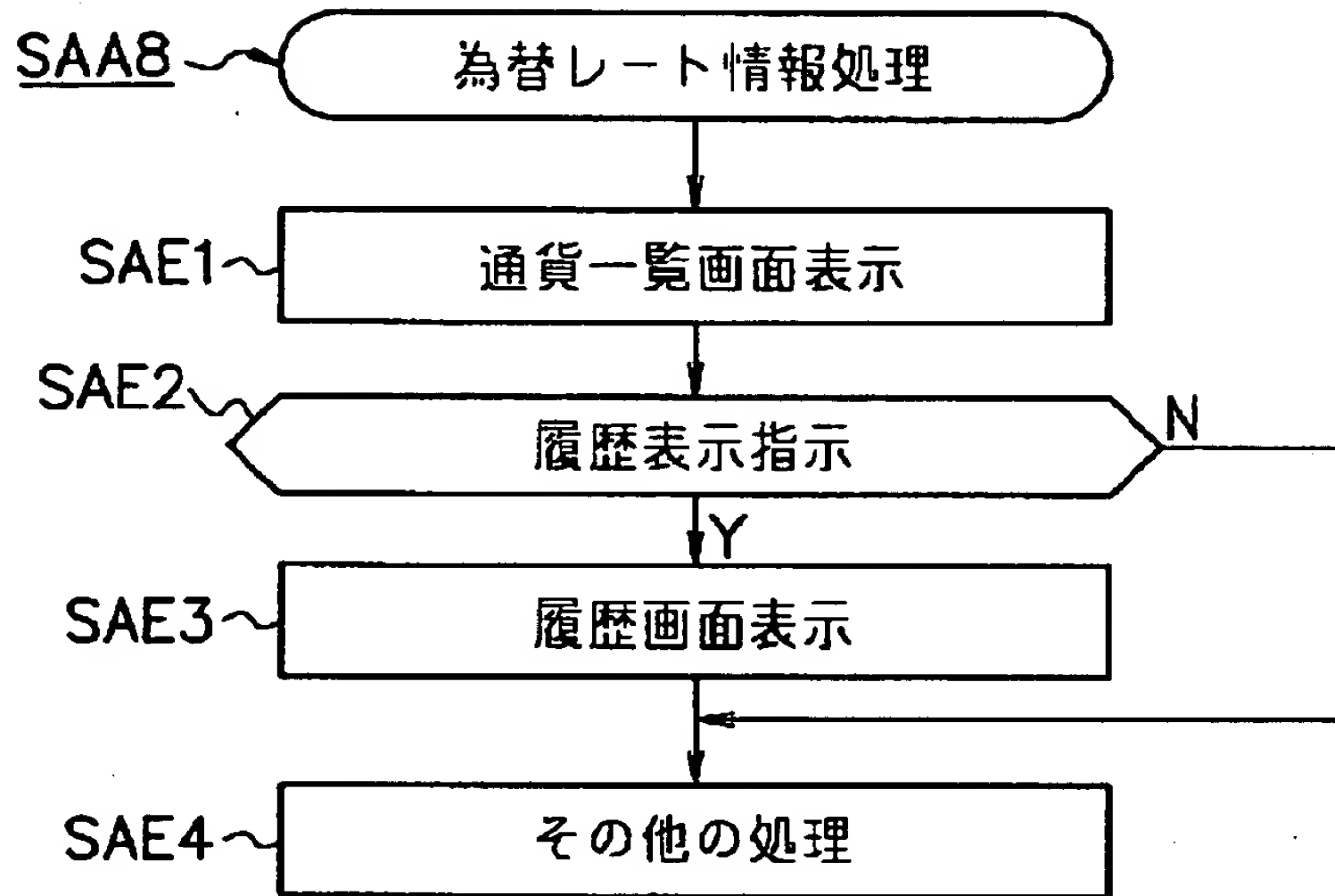
【図 7】



【図 8】



【図 9】



【図 1 0】

電子部品システム

1101 ～ 利用者 ID :

1102 ～ パスワード :

1103 ～ ログイン パスワード変更 1104

1105 ～

1. 暦日90日アクセスがない場合は、アクセス権を自動的に抹消させていただきます。
（御利用時に再度、利用申請書の提出が必要になります。）

2. 利用者はセキュリティー保護の為、パスワード変更を月1回必ず実施してください。

【図 1 1】

1112	1113	1114	
LoginUser: pmc LoginDate: 1998/10/26 IPAddress: 150.61.245.99 *1998年9月末現在～1111 この情報は社外秘です。～1115			
* 電子部品、スペック&購入価格情報			
1. <u>「部番」による検索</u>			
2. <u>「型名」による検索</u>			
3. <u>「外部DB情報」検索</u>			
4. <u>「部番」による「拠点別 親部番別 代替部品（代替可能な部番を表示）」検索</u>			
5. <u>「単価マスク」変更情報一覧</u>			
6. <u>「単価マスク」履歴情報検索</u>			
7. <u>「部番」による「発注予定情報」検索</u>			
8. <u>「型名」による「発注予定情報」検索</u>			
9. <u>「型名」による「代替く特性上>部品の情報」検索</u>			
10. <u>「半導体・液晶 価格相場」による検索</u>			
61. <u>「為替レート」情報</u>			
SU1. <u>ユーザーメンテナンス</u>			
SU2. <u>フリアレンス情報</u>			
1116			
1117			
「機密保護の確約」 ： 許可なしに情報の複写を禁じます。また、利用者として登録した社員以外 の使用を禁じます。 「就業規則による制裁」 ： 調達情報システムの情報は社外秘です。社外へ漏洩すると社内規定により罰せ られます。			

【図 1 2】

Menu

BackPage

Log Out

Mail

1121 ~ 1122 ~ 1123 ~ 1124

1112

1113

1114

1125

1126

1127

1128

1129

1121 ~ 1122 ~ 1123 ~ 1124

Menu

BackPage

Log Out

Mail

(1)「部番」による検索・条件入力画面 ~ 1125

※1998年9月末現在 ~ 1111

この情報は社外秘です。 ~ 1115

持ち部番/仮単価の情報は提供しておりません。 ~ 1126

1127

1128

1129

部番:

W

グリーン認定:

推奨情報:

購入元:

原産国名:

品目品種コード:

参照

取引先コード:

参照

取引先名:

参照

メーカーコード:

参照

メーカー名:

参照

検収単価 (現地通貨):

>=

検収単価 (現地通貨):

<=

Search

Clear

1128 1129

$$:1121 \sim 1122 \sim 1123 \sim 1124$$

Menu BackPage Log Out Mail

(1)『部番』による検索・一覧画面～1131

1112 1113

1114~

1114、
*1998年9月末現在～1111

LoginUser: pmc LoginDate: 1998/10/26 IPAddress: 150.61.245.99
この情報は社外秘です。～1115

持ち部番／仮単価の情報は提供しておりません。～1126

組件數: 7

1134

1132

並び換え： 部番 ▼ Sort ~1133

1135

No.	部番	寸法	型名	メーカー名	画像	推奨 品	認定	拠点名	取引先名	換収年月	換収単位	通貨	換収数量	図番	訂番	工程小一タ
[1]	WA5-0000-000	000'ZZZZ'		A社	無	その他	否	C事業所	取引先ACN	1998/09	32.00	YEN	30.00	W99001	01	PG 982J
[2]	WA5-0000-000	000'ZZZZ'		A社	無	推奨品	合	D事業所	取引先ACQ	1998/09	33.00	YEN	30.00	W99001	01	PG 982J
[3]	WA5-0000-000	000'ZZZZ'		A社	無	標準奨品	条	海外1	取引先CBM	1998/09	34.00	US DOLLAR	30.00	W99001	01	PG 982J
[4]	WA5-0000-000	000'ZZZZ'		A社	無	その他	否	海外2	取引先CCC	1998/09	35.00	US DOLLAR	30.00	W99001	01	PG 982J
[5]	WA5-0000-000	000'ZZZA'		B社	無	推奨品	合	A事業所	取引先AA	1998/09	31.00	YEN	30.00	W99001	01	PG 982J
[6]	WA5-0000-000	000'ZZZZ'		A社	無	推奨品	合	A事業所	取引先AA	1998/09	0.00	YEN		W99001	01	PG 982J
[7]	WA5-0000-000	000'ZZZZ'		A社	無	標準奨品	条	B事業所	取引先AAA	1998/09	---	YEN	30.00	W99001	01	PG 982J

1136.

1137

1138

【図 1 4】

1124

Mail

(1)「部番」による検索・一覧画面 ～1131

1114 ～ 1998年9月末現在 ～1111

IP Address: 150.81.245.99 この情報は社外秘です。 ～1115

持ち部番／仮単価の情報は提供しておりません。 ～1126

1132

並び換え：部番 ▼ Sort 1133

画像	推奨	認定	品名	拠点名	取引先名	受取年月	受取単価	通貨	受取数量	国番	工程	小タ	窓口	生産国名	品名	機能分野	
無	その他	否	C 事業所		取引先 ACN	1998/09	32.00	YEN	30.00	W99001	01	PG	982J	KB	JAPAN	TTL・LSシリ-ズ	01101
無	推奨品	合	D 事業所		取引先 ACQ	1998/09	33.00	YEN	30.00	W99001	01	PG	982J	KB	JAPAN	TTL・LSシリ-ズ	01101
無	推奨品	条	海外 1		取引先 CBM	1998/09	34.00	US DOLLAR	30.00	W99001	01	PG	982J	KB	JAPAN	TTL・LSシリ-ズ	01101
無	その他	否	海外 2		取引先 CCC	1998/09	35.00	US DOLLAR	30.00	W99001	01	PG	982J	KB	JAPAN	TTL・LSシリ-ズ	01101
無	推奨品	合	A 事業所		取引先 AAA	1998/09	31.00	YEN	30.00	W99001	01	PG	982J	KB	JAPAN	TTL・LSシリ-ズ	01101
無	推奨品	合	A 事業所		取引先 AAA	1998/09	0.00	YEN		W99001	01	PG	982J	KB	JAPAN	TTL・LSシリ-ズ	01101
無	推奨品	条	B 事業所		取引先 AAA	1998/09		YEN	30.00	W99001	01	PG	982J	KB	JAPAN	TTL・LSシリ-ズ	01101

1137

1138

【図 1 5】

1121 ~ 1122 ~ 1123 ~ 1124

Menu

BackPage

Log Out

Mail

1112 ~ 1113 ~ 1114 ~ 1115

(1)「部番」による検索・詳細画面 ~ 1141

1114 ~ *1998年9月末現在 ~ 1111

LoginUser: pmc LoginDate: 1998/10/26 IPAddress: 150.61.245.99 この情報は社外秘です。 ~ 1115

1142 ~

＜部品情報＞ ~ 1144

部番	WA5-0000-000	寸法	000	工程	PG
図番	W99001	訂番	01		
部品名	*TC5090AP (A/Dコンバータ)				
型名	ZZZZZ				
メーカー名	001220 A社	原産国名	JAPAN		
機能分類	01101 TTL系				
保守日程		廃止日程			

＜スペック情報＞ ~ 1145

このデータにリンクする「外部DBスペック情報」はありません。

＜推奨品情報＞ ~ 1146

推奨ランク	A	推奨品	箱番	データ登録日	2000/01/01
-------	---	-----	----	--------	------------

＜品質認定情報＞ ~ 1147

品質認定	合	コメント	メーカー認定による認定結果です。		
機能	01101 TTL系				
構造					
規格					

1143 ~

【図 1 6】

1142

1143

1147〜品質認定情報

品質認定	合	コメント	メーカー認定による認定結果です。
機能	01101	TTL系	
構造			
規格			

1148〜グリーン認定情報

グリーン認定推奨	認定日	1998/09
コメント		優良

1149〜検収・買入単価情報

＜仮単価は表示しません。単価は検収適用月時点のものです。＞

拠点	AAAA: A事務所	窓口	KB	小オクター	982J
検収年月	1998/09	検収数量		(参考: マスター単価)	
検収単価		検収金額		通貨	YEN
単価区分	0*nil*	単価条件	CIF		
取引先	T111 取引先AAA				
品目品種	P213 半導体部品	TTL・LSシリーズ			

1150〜サブ画面へのリンク

代替部品一覧
製品/商品情報
発注予定情報
検収履歴情報

【図 17】

Menu

BackPage

Log Out

Mail

1121 ~ 1122 ~ 1123 ~ 1124

1112
1113
1114
1115

『部番』による代替部品検索結果一覧 ~ 1161
* 1998年9月末現在 ~ 1111
この情報は社外秘です。 ~ 1115

LoginUser: pmc LoginDate: 1998/10/26 IPAddress: 150.61.245.99

総件数: 2 1161
並び換え: 部番 Sort 1162 1163

No.	部番	寸法	取引先名	拠点	代替部番	代替寸法	代替取引先名	代替型名	代替メーカー名	親部番	寸法	親図番	
1	WA5-0000-000-000	T111	取引先AAA	A	事業所	WA5-0000-000-000	T111	取引先AAA	ZZZZZ	A	社	WA5-0000-000-000	W9900
2	WA5-0000-000-000	T111	取引先AAA	A	事業所	WA5-0000-000-000	T111	取引先AAA	ZZZZZ	A	社	WA5-0000-000-000	W9900

【図 1 8】

1121 ~ 1122 ~ 1123 ~ 1124

MenuBackPageLog OutMail

111211131114

製品/商品情報 (製品/商品オ-ダ-) ~ 1171

1998年9月現在 ~ 1111

LoginUser: pmcLoginDate: 1998/10/26IPAddress: 150.61.245.99この情報は社外秘です。 ~ 1115

総件数 : 6

部番 : WA5-0000-000 寸法 : 000

1172 ~

No.	オ-ダ-番号	オ-ダ-名称	支給	拠点名	品数	機種群	製品群
1	ZZZZZ	オ-ダ-名称AAA	待ち	AAAA : A事業所	1.00	機種群AAAA	製品群AAAA
2	ZZZZZ	オ-ダ-名称AAAI	待ち	AAAI : B事業所	0.00	機種群AAAI	製品群AAAI
3	ZZZZZ	オ-ダ-名称ACN	待ち	ACN : C事業所	1.00	機種群ACN	製品群ACN
4	ZZZZZ	オ-ダ-名称ACQ	待ち	ACQ : D事業所	1.00	機種群ACQ	製品群ACQ
5	ZZZZZ	オ-ダ-名称CBM		CBM : 海外1	1.00	機種群CBM	製品群CBM
6	ZZZZZ	オ-ダ-名称CCC		CCC : 海外2	1.00	機種群CCC	製品群CCC

【図 19】

1121 ~ 1122 ~ 1123 ~ 1124

Menu

BackPage

Log Out

Mail

1112 ~ 1113 ~ 1114 ~ 1115

部番別発注予定情報一覧 ~ 1181

* 1998年9月末現在 ~ 1111

LoginUser: pmc LoginDate: 1998/10/26 IPAddress: 150.61.245.99 この情報は社外秘です。 ~ 1115

総件数 : 6

部番: WA5-0000-000 寸法: 000 工程番号: PG

No.	拠点名	取引先名	型名	メーカー	通貨	98年07月 予定数量	98年08月 予定数量	98年09月 予定数量	98年09月 予定金額
1	AAAA : A事業所	(111)取引先 AAA	ZZZZ	A社	YEN	-	-	-	-
2	AAAI : B事業所	(111)取引先 AAA	ZZZZ	A社	YEN	25,000.00	25,000.00	25,000.00	-
3	ACN : C事業所	(111)取引先 ACN	ZZZZ	A社	YEN	25,000.00	25,000.00	25,000.00	-
4	ACQ : D事業所	(111)取引先 ACQ	ZZZZ	A社	YEN	25,000.00	25,000.00	25,000.00	-
5	CBM : 海外1	(111)取引先 CBM	ZZZZ	A社	US DOLLAR	25,000.00	25,000.00	25,000.00	-
6	CCC : 海外2	(111)取引先 CCC	ZZZZ	A社	US DOLLAR	25,000.00	25,000.00	25,000.00	-

1182 ~

【図 2 0】

Menu

BackPage

Log Out

Mail

1121 ~ 1122 ~ 1123 ~ 1124

検収単価履歴情報 (最新含め 24 世代, 仮単価は表示しない) ~ 1191

1112 {

1113 {

1114 {

1115 {

LoginUser: pnc LoginDate: 1998/10/26 IPAddress: 150.61.245.99 この情報は社外秘です。 ~ 1115

総件数 : 2

会社拠点: AAAA: A事業所 窓口: KB 部番: WA5-0000-000 寸法: 000

工程: PG 取引先: (T111) 取引先 AAA

1192 ~ {

No. 検収年月 検収単価 検収数量 検収金額 図番 訂番 小オ-タ-通貨

1 1200010 30.00 30.00 30.00 W9900101 982J YEN

2 199810 30.00 30.00 30.00 W9900101 982J YEN

【図 2 1】

1121

Menu

1122

BackPage

1123

Log Out

1124

Mail

1112

LoginUser: 29611

1113

LoginDate: 1998/10/26

1114

IPAddress: 150.61.245.99

1115

この情報は社外秘です.

(2)『型名』による検索・条件入力画面～1201

1114

*1998年9月末現在～1111

1202

型名: ZZZZ

グリーン認定: ▼

推奨情報: ▼

認定情報: ▼

メーカーコード: 参照

メーカー名: 参照

購入済: ▼

Search

Clear

1203

1204

【図 2 2】

1121	1122	1123	1213	1214	1124
Menu	BackPage	Log Out	CodeHelp	連絡先	Mail

(3)『外部DB情報』検索 - 大分類 ~1211

【半導体】

001. マイコン

002. 周辺/インタフェース

003. メモリ

004. セミカスタム

005. 通信機器用

006. OA機器用

007. モータ/メカ周辺デバイス

008. 民生用

010. イメージセンサ

011. ロジック

012. アナログ/センサ

013. 表示素子

014. Gas FET

015. 光素子

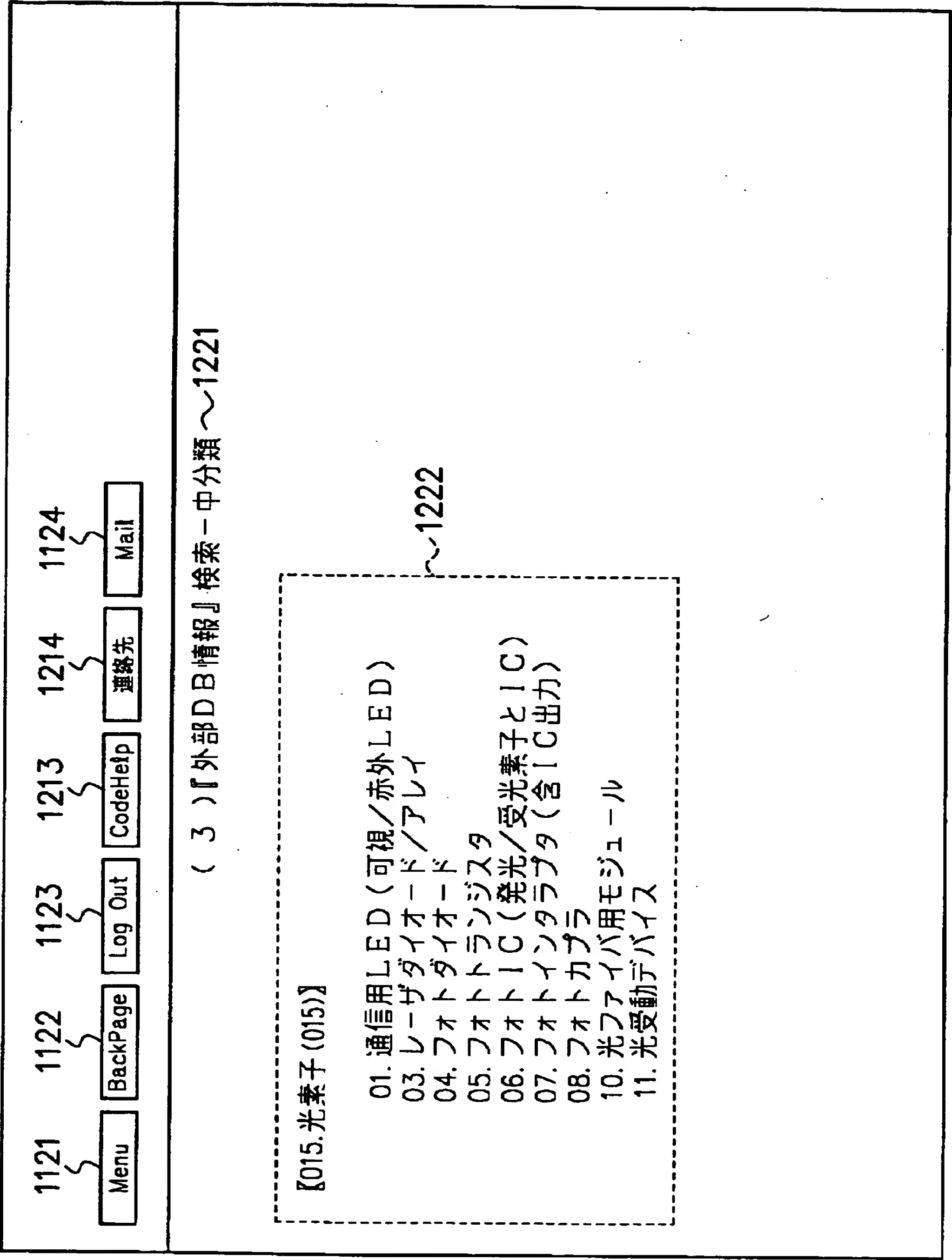
016. トランジスタ

017. ダイオード

018. パワー素子

~1212

【図 23】



【図24】

1121 1122 1123 1213 1214 1124

Menu

BackPage

Log Out

CodeHelp

連絡先

Mail

1112

LoginUser: 29611

LoginDate: 1997/05/27

IPAddress: 150.61.245.150

(3) 型名による検索・条件入力画面

この情報は社外秘です。

1997年8月現在

1113

1114

1233

1232

フォトインタラプタ(含IC出力)

型名	
メーカー	
出力形式	
受光形式	
入力順電圧V(max)	<
入力順電流mA(max)	<
CTR(Ic/I _f)%(typ)	<
コレクタ飽和電圧V(max)	<
受光コレクタ電流mA(max)	<
立上り時間us(typ)	<
立下り時間us(typ)	<

1234

Search

Clear

1235

【図 2 5】

1121 1122 1123 1213 1214 1124
Menu BackPage Log Out CodeHelp 連絡先 Mail

1112 (3) 外部 D B 検索結果一覧 (スペック) ~1241
LoginUser: 29611 この情報は社外秘です。~1115
LoginDate: 1997/05/27~1113
IPADdress: 150.61.245.150 ~1232
1114
フォトイントラプタ (含 I C 出力)
1243 総件数 : 150 1244
1247 ▲前リスト ▼次リスト 1 番号から表示 ~1245 1246

No	型名	メーカー	出力形式	受光形式	入力順電圧 V(max)	入力順電流 mA(max)	CTR(Ic/I _f)(typ)	コレクタ飽和電圧 V(max)
1	OPU872CP	D 社	シングルランジスタ	透過型	2.000000	60.000000	0.000000	0.000000
2	OPU813	D 社	シングルランジスタ	反射型	1.800000	40.000000	0.000000	0.000000
3	OPU813R	D 社	シングルランジスタ	反射型	2.200000	30.000000	0.000000	0.000000
4	OPU817	D 社	シングルランジスタ	反射型	2.000000	100.000000	0.000000	0.000000
5	OC808	D 社	シングルランジスタ	反射型	2.000000	100.000000	0.000000	0.000000
6	OC800	D 社	シングルランジスタ	反射型	2.000000	100.000000	0.000000	0.000000

【図26】

1121 1122 1123 1213 1214 1124

Menu BackPage Log Out CodeHelp 連絡先 Mail

1112 (3) 外部DB検索結果一覧 ~1251

LoginUser: 29611

LoginDate: 1997/05/27 この情報は社外秘です。 ~1115

IPADdress: 150.61.245.150 ~1113

1242 1114 フォトインタラプタ(含IC出力) ~1232

1243 1244 1132 1133

総件数: 4

1245

1134

リンク先画面: 詳細画面 並び換え: 部番 Sort

No	型名	メーカー	部番	寸法	画像	グリーン認定	推奨	認定	拠点名	窓	取引先
1	OPU872CP	D社			有						

検収年月 | 検収単価 | 通貨 | 検収数量 | 原産国 | 品種 | 機能分類 | 図番 | 訂番 | 工程 | 小オーダー

1257 1255

【図 2 7】

1121112211231124

MenuBackPageLog OutMail

111211131114

(10)「半導体・液晶 価格相場」による検索・品種一覧画面 ～1281

LoginUser:pmcLoginDate:1998/10/26IPAddress:150.61.245.99

この情報は社外秘です。～1115

1283

対象品種名称	日付	相場From～To	動向
品種1	1998 07 22	50.00 ～	60.00 →
品種2	1998 07 22	130.00 ～	140.00 →
品種3	1998 07 22	190.00 ～	210.00 →
品種4	1998 07 22	180.00 ～	250.00 →
品種5	1998 07 22	250.00 ～	350.00 →
品種6	1998 07 22	200.00 ～	270.00 →
品種7	1998 07 22	10,000.00 ～	1,200.00 →

1282

【图 28】

1121	Menu	1122	BackPage	1123	Log Out	1124	Mail
------	------	------	----------	------	---------	------	------

(61)『為替レポート』情報・通貨一覧画面～1261

1112 1113 1114 *1998年9月末現在～1111

LoginUser: pmc LoginDate: 1998/10/27 IPAddress: 150.61.245.99 この情報は社外秘です。～1115

1262

FROM	TO	RATE	年月
AUD(AUSTRALIAN)	JPY(YEN)	86.04	1998/07
AVB(THAILAND B)	JPY(YEN)	3.09	1998/07
AVW(*nil*)	JPY(YEN)	0.09	1998/07
CAD(CANADIAN D)	JPY(YEN)	94.82	1998/07
CHF(SWISS FRAN)	JPY(YEN)	91.13	1998/07
DCY(*nil*)	JPY(YEN)	15.82	1998/07
DEM(GERMAN MAR)	JPY(YEN)	76.70	1998/07
FRF(FRENCH FRA)	JPY(YEN)	22.88	1998/07
GBP(POUND)	JPY(YEN)	229.62	1998/07
HKD(HONGKONG DO)	JPY(YEN)	17.99	1998/07
JPY(YEN)	JPY(YEN)	1.00	1998/07
MYR(RINGGIT MA)	JPY(YEN)	35.28	1998/07
NLG(DUTCH GUIL)	JPY(YEN)	68.04	1998/07
NZD(NEWZEALAND)	JPY(YEN)	72.13	1998/07
THB(THAILAND B)	JPY(YEN)	3.36	1998/07
TWD(NT SOLLAR)	JPY(YEN)	4.06	1998/07
USD(US DOLLAR)	JPY(YEN)	139.36	1998/07

1263

【図 2 9】

1121 1122 1123 1124

Menu

BackPage

Log Out

Mall

1112 1113 1114

(61)『為替レポート』情報(月平均-過去120ヶ月分)～1271

1114 *1998年9月末現在～1111

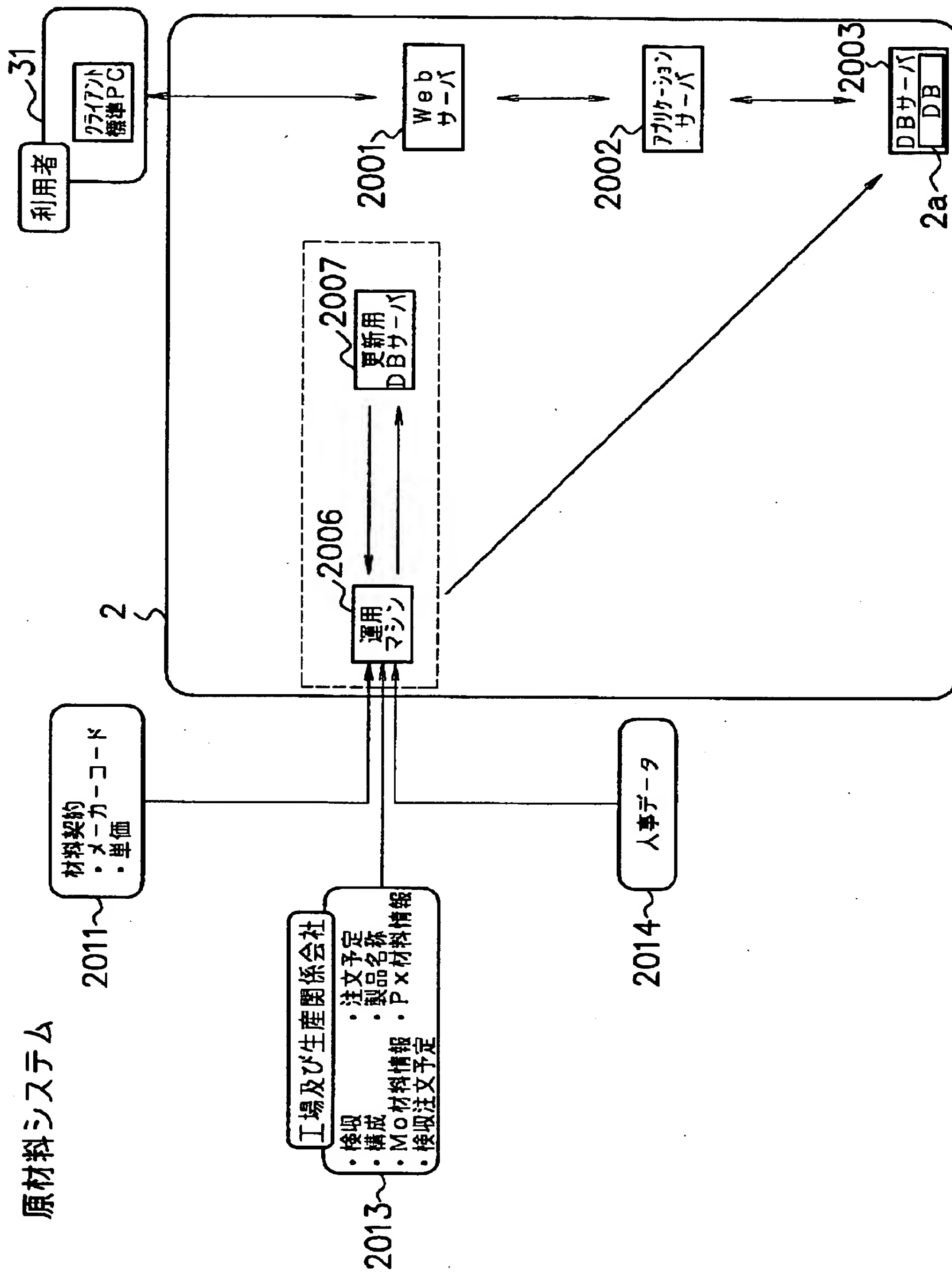
LoginUser: pmc LoginDate: 1998/10/26 IPAddress: 150.61.245.99 この情報は社外秘です。～1115

1272～

通貨 : AUD (AUSTRALIAN) → JPY (YEN)

年	11月	12月	13月	14月	15月	16月	17月	18月	19月	10月	11月	12月
1998	184.97	184.80	186.23	186.15	185.11	184.72	186.04					
1997	191.85	194.51	196.75	197.84	192.37	186.28	185.58	187.52	187.57	187.22	187.05	186.00
1996	178.52	179.92	181.75	184.65	184.97	186.25	186.35	184.46	187.08	189.07	189.49	190.86
1995	176.44	173.35	166.89	161.65	161.93	160.93	163.40	170.19	175.77	176.43	176.11	175.57
1994	177.65	176.08	174.84	174.09	175.54	175.35	172.43	173.93	173.33	172.70	173.94	177.54
1993	184.31	182.70	182.87	179.99	176.99	172.52	173.03	170.32	168.77	170.63	171.67	173.80
1992	193.56	195.97	100.70	102.09	98.84	95.96	93.70	91.81	88.62	86.70	85.58	85.60

【図 3 0】

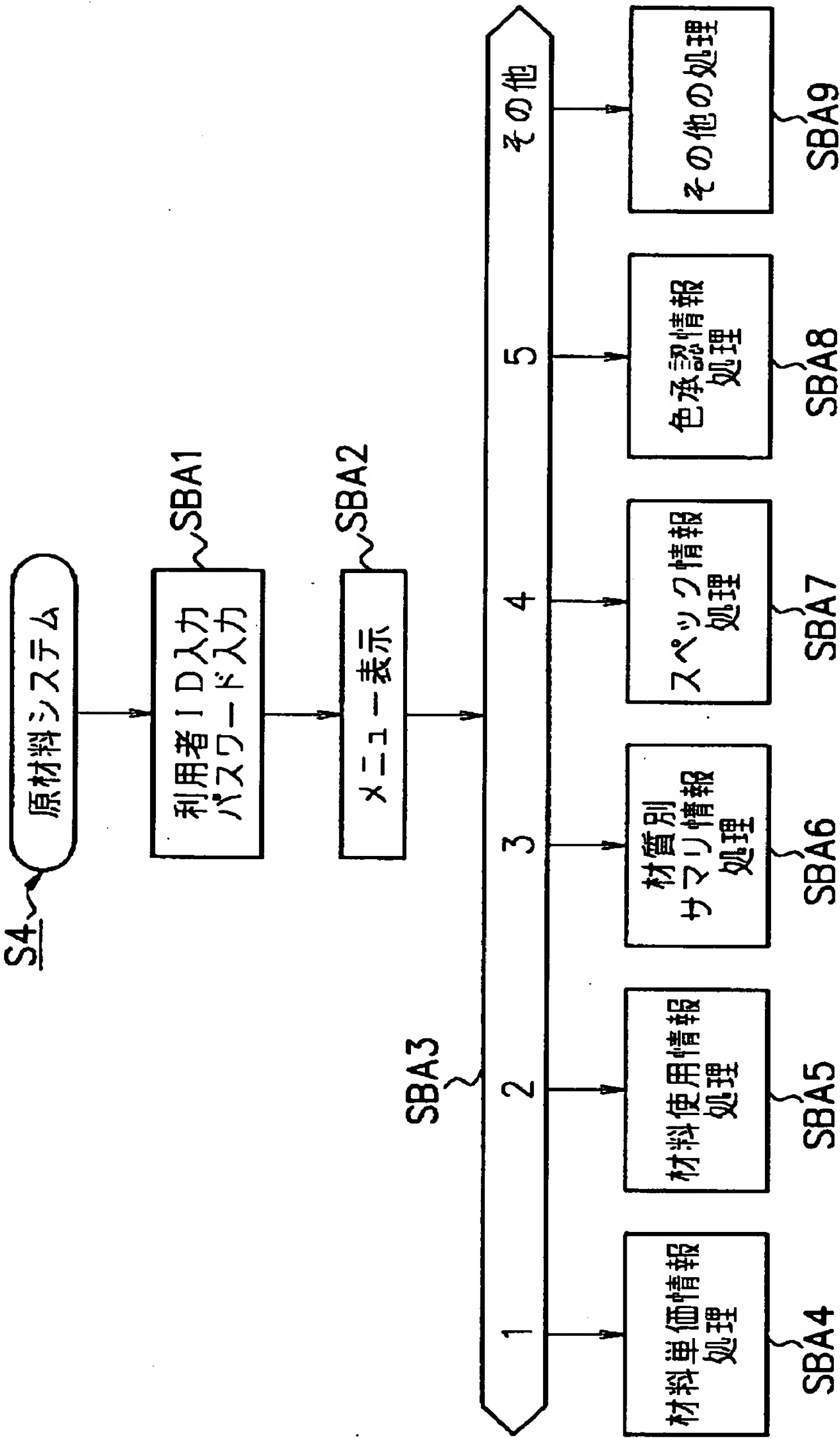


【図 3 1】

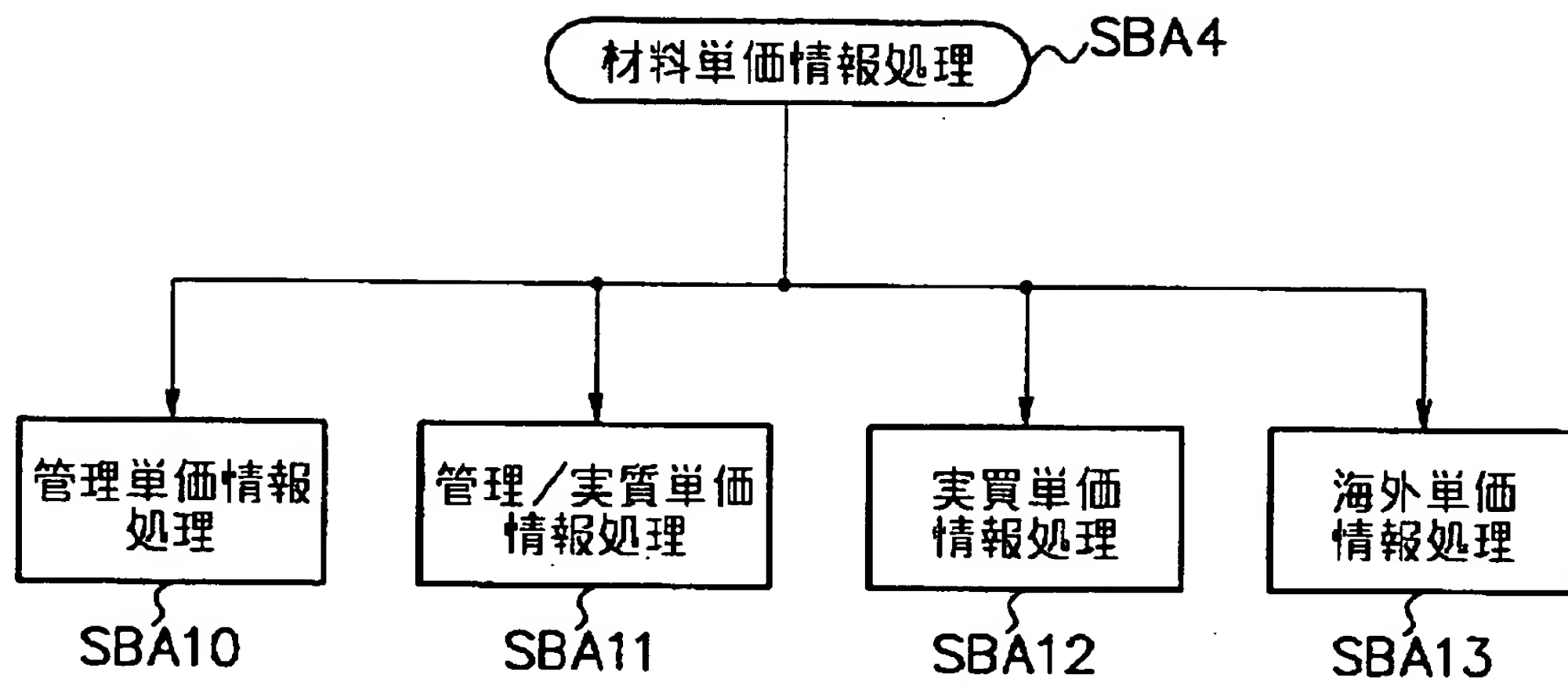
データベース

2a	材料価格	2aa
	材料購入実績	2ab
	製品オーダー	2ac
	材料使用量の実績／予測	2ad
	材料金額の実績	2ae
	材料金額の予測	2af
	材料スペック	2ag
	色承認	2ah
	利用者	2ai
	セキュリティ	2aj
	グリーン認定	2ak

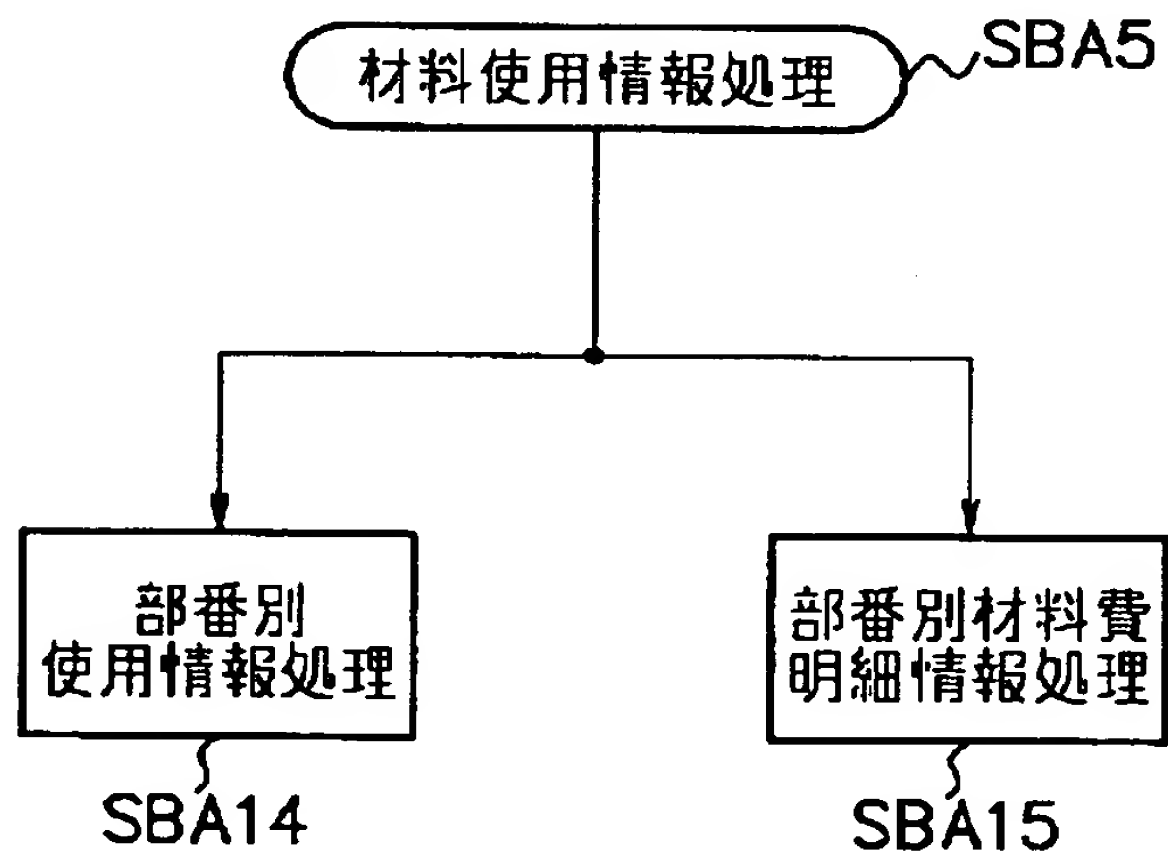
【図 3 2】



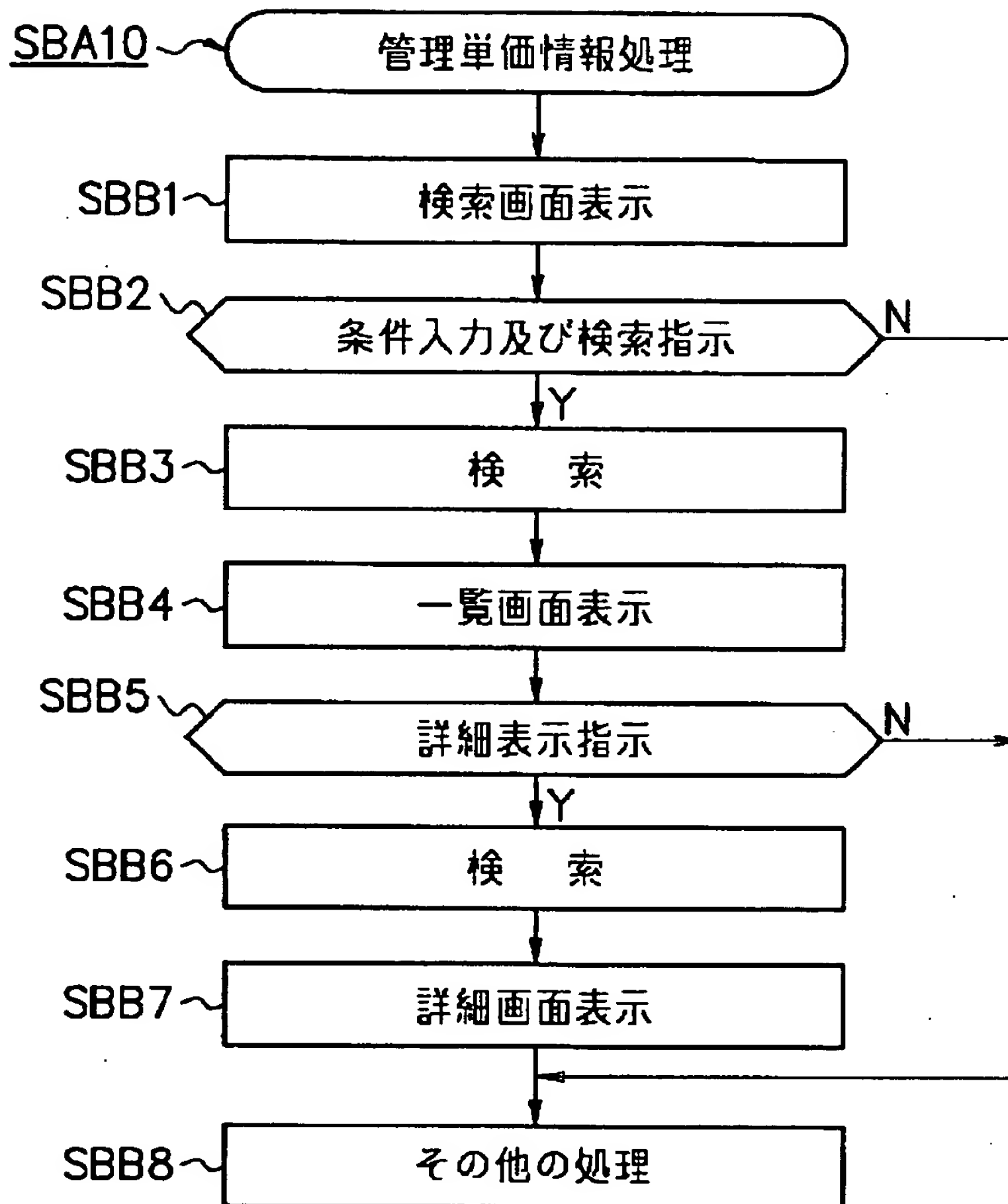
【図 3 3】



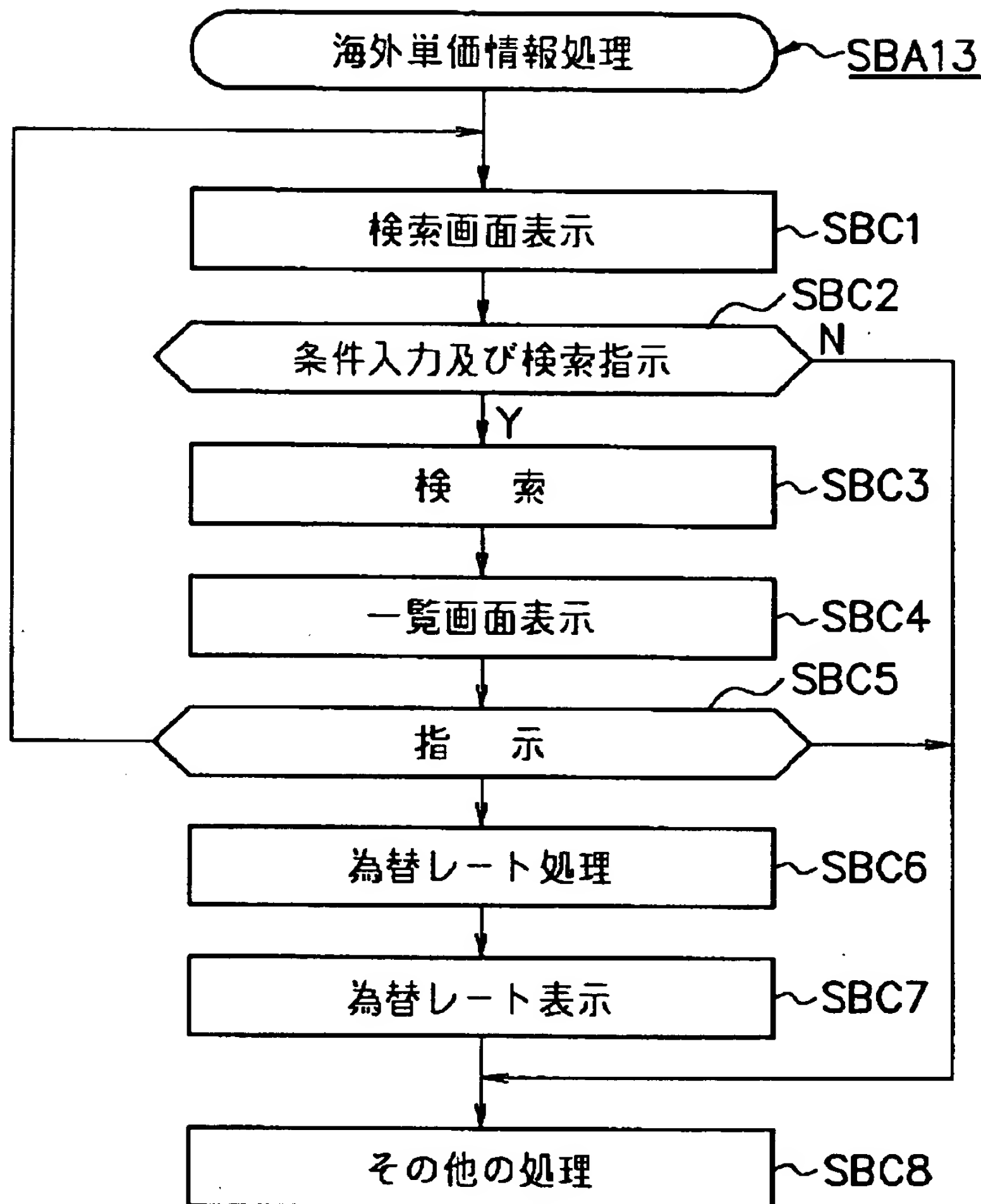
【図 3 4】



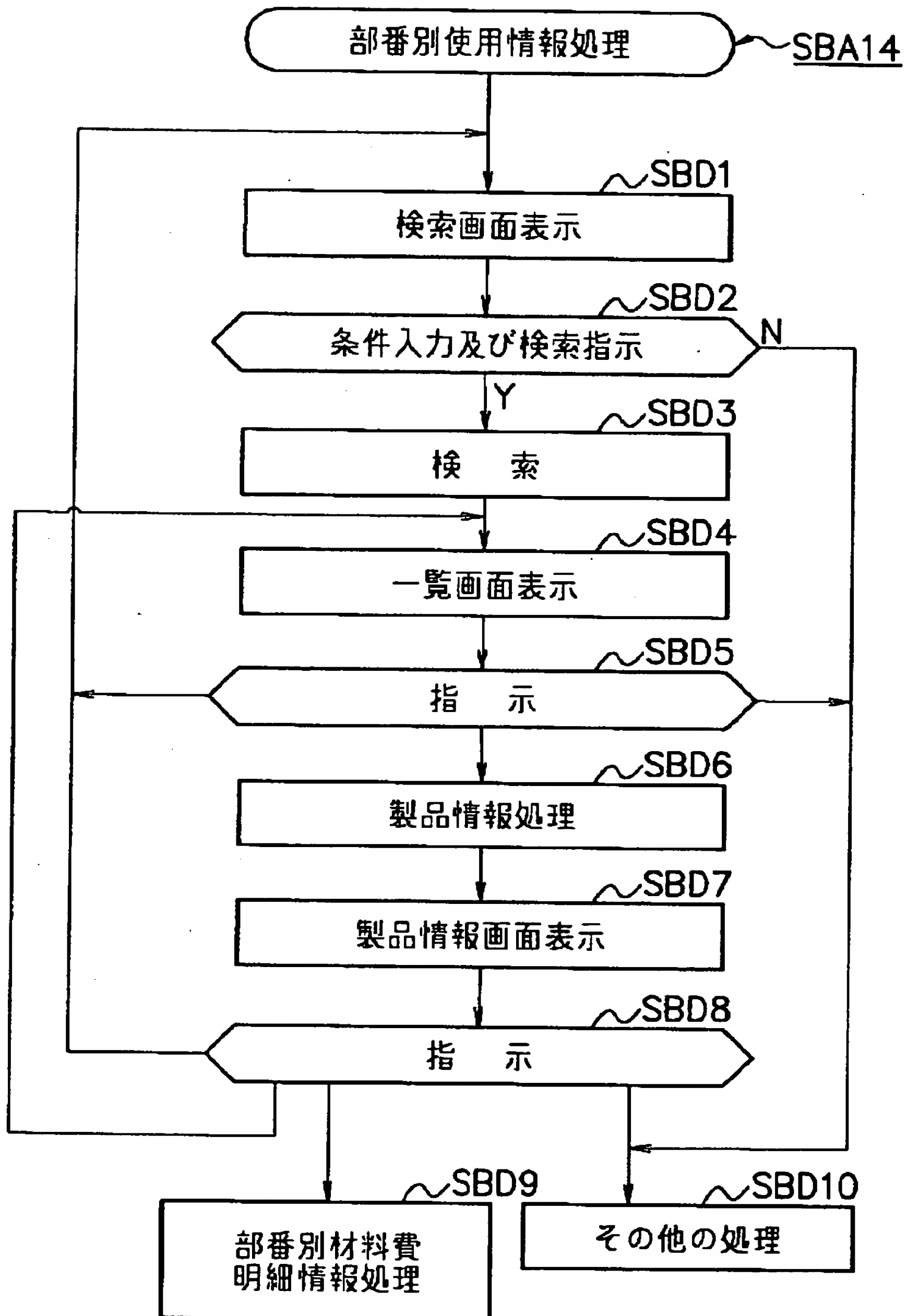
【図 3 5】



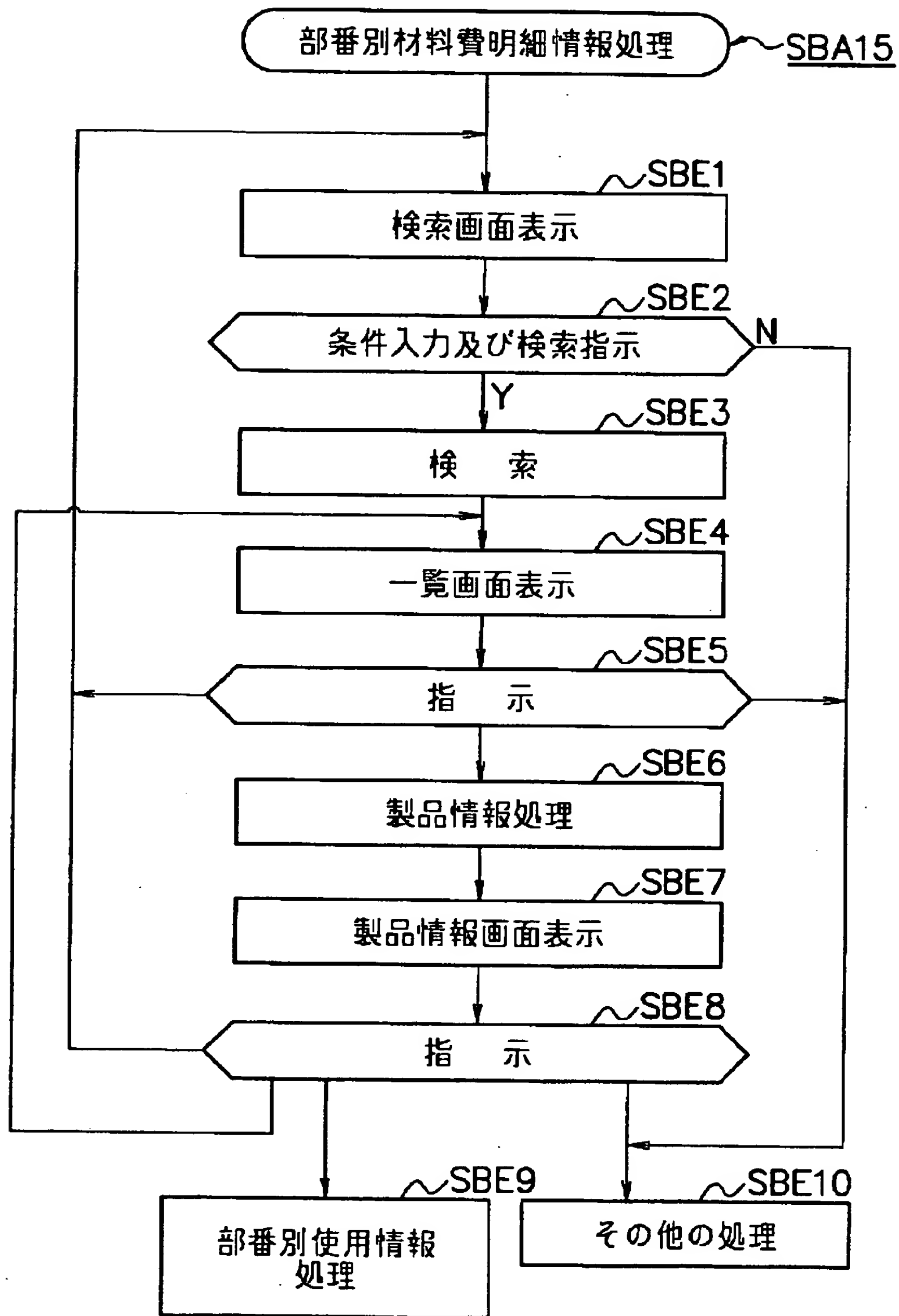
【図 3 6】



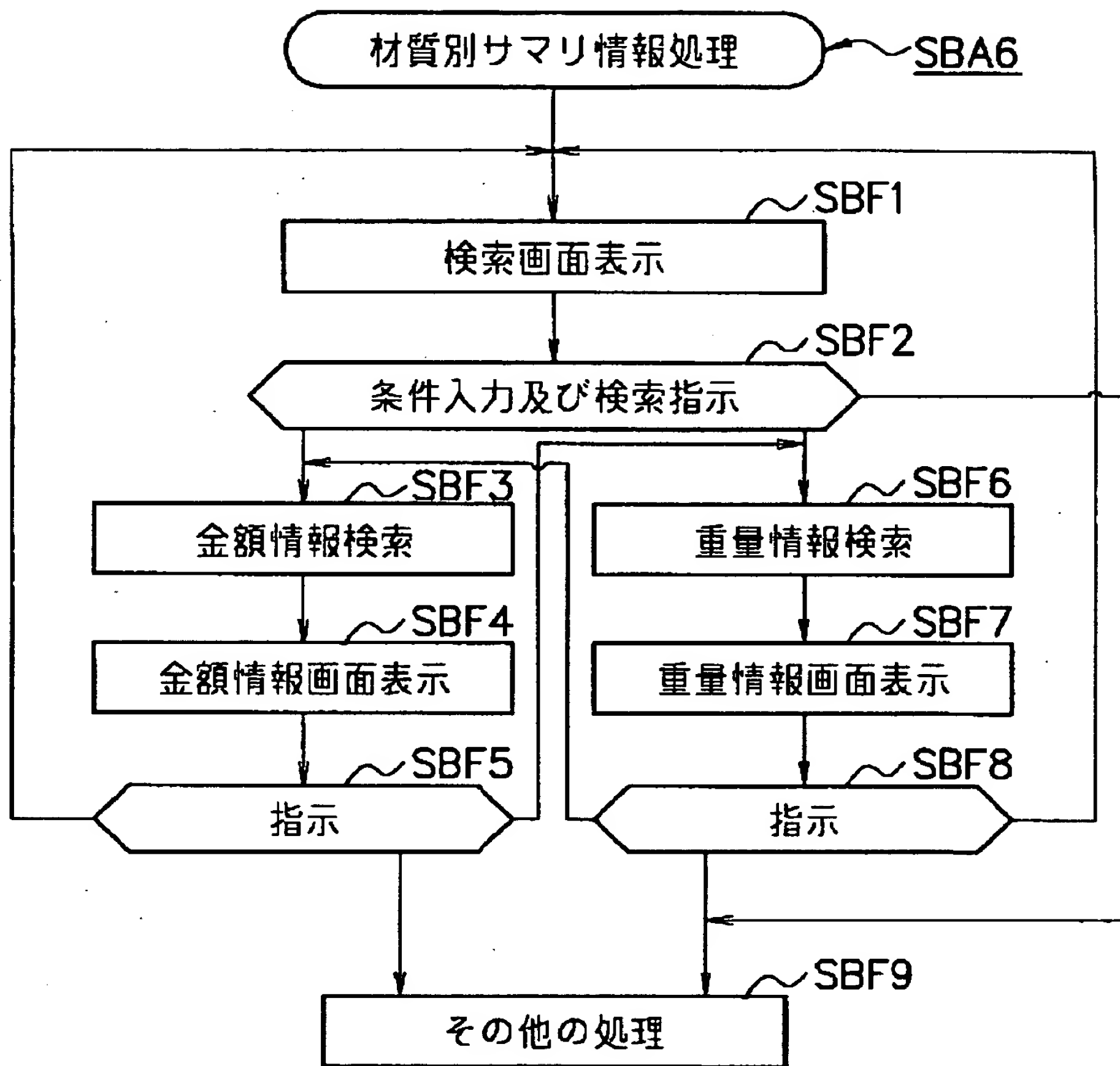
【図 3 7】



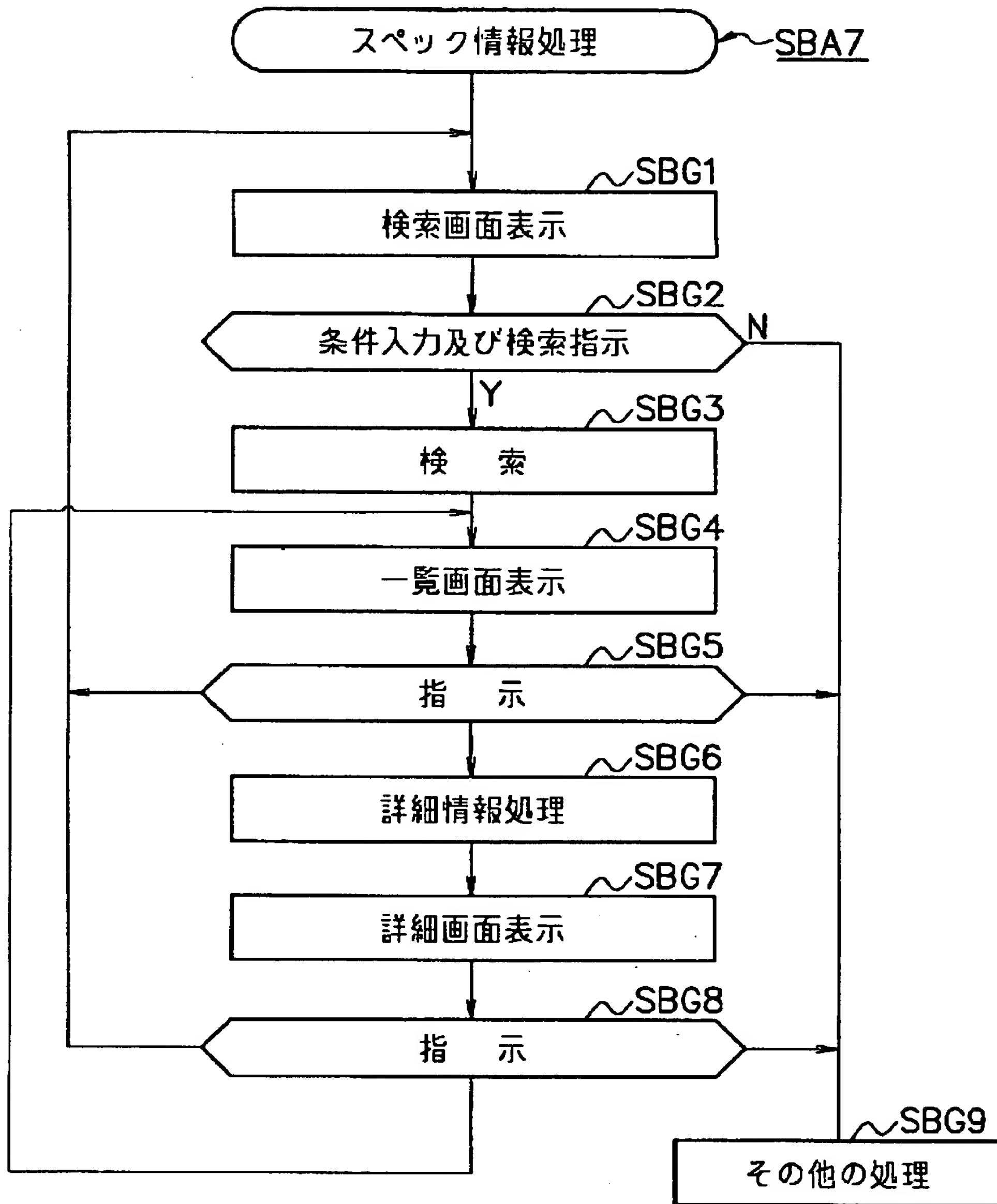
【図 3 8】



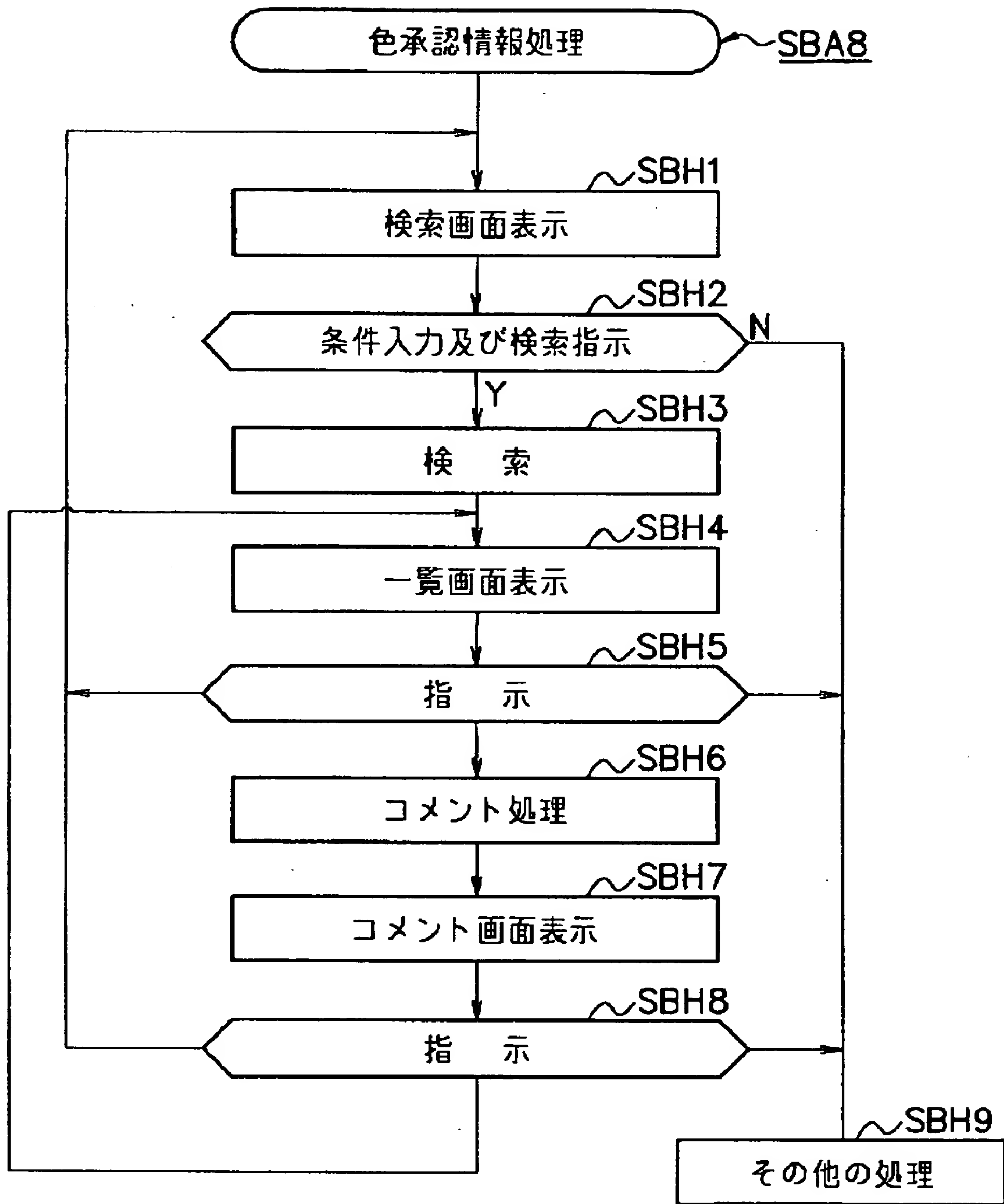
【図 3 9】



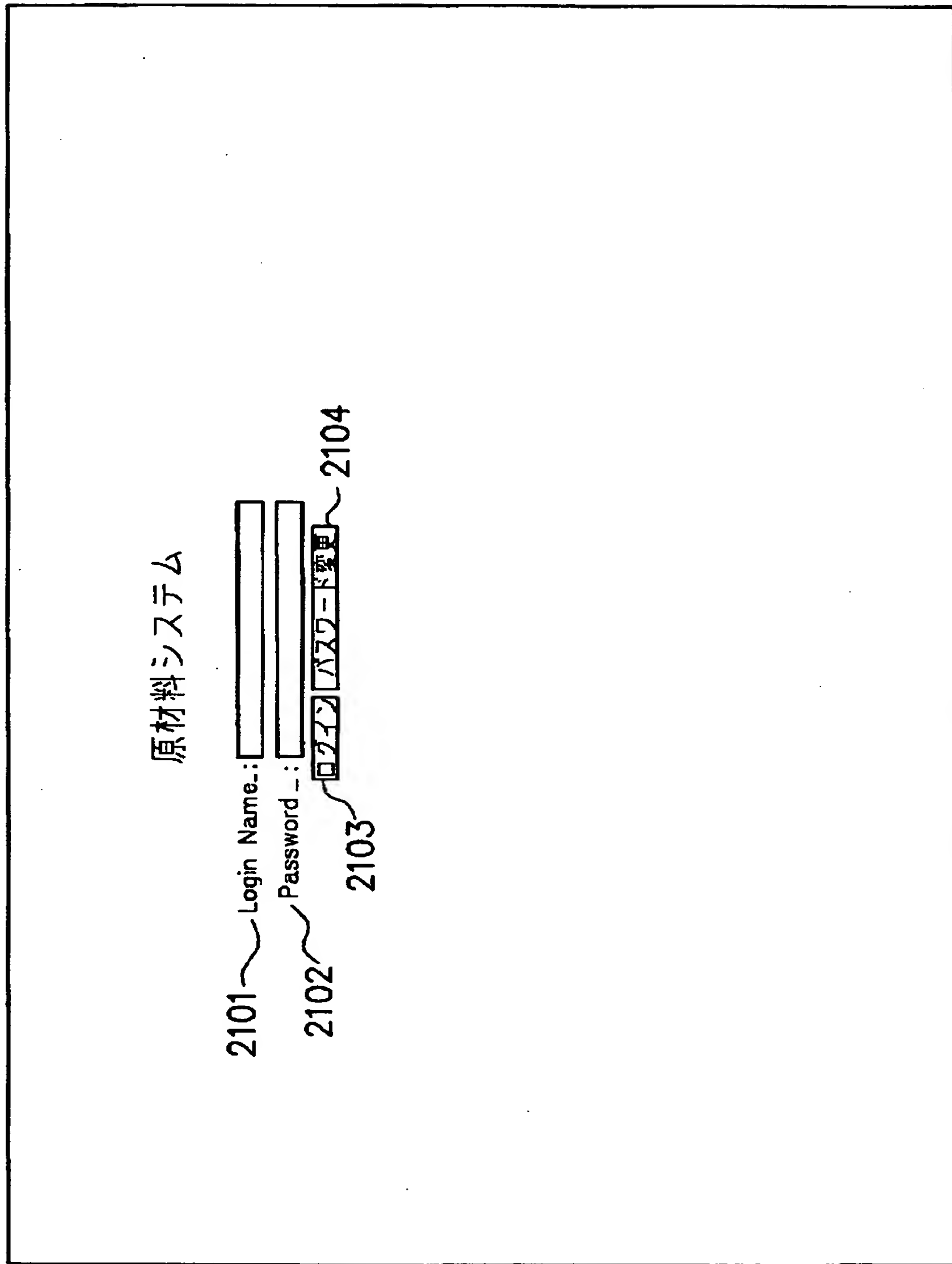
【図 4 0】



【図 4 1】



【図 4 2】



【図 4 3】

2121 { Menu BackPage Log Out Help Mail }

2122 2123 2124 2125

2112 { LoginUser: 99999 }

2113 { LoginDate: 1998/01/13 }

2126 { 1. 材料単価情報 11-管理単価情報 2127~2128 12-管理/実質単価情報 13-実買単価情報 14-海外単価情報 2. 材料使用情報 21-部番別使用情報 22-部番別材料費明細情報 3. 材質別サマリ情報 31-材質別サマリ情報 4. スペック情報 41-スペック情報 5. 色承認情報 51-色承認情報 I. ユーザメンテナンス I. プレファレンス情報 }

原材料システム 1996年5月6日現在 2111

【図 4 4】

2121 { Menu BackPage Log Out Help Mail }

2122 2123 2124 2125 { }

2112 LoginUser: 99999

2113 LoginDate: 1998/01/13

11. MO材料管理単価情報検索画面 ~ 2136

2131 { 検索条件 材質記号 ABS メーカーコード メーカー名称 グレードNo. カラー識別 着色No. 社内着色No. 管理価格帯 }

2132 { }

2133 { 検索 条件クリア }

2134 2135 { }

テーブルデータ

	コード	名称
1	A/EPDM/S	アクリロニトリル/エチレンプロピレン ジェン/スチレン
2	A/SI/S	アクリロニトリル/シリコン/スチレン
3	ABS	ABSジェン
4	ABS+PBT	ABSポリブチレンテレフタレートアロイジュシ
5	ABS+PMMA	ABSポリメチルメタクリレートアロイジュシ
6	AS	ASジェン
7	LCP	エキシヨウポリマー
8	PA	ポリアミド
9	PBT	ポリブチレンテレフタレート
10	PC	ポリカーボネート
11	PC+ABS	ポリカーボネートABSアロイジュシ
12	PC+PET	ポリカーボネートポリエチレンテレフタ レートアロイジュシ
13	RE	ポリエチレン
14	PEEK	ポリエーテルエーテルケトン

【図 4 5】

2121 Menu

2112 BackPage

2113 Log Out

2122

2123

2124

2125 Help

Mail

LoginUser: 99999

LoginDate: 1998/01/14

11. MO材料管理単価情報

検索結果件数: 1684

2141

2142

2143

2144

2145

2146

2147

2148

2149

2150

2151

2152

第1ソートキー指定なし

第2ソートキー指定なし

第3ソートキー指定なし

昇順にソート

降順にソート

検索画面へ

2148

2149

2150

2151

2152

材質記号	メーカーコード	メーカー名称	グレードNo.	カラー識別	岩色No.	社内岩色No.
1 ABS	AA00	A社	100	SB	S43303	
2 ABS	AA00	A社	101	SB	S43303	
3 ABS	AA00	A社	120	SB	S43303	
4 ABS	AA00	A社	121	CB	5S33382	
5 ABS	AA00	A社	121	CB	5S33383	NU-0063
6 ABS	AA00	A社	121	CB	7S33342	NU-0063
7 ABS	AA00	A社	121	CB	7S43319	
8 ABS	AA00	A社	121	CB	RS33387	NU-0063
9 ABS	AA00	A社	121	CC	1S35149	RE-0007
10 ABS	AA00	A社	121	CC	1S35562-H	RE-0012
11 ABS	AA00	A社	121	CC	2S38110	DIC F42
12 ABS	AA00	A社	121	CC	3S345686	M37474 CF8089

2121 Menu 2122 2123 2124 2125 BackPage Log Out Help Mail 2156 2157

2112 LoginUser: 99999 1 1 . MO材料管理単価詳細情報 2155 2159 2113 LoginDate: 1998/01/13 一覧画面へ 検索画面へ

材料情報

材質記号	ABS	通貨単価	JPY	実施日	管理単価
メーカーコード	AA00	質量単価	KG	199602	325.00
メーカー名称	A社	取引先限定種別	00		
グレードNo.	100	ロット種別	0		
カラー識別	SB				
着色No.	S43303				
社内着色					

スペック情報

登録日: 1997/12/17 更新内容: 新規追加
更新日: 1997/12/22 コメント: テストデータ

特徴	耐候性
用途	外装小物

2160

材料管理区分	01	充填材	GF20	加工方法	射出	ホットランナー実績有	
燃焼性クラス1	HB	板厚1	0.01	燃焼性クラス2		板厚2	
密度(スベック)(g/cm ³)	2.42	吸水率(%)	32.10	引張降伏強(Mpa)	33	引張弾性率(Mpa)	4
曲げ強度(Mpa)	33	曲げ弾性率(Mpa)	44	アイソット衝撃強(KI/m ²)	28.20	シャルビ-衝撃強(KI/m ²)	2
破壊伸(%)	28	ロックウェルR	230	ロックウェルM	2340	耐光性	3
耐薬品性		型金成割試験データ有			RAL-UZ外装適合(1:合 2:NG)		1
MF試験条件	F20-M40				マルト70-(g/10min)		
成形収縮率(%)	234.00	成形収縮直(%)	221.00	荷重たわみ18K(℃)	220	線膨張係数(R-5/℃)	2
誘電率	202.0	体積低減率	292.0	体積低減率	101	荷重たわみ4.5K(℃)	3

【図 4 7】

2121
2112
2113

2122 2123 2124 2125
Menu BackPage Log Out Help Mail
LoginUser: 99999
LoginDate: 1998/01/14

1 4. MO材料海外事業所実買単価情報検索 〜2165

検索条件	
拠点コード	
材質記号	
メーカー名称	
グレードNo.	
カラー識別	
着色No.	
社内着色No.	

2167 2168

検索 条件クリア

【図 4 8】

2121 ~ Menu BackPage Log Out Help Mail

2112 ~ LoginUser: 99999
LoginDate: 1998/01/17

2113 ~ 1 4 . MO材料海外事業所単価情報 ~ 2171
検索結果件数 : 205
2172 ~ 検索画面へ 為替レート表示 ~ 2173

2143 2144 2145 2146 2147
第1ソートキー [指定なし] 第2ソートキー [指定なし] 第3ソートキー [指定なし] 昇順にソート 降順にソート

2148 ~ 前リスト 次リスト 1 番号から表示 ~ 2150
2149

管理 実質 単価	拠点	材質記号	メーカー名称	グレードNo.	カラー識別	着色No.	社内着色No.
1		ABS	ASAHI CHEMICAL	VA-29	CC	NSF2107	
2		ABS	BASF				
3		ABS	BAYER	P2HAT	B		
4		ABS	CHIMEI	PA707	CC		
5		ABS	CHIMEI	PA757	B		
6		ABS	GE	CYCOLACDFAR	B		
7		ABS	GE	CYCOLAC GPM5500	CC		
8		ABS	GE	CYCOLAC VW300	CC		
9		ABS	GE	CYCOLAC VW300	CC		
10		ABS	TECHINOPOLYMER	#38	B		

【図 4 9】

2122 2123 2124 2125

Menu BackPage Log Out Help Mail

LoginUser: 99999

LoginDate: 1998/01/17

1 4。MO材料海外事業所単価為替シート

検索結果件数: 2

2182 ~ 一覧画面へ

2183 ~ 検索画面へ

2181

登録シート一覧

通貨単位	レート
1 HK\$	1996/07/01 2000/01/01 12.00 20.00
2 JPY	1.00

2184

【図 50】

2121 { Menu BackPage Log Out Help Mail } 2122 2123 2124 2125

2112 LoginUser: 99999 21. MO材料部番別使用情報検索画面 ~ 2191

2113 LoginDate: 1998/01/13

検索条件

2196 { 会社コード 拠点区分 使用部番 取引先コード 取引先名称 材質記号 メーカーコード メーカー名称 グレードNo. カラー識別 着色No. 社内若色No. }

2192 { }

2193 { }

2194 { 検索 条件クリア } 2195

2193 { }

2194 { }

2195 { }

2121 { Menu BackPage Log Out Help Mail }

2122 { 2122 2123 2124 2125 }

2112 { LoginUser: 99999 }

2113 { LoginDate: 1998/01/13 }

2143 { 第1ソートキー 指定なし 第2ソートキー 指定なし 第3ソートキー 指定なし 昇順にソート 降順にソート }

2144 { }

2145 { }

2146 { }

2147 { }

2148 { }

2149 { }

2150 { }

2203 { }

2204 { }

検索結果件数: 2156件

検索画面へ ~ 2202

21. MO材料部番別使用情報 ~ 2201

2148 ~ 2149 ~ 2150

	会社	拠点区分	拠点	使用部番	寸法	工程図番	取引先	取引先名称	材質記号	メーカー	メーカー名称	グレード No.
1	AAA	B	A事業所	AB0-0275-000	000	FG9003	M232		ABS	TA10	B社	NC119
2	AAA	B	A事業所	AB0-0277-000	000	FG9001	M232		ABS	TA10	B社	NC119
3	AAA	B	A事業所	AB0-0278-000	000	G99003	T631	BB	ABS	TA10	B社	NC119
4	AAA	B	A事業所	AB0-0278-000	000	G99004	T631	BB	ABS	TA10	B社	NC119
5	AAA	B	A事業所	AB0-0282-000	000	FG9002	F036		ABS	TA10	B社	NC119
6	AAA	B	A事業所	AB0-0282-000	000	FG9004	F036		ABS	TA10	B社	NC119
7	AAA	B	A事業所	AB0-0283-000	000	FG9002	F036		ABS	TA10	B社	NC119
8	AAA	B	A事業所	AB0-0283-000	000	FG9004	F036		ABS	TA10	B社	NC119
9	AAA	B	A事業所	AB0-0293-000	000	G99002	K557	CC	ABS	TA10	B社	NC119
10	AAA	B	A事業所	AB0-0294-000	000	G99001	K557	CC	ABS	TA10	B社	NC119
11	AAA	B	A事業所	AB0-0311-000	000	G99003	T583	DD	ABS	TA10	B社	NC471(CA

【図 5 2】

2121 Menu 2122 BackPage 2123 Log Out 2124 Help 2125 Mail

2112 LoginUser: 99999 21. MO材料製品情報画面 ~ 2211 検索結果件数: 336件

2113 LoginDate: 1998/01/13 2212 ~ 一覧画面へ 材料費明細へ ~ 2214

2215 番号: FA2-8225-000 単位: 000

オーダー番号	拠点	オーダー名称	員数	製品群	機群
F12-7208-001	B 事業所	*** NP6062 115W イワン	2	NP-6060/6050/6062	
F12-7238-001	B 事業所	*** NP6062 115W イシトレイアリ	2	NP-6060/6050/6062	
F12-7239-001	B 事業所	*** NP6062 115W イシトレイナシ	2	NP-6060/6050/6062	
F12-7268-001	B 事業所	*** NP6062 230V CA	2	NP-6060/6050/6062	
F12-7248-001	B 事業所	*** NP6062 230V ッパン	2	NP-6060/6050/6062	
F12-7222-001	B 事業所	*** RFA ッキ (カンコク)	2	NP-6060/6050/6062	
F13-1011-001	B 事業所	*** S-R ッキ CPT ナイ	2	NP-6085/MT-5316	
F13-1042-001	B 事業所	*** SRF ズンツキ イッパン	2	NP-6085/MT-5316	
F13-1052-001	B 事業所	*** SRF ズンツキ エイコク	2	NP-6085/MT-5316	
F13-1092-001	B 事業所	*** SRF ズンツキ オウシュウ	2	NP-6085/MT-5316	
F13-1062-001	B 事業所	*** SRF ズンツキ コウコク	2	NP-6085/MT-5316	
F13-1082-001	B 事業所	*** SRF ズンツキ ドクコク	2	NP-6085/MT-5316	
F13-1072-001	B 事業所	*** SRF ズンツキ フツコク	2	NP-6085/MT-5316	
F13-1032-001	B 事業所	*** SRF ズンツキ ホクベイ	2	NP-6085/MT-5316	
F12-8512-001	B 事業所	*** SX N350 115W ッパン	2	NP-6060/6050/6062	
F12-4952-001	B 事業所	1010 オリベッティ 240/50 UK	2	NP-1010/1020/6010	
F12-4972-001	B 事業所	1010 オリベッティ 220/50	2	NP-1010/1020/6010	
F12-4972-003	B 事業所	1010 オリベッティ 220/50 OTH	2	NP-1010/1020/6010	
F12-4972-002	B 事業所	1010 オリベッティ 220/50 ITA	2	NP-1010/1020/6010	
F12-9231-001	B 事業所	3050 OC 115V BRAZIL	2	NP-3030/3050/3050EK	NP-3000
F12-9271-001	B 事業所	3050 OC 230V FRN	2	NP-3030/3050/3050EK	
F12-9291-001	B 事業所	3050 OC 230V ITALY	2	NP-3030/3050/3050EK	
F12-9251-001	B 事業所	3050 OC 230V UK	2	NP-3030/3050/3050EK	

【図 5 3】

2122 2123 2124 2125

Menu BackPage Log Out Help Mail

LoginUser: 99999
LoginDate: 1998/01/13

22. MO材料部番別材料費明細情報検索画面 ~ 2221

検索条件

テーブルデータ データを選択するには左のボタンをクリックして下さい。

会社コード

拠点区分

使用部番

取引先コード

取引先名称

材質記号

メーカーコード

メーカー名称

グレードNo.

カラー識別

若色No.

社内着色No.

コード

名称

2224

検索

条件クリア

2225

2226

2222

2223

【図 5 4】

2121 Menu

2112 BackPage

2113 Log Out

2122 Help

2123 Mail

2124

2125

LoginUser: 99999

LoginDate: 1998/01/14

2 2. MO材料部番別材料費明細情報

検索結果件数: 2156件

2143

2144

2145

2146

2147

第1ソートキー

指定なし

第2ソートキー

指定なし

第3ソートキー

指定なし

昇順にソート

降順にソート

2148

2149

2150

2234

2233

	会社	拠点区分	拠点	使用部番	寸法	工程図番	取引先コード	取引先名称	材質記号	メーカーコード	メーカー名称	グレードNo.
1	AAA	B	A事業所	AB0-0275-000	000	FG9003	M232		ABS	TA10	B社	NC119
2	AAA	B	A事業所	AB0-0277-000	000	FG9001	M232		ABS	TA10	B社	NC119
3	AAA	B	A事業所	AB0-0278-000	000	G99003	T631	BB	ABS	TA10	B社	NC119
4	AAA	B	A事業所	AB0-0278-000	000	G99004	T631	BB	ABS	TA10	B社	NC119
5	AAA	B	A事業所	AB0-0282-000	000	FG9002	F036		ABS	TA10	B社	NC119
6	AAA	B	A事業所	AB0-0282-000	000	FG9004	F036		ABS	TA10	B社	NC119
7	AAA	B	A事業所	AB0-0283-000	000	FG9002	F036		ABS	TA10	B社	NC119
8	AAA	B	A事業所	AB0-0283-000	000	FG9004	F036		ABS	TA10	B社	NC119
9	AAA	B	A事業所	AB0-0293-000	000	G99002	K557	CC	ABS	TA10	B社	NC119
10	AAA	B	A事業所	AB0-0294-000	000	G99001	K557	CC	ABS	TA10	B社	NC119
11	AAA	B	A事業所	AB0-0311-000	000	G99003	T583	DD	ABS	TA10	B社	NC471(CA

【図 5 5】

2121 Menu

2112 BackPage

2113 Log Out

2122 2123 2124 2125

2125 Help

2125 Mail

LoginUser: 99999

LoginDate: 1998/01/13

22. MO材料製品情報画面

検索結果件数: 336件

2241

2242

2243

2244

2245

番号: FA2-8225-000

寸法: 000

オーダ番号	拠点	オーダ名称	員数	製品群	煙種群
F12-7208-001	日本研究所	*** NP6062 115V イワン	2	NP-6060/6050/6062	
F12-7238-001	日本研究所	*** NP6062 115V イシトレイアリ	2	NP-6060/6050/6062	
F12-7239-001	日本研究所	*** NP6062 115V イシトレイナシ	2	NP-6060/6050/6062	
F12-7268-001	日本研究所	*** NP6062 230V CA	2	NP-6060/6050/6062	
F12-7248-001	日本研究所	*** NP6062 230V ッパン	2	NP-6060/6050/6062	
F12-7222-001	日本研究所	*** RFA ッキ (カンコク)	2	NP-6060/6050/6062	
F13-1011-001	日本研究所	*** S-R ッキ CFW ナイ	2	NP-6085/MT-5316	
F13-1042-001	日本研究所	*** SRF ズンツキ イッパン	2	NP-6085/MT-5316	
F13-1052-001	日本研究所	*** SRF ズンツキ イイコク	2	NP-6085/MT-5316	
F13-1092-001	日本研究所	*** SRF ズンツキ オウシュウ	2	NP-6085/MT-5316	
F13-1062-001	日本研究所	*** SRF ズンツキ コウコク	2	NP-6085/MT-5316	
F13-1082-001	日本研究所	*** SRF ズンツキ ドクコク	2	NP-6085/MT-5316	
F13-1072-001	日本研究所	*** SRF ズンツキ フツコク	2	NP-6085/MT-5316	
F13-1032-001	日本研究所	*** SRF ズンツキ ホクベイ	2	NP-6085/MT-5316	
F12-8512-001	日本研究所	*** SX N350 115V ッパン	2	NP-6060/6050/6062	
F12-4852-001	日本研究所	1010 オリベッティ 240/50 UK	2	NP-1010/1020/6010	
F12-4972-001	日本研究所	1010 オリベッティ 220/50	2	NP-1010/1020/6010	
F12-4972-003	日本研究所	1010 オリベッティ 220/50 OTH	2	NP-1010/1020/6010	
F12-4972-002	日本研究所	1010 オリベッティ 220/50 ITA	2	NP-1010/1020/6010	
F12-9231-001	日本研究所	3050 OC 115V BRAZIL	2	NP-3030/3050/3050EK	NP-3000
F12-9271-001	日本研究所	3050 OC 230V FRN	2	NP-3030/3050/3050EK	
F12-9291-001	日本研究所	3050 OC 230V ITALY	2	NP-3030/3050/3050EK	
F12-9251-001	日本研究所	3050 OC 230V UK	2	NP-3030/3050/3050EK	

【図 5 6】

2122 2123 2124 2125

2121 Menu BackPage Log Out Help Mail

2112 LoginUser: 99999

2113 LoginDate: 1998/01/13

31. MO材料材質別サマリ情報検索画面〜2251

検索条件

2253 2252

材質記号	
メーカーコード	
メーカー名称	
グレードNo.	
カラー識別	
着色No.	
社内着色No.	
拠点名称	

2253

コード 名称

2253

金額 重量 条件クリア

2254 2255 2256

【図 5 8】

特 2 0 0 0 - 0 4 1 3 5 1

2121 { Menu BackPage Log Out Help Mail }

2112 { LoginUser: 99999 }

2113 { LoginDate: 1998/01/14 }

2122 2123 2124 2125 { }

31. MO材料材質別サマリ情報 (重量) { 検索結果件数: 616件 }

2143 { 2144 { 2145 { 2146 { 2147 { 2271 { 2272 ~ 2273 { 金額 { 検索画面へ { 降順にソート { 昇順にソート { 降順にソート { }

2148 ~ 2149 { 前リスト { 次リスト { 1 { 2150 { 番号から表示 { }

【図 5 9】

2122 2123 2124 2125

2121 Menu BackPage Log Out Help Mail

2112 LoginUser: 99999

2113 LoginDate: 1998/01/14

41. MO材料スペック情報検索画面 ~ 2281

検索条件

コード 名称

2284

材質記号	
メーカーコード	
メーカー名称	
グレードNo.	
材料管理区分	
充填材	
加工方法	
燃焼性クラス	
ホットランナー実績	
MF試験条件	℃,N
メルトフロー	≤ ≤ g/10min
特徴1	
特徴2	
特徴3	
特徴4	
用途1	
用途2	

2285 2286

検索 条件クリア

2283 2282

2121 Menu

2122 BackPage

2123 Log Out

2124 Help

2125 Mail

2112 LoginUser: 99999

2113 LoginDate: 1998/01/14

41. MO材料スペック情報

検索結果件数: 23

検索画面へ

2143 2144 2145 2146 2147

第1ソートキー 指定なし

第2ソートキー 指定なし

第3ソートキー 指定なし

昇順にソート

降順にソート

材質記号	メーカーコード	メーカー名称	グレードNo.	管理区分	充填材	燃焼性クラス
1 A/EPDM/S	UA00	A社	EDF20	01	GF20	H3
2 A/SI/S	AA00	B社	100Z	01	GF20	AH2
3 A/SI/S	TA00	C社	SX-E105	01	GF20	HB
4 A/SI/S	TA00	C社	SXE105	01	GF20	HB
5 A/SI/S	TA00	C社	SXH105	01	GF20	HB
6 A/SI/S	TA00	C社	SXN476	01	GF20	HB
7 ABS	AA00	B社	100	01	GF20	HB
8 ABS	AA00	B社	1000	01	GF20	HB
9 ABS	AA00	B社	100AZ	01	GF20	HB
10 ABS	AA00	B社	100P	01	GF20	H10
11 ABS	AA00	B社	100V	01	GF20	H1
12 ABS	AA00	B社	100Z	01	GF20	HB
13 ABS	TA00	C社	SXE105	01	GF20	HB

【図 6 1】

2121 { Menu BackPage Log Out Help Mail }

2122 { 2122 2123 2124 2125 }

2112 { LoginUser: 99999 }

2113 { LoginDate: 1998/01/14 }

4 1 . MO材料スペック情報詳細画面 ~ 2301

材質記号	A/EPDM/S	メーカーコード	UA00	メーカー名称	A社
グレードNo.	EDF20	材料管理区分	01	充填材	GF20
加工方法	射出	ホットランナー実績	無		

2302 {

燃焼性クラス1	板厚1	0.01	燃焼性クラス2	板厚2
密度 (g/cm ³)	2.42	32.10	引張降伏強 (Mpa)	33
曲げ強度 (Mpa)	33	44	引張弾性強 (Mpa)	42
破断伸 (%)	28	230	シャルピ-衝撃値 (KJ/m ²)	28.20
耐薬品性	型合威利試験データ有		アイソット衝撃値 (KJ/m ²)	28.30
MF試験条件	F20-M40		ロックウェルM	3
成形収縮率 (%)	234.00	221.00	ロックウェルR	2340
荷重たわみ 18K	202.0	339	引張降伏強 (E-5/℃)	2033.0
			体積抵抗値	292.0
			誘電率	202.0
			体積抵抗係数 (E+xx Ωcm)	101

}

特徴	耐候性
用途	外装小物

登録変更日	1998/01/07	登録内容	新規追加
コメント	テストデータ		

管理単価情報画面へ

管理/実質単価情報画面へ

検索画面へ

一覧画面へ

2303 { 2304 { 2305 2306 }

【図 6 2】

2122 2123 2124 2125
Menu BackPage Log Out Help Mail

LoginUser: 99999
LoginDate: 1998/01/14

51. MO材料色承認情報検索画面 ~ 2311

検索条件

判定書管理No.	
材質記号	
メーカーコード	
メーカー名称	
グレードNo.	
メーカー管理No.	
色彩番号	
色彩名称	
判定結果	
判定日	
主管部門	
添付データ	
コメント	

検索 条件クリア

テーブルデータ

コード	名称
-----	----

2314

2315 2316

2312

2313

2121 2112 2113

【図 6 3】

2121 Menu

2112 BackPage

2113 Log Out

2122 2123 2124 2125 Help Mail

2112 LoginUser: 99999

2113 LoginDate: 1998/01/14

51. MO材料色承認情報 2321

検索結果件数: 122件

2143 2144 2145 2146 2147

第1ソートキー指定なし 第2ソートキー指定なし 第3ソートキー指定なし 昇順にソート 降順にソート

2148 2149 2150

前リスト 次リスト 番目から表示

2322 2323 2324 2325 2326

コメント画面へ 検索画面へ 管理画面へ 管理/実価単価画面へ 実価単価画面へ

コメント	判定書管理No.	メーカーコード	メーカー名称	材質記号	グレードNo.	メーカー管理No.	色彩番号	色彩名称	判定結果
01 無	TR102840	AA00	A社	ABS	100	S43303	NU-0138	コ－ルグレイ	合格
02 有	TR102639	AA10	A社	ABS	12	8DB660		PANTONE Pro.Yellow C	条件付合格
03 無	TR102650	AA10	A社	ABS	12	8U2051	NU-0008	ア－トグレイ7.5	合格
04 無	TR102654	AA10	A社	ABS	12	920100	NU-0008	ア－トグレイ7.5	合格
05 有	TR102655	AA10	A社	ABS	12	935980	NU-0008	ア－トグレイ7.5	合格
06 無	TR102619	AA10	A社	ABS	12	0D3160	NU-0008	ア－トグレイ7.5	条件付合格
07 有	TR102618	AA10	A社	ABS	12	0D2420	NU-0008	ア－トグレイ7.5	条件付合格
08 無	TR102644	AA10	A社	ABS	12	8E9940	NU-0015	グレイッシュジャスパ－グリーン	合格
09 無	TR102649	AA10	B社	ABS	12	8U1391	NU-0138	コ－ルグレイ	合格
010 無	TR102438	AA10	B社	ABS	12	NAT	NU-0142	シ－ルグレイ	合格
011 無	TR102637	AA10	B社	ABS	12	8D9750	NU-0122	ミスティグレイ	合格

2328

2327

【図 6 4】

2121

2122

2123

2124

2125

Menu

BackPage

Log

Out

Help

Mail

2112

2113

LoginUser: 99999

LoginDate: 1998/01/14

51. MO材料色承認情報コメント内容 ~2331

判定書管理No. TR102639

コメント内容:

色承認は TR100000 による。

2332

一覧画面へ

2333

検索画面へ

2334

管理単価画面へ

2335

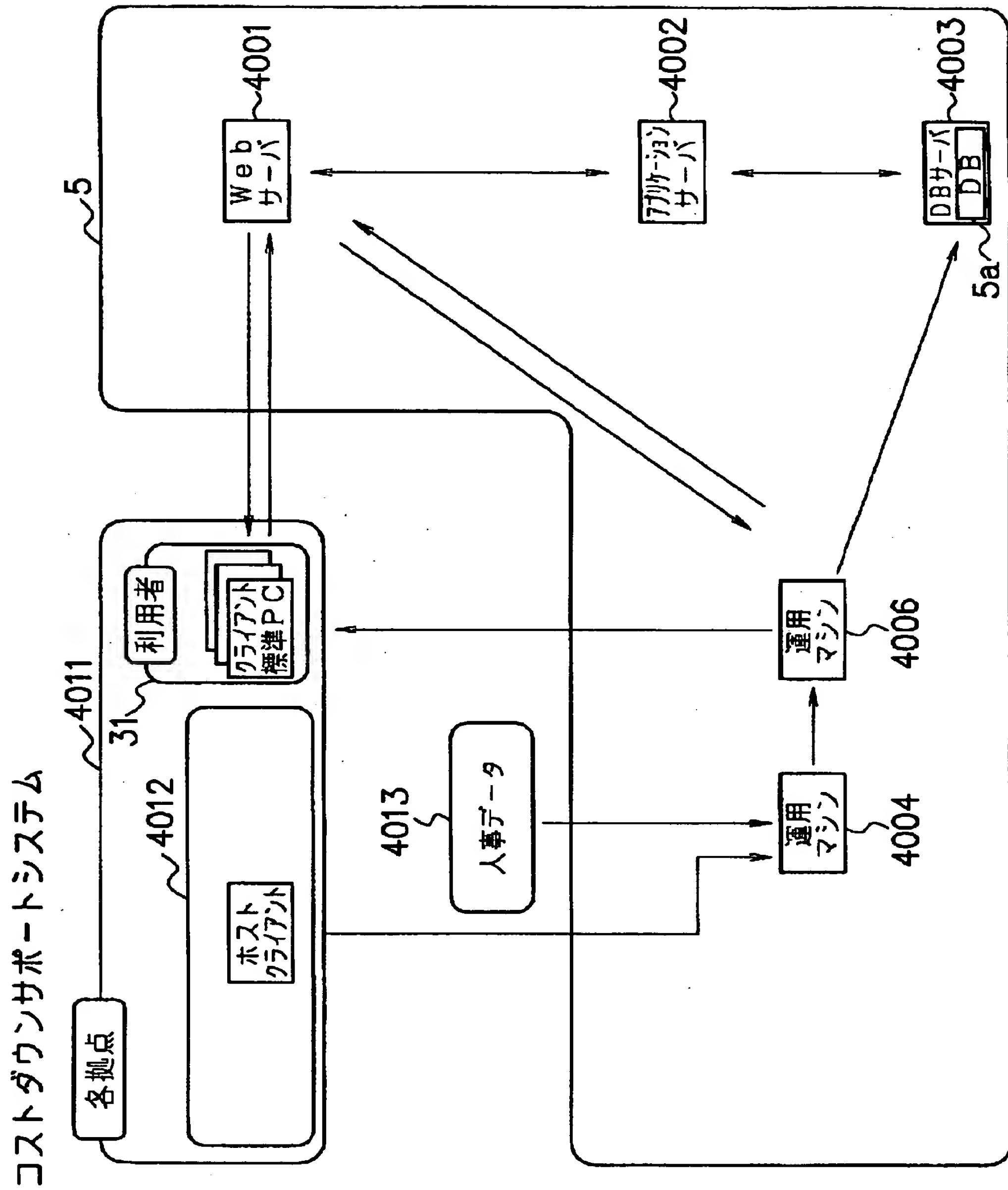
管理/実質単価画面へ

2336

実質単価画面へ

2337

【図 65】

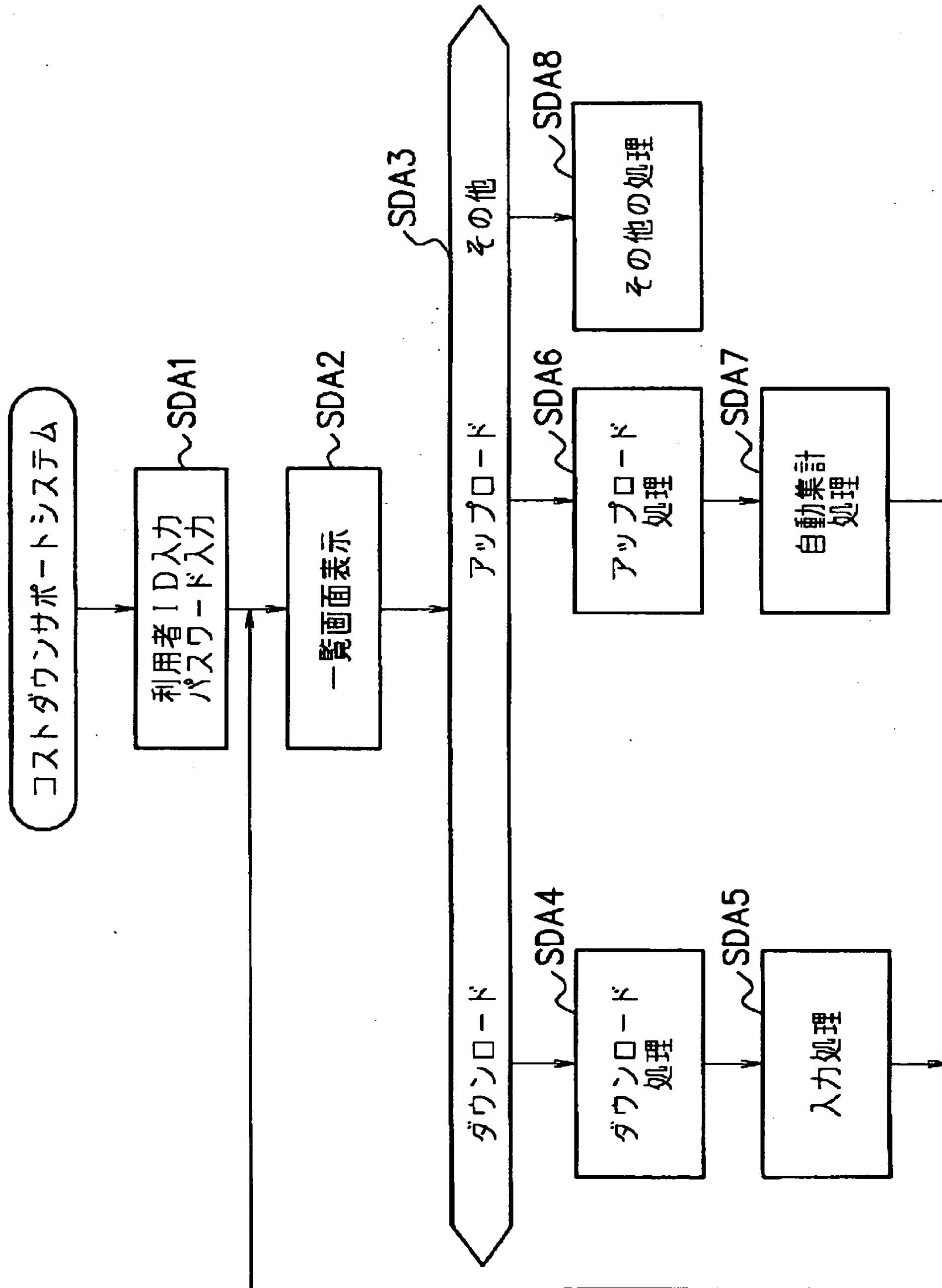


【図 6 6】

データベース

5a	部 番	5aa
	工 程	5ab
	図 番	5ac
	取 引 先	5ad
	検収年月	5ae
	検収総数	5af
	検収単価	5ag
	為替レート	5ah
	コストダウン情報	5ai
	マスタ単価等	5aj
	利 用 者	5ak
	セキュリティ	5al

【図 6 7】



【図 68】

コストダウンサポートシステム

4101～利用者ID :

4102～パスワード :

4103～ 4104

4105～

1. 隔日90日アクセスがない場合は、アクセス権を自動的に抹消させていただきます。
(御利用時に再度、利用申請書の提出が必要になります。)

2. 利用者はセキュリティ確保の為、パスワード変更を月1回必ず実施してください。

【図 69】

4112

4113

4114

4111

LoginUser:pmc LoginDate:1998/10/26 IPAddress:150.61.245.99 *1998年9月末現在

Menu

BackPage

Log Out

Help

Mail

4124

4121 4122 4123 コストダウンサポートデータ件数一覧〜4131

4133 アップロード〜4132

会社拠点	他の拠点よりも高い部番の検収データ			他の拠点よりも安い部番の検収データ		
	件数	ダウンロード	件数	ダウンロード	件数	ダウンロード
海外事業所	24	メカ部品	54	電子部品	14	メカ部品
A 事業所	379	メカ部品	579	電子部品	197	メカ部品
B 事業所	63	メカ部品	82	電子部品	31	メカ部品
		4134		4135		4136
						4137

【図 7 0】

4141	4141a	4141b	4141c	4141d	4141e	4141f	4141g
会社拠点		部 番	工 程	図 番	取 引 先	検収年月	通貨
C事業所		87-2841-000	LX	W99003	A社	1998/05	日本円
D事業所		F41-5931-004	AS	000012	B社	1998/05	日本円

【図 7 1】

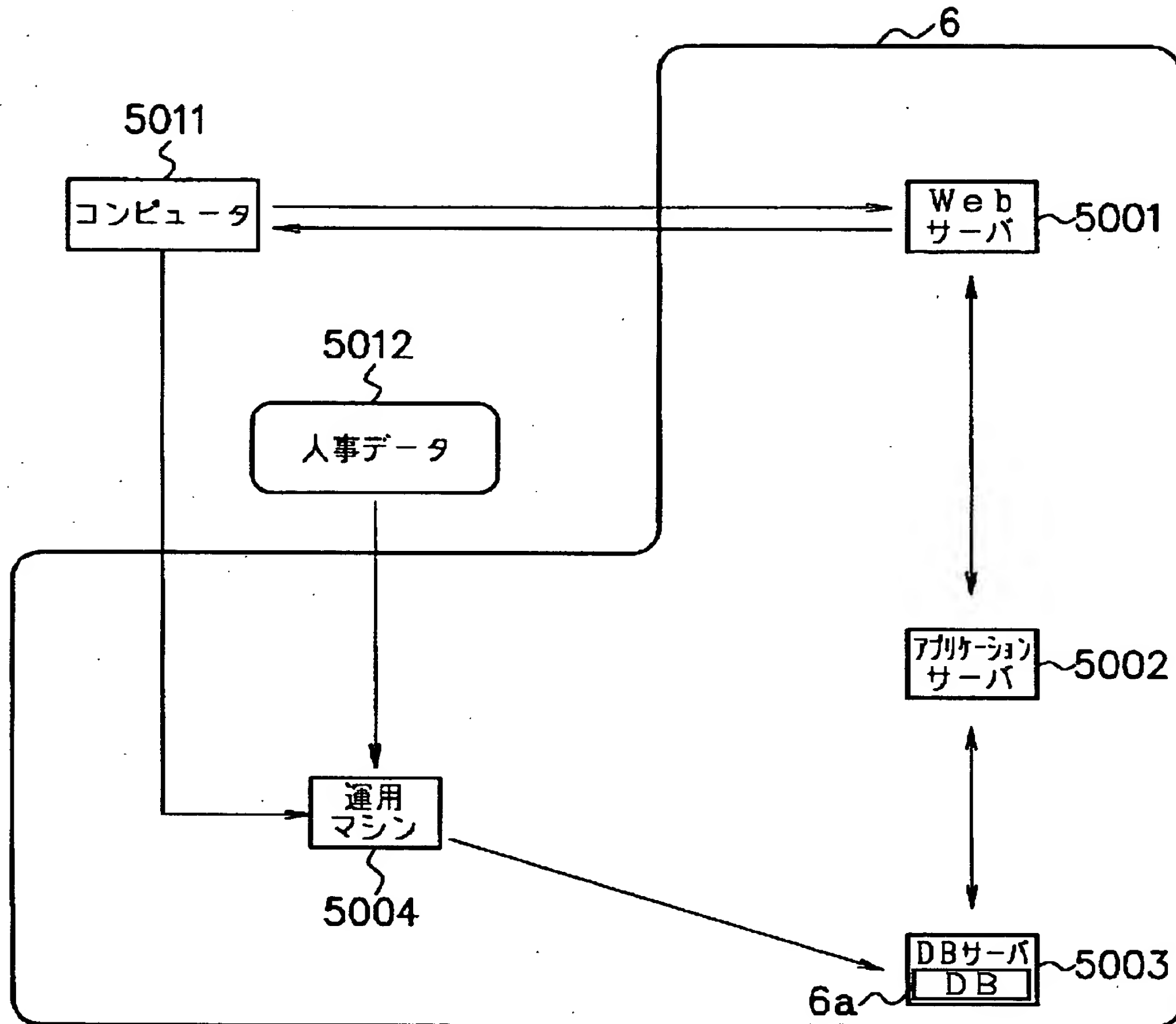
会社拠点	検収総数量 (該当月内累計)	最新検収単価 (現地通貨)	検収総金額 (現地通貨)	該当月平均 為替レ－ト	最新検収単価 (円換算)	検収総金額 (円換算)
C事業所	40	12	480	1	12	480
D事業所	100	6890	689000	1	6890	689000

【図 7 2】

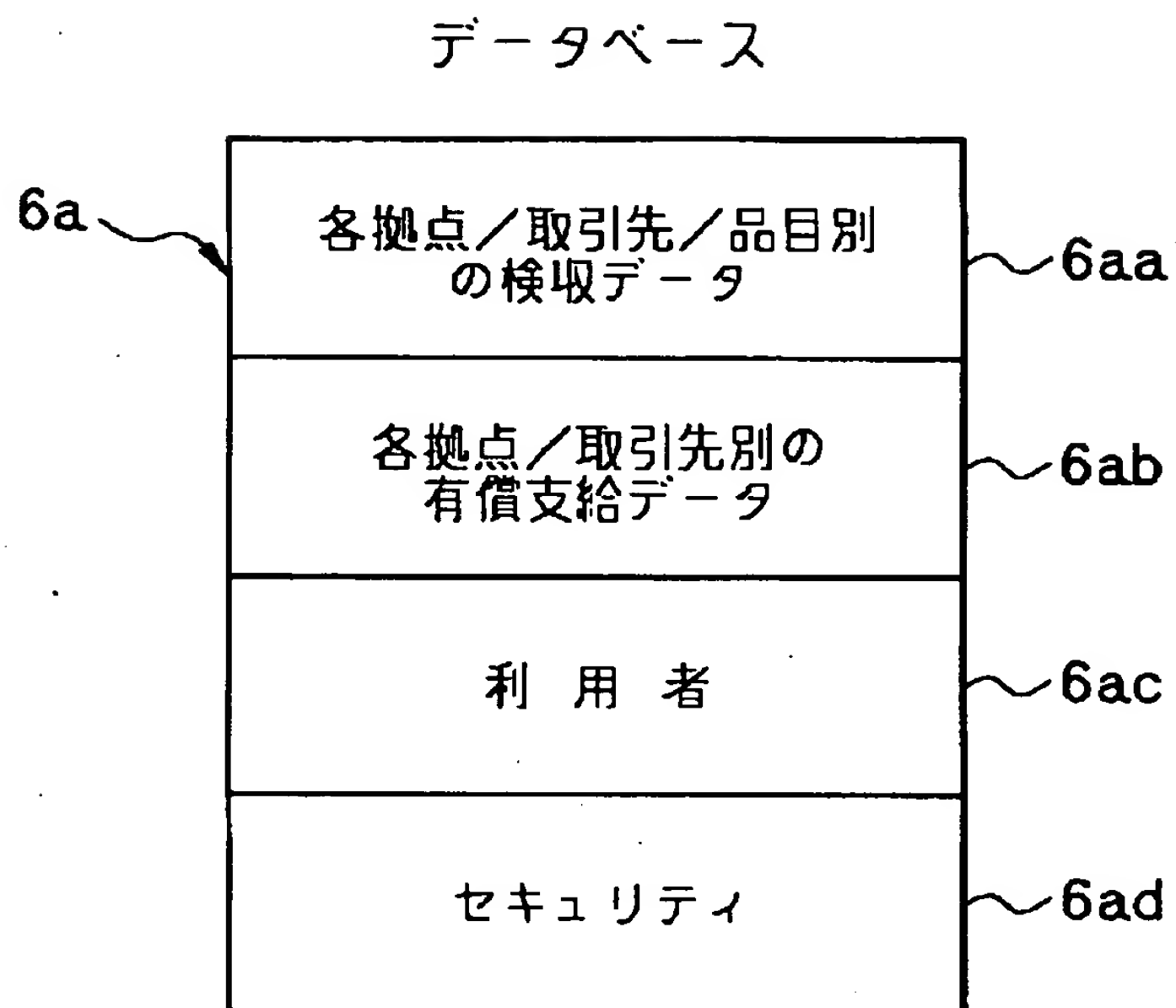
4141	4141a	4141n	4141o	4141p	4141q	4141r
	会社拠点	差額：検収単価の差 (円換算)	差額：検収総金額の差 (円換算)	コストダウン後の単価 (現地通貨)	入力年月日	コストダウン 交渉結果
	C事業所	0.24	9.6	11.5	1998/09/01	1998-10から適用
	D事業所	514.64	51464		1998/09/15	協定価格により不可

【図 7 3】

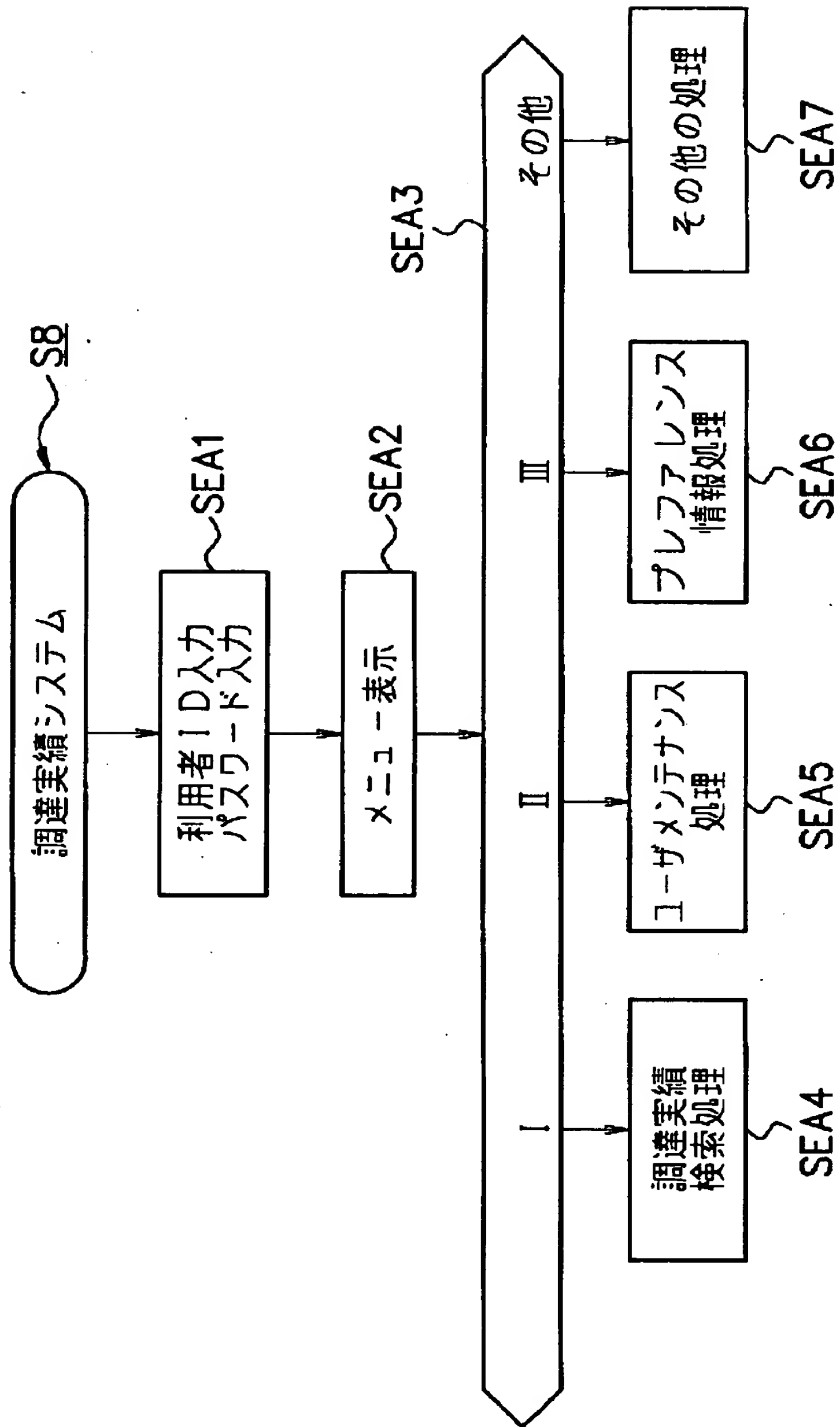
調達実績システム



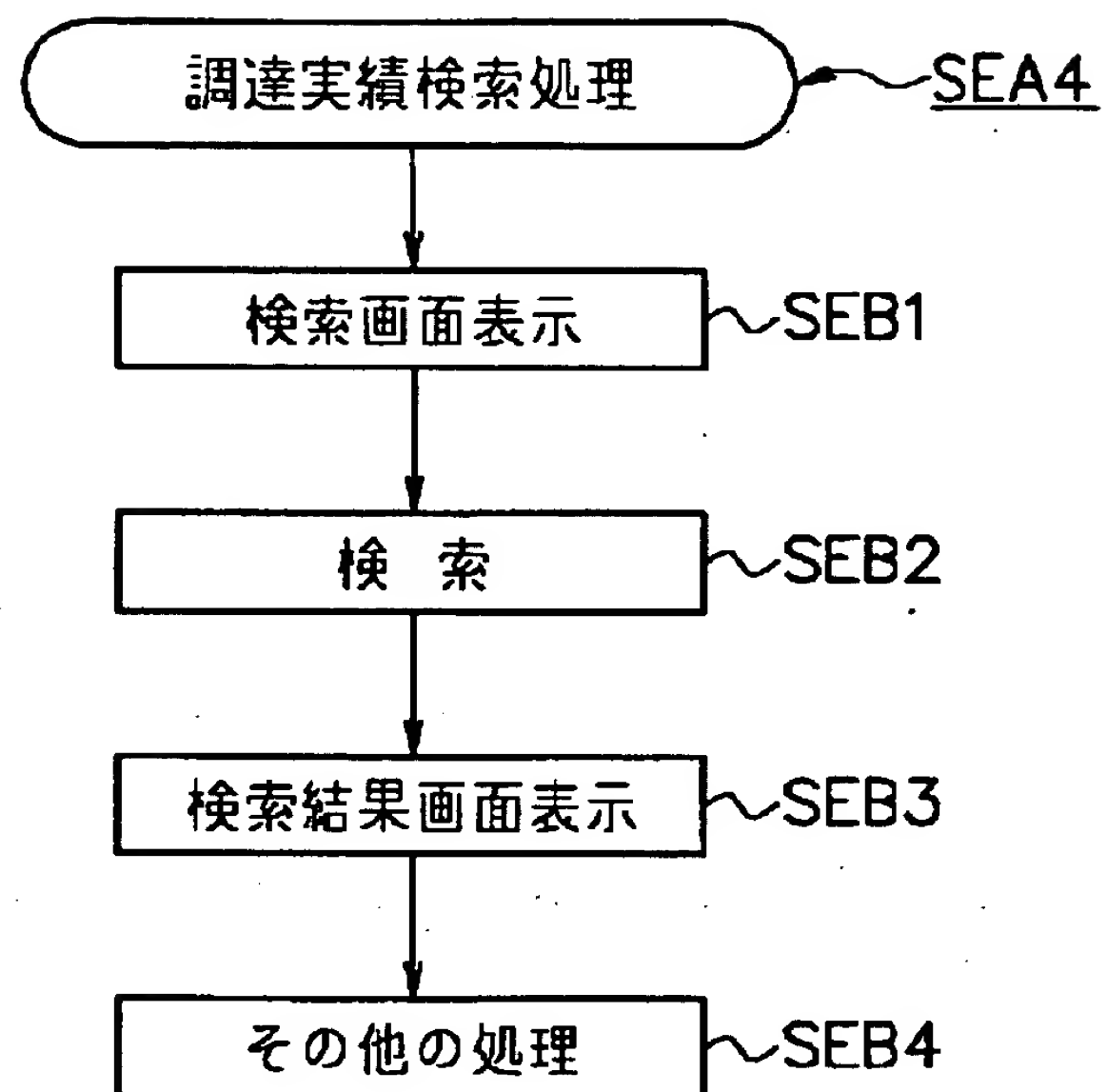
【図 7 4】



【図 7 5】



【図 7 6】



【図 7 7】

調達実績システム

5101～利用者ID :

5102～パスワード :

5103～ログイン パスワード変更 5104

5105～

1. 暦日90日アクセスがない場合は、アクセス権を自動的に抹消させていただきます。
（御利用時に再度、利用申請書の提出が必要になります。）

2. 利用者はセキュリティ保護の為、パスワード変更を月1回必ず実施してください。

【図 7 8】

5121 5122 5123 5124

Menu BackPage Log Out Mail

5111

1997年12月24日現在

調達実績システム

5112 LoginUser: super

5113 LoginDate: 1998/02/26

5114 LoginIP Address: 172.16.30.37

I 調達実績検索 表示 5131

II ユーザーメンテナンス 更新 5132

III プレファレンス情報 更新 5133

【図 7 9】

5112
LoginUser: super

5113
LoginDate: 1998/02/26

5114
LoginIP Address: 172.16.30.37

5121
Menu BackPage Log Out Mail 5124

5122
集計方法選択

○ E. 窓口別取引先別購入実績

○ J. 取引別窓口別購入実績

○ A. 品目別窓口別購入実績

○ K. 取引先別窓口別購入実績 (有償支給)

○ B. 品目別取引先別購入実績

○ L. 取引先別品目別購入実績

○ C. 品目別窓口別取引先別購入実績

○ M. 取引先別窓口別品目別購入実績

○ D. 品目別取引先別窓口別購入実績

○ N. 取引先別品目別窓口別購入実績

5142

実績年度

今年度

▼

品目品種

取引先

対象範囲

INCY 関係会社

▼

対象窓口

▼

検索

条件クリア

5143
条件入力用補助画面

1. まず、上の「集計方法選択」より、表示したい画面を入力します。

2. 次に、左の条件入力画面に必要な条件を入力します。

「品種品目」と「取引先」の欄には、
品種品目、取引先 ボタンをクリックすることで
ここに条件入力のための補助画面が表示されます。
その中から項目のボタンをクリックすることで、条件入力できます。

3. 条件の入力が済んだら、左の条件入力画面の 検索 ボタンをクリックします。

7 8

出証特2001-3016583

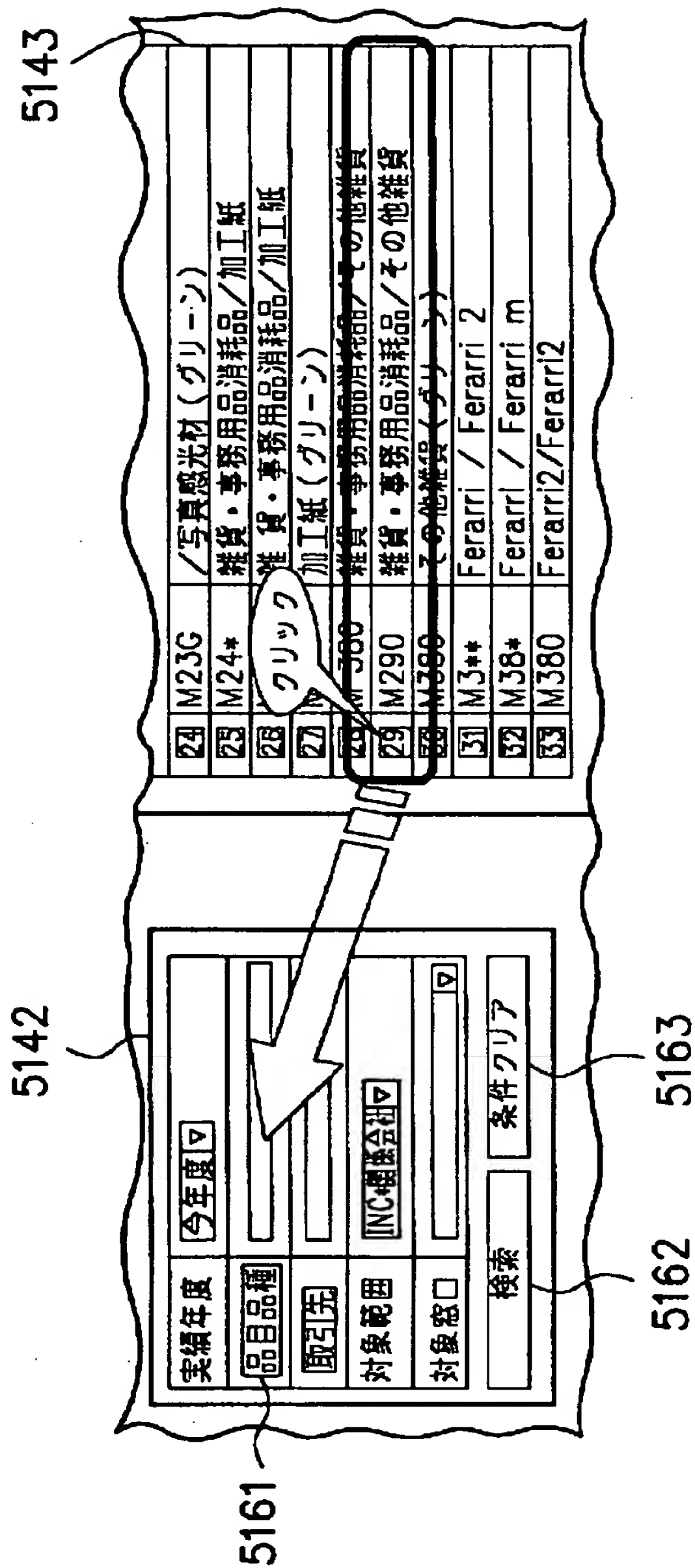
【図 8 0】

5141

5151

集計方法選択	OE : 窓口別取引先別購
OA : 品目別窓口別購入実績	OF : 窓口別取引先別購入
OB : 品目別取引先別購入実績	OG : 窓口別品目別購入実
OC : 品目別窓口別取引先別購入実績	OH : 窓口別取引先別品目
OD : 品目別取引先別窓口別購入実績	OI : 窓口別品目別取引先

【図 8 1】



【図 8 2】

5112
5113
5114
5121

LoginUser: super
LoginDate: 1998/02/26
LoginIP Address: 172.16.30.37

Menu BackPage Log Out Mail 5124

5122
5171

A : 品目別窓口別購入実績

実績年度: 1998年

品目品種: M290 / 雑貨・事務用消耗品 / その他雑貨

対象範囲: INC* 関係会社

単位/1000円

5172

拠点・窓口	1月	2月	3月	4月	5月	6月	年間計	
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	上期計	下期計
A 事業所	1	2	3	4	6	7	23	83
B 事業所	8	9	10	10	11	12	60	
	2	3	4	5	6	7	27	
	2	3	2	3	2	3	15	6949
C 事業所	20	30	40	50	60	70	268	
	12	46	79	99	65	32	333	346
	23	35	47	59	71	83	318	
合計	22	57	91	111	79	47	408	7378

【図 8 3】

5171

A : 品目別窓口別購入実績		●	5181
実績年度: 1998年			
品目品種: M290/ 雑貨・事務用消耗品/その他雑貨		●	
対象範囲: INC* 関係会社		●	単位/1000円

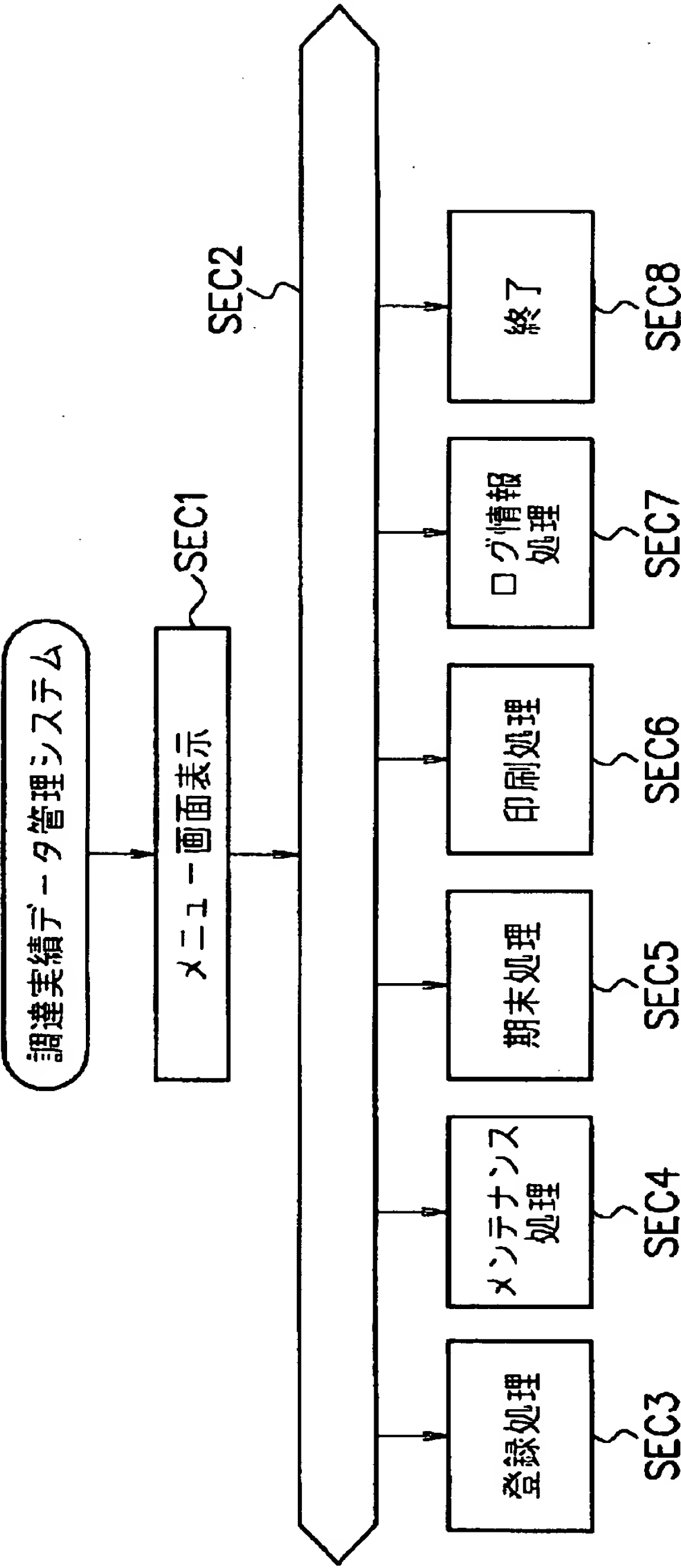
5183 5182

【図 8 4】

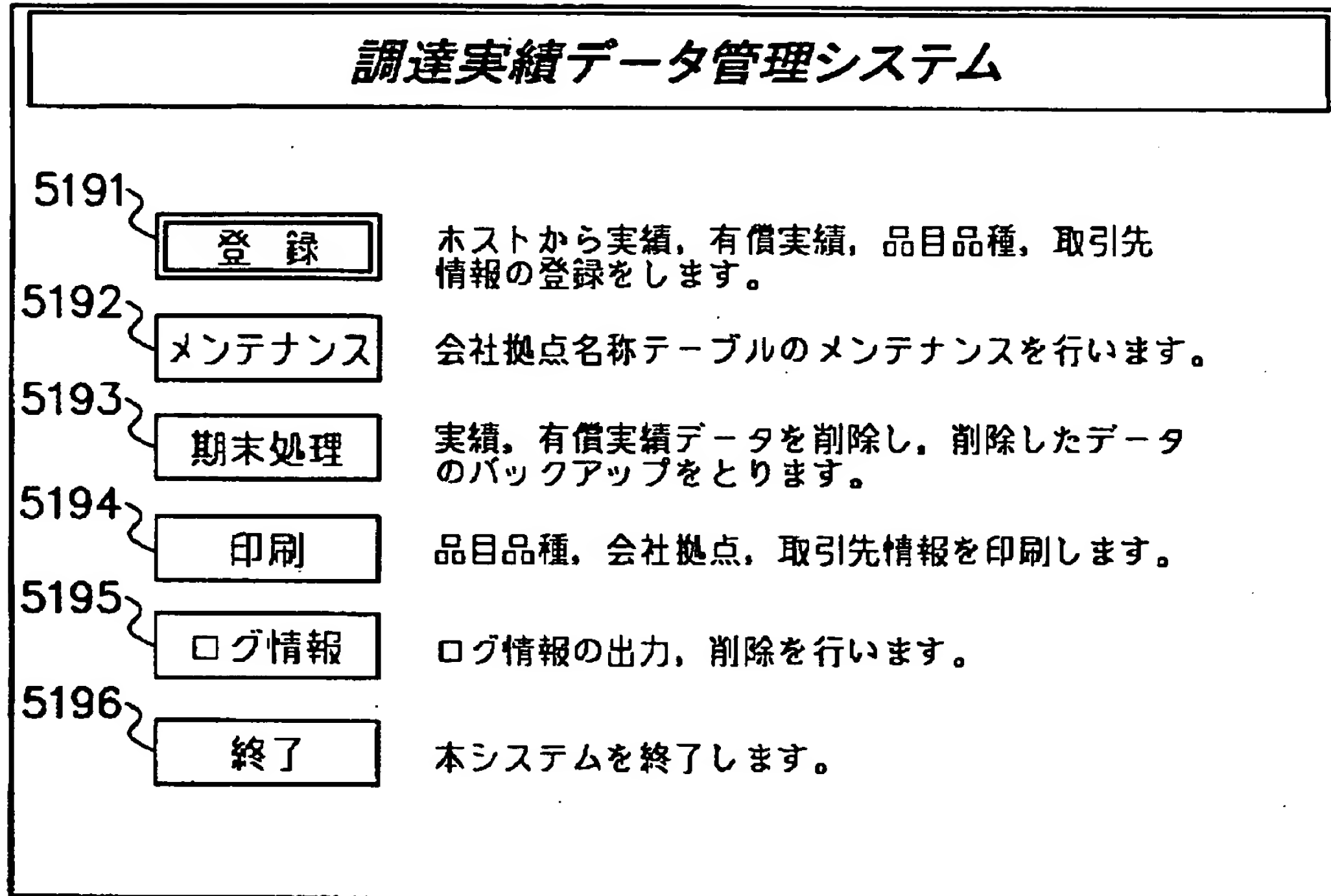
拠点・窓口	1月	2月	3月	4月	5月	6月	年間計	
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	上期計	下期計
A事業所	1	2	3	4	6	7	23	
	8	9	10	10	11	12	60	83
	2	3	4	5	6	7	27	
B事業所	2	3	2	3	2	3	15	6949
	20	30	40	50	60	70	268	
	12	46	79	99	65	32	333	346
C事業所	23	35	47	59	71	83	318	
	22	57	91	111	79	47	408	7378

5172~

【図 8 5】



【図 8 6】



【図 8 7】

5201

① 1994 年度のデータを削除します。（複数選択可）
また、削除したデータをテキスト形式で保存します。

5207

5202

削除	名前	件数
<input type="checkbox"/>	検収データ	2
<input type="checkbox"/>	有償支給データ	2

② 選択したデータをテキスト形式で保存します。
（複数選択可）

5208

5203

削除	名前	件数
<input type="checkbox"/>	取引先データ	8
<input type="checkbox"/>	品目品種データ	7
<input type="checkbox"/>	会社拠点名称データ	8

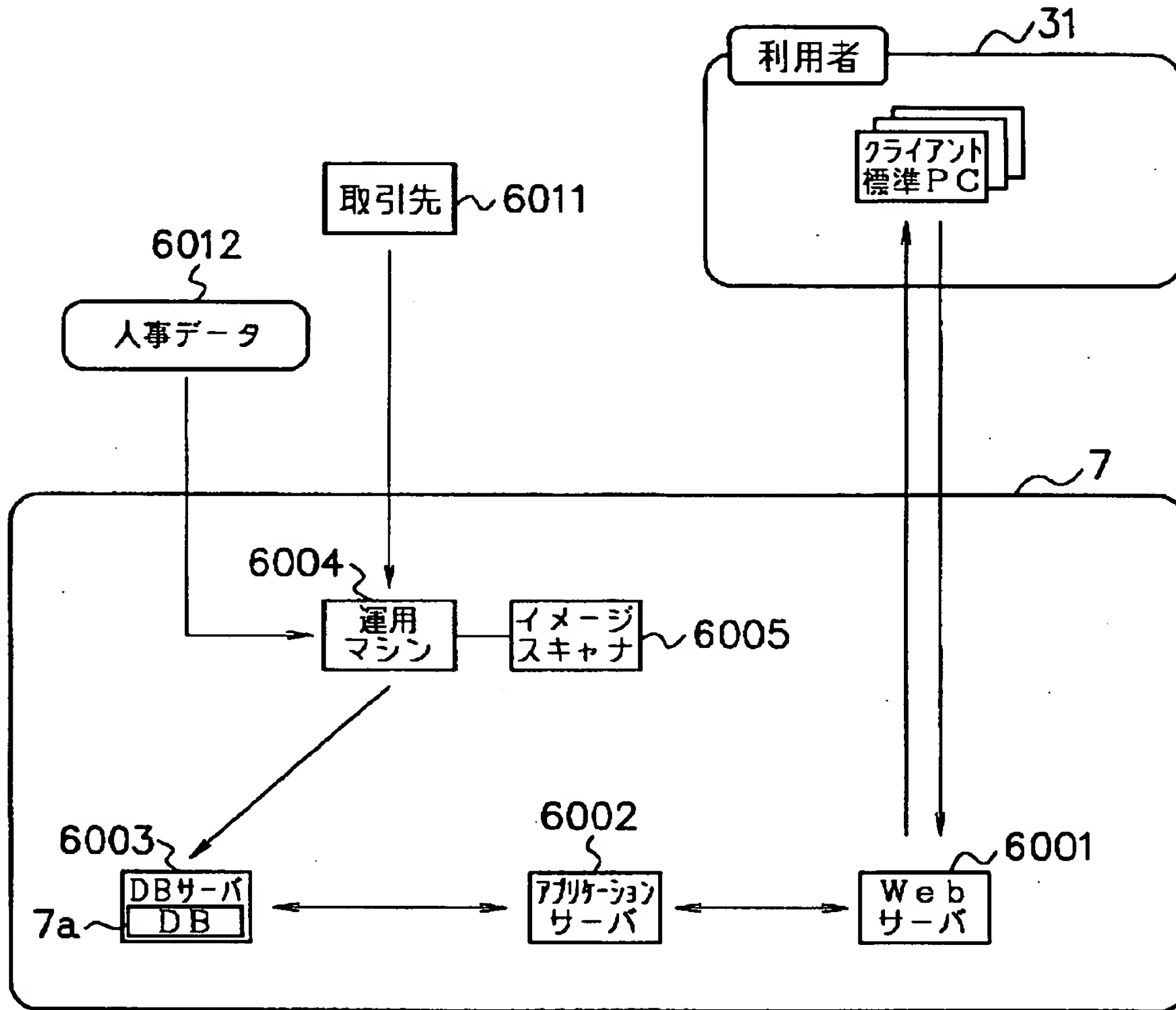
設定 5204

実行 5205

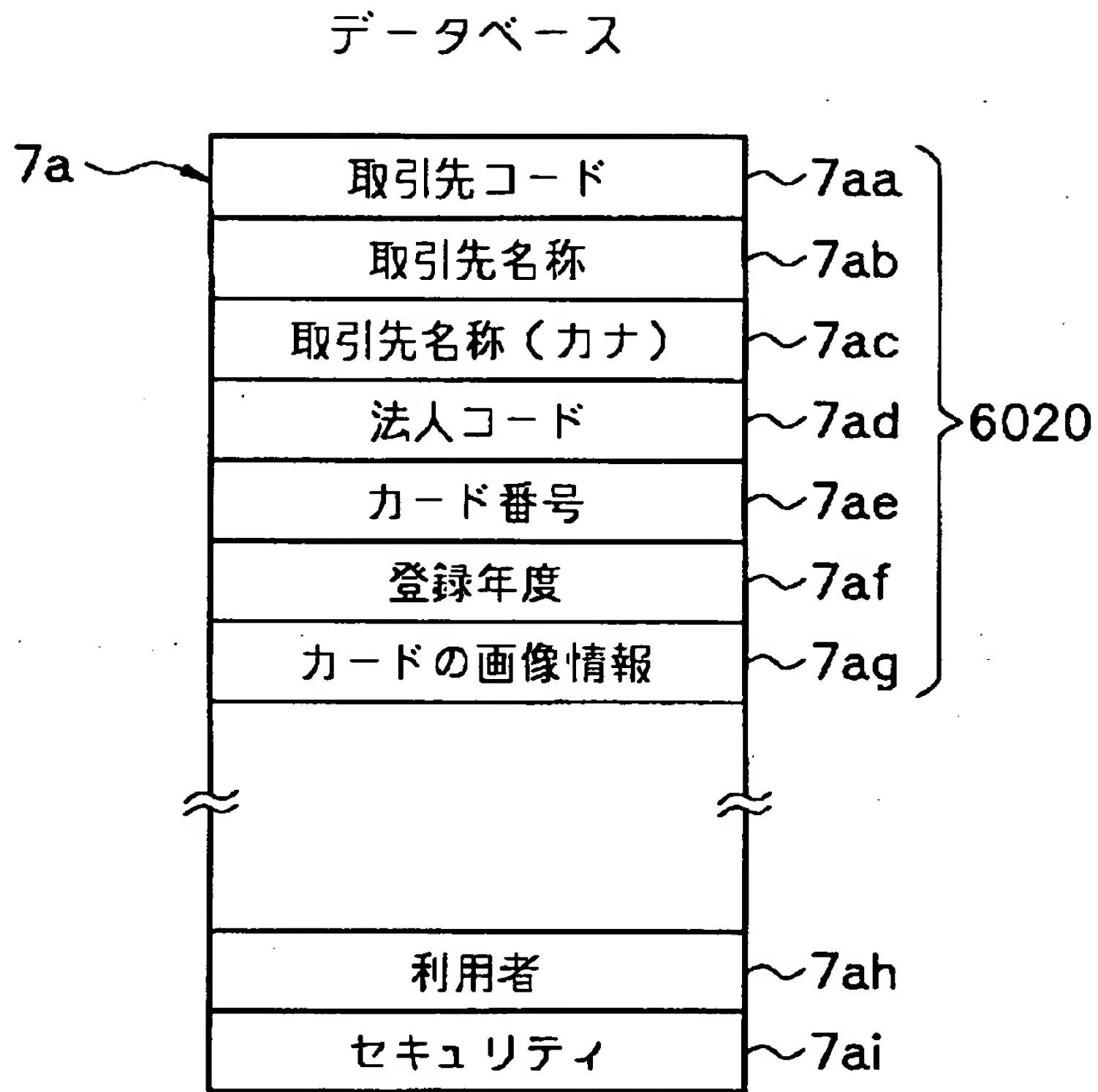
閉じる 5206

【図 8 8】

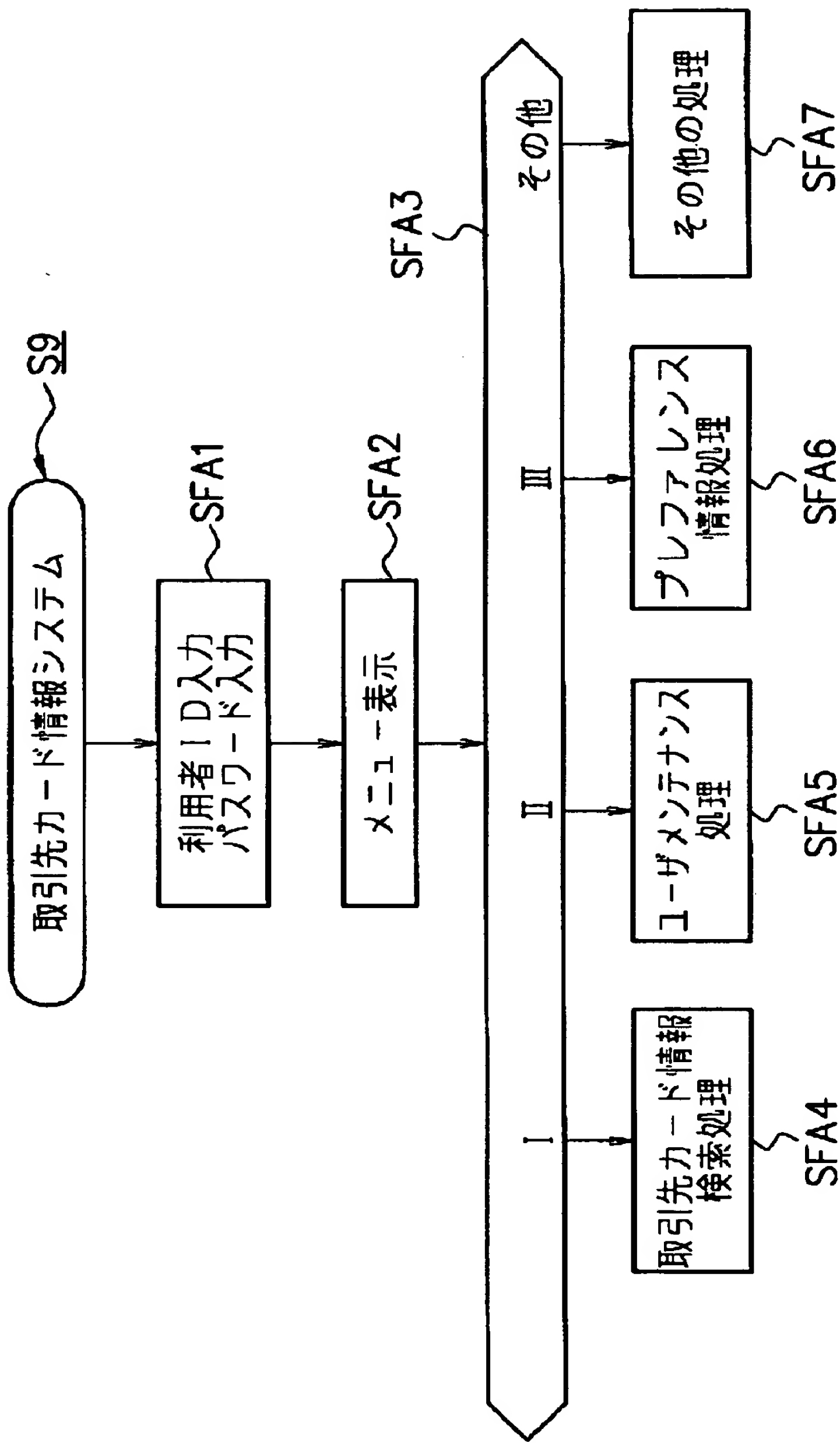
取引先カード情報システム



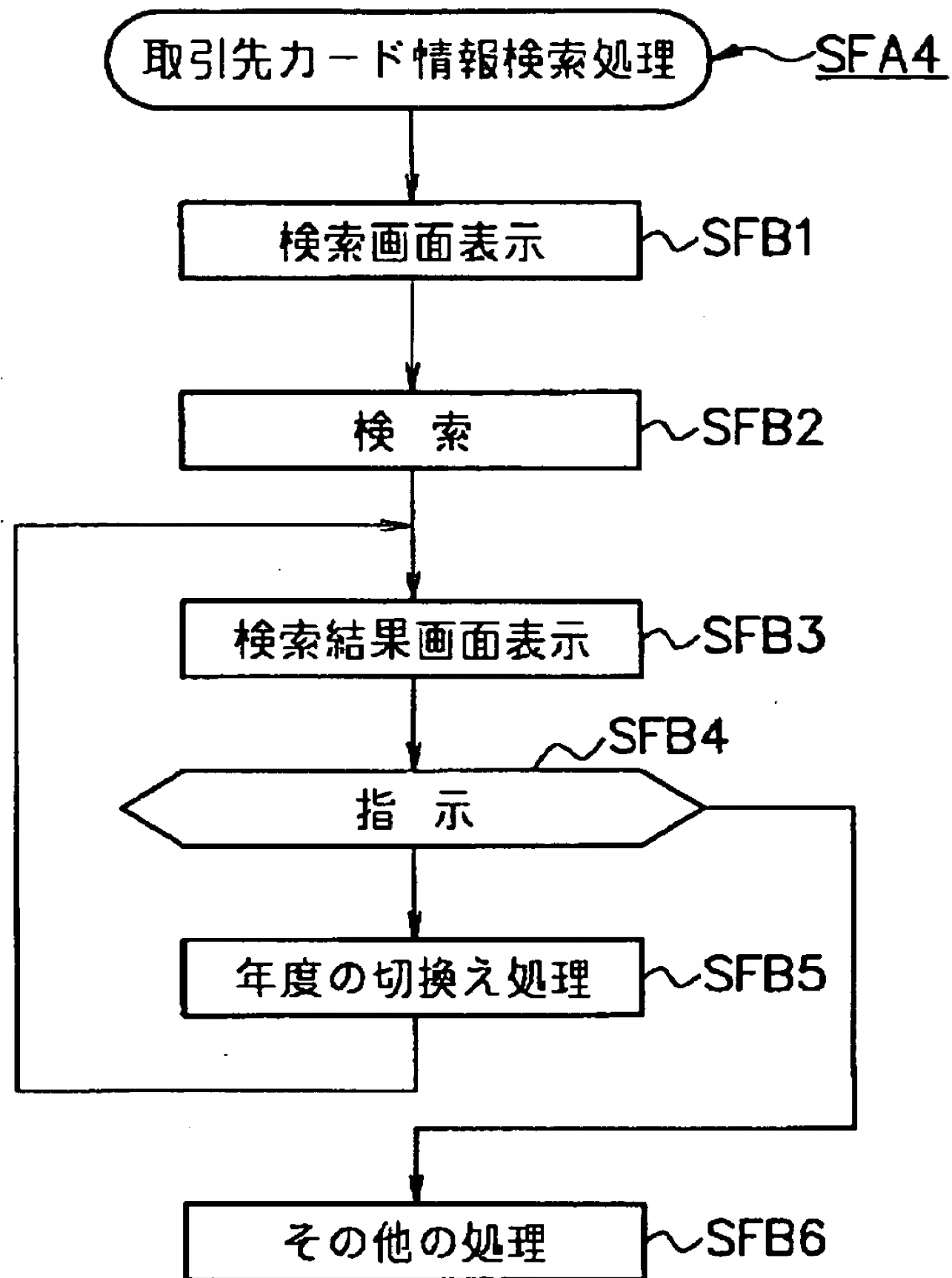
【図 8 9】



【図 9 0】



【図 9 1】



【図 9 2】

取引先カード情報システム

6101 ～ 利用者ID :

6102 ～ パスワード :

6103 ～ ログイン パスワード変更 6104

【図 9 3】

6121 6122 6123 6124

Menu	BackPage	Log Out	Mail
------	----------	---------	------

6111

1998年01月29日現在

取引先カード情報システム

6112 LoginUser: super

6113 LoginDate: 1998/02/26

6114 LoginIP Address: 172.16.30.37

I 取引先カード情報検索	表示	6131
II ユーザメンテナンス	更新	6132
III プレファレンス情報	更新	6133

【図 9 4】

6112
LoginUser: yamane

6113
LoginDate: 1998/09/02

6114
LoginIP Address: 150.61.245.53

6153

6141
条件入力

6142
年度指定 1998 検索するカードの年度を設定してください。

6143
取引先コード A0 取引先コードは太文字半角で入力

6144
取引先名 取引先名は(株) (有)等は省略して入力

6145
取引先名(カナ) 取引先名(カナ)は全角で入力

6146 検索

6147 条件クリア

1998年度 検索結果

取引先コード	取引先名	取引先名(カナ)
A002	写真制作所	シャシセイサクジヨ
A003	化学工業(株)	カガクコウギョウ(カ)
A004	計器工業(株)	ケイキコウギョウ(カ)
A005	(有)精研	(コ)セイケン
A006	設備(株)	セツビ(カ)
A007	(株)商店	シヨウテン(カ)
A008	アクセス(株)	アクセス(カ)
A009	硝子(株)	ガラス(カ)
A010	石油化学(株)	セキコカガク(カ)
A011	(株)製作所	(カ)セイサクジヨ

取引先カードを見る

ログアウト

6161

6162

【図 9 5】

6112 6113 6114

LoginUser: yamane / LoginDate: 1998/09/02 / LoginIP Address: 150.61.245.53

6172 6173 6174 6175 6176 6177 6178

6171 ~ 検索画面へ 先頭頁 前頁 次頁 最終頁 拡大/縮小 Log OUT

登録枚数: 1/6

取引先名: (有) 精機 取引先名: (カナ) (コ) セイキ

6179 ~ 6181 ~

取引先カード

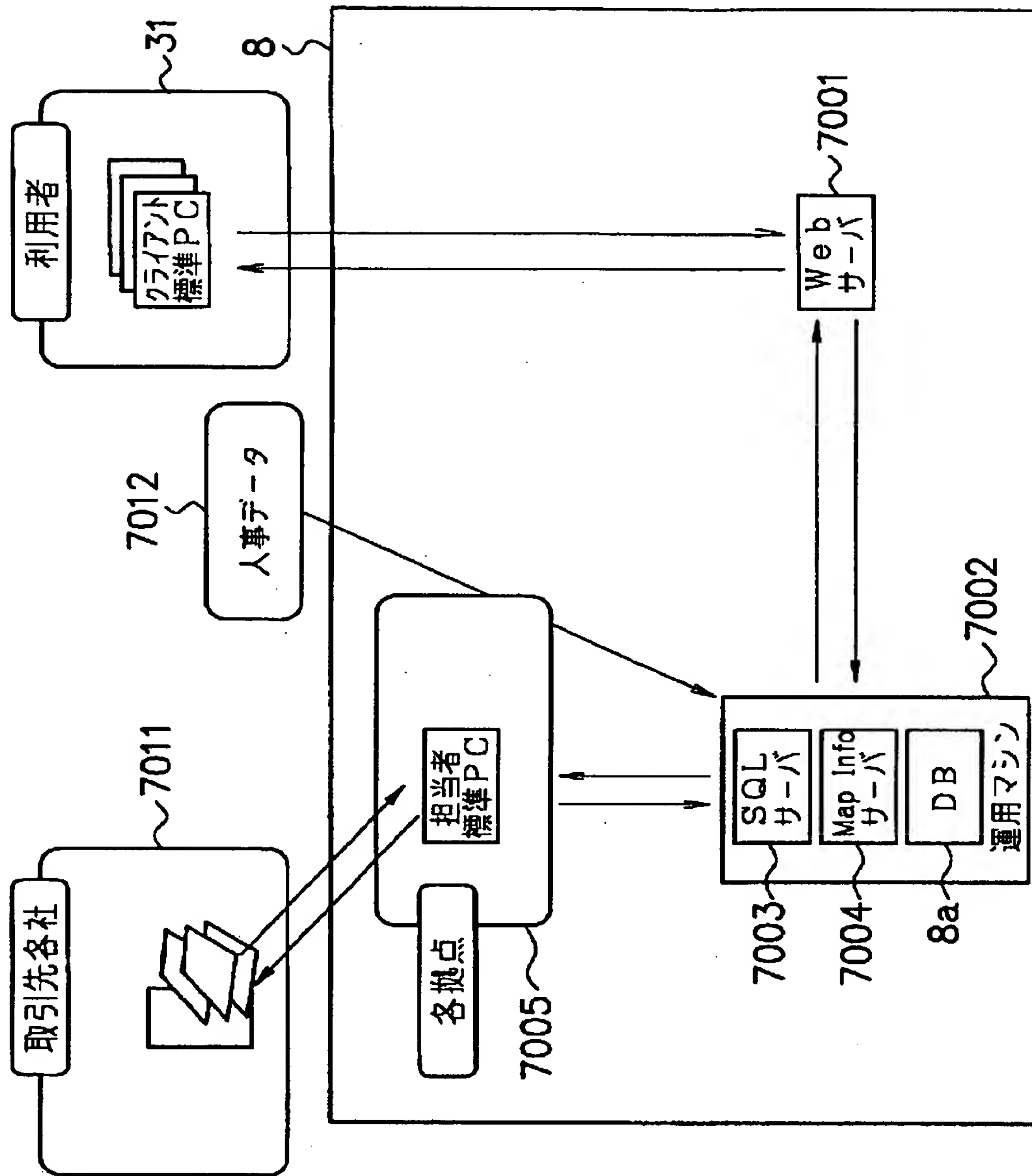
作成		年	月	日	人	年	回	月
(フリガナ)	会社名							
本社所在地	有限会社 精機							
代 表 者	千円	年	月	日	株 主 名	持株比率	会社との関係	
役 員	氏 名	役職・経歴						

【図 9 6】

年 度	法 人	取引先
1 9 9 7 年	A 会 社	A 事 業 所
		B 事 業 所
		C 事 業 所
1 9 9 8 年	A 会 社	A 事 業 所
		B 事 業 所
		D 事 業 所

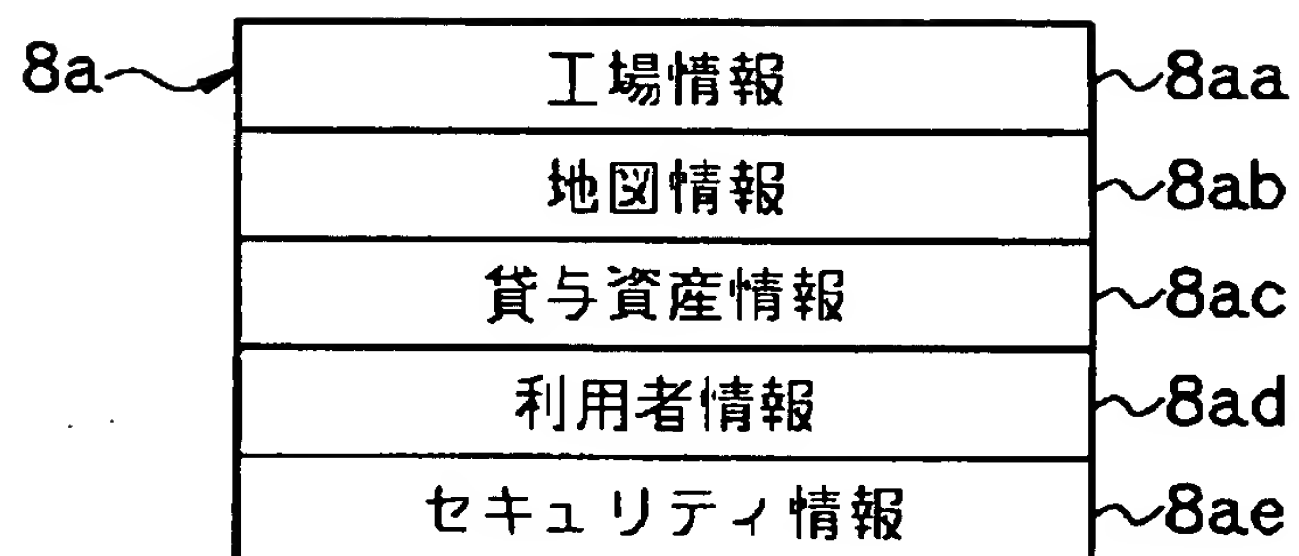
【図 97】

取引先マッシステム

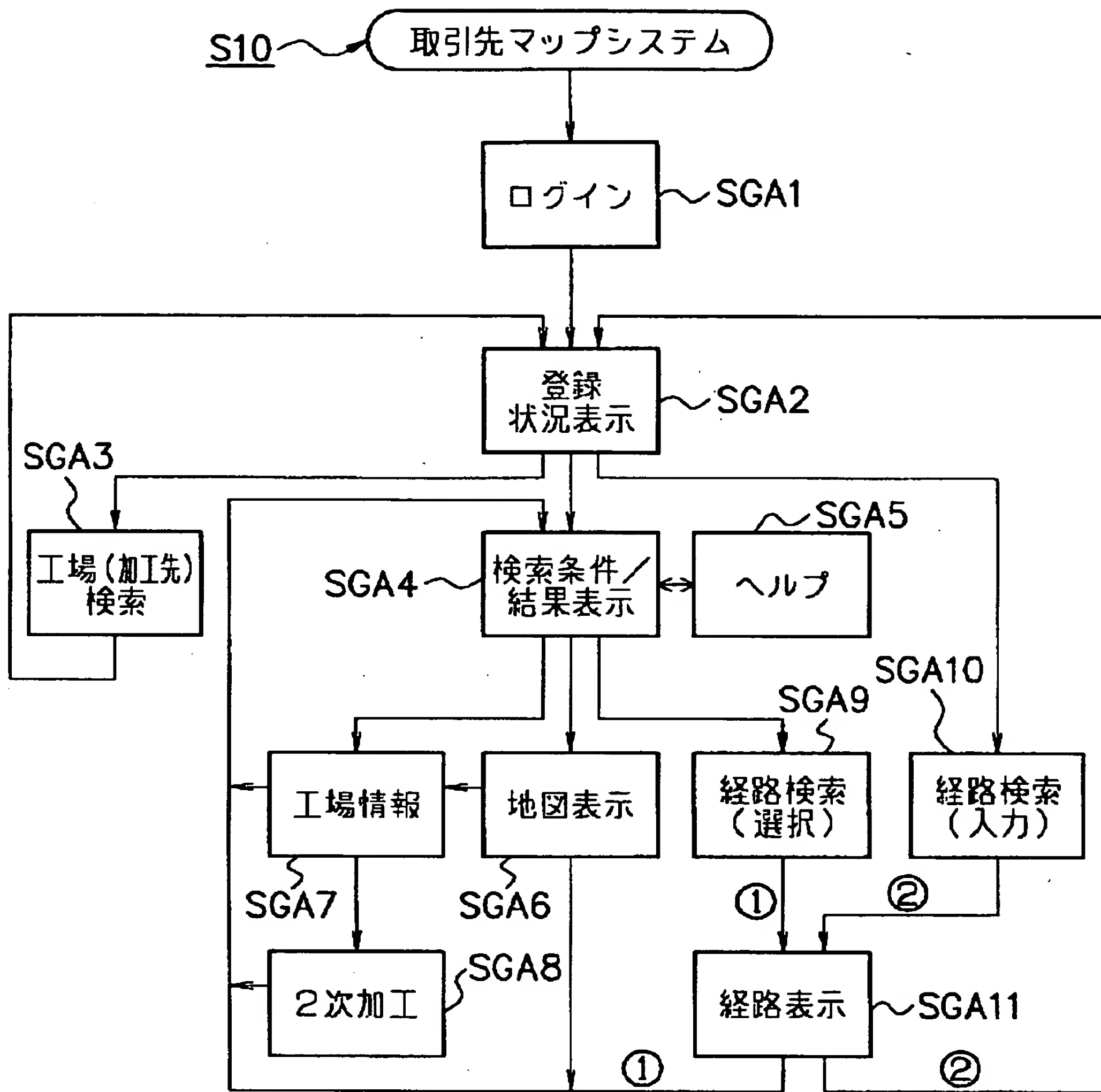


【図 9 8】

データベース



【図 99】



【図 1 0 0】

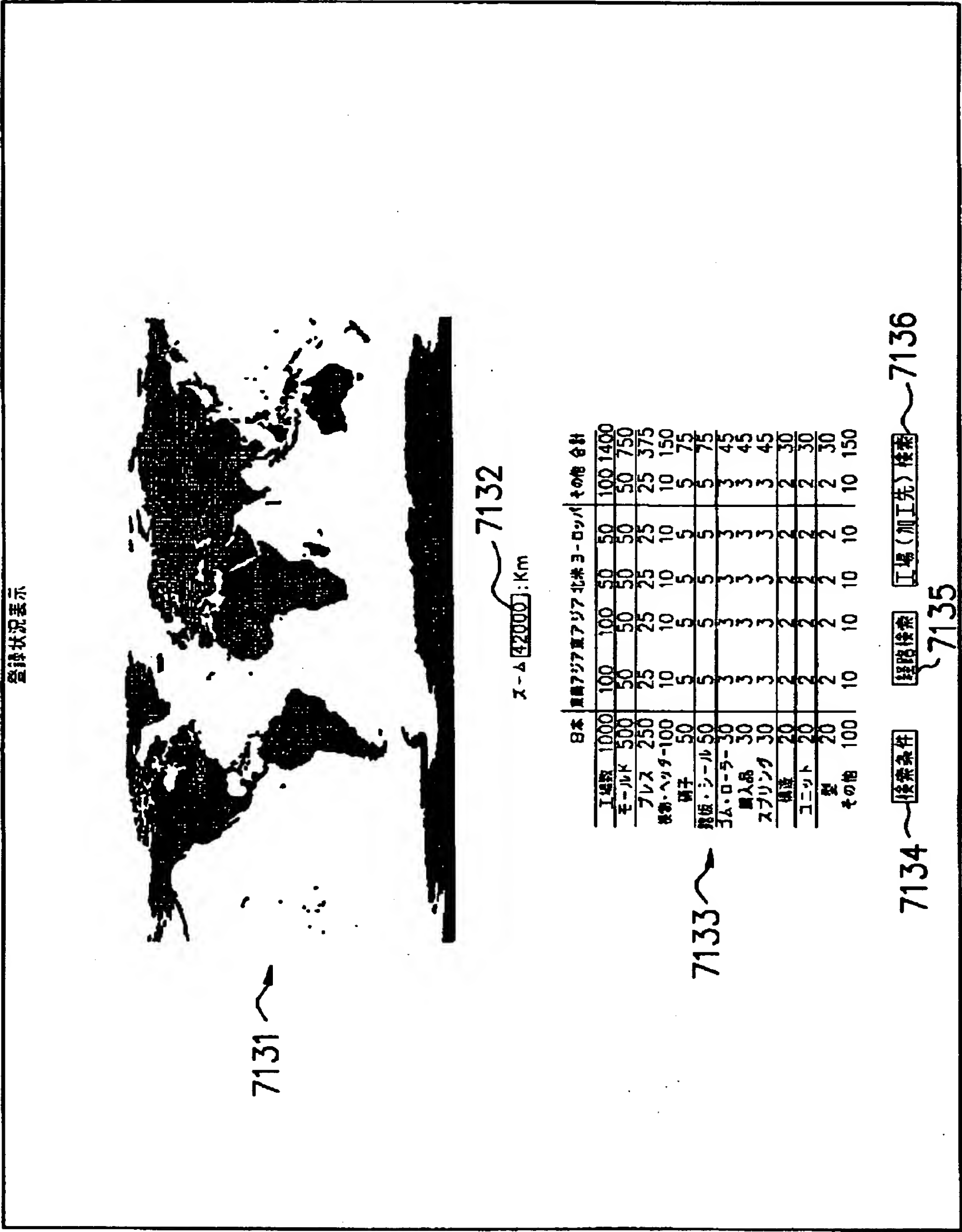
取引先マッピングシステム

7101 ~ 利用者ID :

7102 ~ パスワード :


7103 ~ 7104

【図101】



【図 1 0 2】

工場（加工先）検索

工場名（金角力ナ）： ~ 7141
7142 ~ ~ 7143
7144 ~ 

No.	工場名	工場種類	工場住所	TEL	登録先名
1	A製作者	関係会社	北海道札幌市	999-9999	T552 B製作者
2	A製作者	関係会社	福岡県福岡市	999-9999	T552 B製作者

【図103】

7151

取引先指定

◎条件なし

○取引先コード

○取引先名(全角カナ)

7152

地域指定

○条件なし

◎地域指定

○基準点指定

半径

Scale

7153

購入拠点指定

購入拠点

7154

業種指定

業種1

業種2

業種3

7155

機械設備

スベック

機械設備

スベック

機械設備

スベック

7156

検査設備

検査設備

その他設備

7157

検索開始

検索条件クリア

7158

ヘルプ

7159

7160

7161

7162

7163

7164

7165

地図表示

地図全体表示

工場情報

経路検索

Next

TOTAL: 41件

No	取引先CD	日系	取引先名	状況	工場CD	工場名	工場所在地	工場種類	業種
◎ 1	D008	*	D株式会社	◎	01	A株式会社(柏工場)	関東	関係会社	モールド型その他

102

出証特2001-3016583

【図 1 0 4】

▲

▼

検索条件入力／検索結果表示

7170戻る

【検索条件の概要】

検索条件の指定には、「取引先指定」、「地域指定」、「業種指定」そして「購入拠点指定」の4つがあり、「取引先指定」かつ「地域指定」かつ「業種指定」かつ「購入拠点指定」です。これらの指定を行うことにより、検索する工場をより少なく絞り込む事が可能となります。指定を全く行わなければすべての工場が検索されますので、ご注意ください。

【取引先指定】

・「条件なし」、「取引先コード」、「取引先名」のいずれかを指定します。（デフォルトは「条件なし」）

・「取引先コード」と「取引先名」は前方一致で検索します。

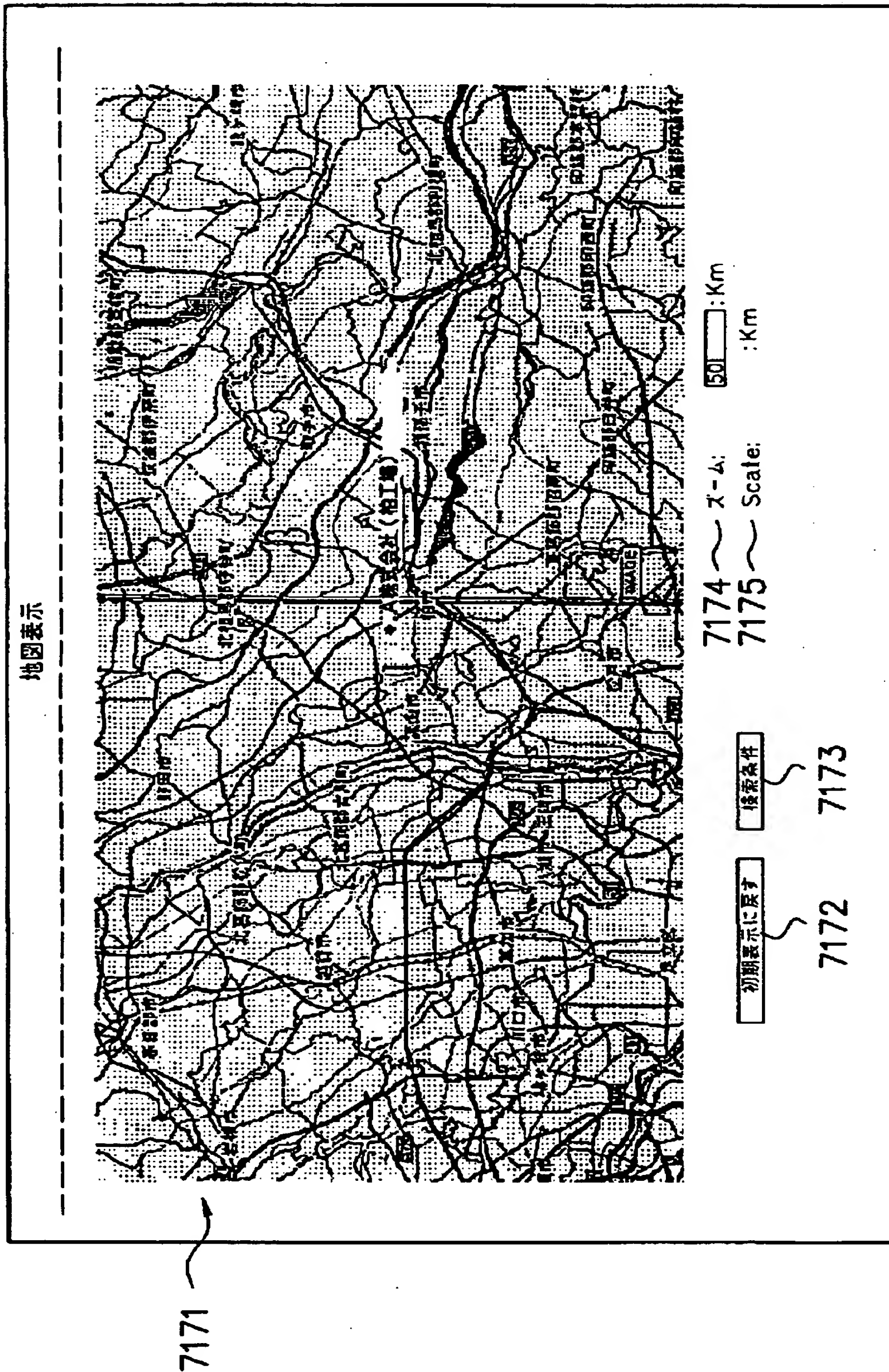
例えば、
「取引先コード」に「AL」と入力があれば、取引先コードの上位2文字が「AL」の工場を検索し、「ALC」と入力があれば、取引先コードの上位3文字が「ALC」の工場を検索します。

【地域指定】

・「条件なし」、「地域指定」、「基準点指定」のいずれかを指定します。（デフォルトは「条件なし」）

・地域指定
1つ、又は2つの地域をOr条件で指定することにより、指定された地域内にある工場を検索します。

【図105】



【図 106】

工場情報

7181

取引先概要

調査日: 98/02/18 更新日: 98/04/08
グローバル協力会: 非加盟 会社状況: O
国産: 日本 調査事務所: CI場
下請区分: 下請 URL: -
E-mail: -
電話: - FAX: -

7182

工場概要

工場コード: 02 工場名: D製作所
登録番号: - 住所: 愛知県松山市
E-mail: - 電話: - FAX: -
工場種別: 関係会社 日系資本金: 9908000000円
工場所在地: 日本 電話: 999-9999
従業員: 52(人) FAX: -

7183

工場設備

No.	設備種類	機械種類	スベックプレス型機仕様	メーカー名	型式	台数
1	プレス	順送	200t			1
2	プレス	NCT	30t			1
3	プレス	NCベンダー	400t			1
4	プレス	NCベンダー	200t			1
5	プレス	NCベンダー	150t			2
6	その他設備	シャ-リングマシン	4X4000		E製作所	1
7	その他設備	シャ-リングマシン	4X3100		F設備所	1

7184 ~ 7185

検索条件

2次加工

【図107】

2次加工

7191

取引先概要

取引先コード: T552

郵便番号: -

資本金: 480000000円

営業: -

取引先名称: 日製作所 日系

住所: 東京都港区

上場区分: 非上場・未上場

役職: -

調査日: 98/02/18

更新日: 98/04/08

グローバル協力会: 非加盟

会社状況: O

国産: 日本

調査事業所: CII地

電話: -

FAX: -

E-mail: -

下場区分: 下場

URL: -

7192

工場概要

工場コード: 02

郵便番号: -

業種: プラス
その他

工場名: D製作所

住所: 愛知県松山市

納入実績:
A株式会社 A工場
A株式会社 B工場
A株式会社 C工場

主要納入品目:
プラスチック
樹脂
金属
木材
ガラス
繊維
皮革
紙
布
ゴム
塗料
接着剤
その他

調査日: 98/02/13

更新日: 98/04/07

工場種類: 関係会社

日系 資本金: 9908000000円

工場所在地: 日本

電話: 999-9999

従業員: 52 (人)

FAX: -

7193

2次加工および加工可能特殊材料

検査条件 ~ 7194

(O: 自工場加工実績あり △: 自工場以外でのみ加工実績あり ⊖: 両方加工実績あり)

スリット用板	O
PX	O
アーク用板	O
PX材料	O
カラー調板	O
アルミ	O
LX材料	O
角材	O
UV塗膜	△
塗装	△
樹脂	△
KNメッキ	△
クロムメッキ	△
銅ニッケルメッキ	△

【図 108】

経路検索 (選択)

経路検索 (選択)

目的地

A 光岡工場

7201 {

出発地点

No.

乗種

乗引先名

工場名

Total: 4

区 1

モールド

N208 A 製作所

A 製作所 竹園工場

区 2

モールドその他

N208 A 製作所

B 製作所

区 3

プレス購入品ユニット型

T552 C 製作所

C 製作所 本社

区 4

プレスその他

T552 C 製作所

D 製作所

7203 ~

経路検索

検索条件 ~ 7204

【図 109】

経路検索 (入力)

経路検索 (入力)

目的地点

出発地点

A 光瀬工場

取引先コード

工場コード

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

7211

7212 ~ 経路検索

在庫状況表示 ~ 7213

取引先コード検索

7215

7216

◎ 名称

工場コード

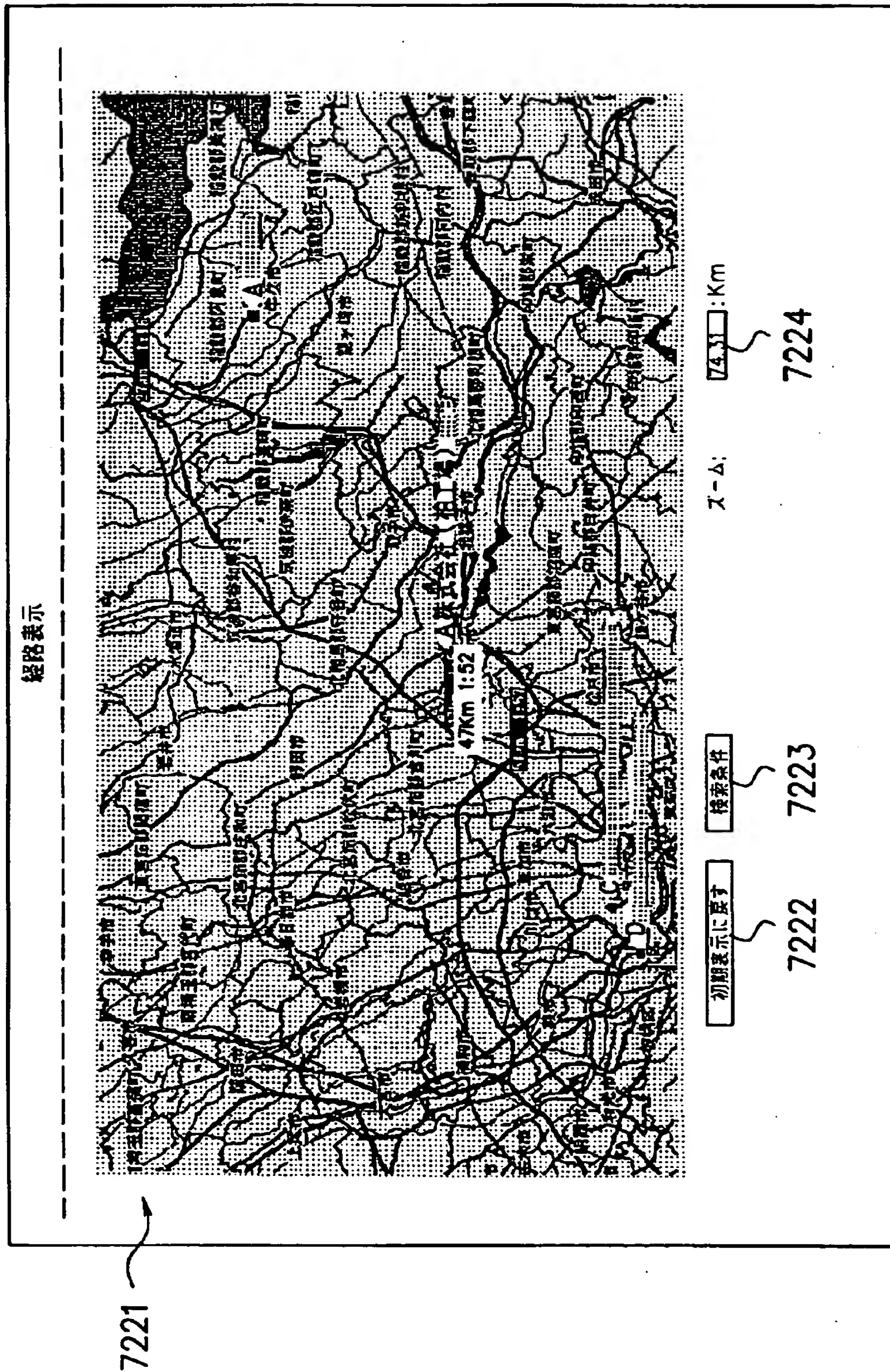
取引先検索 ~ 7217

7214

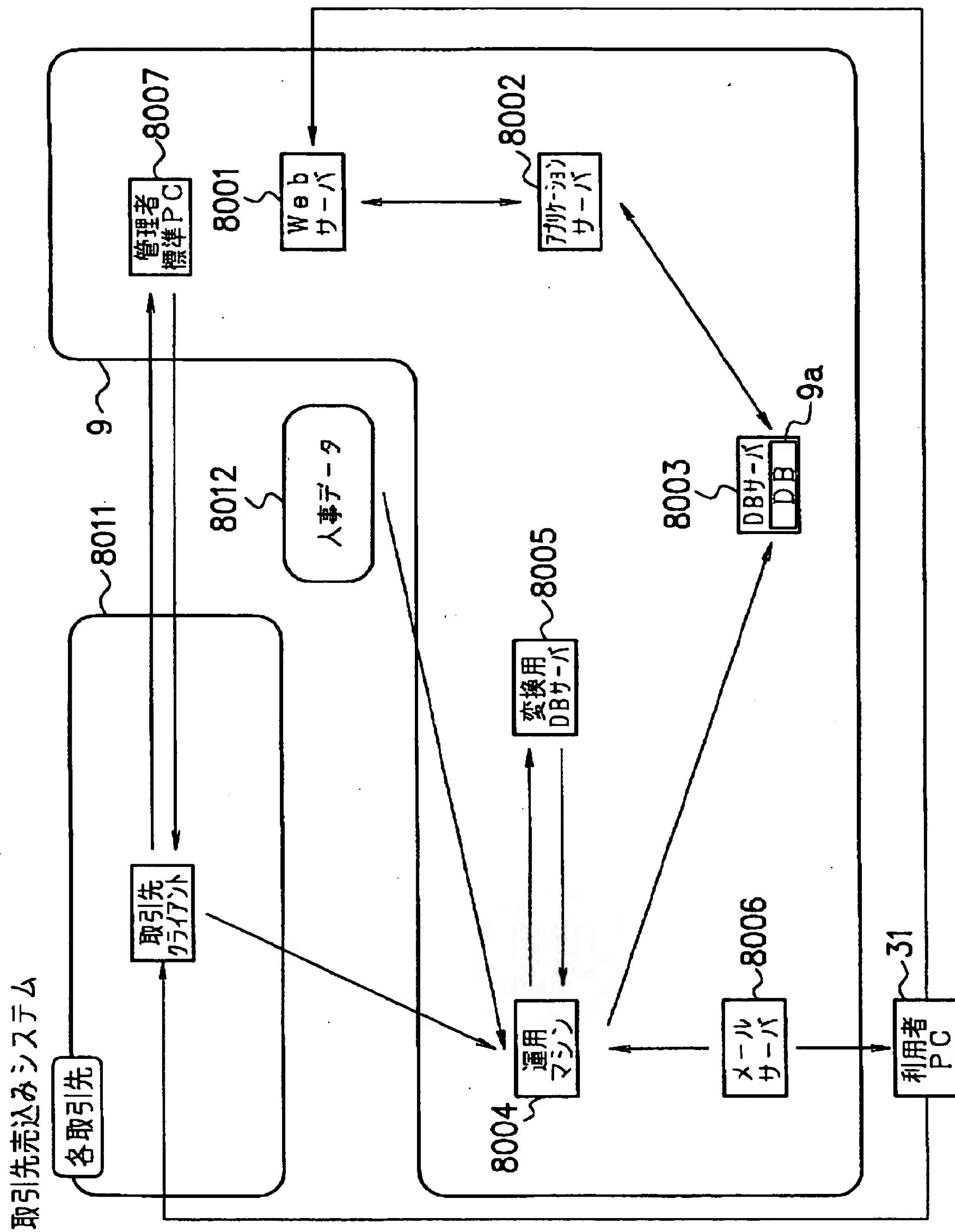
取引先コード	取引先名	工場コード	工場名
N206	A 製作所	01	A 製作所 桜木工場
N206	A 製作所	02	A 製作所 竹園工場
N206	A 製作所	03	B 製作所
N206	A 製作所	04	C 製作所
N206	A 製作所	05	D 製作所

7218

【図110】

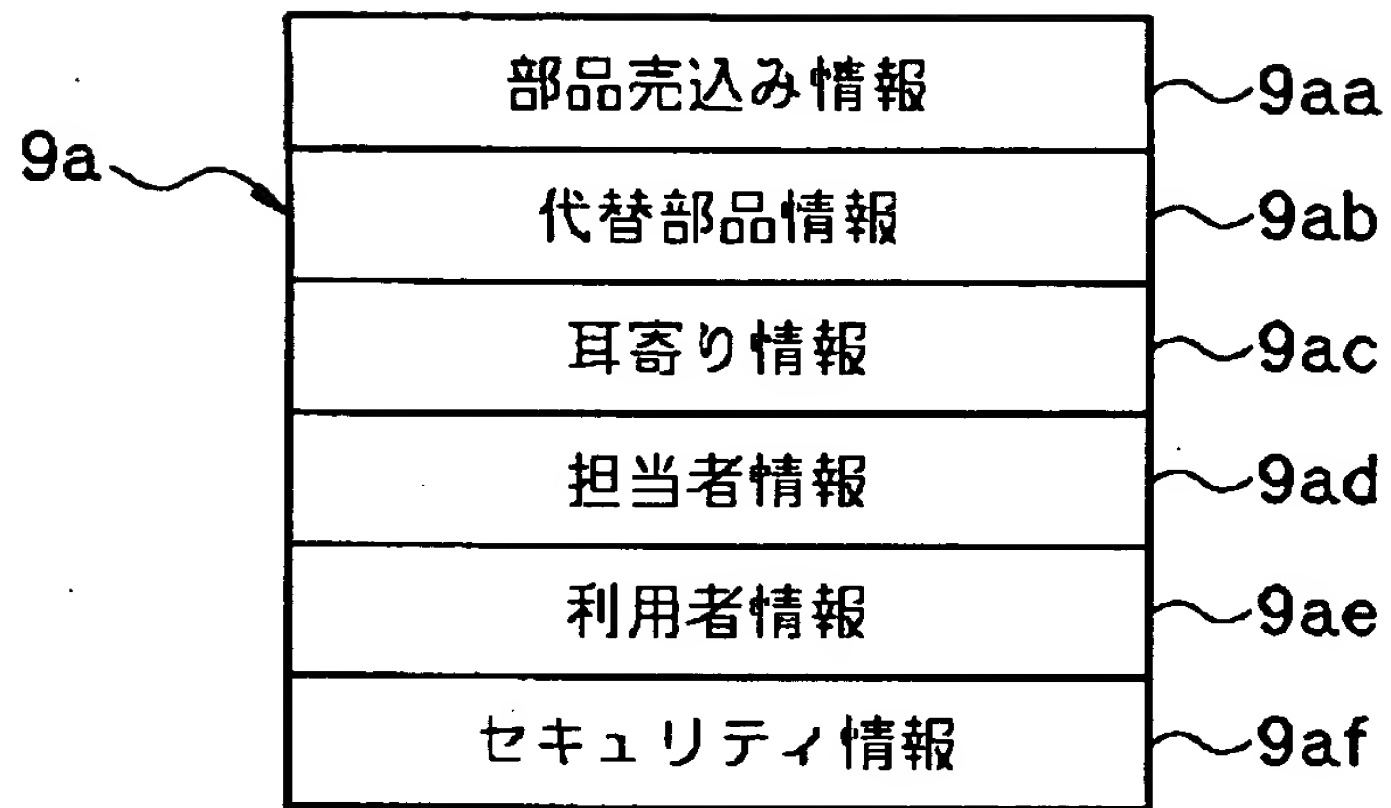


【图 1 1 1】

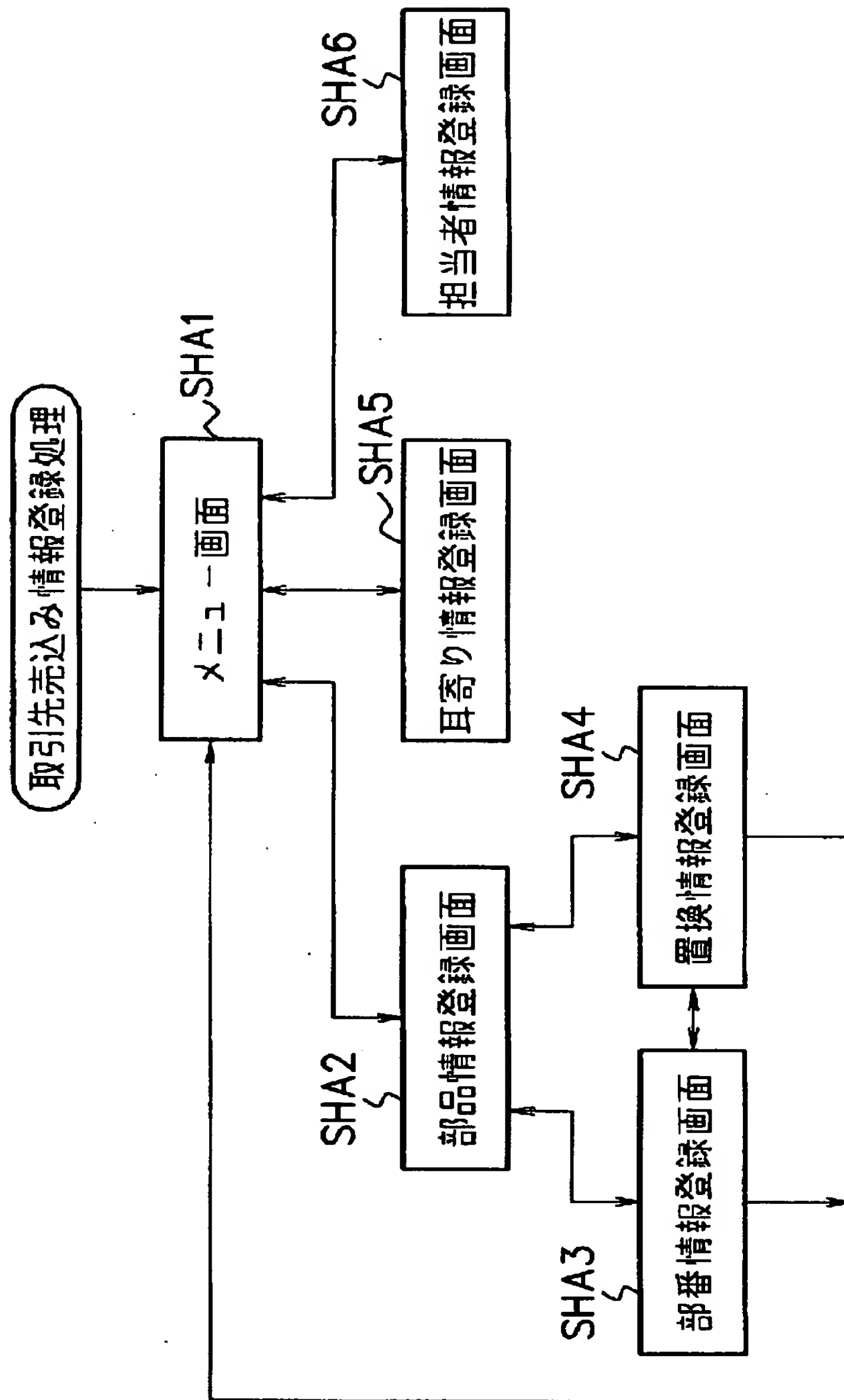


【図 1 1 2】

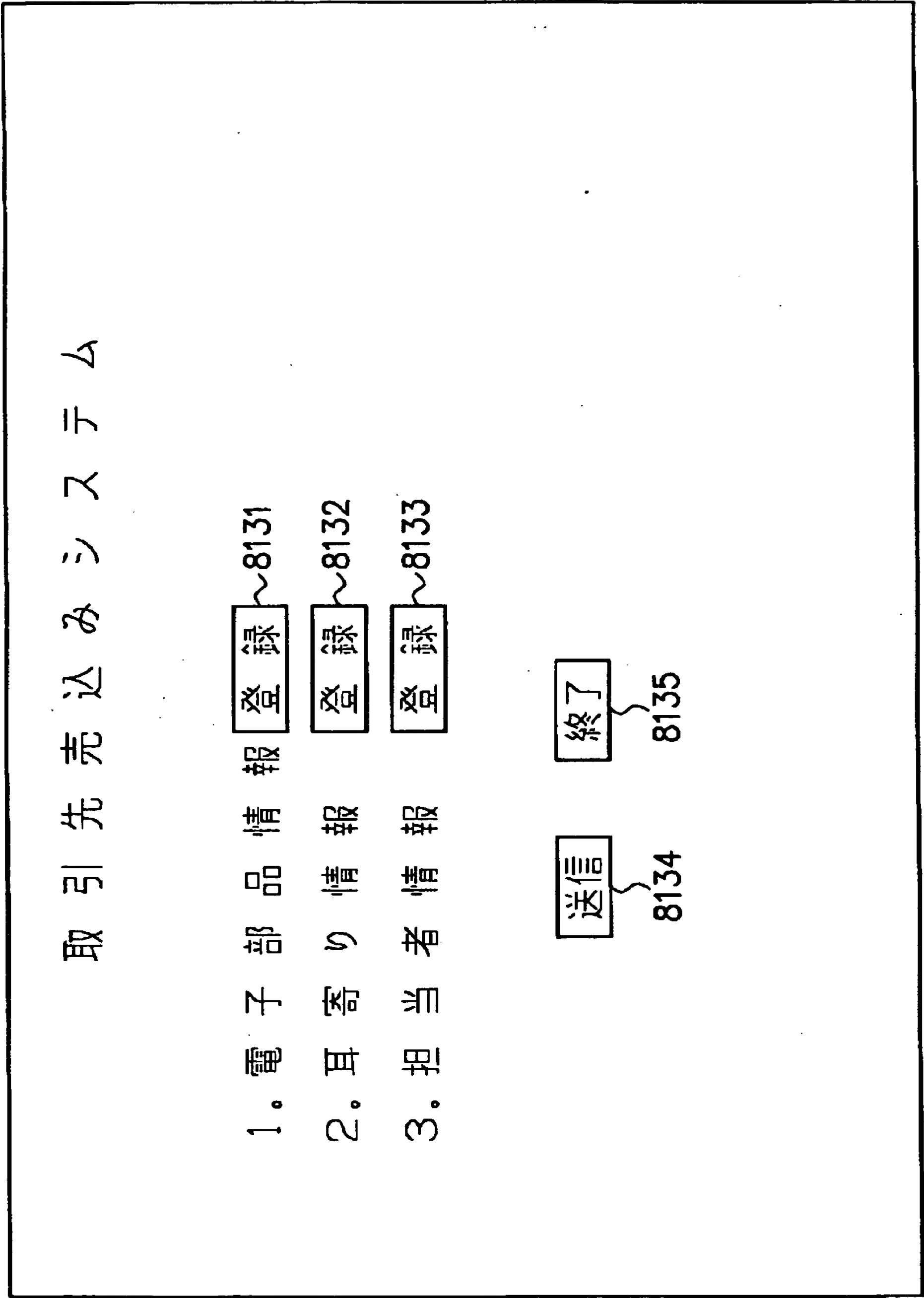
データベース



【図 1 1 3】



【図 1 1 4】



【図 115】

8141
電子部品情報 [変更] [部品情報]
部品情報
タイトル 電子部品大拡張
型名 USO-8000シリーズ
メーカー Image, Inc
機能分類 周辺インタフェース
進捗フラグ
☐送信済み
☐送信対象
☒承認待ち
☐承認却下
☐削除フラグ

8142
原産国
前工程① JAPAN 後工程① JAPAN
前工程② 後工程②
前工程③ 後工程③
規制物質 非該当 (外国為替および外国貿易管理法)
製品状態 現生産

8143
日程情報
保守日程 廃止日程
サンプル日程
ES CS MP
仕様書日程
和文暫定 和文正式
英文暫定 英文正式

8144
紹介文
この度、USO-8000シリーズを大断価にて転販することになりました。
おかげさまで、大量の受注をいただくと共に生産も順調になり、
歩留まりも大実高まりました。
日ごろの御愛顧にあえ、大断価を設定いたしましたので、
是非とも各製品への採用をお願いしたくご案内申し上げます。

8145
登録 終了
入力情報クリア

8147 8148 8149 8150 8151

【図 1 1 6】

8161

電子部品情報 [変更] [部番情報]

部番情報

進捗フラグ

○送信済み

○送信対象

◎承認待ち

○承認却下

□削除フラグ

タイトル

電子部品大拡張

型名

USO-8000シリーズ

メーカー

Image.inc

機能分類

周辺インタフェース

8162

社内部番情報

部番

寸法

部番

寸法

部番

寸法

①

111-111-111

111

222-222-222

222

333-333-333

333

④

555-555-555

555

8163

商品情報

パッケージ

ABC-P1

品質規格情報

生産情報

納期情報

納入梱包形態

環境配慮

通貨

YEN

数量単位

PCS

8164

参考価格/月

Sample

1K

100K

0.00

50

0.00

100

0.00

500

0.00

0.00

5K

0.00

10K

0.00

50K

0.00

0.00

500K

0.00

1000K

0.00

5000K

0.00

8146

部品情報

8148

置換情報

8149

入力情報クリア

8150

登録

8151

終了

【図 1 1 7】

8171

電子部品情報 [変更] [置換情報]

部品情報

進捗フラグ

○送信済み

○送信対象

◎承認待ち

○承認却下

☐ 削除フラグ

タイトル

電子部品大転版

型名

USO-8000シリーズ

メーカー

Image,inc

機能分類

周辺インタフェース

8172

部品情報

①置換可能な型名

123-4567-890

メーカー名称

Info-inc

パッケージ

P13-FDD

置換条件

5003からの置換において無条件。

②置換可能な型名

332-546-55

メーカー名称

パッケージ

置換条件

③置換可能な型名

メーカー名称

パッケージ

置換条件

④置換可能な型名

メーカー名称

パッケージ

置換条件

⑤置換可能な型名

メーカー名称

パッケージ

置換条件

部品情報

部番情報

置換情報

入力情報クリア

登録

終了

8146

8147

8149

8150

8151

【図 1 1 8】

耳寄り情報

耳寄り情報

2000-12-3

進捗フラグ
○送信済み

情報内容 新製品紹介

対象期間 1998/06/08 ~

タイトル Middlemanのご紹介

詳細

いつもお世話になってます。
この度、取引先売込みシステムが完成いたしました。
そこで、皆様方にその概要と効用についてご理解いただけたらと思います。

ホームページアドレス <http://middleman.co.jp/index.html>

情報削除希望年月 1998/08/08

登録

終了

3	4	5	6	7	8	9	1	2
10	11	12	13	14	15	16		
17	18	19	20	21	22	23		
24	25	26	27	28	29	30		
31								
44	4	2000/12/31						

8181

8150 8151

【図 119】

8191
担当者情報 [変更]
担当者情報
氏名 [漢字] 山梨 拓介 氏名 [英字] Yusuke Yamanashi
mail Address Yusuke@middleman.co.jp
役職名 担当者コード
所属部署名 ソリューション事業部 ネットワークシステム部
連絡先 〒 105-****
住所 東京都港区新橋00-00△ビル
TEL 03-****-**** FAX 03-****-****
ホームページ http://www.middleman.co.jp

8196
送信フラグ
☒ 送信対象
☐ 送信済み
☐ 削除フラグ

8193
8192
8194
8195
8150 8151
8151

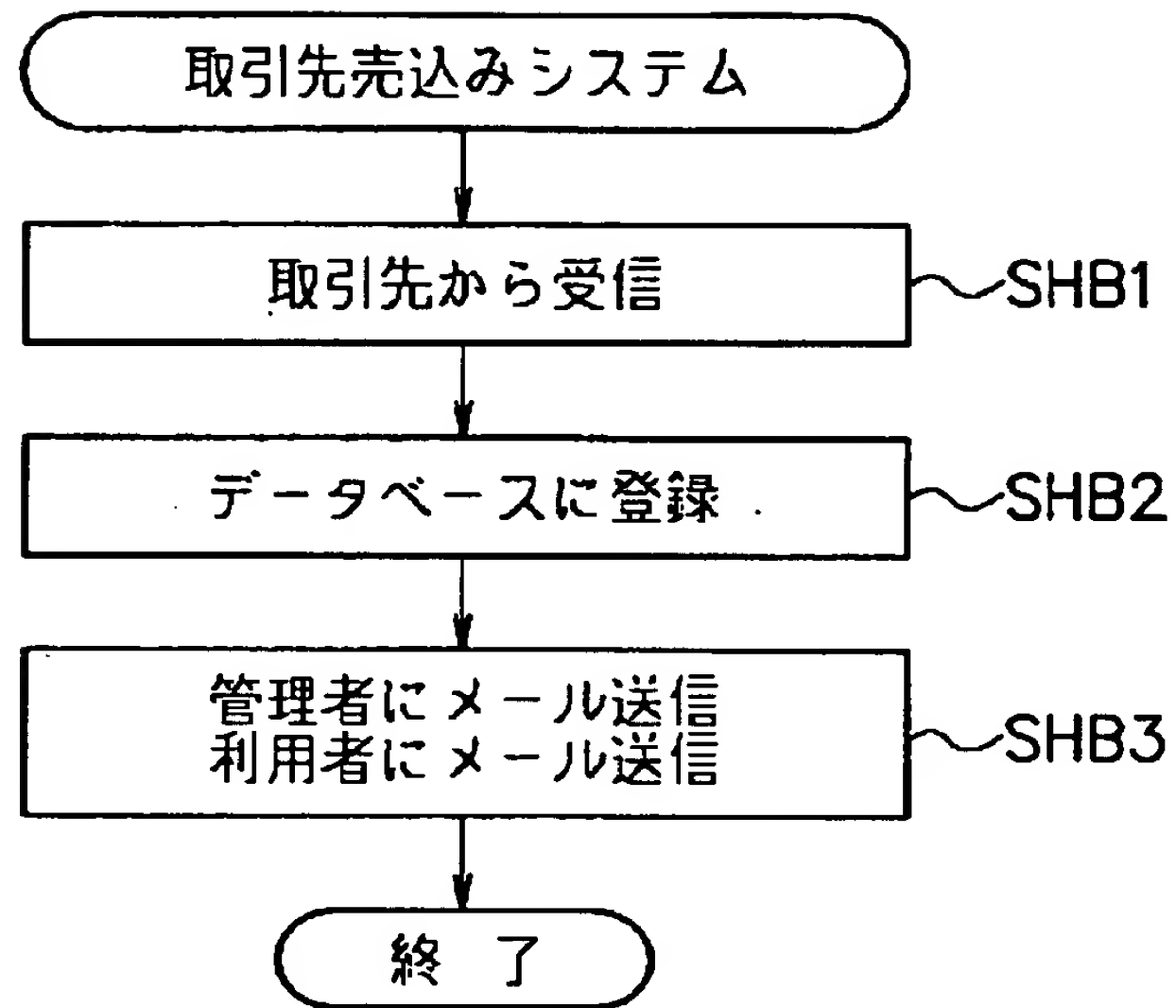
取扱メーカー
① FEI
② アイコム
③ 愛知電機
④ アイティティ
⑤ 伊原電子工業
⑥ 沖ブリテンテッドサーキット
⑦ 小倉クラッチ
⑧ フジマイクロ
⑨ 富士ミクロ工業
⑩ 双葉電磁機

コメント
お世話になっております。
私が担当させていただきますので、よろしくお願いいたします。

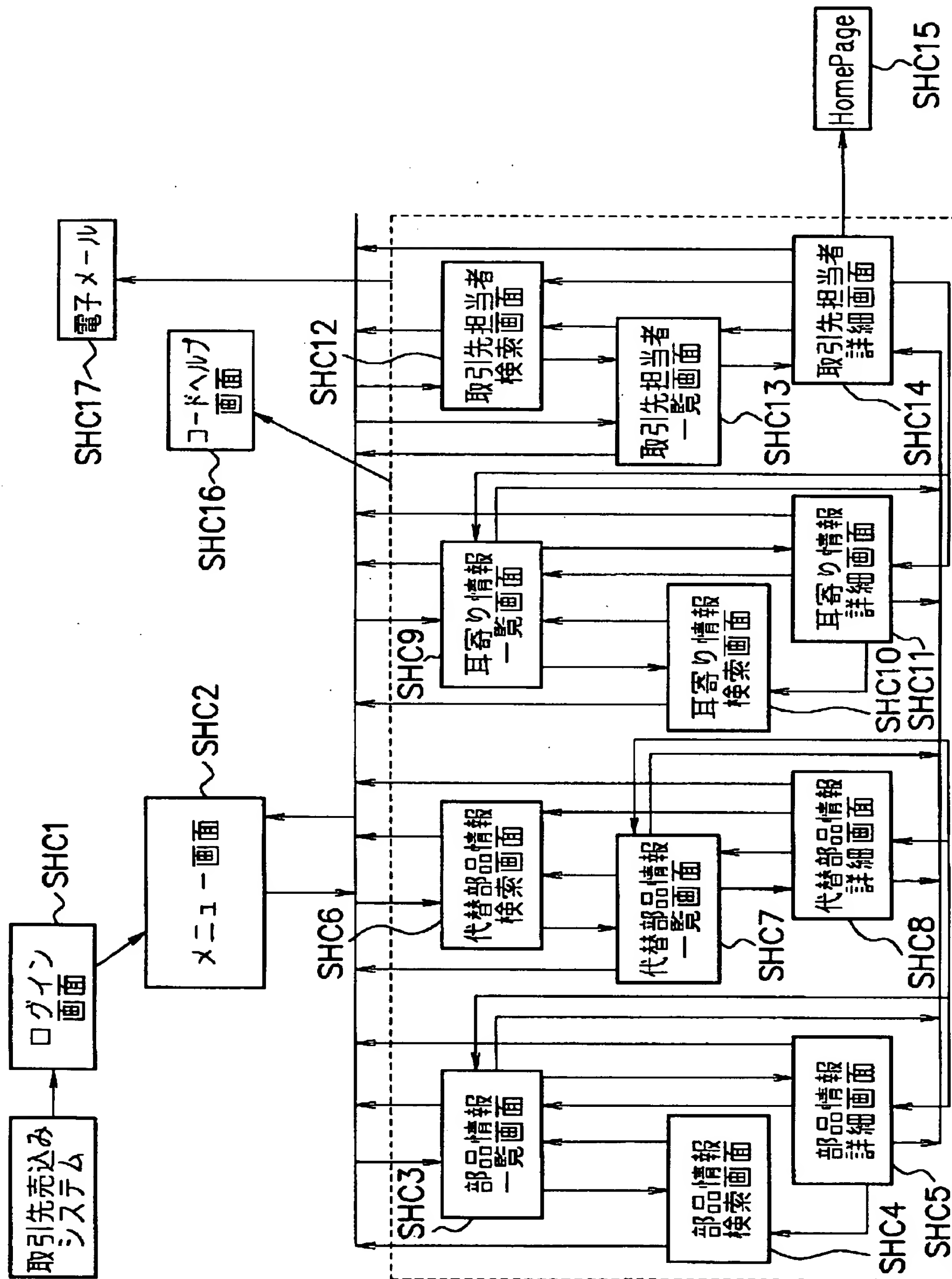
登録 終了

弊社内の担当地区 & 事業
弊社に対しての主要取扱品目
システム構築、SE人材派遣

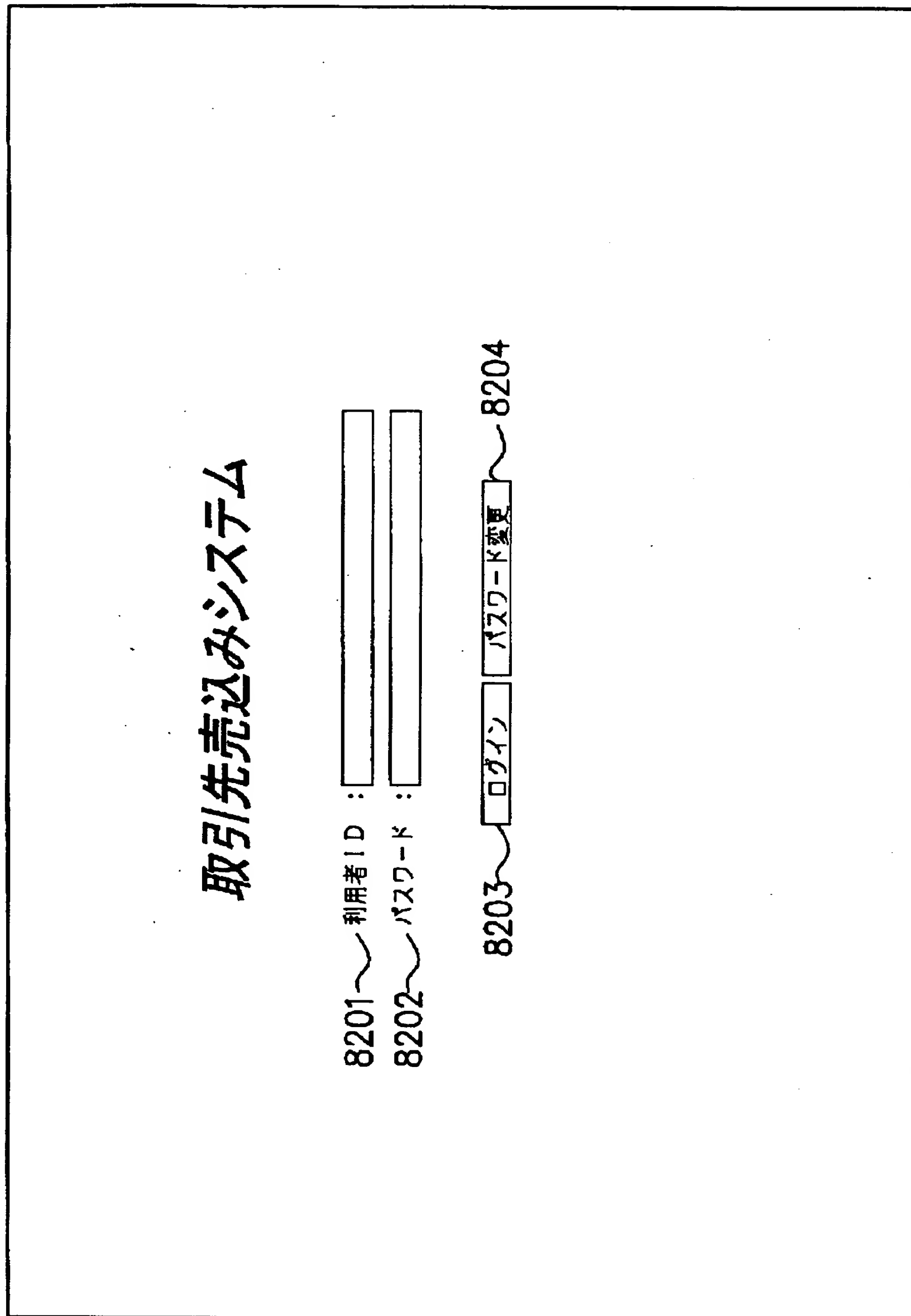
【図 1 2 0】



【図 121】



【図 1 2 2】



【図 1 2 3】

8121 ~ 8122 ~ 8123 ~ 8124

Menu BackPage Log Out Mail

取引先売込みシステム

8112 8113 8114 ~ 8115

LoginUser: 111111 LoginDate: 1998/10/27 IPAddress: 150.61.245.99 この情報は社外秘です。 ~ 8115

1. 部品売り込み最新情報

2. 代替部品情報検索

3. 耳寄り最新情報

4. 取引先担当者 最新情報

取引先担当者 最新検索

8211

【図 1 2 4】

8121812281238124
MenuBackPageLog OutMail

811281138114
LoginUser: admin LoginDate: 1998/08/26 IPAddress: 150.61.245.130
(1) 売込み情報・検索条件入力画面
* 1998年08月25日現在 ~ 8111
この情報は社外秘です。

8221~

機種:	
メーカーコード:	参照
メーカー名:	参照
型名:	
機能分類コード:	参照
製品状態:	
規制物資:	
原産国・前工程:	
原産国・後工程:	
取引先コード:	参照
取引先名称:	参照
我社部番:	
更新年月日:	=/ /

8222~SearchClear8223

【図 1 2 5】

8121 8122 8123 8124

Menu BackPage Log Out Mail

8112 8113 8114

(1)売込み情報・詳細画面

LoginUser: admin LoginDate: 1998/09/07 IPAddress: 150.61.245.130

*1998年9月8日現在 ~8111 この情報は社外秘です。

保守品のご紹介	
型名	D1111
メーカー	アイティティ
機種	Q0:電気部品
取引先名称	急便(株)
管理部署名	キコウビル(カ)
担当者氏名	永井
原産国前工程1	JP
原産国後工程1	JP
規制物資	非該当(外国為替及び外国貿易管理法)
保守日程	1998-1Q
廃止日程	1998-2Q
サンプル日程ES	1998-1Q
機能分類	07500:コイル/トランス
情報番号	01000006
担当者コード	01
原産国前工程3	JP
原産国後工程3	JP
製品状態	M:保守
仕様書英文暫定	1998-1Q
仕様書英文正式	1998-1Q
サンプル日程MP	1998-1Q

保守品のご紹介

我社部番1	WA3-0000-000	我社部番2	WA3-0001-000	我社部番3
我社部番4	WA3-0003-000	我社部番5		
我社寸法1	000	我社寸法2	000	我社寸法3
我社寸法4		我社寸法5		000
パッケージ	パッケージ	アイウ		

8231

【図 1 2 6】

8121 8122 8123 8124

Menu BackPage Log Out Mail

8112 8113 8114

LoginUser: 11111 LoginDate: 1998/10/27 IPAddress: 150.61.245.99

(2) 代替部品情報・検索条件入力画面

※1998年10月26日現在 8111 この情報は社外秘です。

8241

代替検索したい型名: (前後方一致)

代替検索したい機能分類コード: 参照 8242

代替検索したいメーカー名称: メーカー名を直接入力して下さい。(前後方一致)

8243

Search Clear

8244

【図 1. 2 7】

コードヘルプ画面

8251～

テーブル	機能分類▼
検索項目	コード▼
一致タイプ	前方一致▼
検索キーワード	

Search ~8252

【図 1 2 8】

8121 8122 8123 8124

Menu BackPage Log Out Mail

8112 8113 8114

(2) 代替部品情報・一覧画面

LoginUser: admin LoginDate: 1998/09/07 * 1998年9月6日現在 ~ 8111

表示件数: 50 8261 8263 IPAddress: 150.61.245.130 この情報は社外秘です。

8262 並び換え: 更新年月日 Sort

8266 8267

更新年月日	検索型名	機能分類	メーカー	型名	メーカー
1998/08/25	TEST	00100:マイコン	A社	A1111	FEI MICROWAVE INC. 三浦工業
1998/08/25	TEST	00100:マイコン	A社	A1111	FEI MICROWAVE INC. 三浦工業
1998/08/25	TEST	00100:電池	A社	B1111	アイコム 三浦工業
1998/08/25	TEST	00100:リレー	A社	C1111	愛知電機 三浦工業
1998/08/25	TEST	00100:コイル/トランス	A社	D1111	アイティティ 三浦工業
1998/08/25	TEST	00100:コイル/トランス	A社	D1111	アイティティ 三浦工業
1998/08/25	TEST	00100:PNP/ワ-トランジスタ	A社	E1111	伊原電子工業 三浦工業
1998/08/25	TEST	00100:テレビ/BS受信用	A社	F1111	フジマイクロ 三浦工業
1998/08/25	TEST	00100:ラジオ/オーディオ用	A社	G1111	二葉電磁気 三浦工業
1998/08/25	TEST	00100:ラジオ/オーディオ用	A社	H1111	二葉電磁気 三浦工業

8268 ~ 検索画面へ

【図 1 2 9】

8121 8122 8123 8124

Menu BackPage Log Out Mail

8112 8113 8114

(3)耳寄り情報・一覧画面

LoginUser: 111111 LoginDate: 1998/10/27 IPAddress: 150.61.245.99

※1998年10月26日現在 8111

この情報は社外秘です。

表示件数: 2

並び換え: 更新年月日▼ Sort

8284 8285

No.	担当者名	更新年月日	業種	タイトル	取引先	情報内容	HomePage	対象期間 (開始日)	対象期間 (終了日)
1	高橋 巧	1998/09/09	Q0: 電気部品	KGテクノフェア'98のご案内	OO工業株式会社	展示会/研究会開催案内		1998/09/09	1998/11/18
2	高橋 巧	1998/08/27	Q0: 電気部品	リユースファスナーの御紹介	OO工業株式会社	新製品紹介		1998/08/27	1998/12/31

8282 8283

検索画面へ 8286

8281

【図 1 3 0】

8121 8122 8123 8124
Menu BackPage Log Out Mail

8112 8113 8114
LoginUser: 111111 LoginDate: 1998/10/27 IPAddress: 150.61.245.99
(3) 耳寄り情報・検索条件入力画面
*1998年10月26日現在 ~ 8111
この情報は社外秘です。

8271 ~ 業種: 参照 ~ 8272

取引先コード: 参照 ~ 8272

取引先名: 参照 ~ 8272

情報内容: 参照 ~ 8272

タイトル: 参照 ~ 8272

更新年月日: 参照 ~ 8272

8274 ~ Search Clear ~ 8275

【図 1 3 1】

8121 8122 8123 8124

Menu BackPage Log Out Mail

8112 8113 8114

(3)耳寄り情報・詳細画面

LoginUser: 11111 LoginDate: 1998/10/27 IPAddress: 150.61.245.99

*1998年10月26日現在 ~8111

この情報は社外秘です。

取引先名称 〇〇工業株式会社

取引先コード K356

所属部署名 東京支店

管理部署コード 01

氏名 [漢字] 高橋 巧

担当者コード 01

業種 〇〇電気部品

情報番号 01000002

情報内容 展示会/研究会開催案内

HomePage

タイトル KGデクノフィア'98のご案内

詳細文

謹啓、貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

例年、ご好評をいただいております「KGデクノフィア」を、下記要領にて開催致します。

今年は、「新技術・ソリューション」を基本テーマに、国内外の著名な研究者と技術者を講師にお迎えして技術講演と当社の新商品、提案商品の展示を計画しております。

参加ご希望の方に、講演会のご案内と参加申込書をお送り致しますのでご請求下さい。

1. 日 時 11月19日(木)及び11月20日(金) 10:00~17:30

2. 会場 東條会館

3. 技術講師: 1) 講師 S. ヴビエル 氏
テーマ「電子機器のEMCと熱対策を考慮した実装設計」
2) 講師 遠矢 弘和 氏
テーマ「半導体のEMC対策と設計」
3) 講師 上羽 良行 氏
テーマ「電子機器内における振動伝播 経路の解析」

4. 展示内容: 電磁環境対策部品、熱対策部品、振動・衝撃・音対策部品、他新商品以上

対象期間 1998/09/09 (開始日)

対象期間 1998/11/18 (終了日)

削除希望年月日 1998/11/18

検索画面へ~8292

8291

【図 1 3 2】

8121
Menu

8122
BackPage

8123
Log Out

8124
Mail

8112
LoginUser: 111111

8113
LoginDate: 1998/10/27

8114
*1998年10月28日現在 ~8111
IPAddress: 150.61.245.99 この情報は社外秘です。

8301 ~ 業種:
取引先コード:
取引先名:
取扱メーカーコード:
取扱メーカー名称:

▼

参照 ~ 8302

参照 ~ 8302

参照 ~ 8302

参照 ~ 8302

8303 ~ Search

Clear ~ 8304

【図 1 3 3】

8121 8122 8123 8124

Menu BackPage Log Out Mail

8112 8113 8114

(4)取引先担当者情報・一覧画面

LoginUser: 11111 LoginDate: 1998/10/27 IPAddress: 150.61.245.99

※1998年10月26日現在 ~8111 この情報は社外秘です。

表示件数: 6

No.	更新年月日	取引先コード	取引先名称	業種	担当者氏名	TEL	E-Mail	管理者マーク
1	1998/10/08	T898	〇〇株式会社	Q0:電気部品	〇〇 〇〇	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇.co.jp	*
2	1998/09/21	N844	〇〇株式会社	T0:電子部品ユニット	〇〇 〇〇	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇.co.jp	*
3	1998/08/28	M322MA	〇〇精密工業株式会社	V0:プレス加工	〇〇 〇〇	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇		*
4	1998/08/21	K356	〇〇工業株式会社	Q0:電気部品	〇〇 〇〇	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇.co.jp	*
5	1998/07/21	T691	〇〇電気株式会社	Q0:電気部品	〇〇 〇〇	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇		*
6	1998/06/24	U031	株式会社 〇〇〇〇	K0:型, 治具, 機械部品	〇〇 〇〇	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇		*

検索画面へ ~8314

8313

【図 1 3 4】

8121 8122 8123 8124

Menu BackPage Log Out Mail

8112 8113 8114

(4)取引先担当者情報・詳細画面

LoginUser: 11111 LoginDate: 1998/10/27 IPAddress: 150.61.245.99 *1998年10月26日現在 ~8111 この情報は社外秘です。

8321 8322 8323

業種 00 : 電気部品

取引先名称 000株式会社

所属部署名 電子デバイス事業本部 営業部 東京2部2課

担当者役職名 係長

氏名[漢字] 00 00

住所 東京都中央区日本橋0-00-00

郵便番号 1038272

E-Mail nmachi@mb1.000.co.jp ~8322

担当地区or事業所 下丸子, 目黒, 玉川, 紺野裾野, 中央研究所, 取手, 阿見, 平塚, 電子, 精機, アブデックス, 化成

取引先コード T898

管理部署コード 01

管理者マーク *

氏名[英字]

03-0000-0000 TEL 03-0000-0000 FAX 03-0000-0000

HomePage http://www.000.co.jp/~8323

主要取扱製品 コンデンサ, コイル, フェラライトコア, マグネット, センサー, ノイズフィルタ, 電源, EMC部品

取扱メーカー

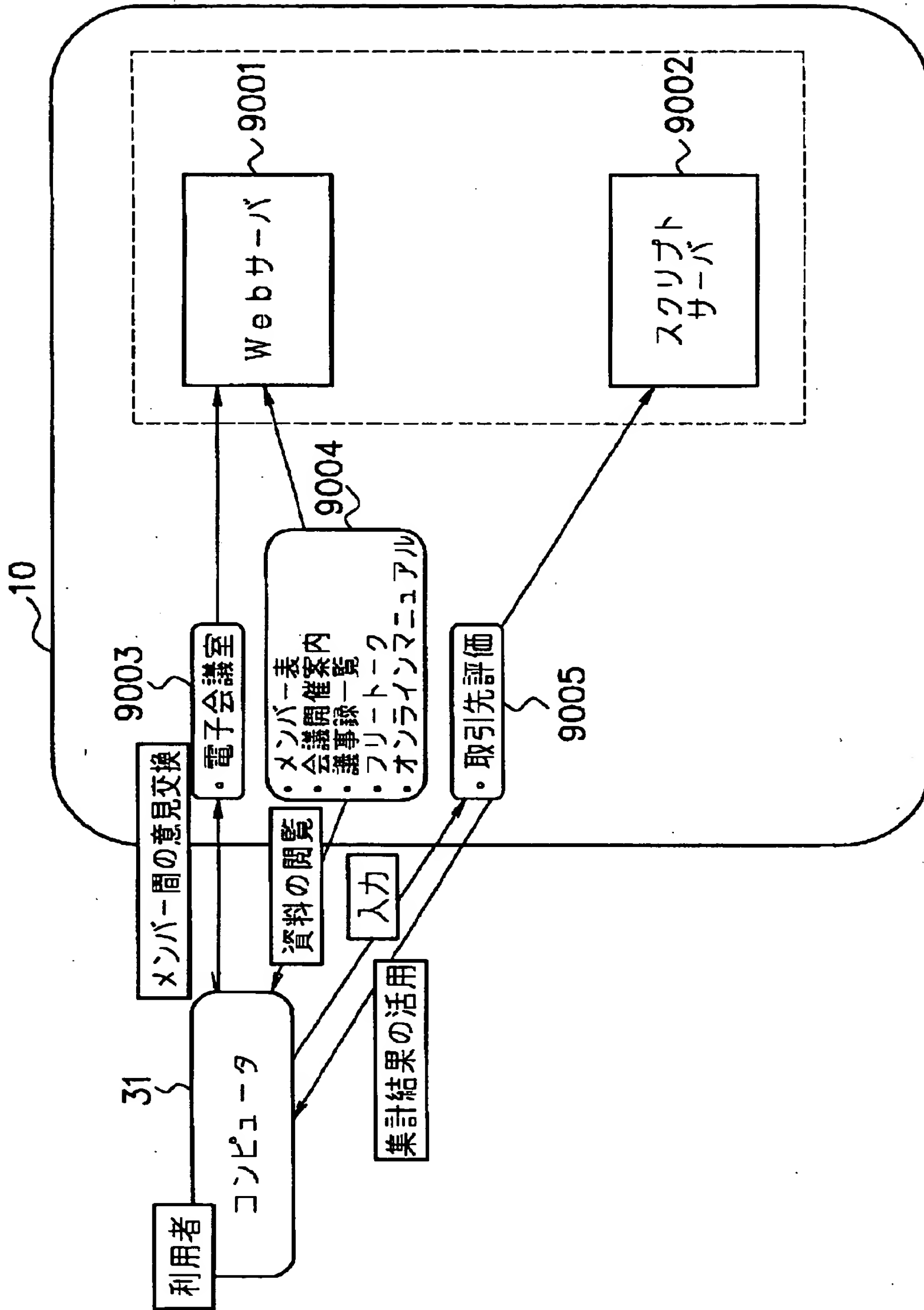
コメント

更新年月日 1998/10/08 参加申請日 1998/10/03

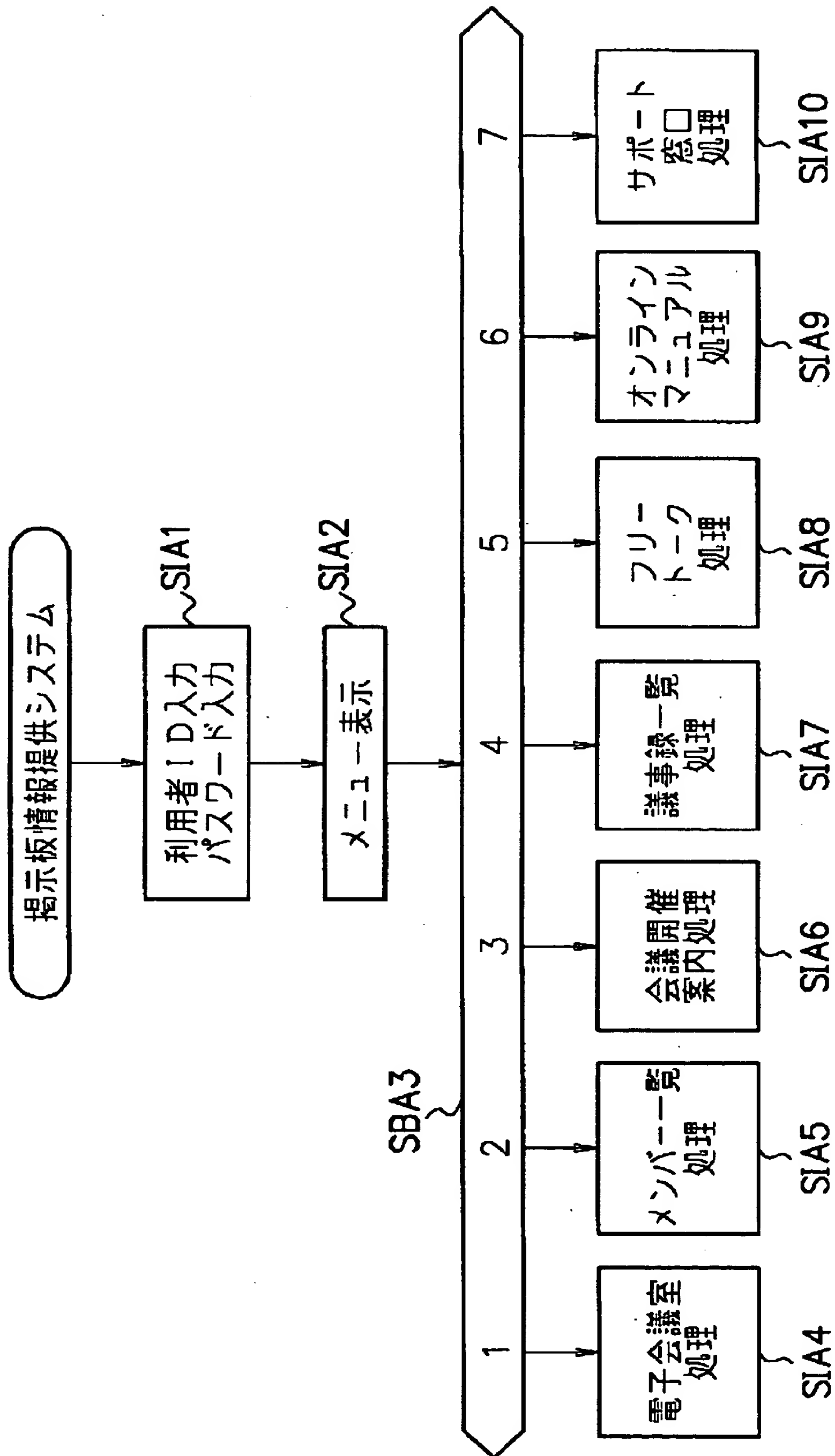
検索画面へ ~8324

【図 135】

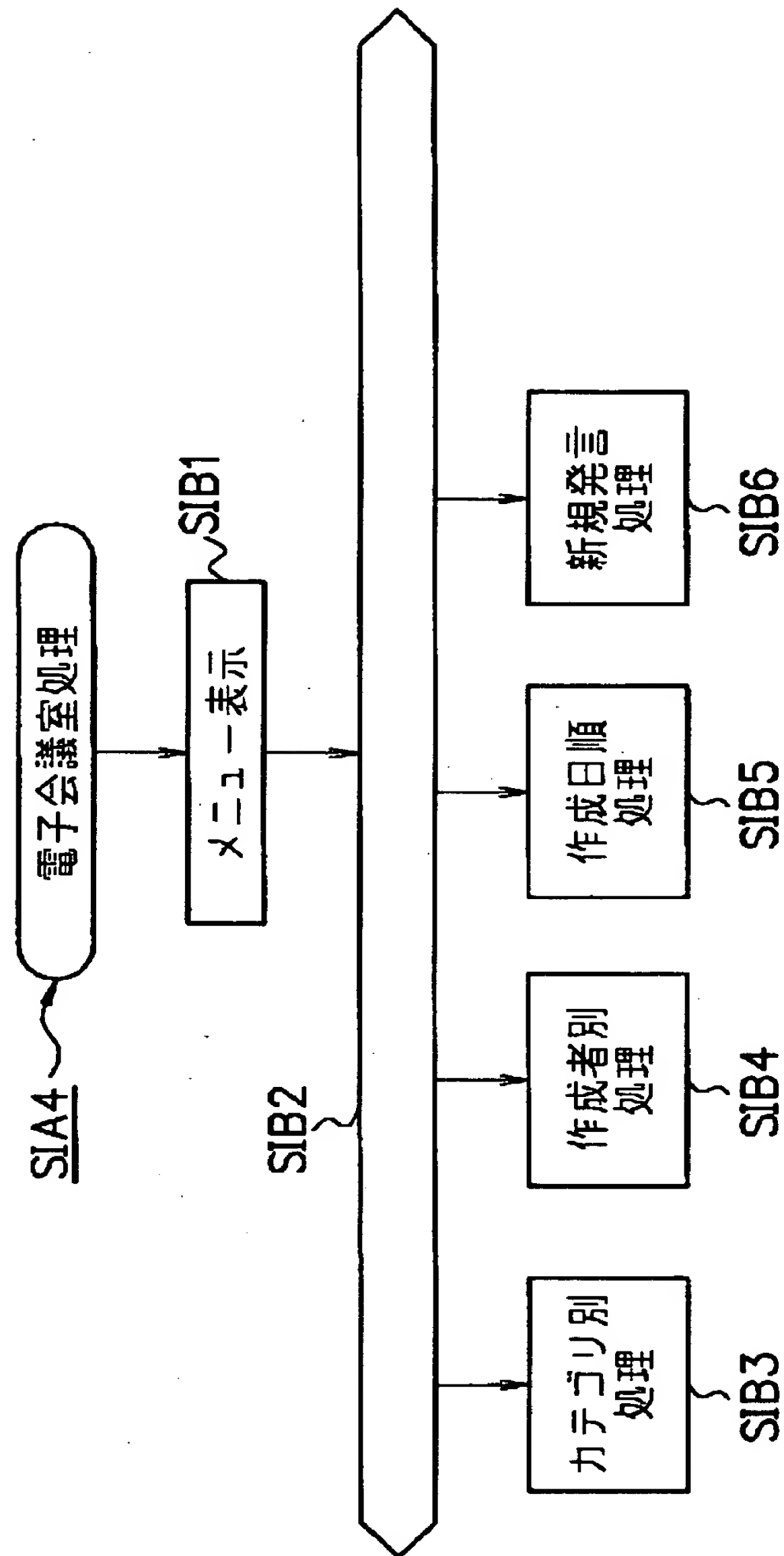
掲示板メールシステム



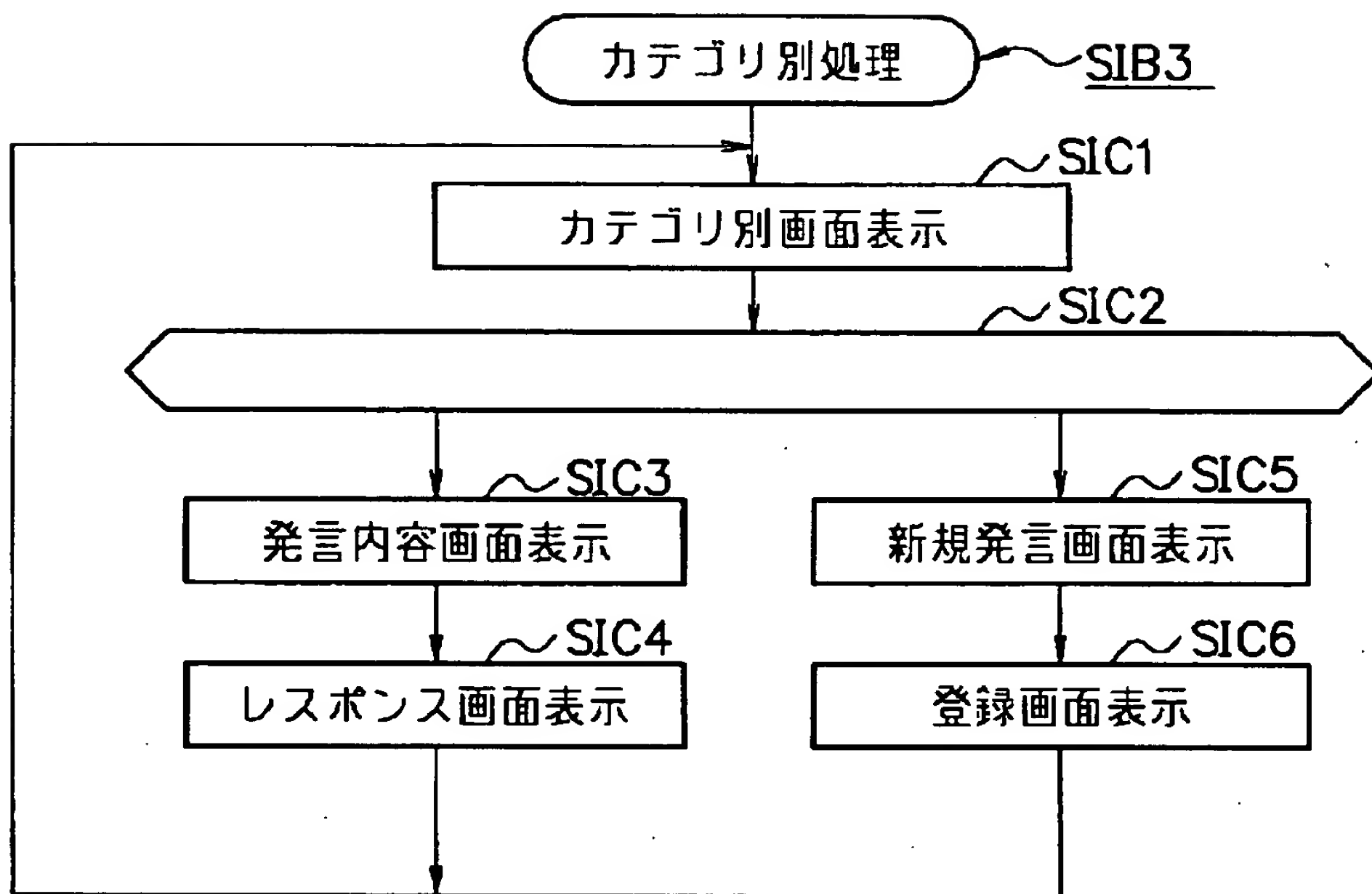
【図 136】



【図 1 3 7】



【図 1 3 8】



【図 1 3 9】

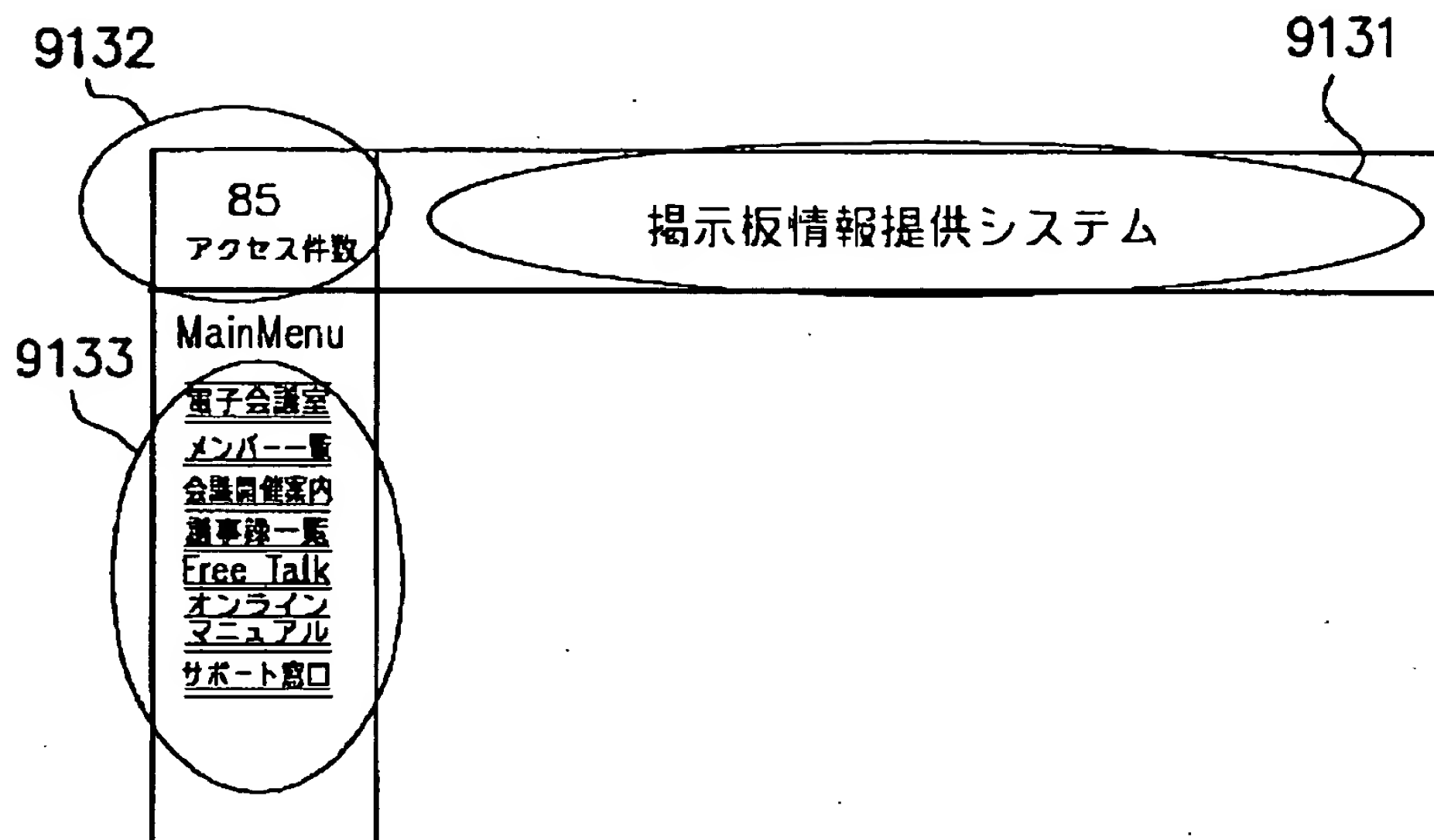
掲示板情報提供システム

9101 ~ 利用者ID :

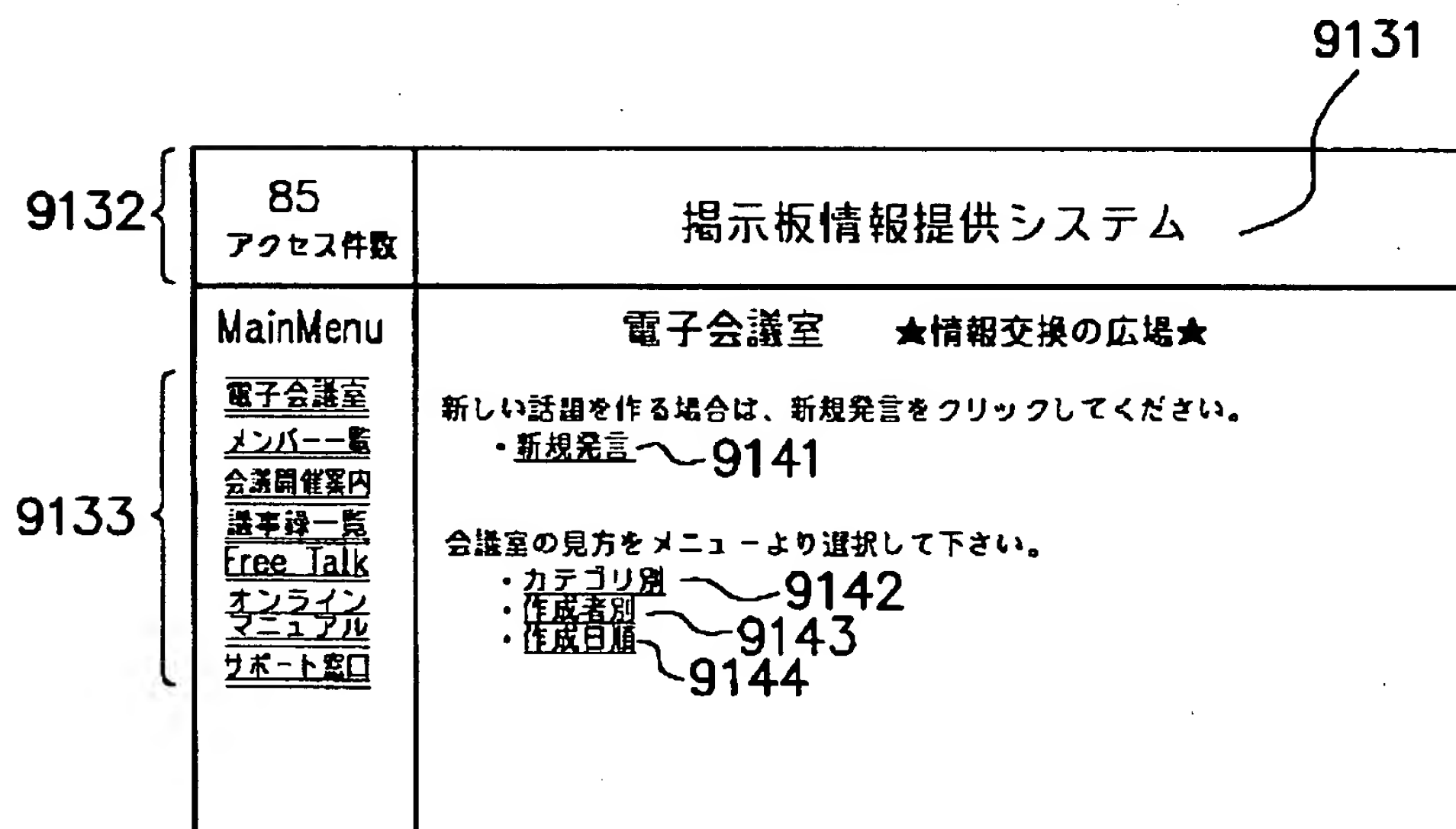
9102 ~ パスワード :

9103 ~ ログイン パスワード変更 9104

【図 140】



【図 141】



【図 1 4 2】

9131

9132 {	85 アクセス件数	掲示板情報提供システム
	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;">MainMenu</div> <div style="flex: 1;"> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div>電子会議室</div> <div>メンバー監</div> <div>会議開催案内</div> <div>議事録一覧</div> <div>Free Talk</div> <div>オンライン</div> <div>マニュアル</div> <div>サポート窓口</div> </div> </div> </div> <div style="flex: 2;"> <div>電子会議室 カテゴリ別表示</div> <div>※文書中の探したい語句を検索したい場合は、下のボックスに検索したい語句を入力し、検索ボタンを押して下さい。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: flex; align-items: center;"> <input style="flex: 1;" type="text"/> <div style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">検索</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">オプション</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div>9151</div> <div>9152</div> </div> <div>新規発言 ← 新しい話題を作る場合は、ここをクリックしてください。</div> <div style="margin-top: 10px;"> <div>カテゴリ</div> <div>TEST</div> <div style="margin-top: 10px;"> <div>9153</div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <div>その他</div> <div>TEST (TEST: 97/02/27)</div> </div> <div style="flex: 1;"> <div>TEST2(Yata: 97/02/27)</div> </div> </div> </div> </div> </div> </div></div>	

9154

【図 1 4 3】

9131

9132 {	85 アクセス件数	掲示板情報提供システム
	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;">MainMenu</div> <div style="flex: 1;"> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div>電子会議室</div> <div>メンバー監</div> <div>会議開催案内</div> <div>議事録一覧</div> <div>Free Talk</div> <div>オンライン</div> <div>マニュアル</div> <div>サポート窓口</div> </div> </div> </div> <div style="flex: 2;"> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">TEST</div> <div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <div>作成者 : TEST</div> <div>作成日 : 02/27 05:49</div> <div>カテゴリ : TEST</div> <div>取引先コード : TEST</div> <div>取引先名称 : TEST</div> <div>メーカーコード : TEST</div> <div>メーカー名称 : TEST</div> <div>部署 : TEST</div> <div>姓 : TEST</div> </div> <div style="flex: 1;"> <div>9161</div> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div>カテゴリ別へ・作成者別へ・作成日順へ</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div>TEST 9162</div> <div>9163</div> <div>9164</div> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div>Response ← この文書への回答作成</div> <div>9165</div> </div> </div> </div> </div>	

【図 144】

9131

9132 {	85 アクセス件数	掲示板情報提供システム
9133 {	MainMenu <u>電子会議室</u> <u>メンバー一覧</u> <u>会議開催案内</u> <u>議事録一覧</u> <u>Free Talk</u> <u>オンライン</u> <u>マニュアル</u> <u>サポート窓口</u>	<p>タイトル : <input type="text"/> 9171 作成者 : <input type="text"/> 9172 カテゴリ別へ・作成別へ・作成日順へ 9174 9175 9176</p> <div data-bbox="720 956 1343 1156"><p>9173</p></div>
		<p>Response ← この文書への返答作成 <input type="button" value="送信"/></p>

9177

【図 1 4 5】

9131

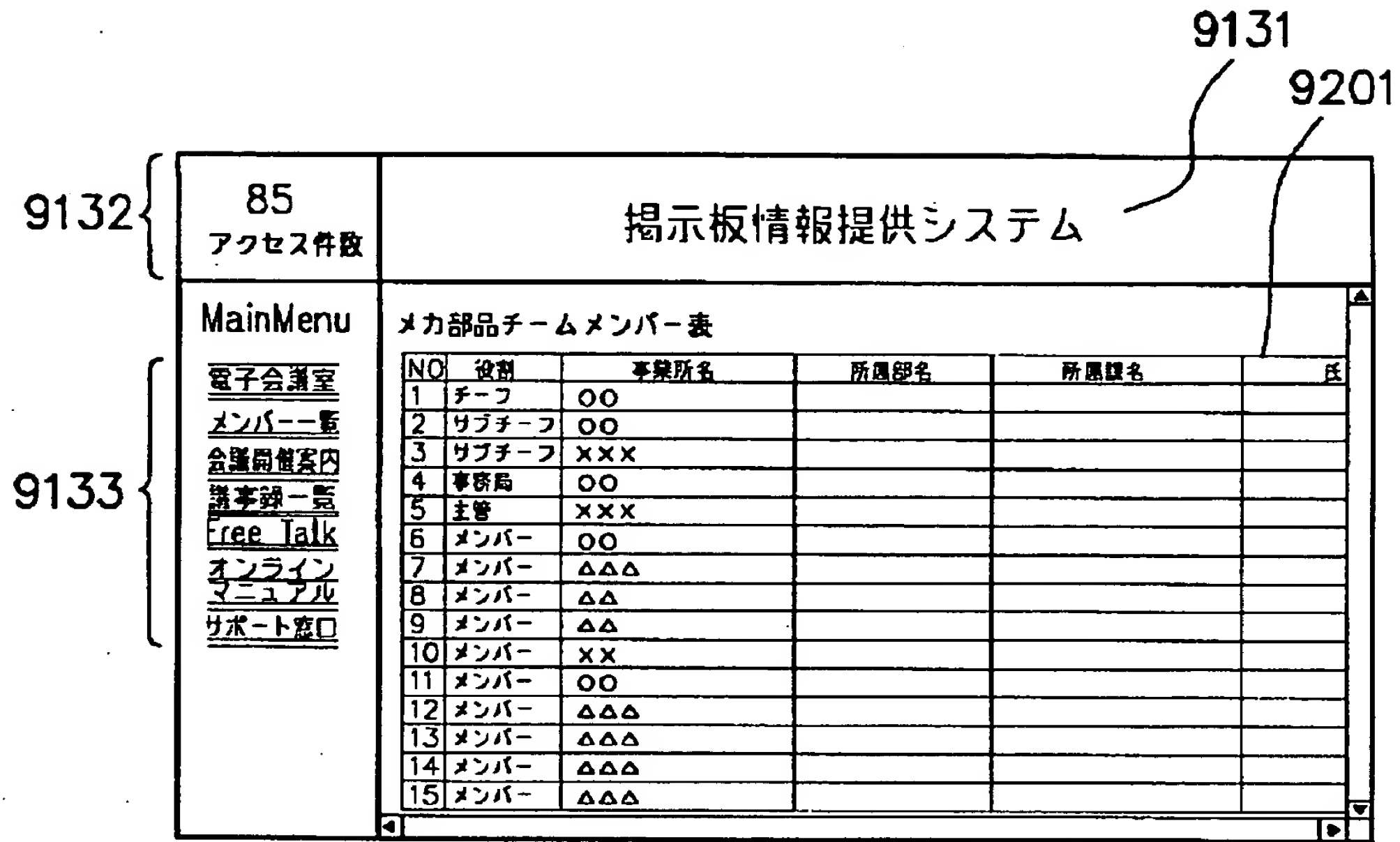
9132 {	85 アクセス件数	掲示板情報提供システム	
	9133 {	MainMenu <u>電子会議室</u> <u>メンバー一覧</u> <u>会議開催案内</u> <u>議事録一覧</u> <u>Free Talk</u> <u>オンライン</u> <u>マニュアル</u> <u>サポート窓口</u>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>タイトル: <input type="text"/> (必須)</p> <p>作成者: <input type="text"/> (必須/入力例: 山田太郎)</p> <p>カテゴリ: <input type="text" value="トラブル情報"/> (必須)</p> </div> <div style="font-size: 2em;">}</div> <div>9181</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div> <p>・取引先コード : <input type="text"/></p> <p>・取引先名称 : <input type="text"/></p> <p>・メーカーコード : <input type="text"/></p> <p>・メーカー名称 : <input type="text"/></p> <p>・部署 : <input type="text"/></p> <p>・型名 : <input type="text"/></p> </div> <div style="font-size: 2em;">}</div> <div>9182</div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>内容</p> <div style="border: 1px solid black; height: 60px; width: 100%;"></div> <div style="text-align: right; margin-top: -10px;">9183</div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>登録 リセット</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: -10px;"> <div>9184</div> <div>9185</div> </div> </div>

【図 1 4 6】

9131

9132 {	85 アクセス件数	掲示板情報提供システム	
	9133 {	MainMenu <u>電子会議室</u> <u>メンバー一覧</u> <u>会議開催案内</u> <u>議事録一覧</u> <u>Free Talk</u> <u>オンライン</u> <u>マニュアル</u> <u>サポート窓口</u>	<p>あなたが送信した情報は、約5分後に反映されます。 確認する際は、下記のリンク先にアクセスした上で、5分後に「再読込」して確認してください。</p> <div style="margin-top: 10px;"> <p>「カテゴリ別」に戻る ~ 9191</p> <p>「作成者別」に戻る ~ 9192</p> <p>「作成日順」に戻る ~ 9193</p> </div>

【図 1 4 7】



【図 1 4 8】

9131

9132 {	85 アクセス件数	掲示板情報提供システム	
	9133 {	MainMenu <u>電子会議室</u> <u>メンバー監</u> <u>会議開催案内</u> <u>議事録一覧</u> <u>Free Talk</u> <u>オンライン</u> <u>マニュアル</u> <u>サポート窓口</u>	<p style="text-align: center;">会議開催案内</p> <p>※文中の探したい語句を検索したい場合は、下のボックスに検索したい語句を入力し、検索ボタンを押して下さい。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;"> <input style="width: 150px; border: 1px solid black;" type="text"/> [検索] オプション </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>9211</p> <p>連絡事項 メカ部品チーム第一回会合開催のお知らせ</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>9212</p> <p>発行日付 1999年2月6日</p> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: -20px;"> <p>9213</p> </div>

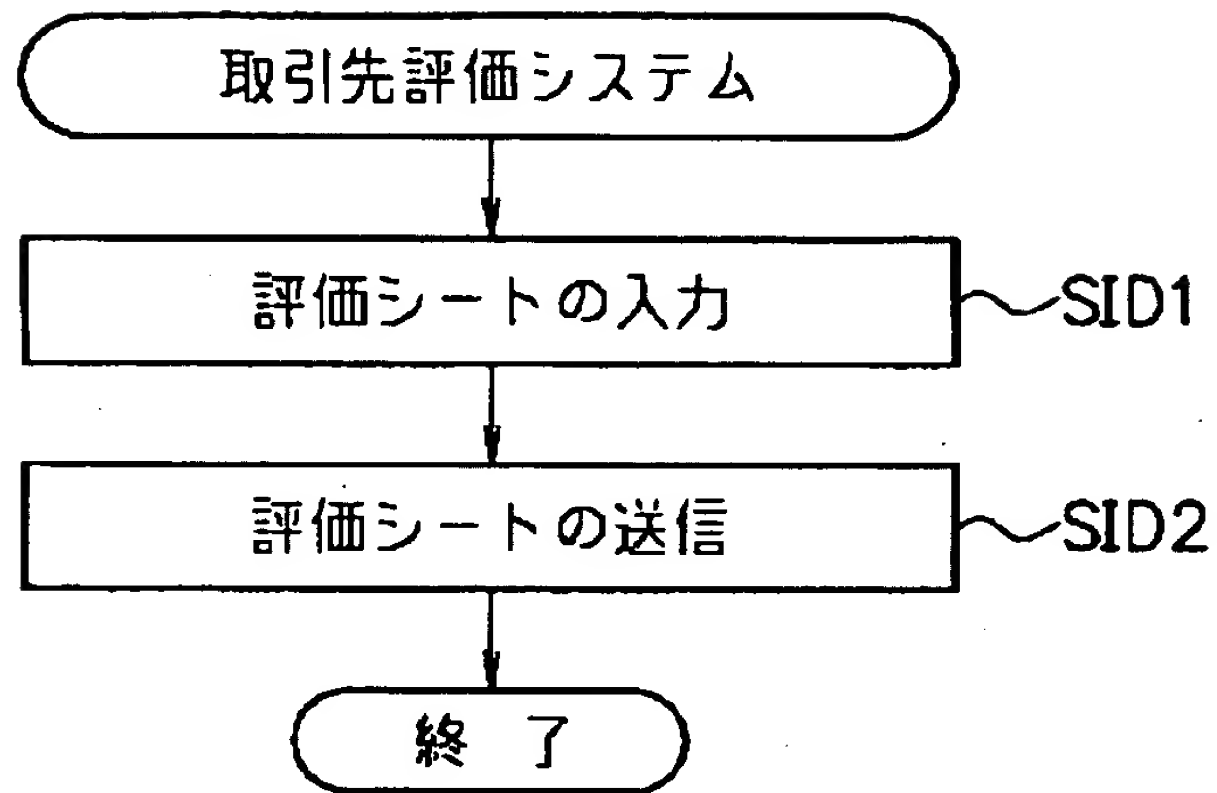
【図 1 4 9】

9131

9221

9132 {	85 アクセス件数	掲示板情報提供システム										
	9133 {	MainMenu <u>電子会議室</u> <u>メンバー監</u> <u>会議開催案内</u> <u>議事録一覧</u> <u>Free Talk</u> <u>オンライン</u> <u>マニュアル</u> <u>サポート窓口</u>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">メカ部品チームメンバ ー各位</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">発行元</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">CC: 宛</td> <td style="text-align: center;">承認</td> <td style="text-align: center;">作成</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">連絡票</p> <p>記事(内容:なぜ・なに・どこ・いつ・だれ・どのように、簡潔にわかりやすく、箇条書き...)返事不要()不要</p> <p>標記の件に付きまして、下記日程にて、第一回の会合を開催いたします。各位におましまして、大変お忙しいと存じますが、日程をご調整の上、出席をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">〔記〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日時 2月24日(月) 2. 場所 304会議室 3. 議題 (1)メンバー紹介 			メカ部品チームメンバ ー各位		発行元		CC: 宛		承認
メカ部品チームメンバ ー各位		発行元										
CC: 宛		承認	作成									

【図 1 5 0】



【図 1 5 1】

評価対象の取引先

▼

9231

評価者

▼

9232

評価項目	評価点
品 質	<div></div> 9233
コスト	<div></div> 9234
納 期	<div></div> 9235
対応力	<div></div> 9236
技術力	<div></div> 9237

送信

9238

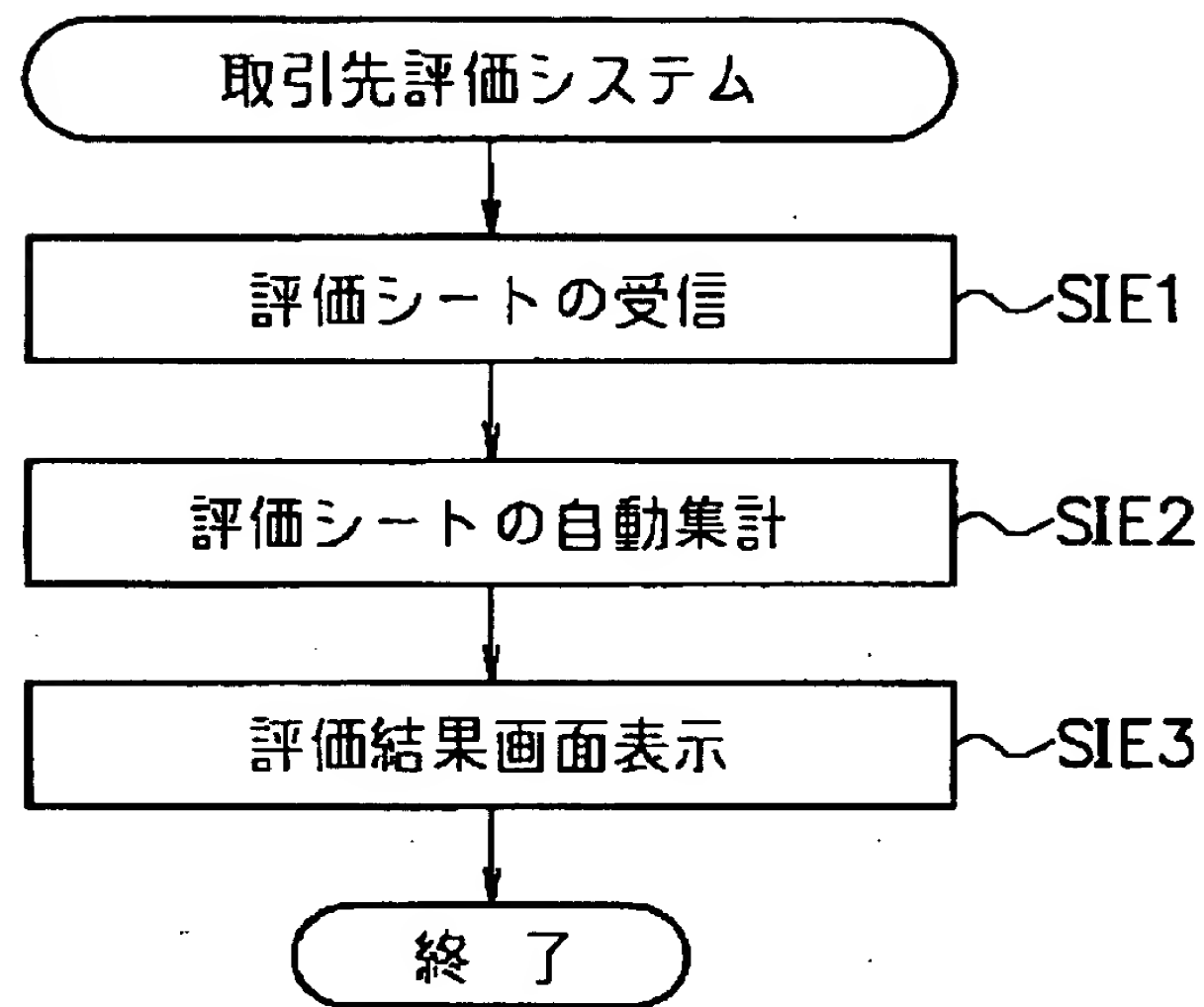
クリア

9239

終了

9240

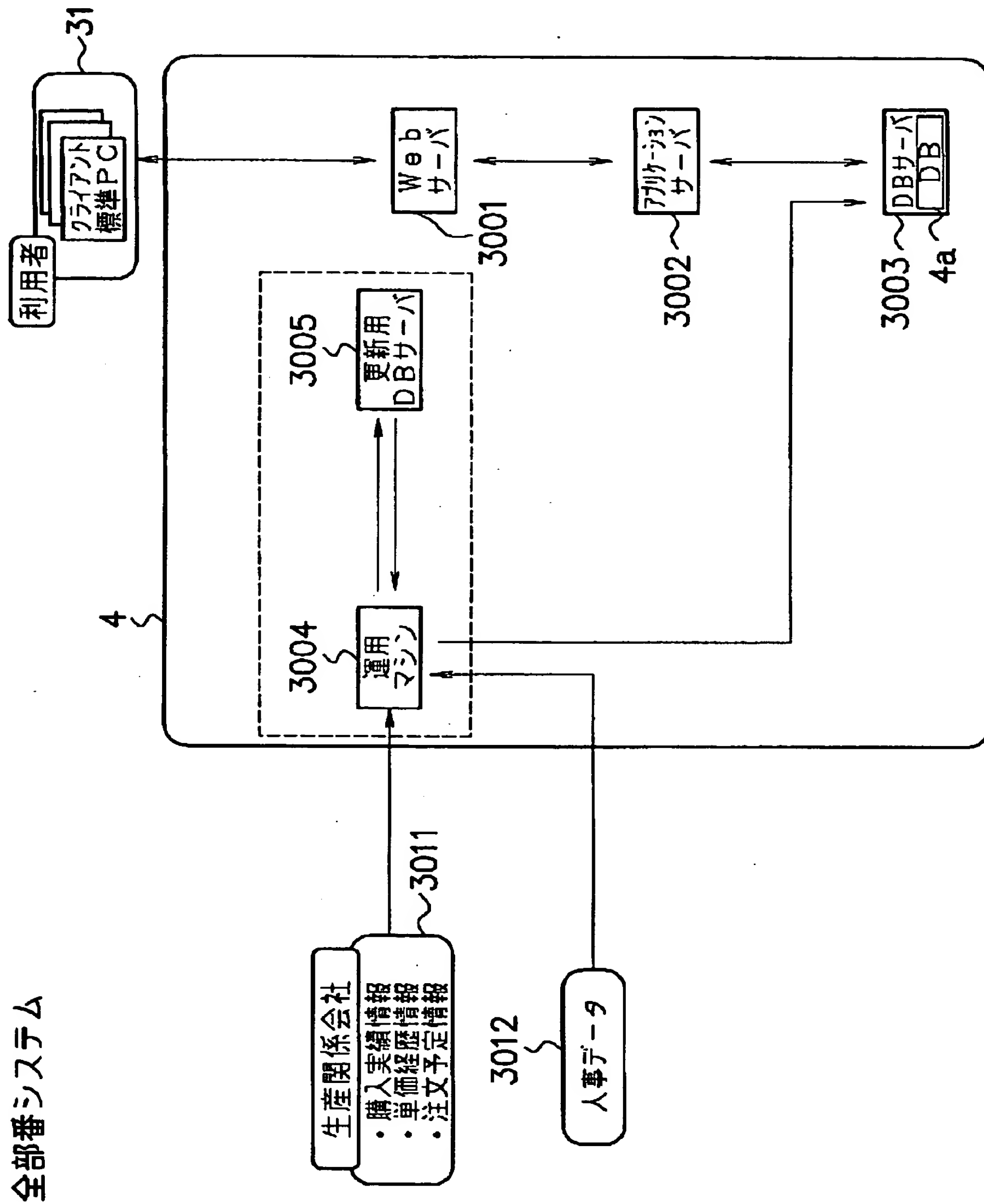
【図 1 5 2】



【図 1 5 3】

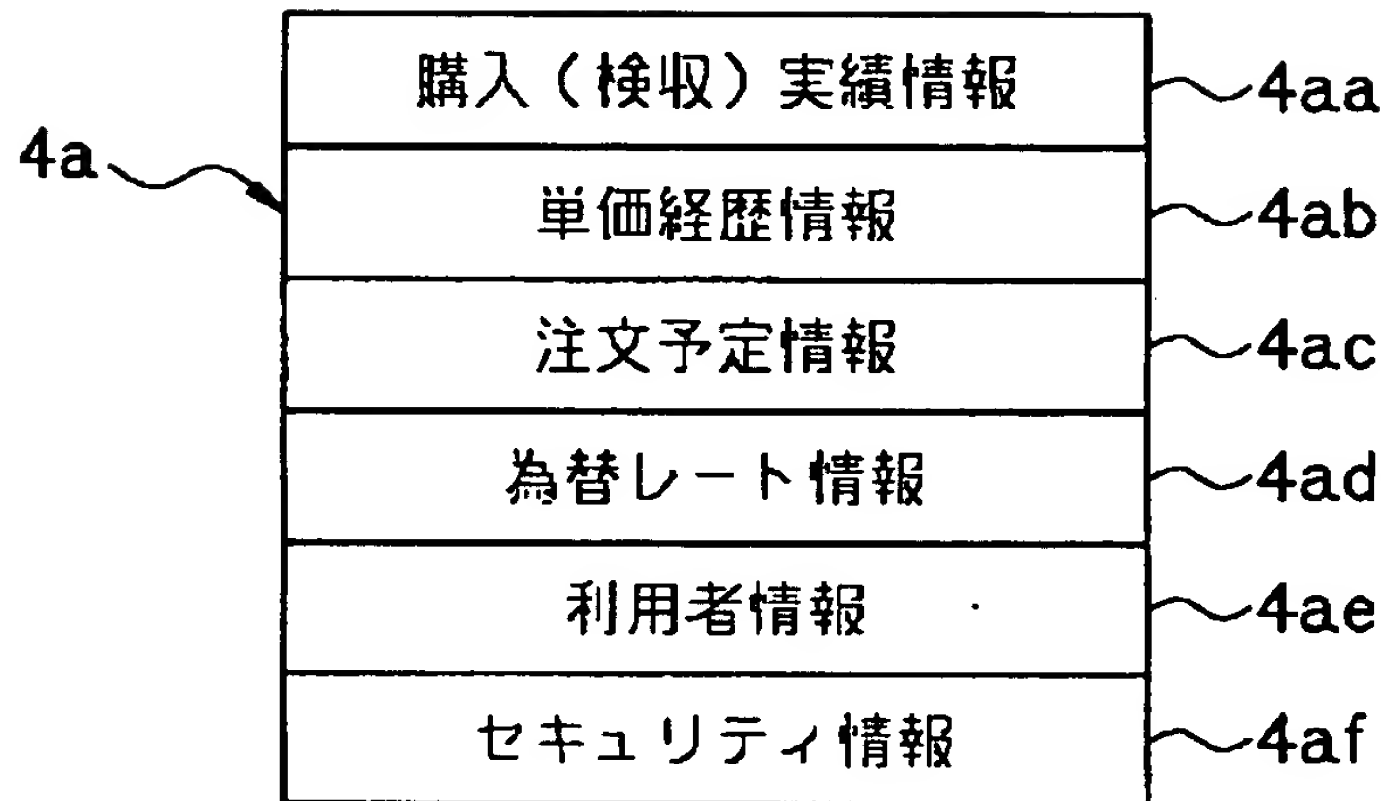
終了			9252
ランキング	取引先名	総合評価点	
1	A社	98	
2	B社	95	
3	C社	92	
4	D社	89	
9251~			

【図 1 5 4】

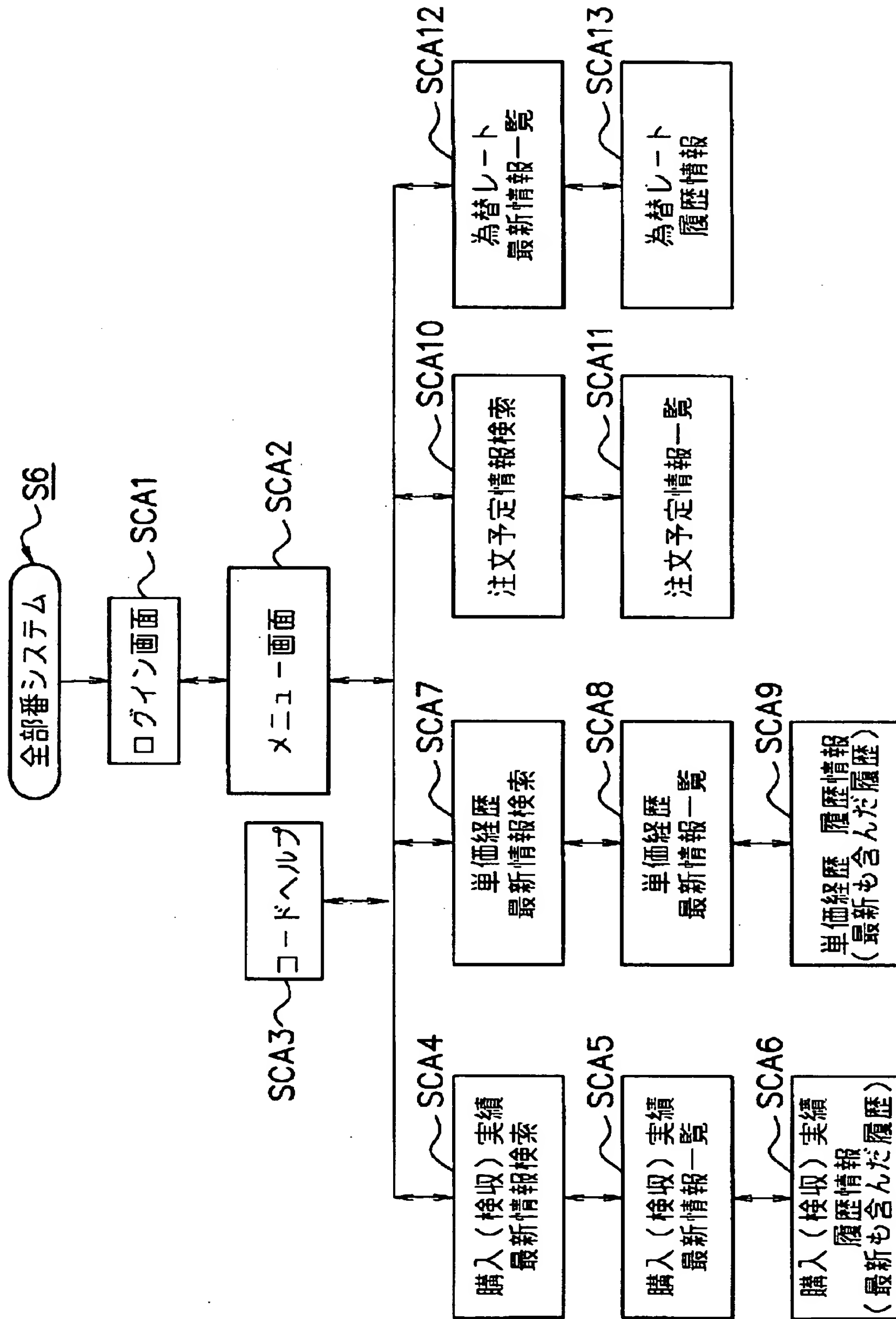


【図 1 5 5】

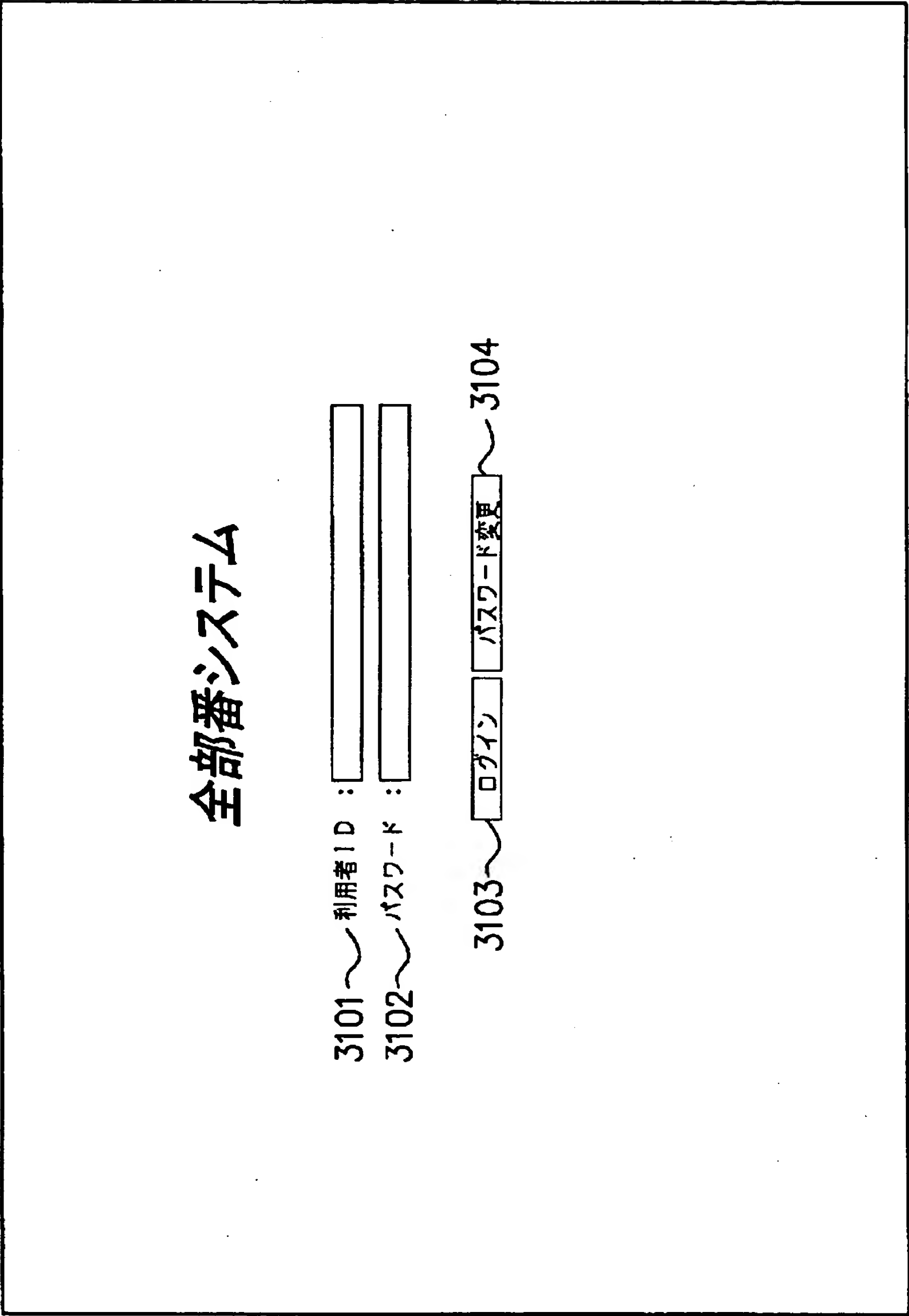
データベース



【図156】



【図 1 5 7】



【図 1 5 8】

3121 3122 3123 3124 3125 3126

Menu BackPage Log Out 情報収集拠点 連絡先 Mail

3112 3113

全部番システム

LoginUser: 29611 この情報は社外秘です。 1998年10月末現在 3111

LoginDate: 1997/05/27

IPADdress: 150.61.245.150 3114

1. 『購入（検収）実績情報（最新・履歴）』検索

2. 『単価経歴情報（最新・履歴）』検索

3. 『注文予定情報』検索

4. 『為替レート情報（最新・履歴）』検索

へ3131

【図 159】

3121 { Menu } 3122 { BackPage } 3123 { Log Out } 3124 { 情報収集拠点 } 3125 { 連絡先 } 3126 { Mail }

3112 { LoginUser: 29611
LoginDate: 1997/05/27
IPAddress: 150.61.245.150 } この情報は社外秘です。 { 3113 }

(1) 購入 (検収) 実績 最新情報 検索 { 3111 }
*1997年06月末現在

3114 { } { 3142 }

部番:	
グリーン認定情報:	
型名 (品番) :	
調達拠点:	
原産国:	
品目品種コード:	参照
取引先コード:	参照
取引先名称:	参照
メーカーコード:	参照
メーカー名称:	参照
検収単価 (現地通貨) :	≥
検収単価 (現地通貨) :	≤

3141 { } { 3143 } { Search } { Clear } { 3144 }

Menu	BackPage	Log Out	情報収集拠点	連絡先	Mail
------	----------	---------	--------	-----	------

3121 3122 3123 3124 3125 3126

(1) 購入 (検収) 実績 最新情報一覧

LoginUser: 29611
LoginDate: 1997/05/27
IPAddress: 150.61.245.150

*1997年08月末現在
この情報は社外秘です。

3112 3113 3111

3114 3115 3151

総件数 : 4 3152 3153 3154 3155

▲前リスト ▼次リスト □ 番号から表示

リンク先画面 : 検収実績履歴情報 3161

並換え : 指定された項目を追加してソートします。
初期 : 部番 > 寸法 > 検収年月 <

第1ソートキー 指定なし ▼ 昇順Sort 3159
第2ソートキー 指定なし ▼ 降順Sort 3160
第3ソートキー 指定なし ▼ 3157 3158

No.	部番	寸法	型名	メーカー	画像	グリーン認定推奨	認定基準名称	取引先
1	WAJ-0002		OO	OO				
2	WAJ-0002-000	000	XXX	XXX				
3	WAJ-0002-000	000	OO	OO	有			
4	WAJ-0002-000	000	OO	OO	有			
5	WAJ-0002-000	000	△△△	△△△	有			
6	WAJ-0002-000	000	XX	XX	有			

検収年月	検収単価	通貨	検収数量	原産国	品種	機能分類	図番	訂番	工程	オーダー
1997/01	000	JPY	00		TTL-Sシリーズ		W9900101			PG 118J499J
1997/01	X XX	JPY	XX		TTL-Sシリーズ		W9900101			PG 118J499J

TTL系

PG
PG
PG

【図 161】

312131223123312431253126

MenuBackPageLog Out情報収集拠点連絡先Mail

3112

(1) 購入 (検収) 実績履歴情報 (最新含め 24 世代)
この情報は社外秘です。

3171

LoginUser: 29611
LoginDate: 1997/05/27
IPAddress: 150.61.245.150

31133114

会社拠点 : (AAAA) 窓口 : JA 部署 : FH7-1691-000 寸法 : 000 工程 : PG 品目品種 : (コー ド xxxx) XXXXXX
部品名称 (日本語) : XXX
部品名称 (英語) : XXX
取引先 : (C170) 加工先 : メーカー : (コー ド xxxxxx) XXXXXX 型名 : 通貨名称 : YEN
物品コード :

グリーン認定情報

認定区分	1	認定名称	グリーン	認定日	YYYY/MM/DD
コメント					

検収実績履歴情報

検収年月	検収単価	検収数量	検収金額	図番	訂番	小オーダー	紐オーダ	区分/名称	単価区分/名称	認定単価	条件	材料費	加工費	管理費	物流費
1997.09	300.00	5.000	1,500.000.00	W99002				599J							
1997.08	300.00	1.000	300.000.00	W99002				599J							
1997.06	300.00	362	110.000.00	W99002											
1997.05	300.00	568	170.000.00	W99002				599J							
1997.05	400.00	695	278.000.00	W99001	01										
1997.04	400.00	5.000	2,000.000.00	W99001	01			599J							
1997.03	400.00	600	240.000.00	W99001	01										
1997.02	400.00	300	120.000.00	W99001	01			599J							

有償支給
区分/名称
金額

--	--	--

【図 162】

3121 3122 3123 3124 3125 3126

Menu BackPage Log Out 情報収集拠点 連絡先 Mail

3112

（ 2 ） 単価経歴 最新情報 検索

LoginUser: 29611
LoginDate: 1997/05/27
IPAddress: 150.61.245.150

3113

3114
3181

※1997年06月末現在
この情報は社外秘です。

部番:	
型名:	
調達拠点:	
取引先コード:	参照
取引先名称:	参照
メーカーコード:	参照
メーカー名称:	参照
単価経歴 最新適用日 YYYY/MM/DD	

3183

Search Clear

3184

3121 3122 3123 3124 3125 3126

Menu BackPage Log Out 情報収集拠点 連絡先 Mail

3112

(2) 単価経歴 最新情報一覧

LoginUser: 29611
LoginDate: 1997/05/27
IPAddress: 150.61.245.150

3113

1997年06月現在
この情報は社外秘です。

3191

3114 3152 3153 3154 3155

総件数: 15

並換え: 指定された項目を追加してソートします。

初期: 部番 > 寸法 > 検収年月 <

3159

3157 昇順Sort

3158 降順Sort

3160

3192

リンク先画面: 検収実績履歴情報

3161

3193

No.	部番	寸法	工程	図番	切換日	通貨	229-229	材料費	加工費	管理費	見積区分	コード	見積区分	名称	会社	拠点	窓口
1	0000	000	PG	W99001	1996/04/25	JPY		0.00	0.00	0.00				630H			1997/10/06
2	0000	000	PG	W99001	1996/04/25	JPY		0.00	0.00	0.00				118J582J			1996/05/22
3	0000	000	PG	W99001	1996/04/25	JPY		0.00	0.00	0.00				582J			1997/09/11
4	0000	000	PG	W99001	1996/04/25	JPY		0.00	0.00	0.00				900H			1997/02/25
5	0000	000	PG	W99001	1996/04/25	JPY		0.00	0.00	0.00				999N			1992/07/21
6	0000	000	PG	W99001	1996/04/25	JPY		0.00	0.00	0.00				999N			1995/10/07
7	0000	000	PG	W99001	1996/04/25	JPY		0.00	0.00	0.00				999N			1994/09/14
8	0000	000	PG	W99001	1996/04/25	JPY		0.00	0.00	0.00				999N			1997/10/01
9	0000	000	PG	W99001	1996/04/25	JPY		0.00	0.00	0.00				117J11J			1992/03/18
10	0000	000	PG	W99001	1996/04/25	JPY		0.00	0.00	0.00				499J			1992/10/19
11	0000	000	PG	W99001	1996/04/25	JPY		0.00	0.00	0.00				130T			1997/03/21

【図 164】

3121 3122 3123 3124 3125 3126

Menu BackPage Log Out 情報収集拠点 連絡先 Mail

3112
LoginUser: 29611
LoginDate: 1997/05/27
IPAddress: 150.61.245.150

(2) 単価経歴 履歴情報 (未来永却 + 過去5世代分)
*1997年06月末現在 3111
この情報は社外秘です。

3113
3114

会社拠点: (AAAA) 窓口: JA 部署: FH7-1691-000 寸法: 000 工程: PG
部品名称 (日本語): XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 部品名称 (英語): XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
取引先: (C170) 加工先コード: メーカー: (コード xxxxxx) XXXXXX 型名: 通貨名称: YEN

グリーン認定情報
認定区分 1 認定名称 グリーン 認定日 YYYY/MM/DD
コメント

単価マスター履歴情報
切換日 マスター単価 材料費 加工費 管理費 見積区分コード 当座コード 図番 訂番 オーダー 登録日
1994/10/01 11.00 11.00 0.00 0.00 P81: 0: W99001 499J 1994/09/10
1992/10/01 13.00 13.00 0.00 0.00 P81: 0: W99001 499J 1993/08/23

【図 1 6 5】

3121	3122	3123	3124	3125	3126
Menu	BackPage	Log Out	情報収集拠点	連絡先	Mail

3112

LoginUser:pmc

3113

LoginDate:1998/11/19

3114

*1998年9月末現在

3111

この情報は社外秘です。

3211

部番

3212

姓 名

3213

Search

Clear

3214

【図 1 6 6】

3121 3122 3123 3124 3125 3126

Menu BackPage Log Out 情報収集拠点 連絡先 Mail

3112 3113 3114 3111

LoginUser:pmc LoginDate:1998/11/19 IPADdress:150.61.245.130 この情報は社外秘です。

3152 3153 3154 3155

▲前リスト ▼次リスト 番号から表示

3156 3157 3158 3159 3160

第1ソートキー 指定なし 昇順Sort

第2ソートキー 指定なし 降順Sort

第3ソートキー 指定なし

Link先画面: 購入(検収)最新一覧 3161

給件数: 12

(3) 「注文予定情報」一覧画面

* 1998年9月末現在 ~ 3111

並換え: 指定された項目を追加してソートします。

初期: 部番 > 寸法 > 検収年月

No.	部番	寸法	工程	図番	型名	メーカー	会社拠点	取引先名
1	0000	000	PG	W99001	△△△△△△	XXXXXX	AA	T100:
2	0000	009	PG	G00001	△△△△△△	XXXXXX	AA	N326:
3	0000	009	PG	G00001	△△△△△△	XXXXXX	AA	S641:
4	0000	009	PG	W99001	△△△△△△	XXXXXX	BB	N326:

続き →

加工先コード	通貨	1998年10月		1998年11月		1998年12月	
		予定数量	予定金額	予定数量	予定金額	予定数量	予定金額
	JPY	20.00	7,200.00	30.00	10,800.00		
	JPY	1,300.00	14,630.00	440.00	20.00		
	JPY	500.00	120,630.00			160.00	38,400.00
	JPY			4,000.00	72,000.00		

3221

3221

【図 167】

3121 3122 3123 3124 3125 3126

Menu BackPage Log Out 情報収集地点 連絡先 Mail

3112

（ 4 ） 為替レート最新情報一覧（月平均）
※1997年06月末現在 3111

LoginUser: 29611
LoginDate: 1997/05/27
IPADdress: 150.61.245.150

3114 3232

3113 3231

この情報は社外秘です。

	FROM	TO	RATE	年月
<input checked="" type="checkbox"/>	AUD (AUSTRALIAN DOLLAR)	YEN	91.85	1998/01
<input checked="" type="checkbox"/>	AVB (THAILAND BAHT)	YEN	4.36	1998/01
<input checked="" type="checkbox"/>	CAD (CANADIAN DOLLAR)	YEN	87.66	1998/01
<input checked="" type="checkbox"/>	CHF (SWISS FRANC)	YEN	84.66	1998/01
<input checked="" type="checkbox"/>	DEM (GERMAN MARK)	YEN	73.40	1998/01
<input checked="" type="checkbox"/>	FRF (FRENCH FRANC)	YEN	21.75	1998/01
<input checked="" type="checkbox"/>	GBP (POUND)	YEN	195.94	1998/01
<input checked="" type="checkbox"/>	HKD (HONGKONG DOLLAR)	YEN	15.25	1998/01
<input checked="" type="checkbox"/>	JPY (YEN)	YEN	1.00	1998/01
<input checked="" type="checkbox"/>	MYR (RINGGIT MALAYSIA)	YEN	47.46	1998/01
<input checked="" type="checkbox"/>	NLG (DUTCH GUILDER)	YEN	65.37	1998/01
<input checked="" type="checkbox"/>	NZD (NEWZEALAND DOLLAR)	YEN	82.90	1998/01
<input checked="" type="checkbox"/>	THB (THAILAND BAHT)	YEN	4.59	1998/01
<input checked="" type="checkbox"/>	TWD (NT DOLLAR)	YEN	4.29	1998/01
<input checked="" type="checkbox"/>	USD (US DOLLAR)	YEN	118.08	1998/01

【図 1 6 8】

3121 3122 3123 3124 3125 3126

Menu BackPage Log Out 情報収集拠点 連絡先 Mail

3112 (4) 為替レート 履歴情報 (月平均 - 過去 1 2 0 ヶ 月 分)

LoginUser: 29611 この情報は社外秘です。

LoginDate: 1997/05/27

IPAddress: 150.61.245.150 3113

3114 3241 通貨: USD (US DOLLAR) → YEN

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1997	118.08	123.06	122.68	125.55	119.15	114.33	115.23	117.95	120.81	121.41	0.00	0.00
1996	105.88	105.72	105.90	107.54	106.52	108.93	109.38	107.81	109.77	112.41	112.28	113.87
1995	99.77	98.33	90.87	83.66	85.16	84.54	87.20	94.60	100.45	100.73	102.01	101.89
1994	111.58	106.25	105.12	103.56	103.98	102.71	98.57	99.87	98.85	98.45	98.00	100.20
1993	124.98	121.13	117.12	112.46	110.26	107.34	107.83	103.67	105.26	106.93	107.81	109.67
1992	125.06	127.49	132.72	133.61	130.64	126.84	125.68	126.34	122.73	121.07	123.80	124.02
1991	136.00	136.00	136.00	136.00	136.00	136.00	134.00	134.00	134.00	134.00	134.00	134.00

【図 169】

コードヘルプ画面

3251

テーブル	品目品種
検索項目	コード
一致タイプ	前方
入力エリア	

3252

Search

3152

総件数：120

3153

3154

3155

▲前リスト

▼次リスト

1

番号から表示

3253

コード	名称
P112	半導体部品：ツエナーダイオード
P113	半導体部品：発光ダイオード
P114	半導体部品：ダイオードアレー

3254

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 容易かつ迅速に部品情報を提供することができる部品情報提供システムを提供することを課題とする。

【解決手段】 本発明の部品情報提供システムは、部品情報を記憶するデータベース（1 a）と、部品を指定する指定手段（1）と、指定手段により指定された部品に対応する部品情報をデータベースから検索して表示する表示手段（1）とを有する。

【選択図】 図 3

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000001007]

1. 変更年月日 1990年 8月30日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都大田区下丸子3丁目30番2号
氏 名 キヤノン株式会社